Nikon

デジタルカメラ



使用説明書

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に 理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いにな る方がいつでも見られるところに必ず保管し、撮影を楽しむためにお役 立てください。

本文中のマークについて

この使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたい ことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



表記について

- XODメモリーカードおよびコンパクトフラッシュカード(CFカード)を「メモ リーカード と表記しています。ただし、XODメモリーカードとコンパクトフ ラッシュカードを区別して説明する必要がある場合は、それぞれ「XODカード」 と「CFカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記して います。
- この使用説明書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を 行っています。



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

ニコンデジタルカメラの説明書をスマートフォンやタブレットで見ることが できるアプリです。App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロード できます。

* アプリおよび使用説明書をダウンロードするには、インターネットに接続できる 環境が必要です (通信料が発生します)。

⚠ 安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載 されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しく は□xi~xviiをご覧ください。

カメラと付属品を確認する

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認して ください。万一、付属品がそろっていない場合は、ご購入店にご連絡く ださい。

- □ D4Sカメラ本体(□1) □ ボディーキャップ
- BF-1B (\$\Pi_27\$, 409)
- □ アクヤサリーシュー カバー BS-2 (四15)







□ Li-ionリチャージャブルバッテリー □ バッテリーチャージャー MH-26a EN-EL18a (端子カバー付) $(\square 21, 24)$



(電源コード/接点保護カバー (2個)付)(四21)



- □ USBケーブルクリップ □ HDMIケーブル $(\square 269)$
 - クリップ (CL) 279)
- □ ステレオミニプラグ ケーブル用端子カバー UF-2 (Q1412)







- □ USBケーブルUC-F15 (□ 266、 272)
- □ ストラップAN-DC11 (□21)
- □ 保証書

- □ 使用説明書(本書)
- □ネットワークガイド
- ☐ ViewNX 2 CD-ROM (□ 263)
- □ 登録のご案内
- XODメモリーカードやコンパクトフラッシュカード(CFカード)は別売です。
- 日本国内でで購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設 定できます。

目 次

| カメラと付属品を確認する | |
|-----------------------------|-------|
| 安全上のご注意 | X |
| ご確認ください | xvii |
| お使いになる前に | 1 |
| 各部の名称と機能 | 1 |
| カメラ本体 | 1 |
| 上面表示パネル | 6 |
| 背面表示パネル | 8 |
| ファインダー | 9 |
| インフォ画面 | |
| アクセサリーシューカバー BS-2 の取り付け、取り外 | し方 15 |
| 基本操作 | 17 |
| メニューの操作方法 | 17 |
| メニュー項目の設定 | 18 |
| ヘルプを使う | 20 |
| 撮影前の準備 | 21 |
| ストラップを取り付ける | 21 |
| バッテリーを充電する | |
| カメラにバッテリーを入れる | 24 |
| レンズを取り付ける | 27 |
| 日付と時刻を設定する | 29 |
| メモリーカードを入れる | 32 |
| メモリーカードを初期化(フォーマット)する | 35 |
| ファインダーを見やすくする(視度調節) | 37 |
| 撮影と再生の基本操作 | 39 |
| バッテリーとメモリーカードの残量を確認する | 39 |
| カメラを構える | 41 |
| ピントを合わせて撮影する | 42 |
| 撮影した画像を確認する | 45 |
| 画像を削除する | 46 |

| 静止画ライブビュー撮影 | |
|----------------------------|-----|
| AF モードを変更する | 50 |
| AF エリアモードを変更する | |
| 静止画ライブビュー中の情報表示について | 53 |
| 静止画ライブビュー時の表示を切り換える | 56 |
| マニュアルフォーカスで撮影する | |
| 静止画ライブビュー撮影の設定 | 58 |
| 動画ライブビュー撮影と再生 | 61 |
| 動画ライブビューで撮影する | |
| インデックスマーキングについて | 63 |
| 動画ライブビュー中の情報表示について | 64 |
| 動画ライブビュー時の表示を切り換える | 66 |
| 動画ライブビュー時の撮像範囲 | 67 |
| 動画ライブビュー時の静止画撮影 | 68 |
| 動画の設定 | 72 |
| 動画の再生 | |
| 動画の編集 | |
| 動画の必要な部分を残す | |
| 動画の 1 フレームを JPEG 画像として保存する | 82 |
| 画像の記録 | 83 |
| 撮像範囲を変更する | 83 |
| 画質モードを変更する | 89 |
| 画像サイズを変更する | 92 |
| 2 枚のメモリーカードに記録する(主スロットの選択、 | |
| 副スロットの機能) | 95 |
| フォーカス | 97 |
| | 97 |
| AF モードを変更する | 97 |
| AF エリアモードを変更する | 100 |
| フォーカスポイントを自分で選ぶ | 103 |
| ピントを固定して撮影する (フォーカスロック) | 105 |
| マニュアルフォーカスで撮影する | 108 |

| | 1 コマ撮影や連続撮影、静音撮影など、レリーズモードを変更する。 | 111 |
|-----|----------------------------------|-----|
| | 連続撮影速度について | 112 |
| | セルフタイマーを使って撮影する(心) | 114 |
| | ミラーアップして撮影する(MUP) | 116 |
| ISO | 感度 | 117 |
| | ISO 感度を変更する | 117 |
| | 感度自動制御機能を使う | 119 |
| 測光 | · 露出 | 123 |
| | 測光モードを設定する | 123 |
| | シャッタースピードや絞り値で露出を設定する(露出モード) | 125 |
| | P (プログラムオート) | 126 |
| | 5 (シャッター優先オート) | 127 |
| | A (絞り優先オート) | 128 |
| | M (マニュアル) | 129 |
| | 長時間露出で撮影する (露出モード 🞢 のみ) | 131 |
| | シャッタースピードと絞り値をロックする | 134 |
| | AE ロックして露出を固定する | 136 |
| | 露出補正して画像の明るさを調整する | 138 |
| | オートブラケティングで露出や調光、ホワイトバランス、 | |
| | アクティブ D- ライティングを変えながら撮影する | 140 |
| ホワ | イトバランス | 151 |
| | ホワイトバランスを変更する | 151 |
| | ホワイトバランスを微調整する | 154 |
| | 色温度設定で色温度を指定する | 157 |
| | プリセットマニュアルで基準となる白を設定する | 160 |
| | ファインダー撮影時にプリセットマニュアルデータを | |
| | 新規取得する | 161 |
| | ライブビュー撮影時にスポットホワイトバランスで | |
| | プリセットマニュアルデータを取得する | 165 |
| | プリヤットマニュアルデータを管理する | 168 |

| ピクチャーコントロールを使って画像の仕上がりを簡単に | |
|--------------------------------------|-----|
| 設定したり、思い通りに調整する | 173 |
| ピクチャーコントロールを選ぶ | 173 |
| ピクチャーコントロールを調整する | 175 |
| カスタムピクチャーコントロールを登録する | 179 |
| メモリーカードを使ってピクチャーコントロールを | |
| 対応ソフトウェアと共用する | 182 |
| 白とびや黒つぶれを抑えて撮影する | 184 |
| アクティブ D- ライティングで撮影する | 184 |
| HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う | 186 |
| フラッシュ撮影 | 191 |
| | 191 |
| 別売スピードライトをカメラに装着するには | 191 |
| ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) に | |
| ついて | 193 |
| スピードライトの調光方式について | 200 |
| フラッシュモードを設定する | 201 |
| フラッシュモードを切り換える | 202 |
| 調光補正してフラッシュの発光量を変更する | 204 |
| FV ロックして調光量を固定する | 206 |
| 撮影の便利な機能 | 209 |
| ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー | 209 |
| 多重露出撮影で1つの画像に重ねて写し込む | 212 |
| インターバルタイマー撮影で設定した間隔で撮影する | 217 |
| 微速度撮影する | 224 |
| 非 CPU レンズを使う(レンズ情報手動設定) | 229 |
| 位置情報を画像に記録する | 232 |
| 画像の再生 | 235 |
| | 235 |
| 1 コマ表示モード | 235 |
| サムネイル表示モード | 235 |
| 画像再生時のボタン操作 | 236 |

| 画像情報を表示する | 238 |
|-----------------------------------------|-------|
| 画像を拡大表示する | 247 |
| プロテクトで画像を削除できないように保護をする | 249 |
| 画像を削除する | 250 |
| 音声メモ | 255 |
| | 255 |
| 音声メモを再生する | 260 |
| パソコン、プリンター、テレビとの接続 | 263 |
| ViewNX 2 をインストールする | 263 |
| ViewNX 2 を使う | 266 |
| パソコンに画像を取り込む | 266 |
| 画像を見る | |
| 有線 LAN/ 無線 LAN を使ってパソコンに画像を転送する | 5 270 |
| 画像をプリンターで印刷する | 272 |
| カメラとプリンターを接続する | 272 |
| 1 コマだけプリントする | 273 |
| 複数の画像をプリントする | |
| プリントしたい画像を指定する (プリント指定) | 276 |
| 画像をテレビで見る | |
| HDMI ケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する | |
| HDMI 対応機器との接続時の設定を変更する | 280 |
| メニューガイド | 283 |
| ■ 再生メニュー: 再生で使える便利な機能 | 283 |
| 再生フォルダー設定 | 284 |
| 非表示設定 | 284 |
| 再生画面設定 | 285 |
| 画像コピー | 286 |
| 撮影直後の画像確認 | 289 |
| 削除後の次再生画像 | 290 |
| 縦位置自動回転 | 290 |
| スライドショー | 291 |
| ▲ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能 | 293 |
| 撮影メニューの管理 | 294 |
| 撮影メニューの拡張 | 295 |

| 記録フォルダー設定 | 296 |
|---------------------------|-----|
| ファイル名設定 | 298 |
| JPEG/TIFF 記録 | 298 |
| RAW 記録 | 298 |
| 色空間 | 299 |
| ヴィネットコントロール | 300 |
| 自動ゆがみ補正 | 301 |
| 長秒時ノイズ低減 | 302 |
| 高感度ノイズ低減 | 302 |
| ∮ カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定 | 303 |
| カスタムメニューの管理 | 305 |
| a:オートフォーカス | 307 |
| a1:AF-C モード時の優先 | 307 |
| a2:AF-S モード時の優先 | 308 |
| a3:AF ロックオン | 308 |
| a4:半押し AF レンズ駆動 | 308 |
| a5:フォーカスポイント表示 | 309 |
| a6:フォーカスポイント循環選択 | 310 |
| a7:AF 点数切り換え | 310 |
| a8:AF-ON ボタンの機能 | 311 |
| a9:縦位置 AF-ON ボタンの機能 | 312 |
| a10:縦 / 横位置フォーカス切換 | 313 |
| a11:AF エリアモードの限定 | 314 |
| a12:AF モードの制限 | 314 |
| b:露出・測光 | 314 |
| b1:ISO 感度設定ステップ幅 | 314 |
| b2:露出設定ステップ幅 | |
| b3:露出・調光補正ステップ幅 | 315 |
| b4:露出補正簡易設定 | 315 |
| b5:マルチパターン測光 | 316 |
| b6:中央部重点測光範囲 | 316 |
| b7:基準露出レベルの調節 | 317 |
| c:AE ロック・タイマー | 317 |
| c1:半押し AE ロック | 317 |
| c2:半押しタイマー | |
| c3:セルフタイマー | |
| c4:モニターのパワーオフ時間 | 319 |

| d : | 撮影・記録・表示 | 320 |
|-----|----------------------|-----|
| | d1:電子音設定 | 320 |
| | d2:連続撮影速度 | 321 |
| | d3:連続撮影コマ数 | |
| | d4:露出ディレーモード | 321 |
| | d5:連番モード | 322 |
| | d6:ファインダー内格子線表示 | 323 |
| | d7:表示情報の切り換え | 323 |
| | d8:インフォ画面のガイド表示 | 324 |
| | d9:インフォ画面の表示設定 | |
| | d10:イルミネーター点灯 | |
| e : | フラッシュ・BKT 撮影 | |
| | e1:フラッシュ撮影同調速度 | |
| | e2:フラッシュ時シャッタースピード制限 | |
| | e3:外付けフラッシュ発光 | |
| | e4:フラッシュ使用時の露出補正 | |
| | e5:モデリング発光 | |
| | e6:オートブラケティングのセット | |
| | e7:BKT 変化要素(M モード) | |
| | e8:BKTの順序 | |
| f: | 操作 | |
| | f1:中央ボタンの機能 | |
| | f2:マルチセレクターの半押し起動 | |
| | f3: Fn ボタンの機能 | |
| | f4: プレビューボタンの機能 | |
| | f5:サブセレクターの機能 | |
| | f6: サブセレクター中央押しの機能 | |
| | f7:縦位置 Fn ボタンの機能 | |
| | f8:シャッタースピードと絞り値のロック | 340 |
| | f9:BKT ボタンの機能 | |
| | f10:コマンドダイヤルの設定 | |
| | f11: ボタンのホールド設定 | |
| | f12:カードなし時レリーズ | |
| | f13: インジケーターの+/-方向 | 345 |
| | f14:縦位置マルチセレクターの機能 | 345 |
| | f15:画像の拡大/縮小方法 | 345 |
| | f16: 動画撮影ボタンの機能 | 346 |

| | f17:ライブビューボタンの設定 | 346 |
|-------------|---------------------------|-----|
| | f18:リモコン(WR)の Fn ボタンの機能 | 347 |
| | f19:レンズのフォーカス作動ボタン機能 | 348 |
| | g:動画 | 349 |
| | g1:Fn ボタンの機能 | |
| | g2:プレビューボタンの機能 | 351 |
| | g3:サブセレクター中央押しの機能 | 352 |
| | g4:シャッターボタンの機能 | 353 |
| イ セッ | トアップメニュー: カメラを使いやすくする基本設定 | 354 |
| • | カードの初期化 (フォーマット) | 355 |
| | モニターの明るさ | |
| | モニターのカラーカスタマイズ | |
| | イメージダストオフデータ取得 | 357 |
| | フリッカー低減 | |
| | 地域と日時 | |
| | 言語(Language) | |
| | 縦横位置情報の記録 | |
| | 電池チェック | |
| | 画像コメント | |
| | 著作権情報 | 364 |
| | IPTC | 365 |
| | カメラ設定の保存と読み込み | 368 |
| | 水準器表示 | |
| | AF 微調節 | |
| | ファームウェアバージョン | 372 |
| ♂画 | 象編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能 | |
| | D- ライティング | |
| | 赤目補正 | |
| | トリミング | |
| | モノトーン | |
| | フィルター効果 | |
| | カラーカスタマイズ | |
| | 画像合成 | |
| | RAW 現像(パソコンを使わずに RAW 画像を | |
| | JPEG 画像に変換する) | 384 |
| | リサイズ | |
| | 傾き補正 | 389 |

| | ゆがみ補正 | 390 |
|----|-----------------------------|-----------------|
| | アオリ効果 | 391 |
| | 編集前後の画像表示 | 392 |
| | ②マイメニュー/3 最近設定した項目 | 394 |
| | ── マイメニュー:よく使うメニューを登録する | 394 |
| | ■ 最近設定した項目:最近設定したメニューをたどる | 399 |
| 資料 | 4 | 1 01 |
| | 使用できるレンズ | 401 |
| | 使用できるアクセサリー | 407 |
| | カメラとパワーコネクター、AC アダプターの接続方法 | 413 |
| | カメラのお手入れについて | 415 |
| | 保管について | 415 |
| | クリーニングについて | 415 |
| | ローパスフィルターを自動で掃除する | |
| | (イメージセンサークリーニング) | 416 |
| | ローパスフィルターをブロアーで掃除する | 419 |
| | 時計用電池の交換について | 422 |
| | カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意 | 424 |
| | 初期設定一覧 | |
| | 露出モード 🗗 (プログラムオート) のプログラム線図 | 437 |
| | 故障かな?と思ったら | 438 |
| | 警告メッセージ | |
| | 主な仕様 | 452 |
| | バッテリーチャージャーMH-26aの | |
| | キャリブレーションについて | 462 |
| | 使用できる XQD カードと CF カード | 464 |
| | 記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数 | 465 |
| | 撮影可能コマ数(電池寿命)について | 468 |
| | 索引 | |
| | ニコンプラザ、サービスセンターのご案内 | 480 |
| | アフターサービスについて | 481 |

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危 害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みに なった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。 表示と意味は、次のようになっています。



合降

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また は重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される 内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合はプラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告 (カメラとレンズについて)

分解禁止 分解したり修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

接触禁止 落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。

すぐに修理依頼を バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにバッテリー 「パッテリーを取るを取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

すぐに修理依頼を バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。 バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止 水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない 感電や発火などの事故や故障の原因になります。

引火・爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発 生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと 失明や視力障害の原因となります。

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと 第故の原因となります。

フラッシュを人の目に近づけて発光しない 視力障害の原因になります。

発光禁止 撮影時には、1m以上離れてください。 特に乳幼児の撮影には注意してください。

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない 安管注章 幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。

特に幼児・児童の首にストラップをかけない 首に巻き付くと窒息の原因になります。

ストラップが首に巻き付かないようにする

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと 使用禁止 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

指定の電源(電池、ACアダブター)を使う 指定以外のものを使用すると、事故や故障の原因になります。

| | ⚠ 注意 (カメラとレンズについて) |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 感電注意 | ぬれた手でさわらない 感電の原因になることがあります。 |
| 使用注意 | カメラの電源がONの状態で、長時間直接触れないこと 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあ ります。 |
| 保管注意 | 製品は幼児の手の届くところに置かない ケガの原因になることがあります。 |
| 使用注意 | 逆光撮影では、太陽を画角から充分にすらすこと 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。 画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。 使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない |
| 保管注意 | 所に保管すること 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。 |
| 移動注意 | 三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。 |
| 使用注意 | 航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする 飛行中は無線通信機能を使わない 病院では、病院の指示に従う 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるお |
| | それがあります。 無線通信機器は、あらかじめカメラから取り外してください。 |
| パッテリーを取る プラグを抜く | 無線通信機器は、あらかじめカメラから取り外してください。 長期間使用しないときは電源(バッテリーやACアダプター)を外すこと バッテリーの添きれにより、火災、ケボや周囲を活場する原因となるこ |
| | 無線通信機器は、あらかじめカメラから取り外してください。 長期間使用しないときは電源(バッテリーやACアダプター)を外すこと バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあ |
| プラグを抜く | 無線通信機器は、あらかじめカメラから取り外してください。 長期間使用しないときは電源(バッテリーやACアダプター)を外すこと バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源ブラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと |

た 危険 (専用リチウムイオン充電池について)

♦ 禁止

バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

バッテリーを分解しない

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない

液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

/ 危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管 したりしない

危険

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、端子力バーをつけて絶縁してください。

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18aに対応していない機器に は使用しないこと

0

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18aは、D4Sに対応しています。

危険

バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、 医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

\triangle

警告(専用リチウムイオン充電池について)



保管注音

使用禁止

バッテリーは、幼児の手の届くところに置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。



変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しない こと

液もれ、発熱・破裂の原因となります。



充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電 をやめること

液もれ、発熱・破裂の原因となります。

⚠ 警告 (専用リチウムイオン充電池について)

バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビニール テープなどで接点部を絶縁すること



他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関やリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治 体の規則に従って廃棄してください。



バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな 水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。



、注意 (専用リチウムイオン充電池について)



充電中のバッテリーに長時間直接触れないこと

充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあ ります。



、警告(チャージャーについて)



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れな いこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼 してください。



コニ プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグを コンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

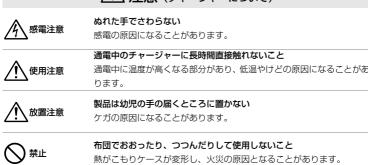
すぐに修理依頼を 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない

感電や発火などの事故や故障の原因になります。

| | ⚠ 警告 (チャージャーについて) |
|---------------|--------------------------------------------------|
| | 引火・爆発のおそれのある場所では使わない |
| 使用禁止 | プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発 |
| | 生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。 |
| ۸ | 電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた |
| /!\ 警告 | 布で拭き取ること |
| | そのまま使用すると火災の原因になります。 |
| \circ | 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと |
| 使用禁止 | 感電の原因となります。 |
| | 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。 |
| | 電源コードを傷つけたり加工したりしないこと |
| ○ 禁止 | また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったり、無理に曲げた |
| O **I | りしないこと |
| | 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。 |
| ^ | ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと |
| / 感電注意 | 感電の原因になることがあります。 |
| | |
| O | チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)や |
| 公 禁止 | DC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと 発熱、故障、火災の原因となります。 |
| | 光熱、 |
| | A |
| | ⚠ 注意 (チャージャーについて) |
| ۵ | ぬれた手でさわらない |
| 图 感電注意 | 感電の原因になることがあります。 |
| | |
| A | 通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと |
| ! 使用注意 | 通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあ |



↑ 危険 (時計用リチウム電池について)



電池からもれた液が目に入った時はすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告(時計用リチウム電池について)

(禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

(1)

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

全

水かけ禁止

CR1616型リチウム電池以外を使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

(保管

電池は幼児の手の届くところに置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

全

電池の「+」と「-」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

於警告

電池を廃棄する時は、ビニールテーブなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まい

の自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、直ちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

●大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はで容赦願います。

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど)に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

• Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL18aには、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。



- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

http://www.nikon-image.com/support/manual/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、 権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人とし て楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意くださ い。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する 以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。なお、プリセットマニュアルの画像(口160)も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分で注意ください。

本製品を譲渡/廃棄する際は、使用者によって本製品内に登録または設定された、無線 LAN接続設定などの個人情報を含む内容を、カメラのセットアップメニュー[ネットワーク] の [接続設定] で削除してください。接続設定の削除については、付属のネットワークガイドをご覧ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

●AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます)
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.com をご参照ください。

▼ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。(四xviii)

▼ カメラなどの点検サービスについて

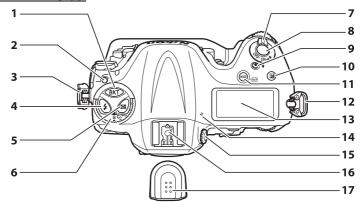
カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします(有料)。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズや別売スピードライトなども 併せて点検依頼されることをおすすめします。

お使いになる前に

各部の名称と機能

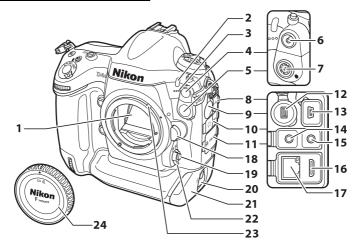
カメラ本体



| 1 | BKT ボタン |
|---|-----------------|
| | ブラケティング |
| | 141、145、148、340 |
| 2 | レリーズモードダイヤル |
| | ロックボタン111 |
| 3 | ストラップ取り付け部 |
| | (吊り金具)21 |
| 4 | \$ ボタン |
| | フラッシュモード202 |
| | 調光補正204 |
| 5 | ⊙ ボタン |
| | 測光モード124 |
| 6 | レリーズモードダイヤル111 |
| 7 | 電源スイッチ3、39 |
| Я | シャッターボタン 42 43 |

| 9 | 動画撮影ボタン62、346 |
|----|--------------------|
| 10 | ☑ボタン |
| | 露出補正138 |
| 11 | MODE (トラトルトff) ボタン |
| | 露出モード125 |
| | フォーマット35 |
| 12 | ストラップ取り付け部 |
| | (吊り金具)21 |
| 13 | 上面表示パネル6 |
| 14 | → 距離基準マーク109 |
| 15 | 視度調節ノブ37 |
| 16 | フラッシュ取り付け部 |
| | (アクセサリーシュー)15、191 |
| 17 | アクセサリーシューカバー |
| | 15、191、426 |

カメラ本体(つづき)



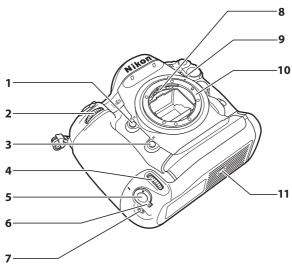
| 1 | ミラー116、419 |
|----|-------------------|
| 2 | セルフタイマーランプ114 |
| 3 | マイク (動画用)62、65、74 |
| 4 | シンクロターミナルカバー192 |
| 5 | 10ピンターミナルカバー |
| | 232、410 |
| 6 | シンクロターミナル192 |
| 7 | 10ピンターミナル 232、410 |
| 8 | USB端子カバー266、272 |
| 9 | 拡張端子カバー408 |
| 10 | ヘッドホン/マイク端子カバー |
| | 65 |
| 11 | HDMI/有線LAN端子カバー |
| | 270、278 |
| 12 | 拡張端子408 |

| 13 | LICD#27 366 | 272 |
|----|--------------------|-------|
| | USB端子 266、 | 2/2 |
| 14 | ヘッドホン出力端子65、 | 261 |
| 15 | 外部マイク入力端子65、 | 255 |
| 16 | HDMI端子 | . 278 |
| 17 | 有線LAN接続端子 | . 270 |
| 18 | レンズ取り外しボタン | 28 |
| 19 | AFモードボタン | |
| | 50、52、98、 | 101 |
| 20 | バッテリー室着脱ノブ | 24 |
| 21 | バッテリー室カバー | 24 |
| 22 | フォーカスモードセレクター | |
| | | |
| | 50、97、 | 108 |
| 23 | 50、97、 露出計連動レバー | |

☑ 端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となることがあります。

7.5

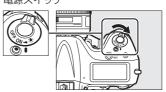


| | • | | |
|---|--------------------|----|----------------------|
| 1 | Pvボタン | 5 | 縦位置シャッターボタン |
| | プレビューボタン | 6 | 縦位置シャッターボタン |
| | 49、63、128、337、351 | | ロックレバー41 |
| 2 | サブコマンドダイヤル341 | 7 | 縦位置 Fn ボタン339 |
| 3 | Fnボタン | 8 | レンズ信号接点 |
| | ファンクションボタン | 9 | レンズ着脱指標27 |
| | 87、207、231、332、349 | 10 | レンズマウント28、109 |
| 4 | 縦位置サブコマンドダイヤル | | 三脚ネジ穴 |
| | 341 | | 1 |

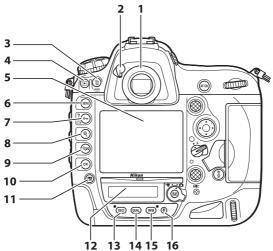
電源スイッチを楽マークの方向に回すと、 上面表示パネルと背面表示パネルのイルミ ネーター (照明) とボタン照明 (□325) が点灯し、電源スイッチを放すと、6秒間 点灯し続けます。ただし、シャッターをき るか、もう一度※マークの方向に回すと消 灯します。

• ボタン照明が点灯すると、暗い場所で操 作しやすくなります。



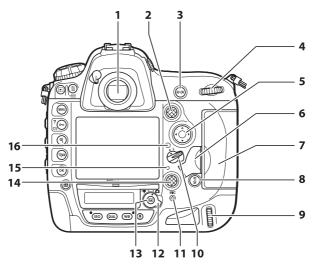


カメラ本体 (つづき)



| 1 | アイピース38、 | 115 |
|---|-----------------------|------|
| 2 | アイピースシャッターレバー | |
| | 38、 | 115 |
| 3 | 歯 (rōmang)ボタン | |
| | 削除46、 | 250 |
| | フォーマット | 35 |
| 4 | ■ ボタン | |
| | 再生45、 | 235 |
| 5 | 液晶モニター | |
| | 45、 47、 61、 235、 355、 | 356 |
| 6 | MENUボタン | |
| | メニュー 17、 | 283 |
| 7 | О-п (匹)?) ボタン | |
| | プロテクト | .249 |
| | ピクチャーコントロール | .174 |
| | ヘルプ | 20 |
| 8 | ♥ ボタン | |
| | 拡大 | .247 |

| 9 | ९⊠ ボタン |
|----|----------------------|
| | サムネイル235 |
| | 縮小57、247 |
| 10 | ∞ OKボタン18、236 |
| 11 | infoボタン |
| | インフォ11、14 |
| 12 | 背面表示パネル8、323 |
| 13 | ISO ボタン |
| | ISO感度117 |
| | 感度自動制御121 |
| | ツーボタンリセット209 |
| 14 | QUALボタン |
| | 画質モード90 |
| | 画像サイズ 93 |
| 15 | WBボタン |
| | ホワイトバランス |
| | 152、156、159 |
| | ツーボタンリセット209 |
| 16 | ⊎ ボタン |
| | 辛吉 256 258 |



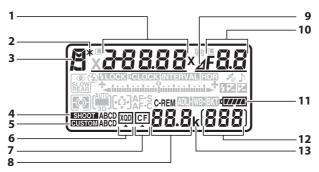
| 1 | ファインダー接眼窓37 |
|---|-------------------------|
| 2 | サブセレクター |
| | 104、105、136、337、338、352 |
| 3 | AF-ONボタン |
| | AF作動99、106、311 |
| 4 | メインコマンドダイヤル341 |
| 5 | マルチセレクター…18、44、237 |
| 6 | 開閉ロックボタンカバー32 |
| | 開閉ロックボタン(カバー下) |
| | 32 |
| 7 | メモリーカードカバー32 |
| 8 | |
| | 縦位置AF作動312 |
| | |

| 9 | 縦位置メインコマンド |
|----|------------------|
| | ダイヤル341 |
| | スピーカー78、261 |
| 10 | フォーカスポイントロック |
| | レバー103 |
| 11 | マイク (音声メモ用)255 |
| 12 | ライブビューセレクター |
| | 47、61 |
| 13 | ロ ボタン |
| | ライブビュー 47、61、346 |
| 14 | 縦位置マルチセレクター 345 |
| 15 | メモリーカードアクセス |
| | ランプ33、43 |
| 16 | 照度センサー(液晶モニター自動 |
| | 明るさ調整機能)55、355 |

▼ スピーカーについてのご注意

スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れることがあります。スピーカーに磁気製品を近づけないでください。

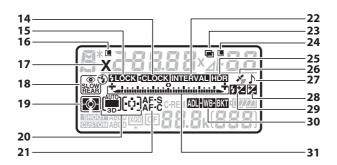
上面表示パネル (説明のため、全ての表示を点灯させています)



7.5

| 1 | シャッタースピード127、 | 129 |
|---|----------------|------|
| | AFエリアモード100、 | 101 |
| | 露出補正値 | .138 |
| | 調光補正量 | |
| | オートブラケティング撮影 | |
| | コマ数 | .141 |
| | WBブラケティング撮影コマ数 | .145 |
| | HDR露出差 | .189 |
| | 多重露出撮影コマ数 | |
| | インターバル回数 | .220 |
| | 非CPUレンズ焦点距離 | .231 |
| | ISO感度 | .117 |
| 2 | プログラムシフトマーク | .126 |
| 3 | 露出モード | .125 |
| 4 | 撮影メニュー設定表示 | .294 |
| 5 | カスタムメニュー設定表示 | .306 |
| 6 | XQDカードマーク34 | 35 |
| 7 | CFカードマーク34 | 35 |
| 8 | 記録可能コマ数40、 | 465 |
| | 連続撮影可能コマ数 112、 | 465 |
| | PCカメラモード表示 | .410 |
| | | |

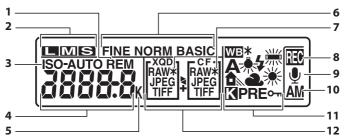
| 絞り込み段数マーク | |
|--------------------|------|
| 128、 | 404 |
| 絞り値128、 | 129 |
| 絞り込み段数128、 | |
| オートブラケティング | |
| 補正ステップ | 142 |
| WBブラケティング補正 | |
| ステップ | 146 |
| ADLブラケティング | |
| 撮影コマ数 | 148 |
| インターバルタイマー撮影 | |
| コマ数 | 220 |
| 非CPUレンズ開放絞り値 | |
| PC接続中マーク | 410 |
| バッテリー残量表示 | 39 |
| 撮影コマ数35、 | . 44 |
| ホワイトバランス | |
| プリセットマニュアルデータ | |
| 取得モード表示 | 162 |
| アクティブD-ライティング | |
| | |
| 度合い表示 | 149 |
| 度合い表示 手動設定レンズNo | |
| | 23 |
| | だり値 |



| 27 | 電子音マーク320 |
|----|----------------|
| 28 | 露出補正マーク138 |
| 29 | 調光補正マーク204 |
| 30 | ブラケティングマーク |
| | オートブラケティング 141 |
| | WBブラケティング145 |
| | ADLブラケティング148 |
| | アクティブD-ライティング |
| | マーク185、336 |
| 31 | インジケーター |
| | 露出130 |

| 14 | 時計用バッテリーチェック | |
|----|--------------|------|
| | マーク31、 | 422 |
| 15 | FVロックマーク | .207 |
| 16 | シャッタースピードロック | |
| | マーク | .134 |
| 17 | フラッシュシンクロマーク | .326 |
| 18 | フラッシュモード | .201 |
| 19 | 測光モードマーク | .123 |
| 20 | AFエリアモードマーク | |
| | 100、 | 102 |
| 21 | AFモードマーク | 97 |
| 22 | インターバルタイマー設定 | |
| | マーク | .220 |
| | 微速度撮影設定マーク | .227 |
| 23 | 多重露出マーク | .213 |
| 24 | 絞り値ロックマーク | .135 |
| | HDR(連続)マーク | .189 |
| | 多重露出(連続)マーク | .215 |
| 25 | HDRマーク | .187 |
| 26 | 衛星受信状態マーク | .232 |
| | | |

背面表示パネル (説明のため、全ての表示を点灯させています)

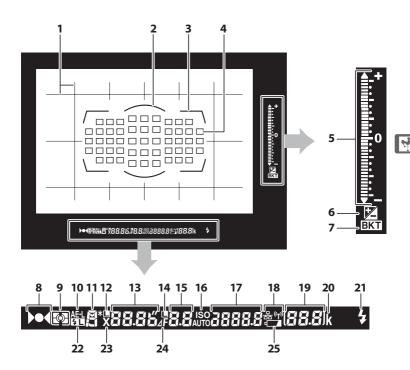


**

| | 1 | 記録可能コマ数マーク323 |
|---|---|---------------------|
| | 2 | 画像サイズ (JPEG/TIFF)92 |
| | 3 | ISO感度マーク117 |
| | | 感度自動制御設定マーク119 |
| | 4 | ISO感度117 |
| | | 減感/増感設定表示118 |
| | | 記録可能コマ数323 |
| | | 音声メモ録音/再生残り時間 258 |
| | | ホワイトバランス微調整値156 |
| | | ホワイトバランスプリセット |
| | | マニュアルデータ番号161 |
| | | ホワイトバランス色温度 151、157 |
| | | PC接続中マーク410 |
| ĺ | 5 | 1000コマ以上補助表示40 |
| | | ホワイトバランス |
| | | 色温度表示159 |
| | | |

| 6 | 画質モード89 |
|----|------------------------------|
| 7 | RAW画像の [サイズ S] 設定マー |
| | ク94 |
| 8 | 撮影モード音声メモ録音 |
| | 設定表示256 |
| 9 | 音声メモ録音状態表示 |
| | 258、259 |
| 10 | 音声メモ録音モード表示 256 |
| 11 | ホワイトバランスモード151 |
| | ホワイトバランス微調整設定 |
| | マーク156 |
| | プリセットマニュアルデータ |
| | プロテクトマーク171 |
| 12 | 副スロットの機能95 |
| | 画質モード89 |

ファインダー (説明のため、全ての表示を点灯させています)



▼ ファインダーについてのご注意

カメラにバッテリーが入っていない、またはバッテリー残量がない状態では、ファインダー内が暗くなります。充電したバッテリーを入れると明るくなります。

▼ 高温、低温下での液晶表示について

表示パネルやファインダーの液晶表示は、高温・低温下で色の濃さが変わったり、低温下で応答速度が多少遅くなることがありますが、常温時には正常に戻ります。

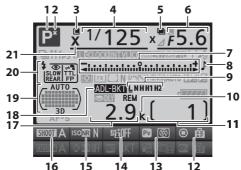
| 7.3 | Ì |
|-----|---|
| -1. | |

| 1 | #四四47/位 222 | 12 | |
|----|----------------------------------|----|-----------------------------------------|
| T | 構図用格子線323 | 13 | 7 1 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
| | (カスタムメニュー d6 [ファイン | | AFモード97 |
| | ダー内格子線表示 〕を [する]に | 14 | 絞り値ロックマーク135 |
| | 設定している場合のみ表示されま | 15 | 絞り値128、129 |
| | す。) | | 絞り込み段数128、404 |
| 2 | 中央部重点測光参照エリア | 16 | ISO感度マーク117 |
| | φ12mm123 | | 感度自動制御設定マーク 120 |
| 3 | AFエリアフレーム37 | 17 | ISO感度117 |
| 4 | フォーカスポイント表示 | | アクティブD-ライティング |
| | 42、103、309、310 | | 度合い表示 149、336 |
| | スポット測光エリア123 | | AFエリアモード 101、102 |
| | AFエリアモード表示101 | 18 | ネットワーク表示270 |
| | ローリング方向の水準器※1335 | 19 | 撮影コマ数323 |
| 5 | インジケーター | | 記録可能コマ数40、323、465 |
| | 露出130 | | 連続撮影可能コマ数 |
| | 露出補正138 | | 42、112、465 |
| | オートブラケティング141 | | ホワイトバランスプリセット |
| | ピッチング方向の水準器※2335 | | マニュアルデータ取得モード |
| 6 | 露出補正マーク138 | | 表示162 |
| | 調光補正マーク204 | | 露出補正値138 |
| 7 | ブラケティングマーク | | 調光補正量204 |
| | オートブラケティング141 | | PC接続中マーク410 |
| | WBブラケティング145 | 20 | 1000コマ以上補助表示40 |
| | ADLブラケティング148 | 21 | レディーライト※3 |
| 8 | ピント表示42、109 | | 197、207、456 |
| 9 | 測光モード123 | 22 | |
| 10 | AEロックマーク136 | 23 | フラッシュシンクロマーク 326 |
| 11 | 露出モード125 | 24 | 絞り込み段数マーク128、404 |
| 12 | シャッタースピードロック | 25 | バッテリー残量表示39 |
| | マーク134 | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| | | | |

- ※1 カメラを縦位置に構えて撮影するときは、ピッチング方向の水準器になります。
- ※2 カメラを縦位置に構えて撮影するときは、ローリング方向の水準器になります。
- ※3 別売のスピードライト (□193) 使用時のみ点灯します。スピードライトの充電が完了してフラッシュ撮影できることを示します。

IIIボタンを押すと、液晶モニターに「インフォ 画面」が表示されます。シャッタースピードや 絞り値、撮影コマ数、記録可能コマ数、AFエリアモードなど、撮影に関する情報や設定の確認ができます。





- シャッターボタンを半押しする
- インフォ画面の表示中に、
 「・ボタンを2回押す

操作を行わないまま約10秒経過したときも、インフォ画面は消灯します。

∅ 関連ページ

- 液晶モニターの点灯時間を変更する → **/** c4[モニターのパワーオフ時間](□319)

7

| 1 | 露出モード | .125 |
|---|----------------|-----------|
| 2 | プログラムシフトマーク | .126 |
| 3 | シャッタースピードロック | |
| | マーク | .134 |
| 4 | シャッタースピード 127、 | |
| | 露出補正値 | .138 |
| | 調光補正量 | .204 |
| | オートブラケティング撮影コ | マ数 |
| | | |
| | WBブラケティング撮影コマ数 | |
| | | .145 |
| | 多重露出撮影コマ数 | .215 |
| | 非CPUレンズ焦点距離 | .231 |
| 5 | 多重露出マーク | .213 |
| 6 | 絞り値128、 | 129 |
| | 絞り込み段数128、 | 404 |
| | オートブラケティング | |
| | 補正ステップ | .142 |
| | WBブラケティング | |
| | 補正ステップ | .146 |
| | ADLブラケティング | |
| | 撮影コマ数 | |
| _ | 非CPUレンズ開放絞り値 | .231 |
| 7 | インジケーター | |
| | 露出 | |
| | 露出補正 | |
| | オートブラケティング | |
| | WBブラケティング | |
| 0 | ADLブラケティング | |
| 8 | 電子音マーク | .320 |
| 9 | オートブラケティング撮影 | 4.40 |
| | コマ数表示 | |
| | WBブラケティング撮影コマ数 | |
| | | .147 — |
| | ADLブラケティング度合い表 | 示 140 |

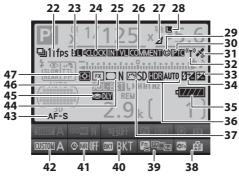
1000コマ以上補助表示......40

| 11 | 撮影コマ数35、 | 44 |
|----|-----------------|-----|
| | 手動設定レンズNo | 231 |
| 12 | サブセレクター中央押しの | |
| | 機能表示 | 352 |
| 13 | プレビューボタンの機能表示 | |
| | | 337 |
| 14 | アクティブD-ライティング | |
| | マーク | 185 |
| 15 | 高感度ノイズ低減マーク | |
| 16 | 撮影メニュー設定表示 | 294 |
| 17 | 記録可能コマ数40、 | 465 |
| 18 | オートブラケティングマーク | |
| | | 140 |
| | WBブラケティングマーク | |
| | | 145 |
| | ADLブラケティングマーク | |
| | | 148 |
| 19 | フォーカスポイント表示 | 103 |
| | AFエリアモード表示 100、 | 102 |
| 20 | フラッシュモード | 201 |
| 21 | フラッショシンクロマーク | 326 |

7.

インフォ画面 (つづき)

(説明のため、全ての表示を点灯させています)



| レリーズモード111 |
|--------------------------------------|
| 連続撮影速度112 |
| FVロックマーク207 |
| 時計用バッテリーチェック |
| マーク 31、422 |
| インターバルタイマー設定 |
| マーク220 |
| 微速度撮影設定マーク227 |
| 画像コメント入力設定マーク |
| 363 |
| |
| 絞り込み段数マーク |
| |
| 絞り込み段数マーク |
| 絞り込み段数マーク 128、404 |
| 絞り込み段数マーク 128、404 絞り値ロックマーク135 |
| 絞り込み段数マーク |
| 絞り込み段数マーク |
| 絞り込み段数マーク |
| 絞り込み段数マーク |
| 絞り込み段数マーク |
| |

| 35 | バッテリー残量表示3 | 9 |
|----|--------------------------|----|
| 36 | HDRマーク18 | 7 |
| | HDR露出差18 | 8 |
| 37 | ピクチャーコントロール | |
| | マーク17 | 4 |
| 38 | 縦位置 Fn ボタンの機能表示33 | 9 |
| 39 | Fnボタンの機能表示33 | 2 |
| 40 | BKT ボタンの機能表示34 | 0 |
| 41 | 長秒時ノイズ低減マーク 30 | 12 |
| 42 | カスタムメニュー設定表示 30 | 16 |
| 43 | AFモードマーク9 | 7 |
| 44 | ヴィネットコントロールマーク | |
| | 30 | 0 |
| 45 | 露出ディレーモード32 | 1 |
| 46 | 撮像範囲表示8 | 3 |
| 47 | 測光モード12 | :3 |

■ 撮影時の設定を変更する

インフォ画面を表示中にもう一度 III ボタンを押すと、表示されている撮影時の設定を変更できるようになります。

 マルチセレクターで項目を選んで ® ボタンを 押すと、設定したいメニュー項目へ直接ジャンプします。





インフォ画面からジャンプできるメニュー項目は次の通りです。

| 1 | 撮影メニューの管理 | 294 |
|---|---------------|-----|
| 2 | 高感度ノイズ低減 | 302 |
| 3 | アクティブD-ライティング | 185 |
| 4 | プレビューボタンの機能 | 337 |
| 5 | サブセレクター中央押しの | |
| | 機能 | 338 |

| 6 | 縦位置Fnボタンの機能 | 339 |
|----|-------------------|-----|
| 7 | Fnボタンの機能 | 332 |
| 8 | BKT ボタンの機能 | 340 |
| 9 | 長秒時ノイズ低減 | 302 |
| 10 | カスタムメニューの管理 | 305 |

// インフォ画面のガイド表示

選択中のメニュー項目名を表示します。カスタムメニューd8 [インフォ画面のガイド表示] (口324) では、ガイドを表示させないようにできます。



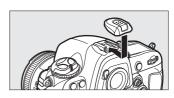


<u>アクセサリーシューカバー BS-2の取り付け、</u> 取り外し方

このカメラには、フラッシュ取り付け部の写り込みを防止したり、接点を保護するために、アクセサリーシューカバーBS-2が付属しています。取り付けるには、カバーを右図の向きでカメラのアクセサリーシューに差し込みます。

アクセサリーシューカバーを取り外 すには、親指でカバー全体を押さえな がら、右図の矢印の方向にスライドさ せます。

アクセサリーシューカバーを取り 外すときは、カメラをしっかりと支 えてください。







基本操作

メニューの操作方法

撮影や再生、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニューを使います。

MENUボタンを押すと、液晶モニターに次のようなメニュー画面(例:セットアップメニュー)を表示します。

MENUボタン



メニュー切り換えタブ —

次の各メニューのアイコンのタブを選ぶと、選んだメニュー画面が表示されます

■ 再生メニュー (□283)
 ☆ セットアップメニュー (□354)
 ● 撮影メニュー (□293)
 ● 画像編集メニュー (□373)
 ● カスタムメニュー (□303)
 □ セットアップメニュー (□373)
 ● 電線編集メニュー (□373)
 ● 電場編集メニュー (□373)
 ● 電影が設定した項目 (□394) **

※どちらかに設定できます。初期設定は**[マイメニュー**]です。



項目がそのメニュー全体のどの位置に あるかを示しています

各項目の設定をアイコンで表示します

メニュー項目 -

タブで選んだメニュー内にある設定項 目を一覧表示します

ヘルプがある場合に表示します(□20) このアイコンを表示しているときに**○**ー (□3/**?**) ボタンを押すと、その項目 のヘルプ (説明) を表示します メニューの操作には、マルチセレクターと図ボタンを使います。

- マルチセレクター トに移動 中央ボタン 決定する 前の画面に戻る(左 次の画面に進む を選択または取り (右を選択 または決定) 消し,) ⊗ボタン 下に移動 決定する

~

■ メニュー項目の設定方法

1 メニュー画面を表示する

• MENUボタンを押します。

MENUボタン



600 (000)

2 メニューのタブを選ぶ

◆を押して、タブのアイコンを 黄色く表示します。





3 メニューを切り換える

▲または▼を押して、メニューのタブを切り換えます。





4 選んだメニューに入る

▶を押して、選んだメニューに 入ります。





5 メニュー項目を選ぶ

▲または▼で項目を選びます。





6 設定内容を表示する

▶を押して設定内容を表示します。





7 設定内容を選ぶ

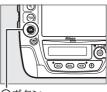
▲または▼で設定内容を選びます。





8 決定する

- ●ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル(中止)するには、MENUボタンを押してください。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し(口43)してください。



⊗ボタン

メニュー画面の左下にヘルプマーク⑦が表示されているときは、 〇m (四。/?) ボタン (へル プ) を押している間、その項目の説明 (ヘルプ) を見ることができます。

説明が2ページ以上ある場合は、
 ○雨(ごふ/?) ボタンを押しながらマルチセレクターの▼を押して、次のページを表示してください。



② 多重常出 「コマ数」で設定した回数、撮影した 画像を合成して1 枚の画像として 記録できます。 半押しタイマーの作動時間は自動的 に30 秒延長か中で半押レタイマーがオフに なると多重型出出解除されそれま でに撮影した画像で合成して記録

O¬¬ (□₃/?) ボタンを放すと、メニュー画面に戻ります。

О¬¬ (**△>**/**?**) ボタン

▼ メニュー項目の設定について

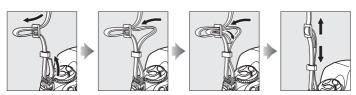
- カメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- ボタンの代わりにマルチセレクターの ▶ や中央ボタンを押しても決定できますが、画像の削除やメモリーカードの初期化などの重要な設定項目については、●ボタンしか使えないことがあります。

-0

撮影前の準備

ストラップを取り付ける

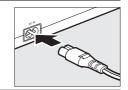
ストラップの取り付け手順は次の通りです。



バッテリーを充電する

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18aは、お使いになる前に付属のバッテリーチャージャー MH-26aでフル充電してください。使い切ったバッテリー 1個を充電するには約2時間35分かかります。

1 チャージャーと電源コードを接続する



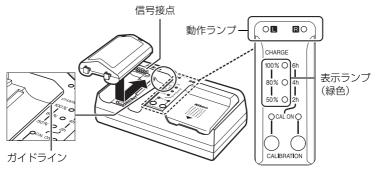
- **2** 電源プラグをコンセントに差し込む
- 3 バッテリーの端子カバーを取り外す



- 4 チャージャーの接点保護カバーを外す
 - チャージャーの接点保護力バーを図の方向に スライドさせて外します。



5 バッテリーを充電する



- バッテリーの先端(端子部)をチャージャーのガイドラインに合わせ て置き、矢印の方向にカチッと音がして止まるまでスライドさせて装 着します。
- バッテリーを装着した側(LまたはR)の動作ランプが点滅し、充電が始まります。
- 充電した容量に応じて表示ランプが点灯し、3つの表示ランプが全て 消灯して動作ランプが点灯したら、充電は完了です。使い切ったバッ テリー1個を充電するには、約2時間35分かかります。
- 充電の状態は動作ランプと表示ランプで確認できます。

| | | バッテリーの容量に対する充電状況 | | | |
|----------|------|------------------|-----------------|------------------|------|
| | | 50%未満 | 50%以上、 80%未満 | 80%以上、 100%未満 | 100% |
| 動作ランプL/R | | ᠅ 点滅 | ☆ 点滅 | ☆ 点滅 | ○ 点灯 |
| 表示ランプ | 100% | ○ 消灯 | ○ 消灯 | ᠅ 点滅 | ○消灯 |
| | 80% | ○ 消灯 | ☆ 点滅 | ○ 点灯 | ○消灯 |
| | 50% | ᠅ 点滅 | ○ 点灯 | ○ 点灯 | ○消灯 |

6 充電が完了したら、セットしたときと逆の手順でバッテリーをチャージャーから取り外し、電源プラグをコンセントから抜く

-0

▼ 付属の電源コードについてのご注意

付属の電源コードは、バッテリーチャージャー MH-26a以外の機器に接続しないでください。この電源コードは、日本国内専用(AC 100V対応)です。海外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。また、ニコンオンラインショップ(http://shop.nikon-image.com/)でもお求めいただけます。

/ キャリブレーション機能について

バッテリー容量を正確に表示できるかどうか検査し、調整するキャリブレーション機能についての詳しい内容は、「バッテリーチャージャー MH-26aの キャリブレーションについて | をご覧ください(四462)。

☑ 関連ページ

「2本のバッテリーを装着した場合」(四463)

1 カメラの電源をOFFにする



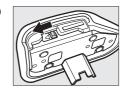
2 バッテリー室カバー BL-6を取り外す

バッテリー着脱ノブを引き起こして《方向に回し(①)、バッテリー室カバーを取り外します(②)。



3 バッテリー室カバーをバッテリーに取り付ける

- バッテリーを取り付ける前に、バッテリー室 カバー取り外しノブの矢印(◀)が見える位 置にある場合は、矢印(◀)の方向に端まで スライドさせてから取り付けてください。
- 右図のようにバッテリー端の2つの突起をバッテリー室カバーに差し込みます。矢印(◀)が完全に見える位置までバッテリー室カバー取り外しノブが戻ると、取り付け完了です。





☑ バッテリーを出し入れするときは

バッテリーをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

✓ バッテリー室カバーをバッテリーから取り外すときは

バッテリー室カバー取り外しノブを、表示されている矢印(◀)の示す方向に端までスライドさせて、バッテリー室カバーからバッテリー本体を引き出します。

90

4 カメラにバッテリーを入れる

バッテリーは右図で示されている向きで奥までしっかりと入れてください。



5 バッテリー着脱ノブをロック する

 バッテリー着脱ノブを右図のよう に回してから(①)、凹みに倒し て収納します(②)。





カメラの操作中にバッテリーが外 れないように、バッテリー着脱ノブがしっかりとロックされていることをご確認ください。

- BL-6以外のバッテリー室カバーは、このカメラには使えません。
- バッテリーはバッテリー室カバーを取り付けた状態でも充電できます。
- バッテリーの充電中などに、取り外したバッテリー室カバーをカメラ本体に取り付けると、ほこりの侵入を防げます。

∅ バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにし、バッテリー着脱ノブを引き起こしてから《方向に回してバッテリーを引き出します。



▼ バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(ロxi~xvii)、「カメラとバッテリーの 取り扱い上のご注意」(ロ424~428)をお読みになり、記載事項をお守りください。
- バッテリーは 0 ℃~ 40 ℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。 バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。周囲の温度が5℃~35℃ の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃~15℃、45℃~60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場合、セットアップメニューの[電池チェック](□362)で劣化度が「1」と表示されることがありますが、約20℃以上で再充電すると劣化度の表示は「0」に戻ります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量 は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッ テリー残量として表示します。そのため、充分に充電したバッテリーでも、充電し たときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることが あります。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端 に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテ リーをお求めください。
- カメラの使用後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出しの際は ご注意ください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- バッテリーをカメラやチャージャーから取り外しておくときは、ショートを防止するため、付属の端子カバーを取り付けてください。
- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャー MH-26aに対応していないバッテリーは、バッテリーチャージャー MH-26aで充電しないでください。

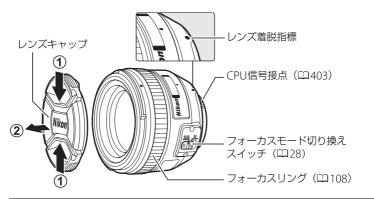
☑ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18aについて

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18aは、カメラと通信を行い、バッテリーの残量などをカメラに正確に伝えることができます。これによって上面表示パネルでバッテリー残量を6段階で確認することができる(口39)ほか、セットアップメニューの「電池チェック」でより詳しいバッテリー残量や、直前の充電からの合計撮影回数、バッテリーの劣化度を表示することができます(口362)。

レンズを取り付ける

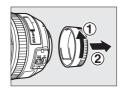
レンズを取り付けるときは、カメラ内部にほこりなどが入らないように ご注意ください。

この使用説明書では、主にAF-S NIKKOR 50mm f/1.4Gのレンズを使用して、説明しています。各部名称は次の通りです。

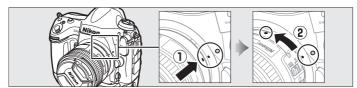


1 カメラの電源をOFFにする

2 レンズの裏ぶたとカメラのボディーキャップを外す





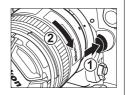


カチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズ取り外しボタンは押さないでください。

// レンズを取り外すには

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押しながら(①)、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し(②)、引き抜いてください。

レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップ とレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。



✓ A-M切り換えスイッチまたはフォーカスモード切り換えスイッチ のあるレンズを使用する場合

オートフォーカス($\bf A$ 、 $\bf M/\bf A$ 、または $\bf A/\bf M$)に設定してください。





▼ 絞りリングのあるCPUレンズについてのご注意

絞りリングのあるCPUレンズ(□403)を取り付ける場合は、最小絞り(最大値)にして、ロックしてください。

☑ 撮像範囲について

DXレンズを装着すると、撮像範囲がDXフォーマットに切り替わります(口84)。



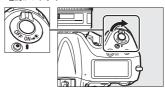
撮像範囲

日付と時刻を設定する

カメラの内蔵時計を合わせます。画像に正しい日時を記録するために、お使いになる前に次の手順で場所と日時を設定してください。

1 カメラの電源をONにする





2 セットアップメニューの [地域と日時] を選ぶ

- MENUボタンを押して、セットアップメニューの [地域と日時] を選びます。
- ご購入後、初めて電源をONにしてMENUボタンを押したときは、セットアップメニュー画面で[地域と日時]が選ばれています。
- メニューの操作方法については、「メニュー の操作方法」をご覧ください(口17)。

MENUボタン





3 現在地を設定する

- [地域と日時] 画面で [**現在地の 設定**] を選びます。
- [現在地の設定] 画面で表示される地図上で、現在地が黄色くハイライトされるようにしてから、
 ボタンを押してください。
- 世界地図の上に選択中のタイム ゾーンに含まれる主な都市名や、 UTC(協定世界時)との時差が 表示されます。







4 夏時間を設定する

- [地域と日時] 画面で [夏 時間の設定] を選びます。
- 現在地で夏時間(サマータイム)制を実施しているときは、[する]に、実施していないときは[しない]





∞ボタン

にして、∞ボタンを押してください。

• [**する**] にすると、[**しない**] のときよりも時刻が1時間進みます。

5 日付と時刻を合わせる

- [地域と日時] 画面で [**日時の設 定**] を選びます。
- [日時の設定] 画面でマルチセレクターを操作して現在地の日時に合わせてから、®ボタンを押してください。





6 日付の表示順を選ぶ

- [地域と日時] 画面で [**日付の表 示順**] を選びます。
- 液晶モニターに表示する日付の 年、月、日の表示順を選んで❷ ボタンを押します。





7 メニュー操作を終了する

シャッターボタンを半押しする(軽く押す) と、メニュー操作を終了して、撮影できる 状態になります。



-1

☑ 時計用電池について

カメラの内蔵時計は、市販のCR1616リチウム電池で作動しており、寿命は約2年です。半押しタイマー作動中に上面表示パネルに時計用バッテリーチェックマーク (40003) が点灯した場合は、電池残量が少なくなっていますので、市販の新しいCR1616リチウム電池に交換することをおすすめします。時計用電池の交換方法については、「時計用電池の交換について」(口422)をご覧ください。

カメラの内蔵時計は、一般的な時計(腕時計など)ほど精度は良くありません。定期的に日時設定してください。

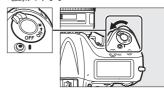
☑ GPS機器を使用して日時合わせをする(□233)

GPS機器(口232)との接続時には、GPS機器が取得した日時の情報でカメラの内蔵時計を合わせられます。

撮影した画像は、メモリーカードに記録されます。このカメラは、撮影した画像をXQDカードまたはCFカードに記録できるように、2つのメモリーカードスロットを装備しています。メモリーカードは付属していないため、別途お買い求めください(四464)。

1 カメラの電源をOFFにする

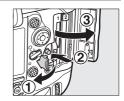
雷源スイッチ



7

2 メモリーカードカバーを開ける

開閉ロックボタンカバーを開き(①)、開閉 ロックボタンを押すと(②)、メモリーカー ドカバーが開きます(③)。



▼ メモリーカードを出し入れするときは

- メモリーカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- CFカードとCFカードイジェクトレバーを同時に押さないでください。カメラとCFカードを破損するおそれがあります。

☑ 使用できるCFカードについて

このカメラで使用できるCFカードは、Type Iのコンパクトフラッシュカード (CFカード) のみです。Type IIのCFカードやマイクロドライブは使用できません。

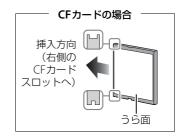
☑ 関連ページ

- カメラに2枚メモリーカードが入っているときに、優先的に使うスロットを 選ぶ→「撮影時に優先的に使うスロットを切り換える」(□40)

3 メモリーカードを入れる

メモリーカードの向きやスロットを間違えて挿入すると、カメラおよび メモリーカードが破損するおそれがあります。メモリーカードを正しく 挿入していることを必ずご確認ください。





XQDカードの場合:

XQDカードのうら面を液晶モニター側に向け、カチッと音がするまで挿入してください。XQDカードが正しく挿入されると、メモリーカードアクセスランプ(緑色)が数秒間点灯します。



CFカードのうら面を液晶モニター側に向け、奥まで確実に押し込んでください(①)。CFカードが正しく挿入されると、CFカードイジェクトレバーが出てくる(②)とともに、メモリーカードアクセスランプ(緑色)が数秒間点灯します。



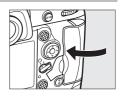
メモリーカード アクセスランプ

CFカード イジェクトレバー



4 メモリーカードカバーを閉める

このカメラに他の機器で使ったメモリーカードを初めて入れたときは、メモリーカードを初期化してください(口35)。

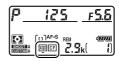


7

☑ メモリーカード表示について

メモリーカードをカメラに入れると、挿入したメモリーカードのアイコンが上面表示パネルに表示されます(右図は、XQDカードとCFカードの2枚をカメラに入れた例です)。

メモリーカードの残量がなくなった場合など、何らかのエラーが発生しているときは、エラーが発生しているメモリーカードのアイコンが点滅します(20448)。



上面表示パネル

// メモリーカードを取り出すときは

メモリーカードカバーを開ける前に、メモリーカードアクセスランプの消灯を確認して、電源をOFFにしてください。メモリーカードカバーを開けて、次の手順でメモリーカードを取り出します。

XQDカードの場合:

XQDカードを奥に押し込むと(①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください(②)。



• CFカードの場合:

CFカードイジェクトレバーを奥に押し込むと(①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください(②)。

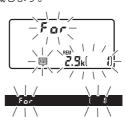


メモリーカードを初期化(フォーマット)する

他の機器で使ったメモリーカードを初めて入れたときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。メモリーカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。必要な画像がある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください(口266)。

1 カメラの電源をONにする

- 赤色のペピマークがついたMODE ボタンと値ボタンを同時に2秒以上押します。
- メモリーカードが2枚入っている場合は、 上面表示パネルのメモリーカードマーク が点滅している側のスロットに入っているメモリーカードを初期化します。 Far が点滅しているときにメインコマンドダイヤルを回すと、初期化するスロットを 切り換えられます。



Farが点滅状態のまま約6秒経過すると、初期化はキャンセルされます。 (※) ボタンとMODE (※) ボタン以外のボタンを押したときも、初期化をキャンセルします。

3 F a r が点滅している間に、もう一度 (∞) ボタンと **MODE** (∞) ボタンを同時に押す

- 初期化が始まります。初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりしないでください。
- 初期化が完了すると、上面表示パネルとファインダー内下表示の撮影 コマ数がよになり、上面表示パネルの記録可能コマ数表示部にこれから撮影できるコマ数が表示されます。

▼ メモリーカード取り扱い上のご注意

- カメラにメモリーカードが2枚入っている場合、面(幅) ボタンとMODE(幅) ボタンを押すと、主スロット(口95)のメモリーカードマークが先に点滅します。
- カメラの使用後はメモリーカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- メモリーカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やメモリーカードの故障の原因となります。
 - メモリーカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属を触れないでください。
- メモリーカードに無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

メモリーカードが入っていないときの表示について

メモリーカードが入っていないときは、上面表示パネルとファインダー内下表示の撮影コマ数表示部に[-**£**-]マークが表示されます。電源をOFFにしても、バッテリー残量があるときは、上面表示パネルの[-**£**-]マークは点灯します。



☑ 関連ページ

メニュー操作でメモリーカードを初期化する → **Y** [**カードの初期化 (フォーマット)**] (□355)

ファインダーを見やすくする(視度調節)

撮影する前に、ファインダー内がはっきり見えるように調節してください。

1 レンズキャップを取り外し、カメラの電源をONにする

2 視度調節ノブを引き出す(①)



3 視度調節ノブを回して調節する(②)

- ファインダーをのぞきながら視度調節ノブを回し、フォーカスポイントまたはAFエリアフレームの枠が最もはっきり見えるように調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

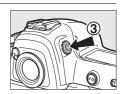


AFエリアフレーム



フォーカスポイント

4 視度調節ノブを戻す(③)



☑ 視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は

- AFモード(□97)をAF-S、AFエリアモード(□100)をシングルポイントAFに設定します。次に、中央のフォーカスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節してください。
- 視度調節の範囲を超える補正が必要な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いになることをおすすめします(□409)。

☑ アイピースを取り外すには

別売の接眼補助レンズを取り付けるには、アイピース (DK-17) を取り外す必要があります。アイピースシャッターを閉じてロックを解除し(①)、アイピースを図の方向に回して取り外します(②)。



撮影と再生の基本操作

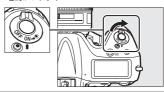
バッテリーとメモリーカードの残量を確認する

撮影を始める前に、バッテリーの残量と記録可能コマ数を確認してください。

1 カメラの電源をONにする

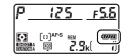
上面表示パネル、背面表示パネルとファインダー内の表示が点灯します。

電源スイッチ



2 バッテリーの残量を確認する

◆上面表示パネルまたはファインダー内下表示のバッテリー残量表示を確認します。

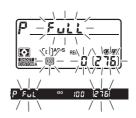


| 上面表示パネル | ファインダー | 意味 |
|---------|--------|---------------------------------------------------|
| C VARRA | _ | 残量は充分に残っています。 |
| C ###A | _ | |
| G ##A | _ | 残量が減り始めました。 |
| G ## | _ | |
| | a | 残量は残りわずかです。予備のバッテ リーを準備するか、バッテリーを充電 してください。 |
| (点滅) | (点滅) | 撮影できません。バッテリーを交換するか、バッテリーを充電してください。 |

3 メモリーカードの残量を確認する

- 上面表示パネルで記録可能コマ数(これから撮影できるコマ数)を確認します。メモリーカードが2枚入っている場合、主スロット (195)の記録可能コマ数が表示されます。
- 記録可能コマ数が1000 コマ以上あるときは「k」マークが点灯します。「k」は1000倍を意味しており、たとえば2960コマ撮影できるときは、右のように表示されます。
- 記録可能コマ数がゼロの場合、上面表示パネルとファインダー内下表示のシャッタースピード表示部に**Full**(**Ful**)が、記録可能コマ数表示部に**3**が点滅します。このとき、残量のないメモリーカードのアイコンも点滅します。不要な画像を削除するか(口250)、別のメモリーカードに交換してください。

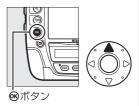




☑ 撮影時に優先的に使うスロットを切り換える

ファインダー撮影時に、®ボタンを押しながらマルチセレクターの▲を押すと、[主スロットの選択] 画面が表示されます。スロットを選んで®を押すと、選んだスロットを優先的に使います。

 撮影時に優先的に使うスロットは、撮影メニュー [主スロットの選択](口95)でも切り換えられます。





カメラを構える

撮影するときは、カメラをしっかりと構え、ファインダーをのぞいて構 図を決めます。

- 脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み 込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支 えます。
- 片足を少し前に踏み出すと、上半身が安定します。





人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを 縦位置に構えます。



このカメラは、縦位置にカメラを構えて撮影するときに便利な縦位置シャッターボタン、縦位置マルチセレクター(口104、345)、縦位置メインコマンドダイヤル、縦位置サブコマンドダイヤル、縦位置Fnボタン(口339)、縦位置AF-ONボタン(口99、312)を装備しています(口3、5)。

縦位置撮影用のボタンやダイヤルを誤って使わないようにロック(固定)するには、縦位置シャッターボタンロックレバーをLの位置に回します。

縦位置シャッターボタン ロックレバー



ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押し(□43)して、ピントを合わせる

- 被写体を中央のフォーカス ポイントに合わせ、シャッ ターボタンを軽く押す(半 押しする)と、被写体に自 動的にピントが合います。
- ご購入時の設定では、 中央のフォーカスポイント に重なっている被写体に自 動的にピントが合います。





ピント表示

連続撮影可能コマ数

2 ファインダー内のピント表示(●)を確認する

ピントが合うとファインダー内のピント表示(●)が点灯します。

| ファインダー内ピント表示 | 意味 |
|--------------|-----------------------------|
| ● (点灯) | 被写体にピントが合っています。 |
| ▶ (点灯) | 目的の被写体よりも手前にピントが合っています。 |
| ◀ (点灯) | 目的の被写体よりも後方にピントが合っています。 |
| ▶ | オートフォーカスでのピント合わせができま せん。 |

- シャッターボタンを半押ししている間、ピントは固定されます。
- ・シャッターボタンを押している間、続けて撮影できるコマ数(連続撮影可能コマ数)がファインダーに表示されます。連続撮影可能コマ数の先頭には、「┏」(□112)が付きます。

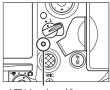


• ピント合わせができない場合の対処方法については「オートフォーカスの苦手な被写体について」(四107)をご覧ください。

3 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで(全押しして)、撮影する

- シャッターがきれ、画像がメモリーカードに記録されます。
- メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。メモリーカードやバッテリーを取り出したり、ACアダプター(別売)を取り外さないでください。





メモリーカード アクセスランプ

☑ シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。まず、シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込む(これを「シャッターボタンを全押しする」といいます)と、シャッターがきれます。





全押しして 撮影する

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。半押しタイマーは、シャッターボタンを軽く押す(半押しする)とオンになり、何も操作が行われないまま約6秒経過すると、オフになります。半押しタイマーがオフになると、上面表示パネルのシャッタースピード、絞り値表示とファインダー内の全ての表示が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニュー c2 [半押しタイマー](口317)で変更できます。



☑ 撮影時のマルチセレクターの操作について

半押しタイマーがオンのときにマルチセレクターの ▲▼◀▶またはななめを押すと、フォーカスポイントを 自分で選べます(□103)。



マルチセレクター

☑ 電源OFFの時の表示について

バッテリーが入っていると、カメラの電源がOFFのときも、上面表示パネルのメモリーカードマークと記録可能コマ数、撮影コマ数が点灯します。メモリーカードの種類によっては、電源がOFFのときにメモリーカードを挿入しても、まれにこれらの表示が点灯しないことがあります。この場合、カメラの電源をONにすると点灯します。



上面表示パネル

-

撮影した画像を確認する

1 ▶ ボタンを押す

- 撮影した画像をカメラ背面の 液晶モニターに表示します。
- 表示中の画像がどちらのス ロットのメモリーカードに 入っているかは、画像の左下 のメモリーカードマークで確 認できます。

▶ボタン





2 マルチセレクターの◀また は▶を押して他の画像を確 認する

- ▲または▼を押すたびに、撮影情報の表示が切り替わります (□238)。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。









☑ 撮影直後の画像確認について

再生メニューの [撮影直後の画像確認] (□289) を [する] に設定すると、▶ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に液晶モニターに表示します。

☑ 関連ページ

画像を表示するスロットを切り換える→「画像再生時のボタン操作」(□236)

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。

削除したい画像を表示する

▶ボタンを押して液晶モニターに画像を表示してから、マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選びます。

▶ボタン





削除する画像がどちらのスロットのメモリーカードに入っているかは、画像の左下のメモリーカードマークで確認できます。

- 面(一面(一面)ボタンを押すと、削除方法の選択画面が表示されます。
- ▶ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルします。

値(FOMATE) ボタン





3 画像を削除する

- [選択中の画像] を選び、も う一度前() ボタンを押 すと、表示中の画像を削除し て、再生画面に戻ります。
- [全画像] を選んだときの操作については、¹250をご覧ください。

値(r@Mar) ボタン





▼ 再生メニュー [削除]

再生メニューの [削除] (口252) では、複数の画像を選んで削除できます。

-1-

静止画ライブビュー撮影

液晶モニターで被写体を見ながら静止画を撮影できます。

1 ライブビューセレクターを▲ (静止画ライブビュー) に合わせる



ライブビューセレクター

2 回ボタンを押す

ミラーアップしてライブビューを開始します。ファインダー内が暗くなり、液晶モニターに被写体が表示されます。



3 フォーカスポイントを被写体に重ねる

フォーカスポイントの形状はAFエリアモードによって異なります (四51)。

4 シャッターボタンを半押しして、ピン トを合わせる



- シャッターボタンを半押しすると、ピントが 合った時点でフォーカスがロックされます。
- フォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は緑色で点滅し、ピン トが合うと緑色で点灯します。ピントが合わないと赤色で点滅します。
- 露出を固定(AEロック)するには、サブセ レクターの**中央**を押し続けます(Q136)。



サブセレクター

静止画ライブビュー中にのボタンを押すと、 右のような露出プレビュー画面に切り替わ ります。露出プレビューに設定すると、表 示されたシャッタースピード、絞り値、ISO 感度での撮影で、どのような露出(明るさ) になるのかを液晶モニターで確認しながら 静止画撮影できます。露出補正(□138)



は、通常と同じ±5段まで設定できますが、液晶モニターで確認でき るのは±3段までになります。

5 シャッターボタンを全押しして撮影する

撮影時は液晶モニターが消灯します。



6 回ボタンを押して静止画ライブビュー を終了する



☑ 露出プレビューについて

- シャッタースピードが**bulb** (バルブ) または・・(タイム) の場合、露出プレビューには切り替わりません。また、次の場合は、露出プレビューの表示が実際に撮影される画像と異なります。
 - 別売スピードライト装着時
 - [アクティブD-ライティング] (□184) または [HDR (ハイダイナミックレンジ)] (□186) を設定した場合
 - ピクチャーコントロールの [**コントラスト**] が [**A**] (オート) の場合 (□176)
 - シャッタースピードをx 25aに設定した場合
 - オートブラケティング撮影時
- 被写体が極端に明るい場合や暗い場合には、画像の明るさを正しく表示できないことがあります(露出インジケーターが点滅します)。

❷ 静止画ライブビュー時のプレビュー機能

静止画ライブビュー中にPvボタンを押すと開放絞りになり、ピントが確認しやすくなります。再度Pvボタンを押すか、オートフォーカスでピントを合わせると、設定した絞り値に絞り込まれます。開放絞りにしたままでシャッターボタンを全押しすると、設定した絞り値に絞り込まれてから撮影します。

● HDMI接続時の撮影について

HDMI対応機器との接続時には、接続した機器とカメラのモニターに被写体が表示されます。

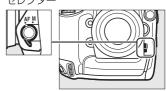
☑ 関連ページ

「ライブビュー撮影時にスポットホワイトバランスでプリセットマニュアルデータを取得する」(皿165)

AFモードを変更する

フォーカスモードセレクターが**AF**の場合、静止画ライブビューまたは動画ライブビュー時のオートフォーカスでのピントの合わせ方を選べます。

フォーカスモード セレクター



AF-S シングル **AFサーボ** 静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。

AF-F 常時AF サーボ 動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押しするまで、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。

■ 静止画ライブビューまたは動画ライブビュー撮影時のAFモードの変更方法

AF モードボタンを押 しながら、メインコマ ンドダイヤルを回す

AF モードは液晶モニター に表示されます。



AFモードボタン



メインコマンド ダイヤル



液晶モニター

Lv

AFエリアモードを変更する

静止画ライブビューまたは動画ライブビュー時にオートフォーカスでピントを合わせるフォーカスポイントをカメラがどのように選ぶかを設定できます。AFエリアモードは、フォーカスモードセレクター(口50)がAFの場合のみ設定できます。

| (<u>@</u>) | 顔認識AF | 記念写真など、人物の顔にピントを合わせたい場合に適しています。カメラが人物の顔を自動的に認識し、フォーカスポイントが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合(最大35人まで)は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。このとき、マルチセレクターで二重枠を移動して他の顔を選ぶこともできます。途中で顔が後ろを向くなどしてカメラが顔を認識できなくなると、枠が消えます。 | |
|-------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| E 3 | ワイド エリア AF | 風景などを手持ちで撮影する場合に適しています。フォーカスポイントは、マルチセレクターで任意の位置に移動できます。 中央 ボタンを押すと、フォーカスポイントは中央に移動します。 | |
| [c:3] Norm | ノーマル エリア AF | 画面の任意の位置にピンポイントでピントを合わせたい場合に適しています。フォーカスポイントは、マルチセレクターで任意の位置に移動できます。中央ボタンを押すと、フォーカスポイントは中央に移動します。三脚の使用をおすすめします。 | |
| (a) | ターゲット 追尾AF | 指定した被写体に追尾させてフォーカスポイントを動かしたい場合に適しています。フォーカスポイントを被写体に重ねて中央ボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。もう一度中央ボタンを押すと、追尾を終了します。 | |

▼ ターゲット追尾AFについてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。

- 被写体の色、明るさが背景と似ている場合
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
- 被写体が大きすぎる/小さすぎる場合
- 被写体が明るすぎる/暗すぎる場合
- 被写体の動きが速すぎる場合
- 被写体が隠れたり、画面から外れた場合

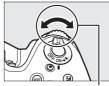
■■静止画ライブビューまたは動画ライブビュー撮影時 のAFエリアモードの変更方法

AF モードボタンを押 しながら、サブコマン ドダイヤルを回す

AF エリアモードは液晶モニターに表示されます。







サブコマンドダイヤル



液晶モニター

▼ 静止画ライブビューまたは動画ライブビュー撮影時のオート フォーカスについてのご注意

- 静止画ライブビューまたは動画ライブビュー撮影時のオートフォーカスは、通常の オートフォーカスより、ピント合わせに時間がかかります。また、次の被写体はピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
 - 画面の長辺側と平行な線の被写体
 - 明暗差の少ない被写体
 - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
 - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
 - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
 - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
 - 連続した繰り返しパターンの被写体(ビルの窓やブラインドなど)
 - 動く被写体
- オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- フォーカスポイントが緑色に点滅しているとき(オートフォーカス作動中)は、 シャッターはきれません。ただし、赤色に点滅しているとき(ピントがあっていないとカメラが判断したとき)でもシャッターはきれます。
- ピントが合わなくてもピント表示 (緑枠) が点灯する場合があります。
- AF-S以外のレンズやテレコンバーターを使用した撮影では、充分なピント精度が出ない場合があります。

静止画ライブビュー中の情報表示について



| ① ライブビュー残り時間 | ライブビューが自動的に終了する30秒前から、ライブビュー残り時間のカウントダウンを表示します。 | □60 |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------|
| 液晶モニターの色み設定 | 液晶モニターの色み(液晶モニター用ホワイトバランス)を調整できます。 | □54 |
| ③ AFモード | ライブビュー撮影時のAFモードを表示します。 | \$\$ 50 |
| ④ AFエリアモード | ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示 します。 | Ш51 |
| ⑤ フォーカスポイント | 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状は、選んだAFエリアモード(口51)により異なります。 | □48 |
| ⑥ 明るさインジケーター | 液晶モニターの明るさを調整できます。 | \$\$55 |
| ⑦ 操作ガイド | 静止画ライブビュー表示時に操作できる機能 を表示します。 | □54、 55 |

■ 液晶モニターの色み(液晶モニター用ホワイトバランス)の設定方法

静止画ライブビュー時には、撮影用のホワイトバランス(四151)と液晶モニター用のホワイトバランス(液晶モニターの色み)を個別に設定できます。撮影用のホワイトバランスを [フラッシュ] や [プリセットマニュアル] などに設定していると、実際に撮影される画像の色みと液晶モニターで表示されている色みが異なることがあります。あらかじめ液晶モニターの色み撮影する画像の色みに合わせておくことで、撮影画像の仕上がりをイメージしやすくなります。

1 液晶モニター用のホワイトバランス アイコンを選ぶ

●●●ボタンを押しながらマルチセレクターの●または●を押して、画面左にある液晶モニター用のホワイトバランスアイコンを選びます。





♀⊠ボタン

2 液晶モニター用ホワイトバランスを設定する

Q™ボタンを押したままメインコマンドダイヤルを回して、液晶モニター用ホワイトバランスの設定を変更します。





- ・液晶モニター用ホワイトバランスを設定しても、撮影した画像には反映されません。ただし、撮影メニューの [静止画ライブビュー撮影] (□58) が [無音] の場合、ここで設定したホワイトバランスが撮影する画像にも反映されます。
- -- に設定されている場合、液晶モニター用ホワイトバランスは撮影 用ホワイトバランスと同じになります。
- ■-- 以外に設定すると、Q™ボタンから指を放した後も、液晶モニター用ホワイトバランスアイコンが表示されます。
- ●液晶モニター用ホワイトバランスは、カメラの電源をOFFにすると解除されます。

WBボタンを押しながら回ボタンを押すと、前回設定した液晶モニター用ホワイトバランスの表示で静止画ライブビューを開始できます。

■■液晶モニターの明るさの調整方法

液晶モニターを好みの明るさに調整できます(露出プレビュー時を除く)。

1 明るさインジケーターを選ぶ

Q⊠ボタンを押しながらマルチセレクター の◀または▶を押して、画面右の明るさ インジケーターを選びます。





2 明るさを調整する

Q≅ボタンを押したまま▲または▼を押して、明るさを調整します。

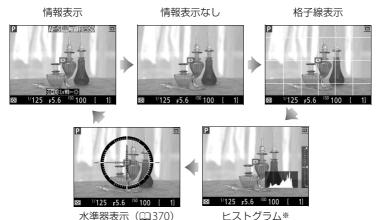


- [A] (オート) を選ぶと、液晶モニターが点灯した時点で照度センサー(口4) が測定した周囲の明るさに合わせて、カメラが自動で液晶モニターを見やすい明るさに調整します。
- 液晶モニターの明るさを調整すると、静止画ライブビューまたは動画ライブビュー中の表示に反映されますが、撮影した画像や画像再生時の表示、メニュー表示などには反映されません。

画像再生時やメニュー表示時などの液晶モニターの明るさは、セットアップメニューの [モニターの明るさ] (口355) で設定してください。[モニターの明るさ] で設定した液晶モニターの明るさは、静止画ライブビューまたは動画ライブビュー中の明るさには反映されません。

静止画ライブビュー時の表示を切り換える

静止画ライブビュー中は、**M**ボタンを押すたびに、次のように画面の表示が切り替わります。



※露出プレビュー時 (CL)48) のみ表示されます。

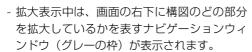
マニュアルフォーカスで撮影する

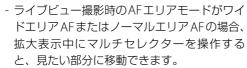
フォーカスモードセレクターを**M**に合わせて、マニュアルフォーカス (Ω 108) で撮影するときは、次の方法で被写体にピントを合わせます。

レンズのフォーカスリングを回して、被写体に ピントを合わせます。



- ♥ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、 ピントの状態を細部まで確認できます(最大 約15倍)。
 - ♥ ボタンを押すごとに拡大率が上がり、♥■ ボタンを押すごとに拡大率が下がります。







♥ボタン



ナビゲーション ウィンドウ

静止画ライブビュー撮影の設定

撮影メニュー(¹¹293)の [**静止画ライブビュー撮影**] では、静止画ライブビュー中のシャッターのきり方を設定できます。

Q 静音

ミラーアップしたまま撮影するため、シャッター音はしますが、通常のファインダー撮影時に比べて静かに撮影できます。 ◆ 別売のスピードライトを使って撮影するときは、撮影するた

びにミラーダウンするため静音撮影にはなりません。

シャッターを開いたまま撮影するため、シャッター音を出さずに、[**静音**] 設定時よりも静かに撮影できます。また、シャッターボタンを全押ししている間、レリーズモードが**C**Lの場合は約12コマ/秒、**C**Hの場合は約24コマ/秒の高速連続撮影を最大5秒間行えます(その他のレリーズモードの場合は、シャッターボタンを全押しするたびに1コマすつ撮影します)。

- 液晶モニターに広が表示されます。
- 無音撮影時は、液晶モニターに表示されている露出(明るさ)で撮影されます。
 で撮影されます。
 ●ボタンを押すと、露出インジケーター(□130)が表示され、自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差を確認できます。
 もう一度●ボタンを押すと、露出インジケーターが消えます。
- 露出モード州の場合は、シャッタースピードを1/25~1/8000 秒の範囲で設定できます。
- 露出補正(単138)の設定は、±3段までになります。
- 記録可能コマ数の表示部分に、連続撮影できる残り時間が表示されます。
- 画質モードがJPEG FINEの静止画になります。また、画像サイズ(ピクセル)は、撮影メニュー [JPEG/TIFF 記録]の [画像サイズ]の設定にかかわらず、各撮像範囲(口83)で次のようになります。
 - FX (36 × 24) 1.0×: 1920×1280ピクセル
 - 1.2×(30×20) 1.2×: 1600×1064ピクセル
 - DX (24 × 16) 1.5 × : 1280×848ピクセル
 - **5:4 (30 × 24)**: 1600×1280ピクセル
- 露出モードがMの場合、ISO感度(口76)をISO 200~Hi 4の間で設定できます。その他の露出モードでは、ISO感度をカメラが自動で設定します。

SLI 無音

液晶モニターの表示に次のような現象が発生することがありますが、実際に記録される画像に影響はありません。

- 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
- カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
- ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
- 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなど の点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する

∅ [無音] 撮影について

- 完全に無音にはなりません。静止画ライブビュー開始時と終了時には、ミラーアップ/ミラーダウンの音とシャッター音がします。
- 無音撮影時に各露出モードで設定できる機能は次の通りです。

| | 絞り値 | シャッタースピード | ISO感度 |
|------|-----|-----------|-------|
| P. 5 | _ | _ | _ |
| R | 0 | _ | _ |
| M | 0 | 0 | 0 |

- 別売のスピードライトは発光しません。
- 測光モードはマルチパターン測光に固定されます。
- 次の機能は使用できません。
 - アクティブD-ライティング(CD184)
 - HDR (ハイダイナミックレンジ) (四186)
 - ヴィネットコントロール (CP300)
 - 自動ゆがみ補正(□301)
 - 多重露出撮影 (CD 212)
 - 高感度ノイズ低減(CD302)
- 液晶モニターの表示に次のような現象が発生することがあり、これらの現象は静止 画にも記録されます。
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなど の点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する

▼ 静止画ライブビュー撮影時のご注意

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー表示中に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、セットアップメニューの「フリッカー低減」(口359)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、 ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、ライブビューの開始を制限したり自動的に終了したりすることがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など

カメラが熱くなってライブビューを開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまでライブビューを一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

- 適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターを閉じてください(□115)。
- ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の 部品が破損するおそれがあります。
- 静止画ライブビュー時に動画撮影ボタンを押しても動画撮影はできません。動画ライブビューに切り換えてください(口61)。

▶ 静止画ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的にライブビューを終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します(口53)。
 - カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間] (口319) の設定により終了する場合は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。 [モニターのパワーオフ時間] の [ライブビュー表示] を [制限なし] に設定している場合も、カメラ内部の温度上昇などによりライブビューが終了する場合があります。
 - カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。 撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まることが あります。
- 画像再生時はカウントダウンを表示しませんが、カウントダウン時間でライブ ビューを自動的に終了します。

☑ 関連ページ

- マルチセレクターの中央ボタンを押して、画面中央にフォーカスポイントを移動したり、拡大表示に切り換えられるようにする → f1 [中央ボタンの機能] (□330)
- 静止画ライブビュー中の動画撮影ボタンとコマンドダイヤルの機能を設定する → f16 [動画撮影ボタンの機能] (□346)
- **□**ボタンの動作を制限する → **/** f17 [**ライブビューボタンの設定**] (□ 346)

動画ライブビュー撮影と 再生

動画ライブビューで撮影する

液晶モニターを見ながら音声付きの動画を撮影できます。

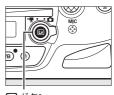
1 ライブビューセレクターを県(動画ライブビュー)に合わせる



ライブビューセレクター

2 回ボタンを押す

- ミラーアップしてライブビューを開始します。ファインダー内が暗くなり、液晶モニターに被写体が表示されます。
- 動画ライブビュー中は、実際に撮影される 動画や静止画の露出(明るさ)を液晶モニ ターで確認できます。



☑ボタン

3 動画ライブビュー撮影時のAFモードを 設定する

動画ライブビュー撮影時のAFモードの設定 方法については、「AFモードを変更する」 (四50)をご覧ください。



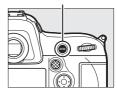
動画ライブビュー撮影時のAFエリアモード の設定方法については、「AFエリアモードを 変更する」(仰51)をご覧ください。



5 AF-ONボタンを押して、ピントを合わせる

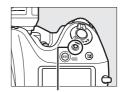
動画撮影を開始する前に、被写体にピントを 合わせます。





6 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 動画撮影中は録画中マークが液晶モニター に表示されます。メモリーカードに記録で きる残り時間の目安も液晶モニターで確認 できます。
- 動画撮影中も、AF-ONボタンを押すと被写体 にピントを合わせられます。
- 内蔵マイク(口2)で音声を記録します (モノラル録音)。録画中は、マイクを指で ふさがないようにしてください。
- 露出を固定(AEロック)するには、サブセレクターの中央を押し続けます(口136)。
- 動画撮影中は±3段の範囲で露出補正ができます(□138)。



動画撮影ボタン



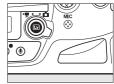
残り時間

7 もう一度動画撮影ボタンを押して、 撮影を終了する



嘌

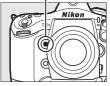
8 回ボタンを押してライブビューを終 でする



インデックスマーキングについて

カスタムメニューg2 [プレビューボタンの機能] (口351) の [押し時の動作] が [インデックスマーキング] の場合、動画撮影中にPvボタンを押すと、撮影中の動画にインデックスマークを付けることができます。インデックスマークを付けると、動画の再生時や編集時に目的の場所へ素早く移動できます(口78)。インデックスマークは1つの動画に最大20個まで付けられます。

Pvボタン





インデックスマーク

☑ 動画ライブビュー時のピント合わせについて

シャッターボタンを半押ししてピントを合わせることもできます。

☑ 関連ページ

- 「ライブビュー撮影時にスポットホワイトバランスでプリセットマニュアルデータを取得する」(口165)

県

動画ライブビュー中の情報表示について



県

| ① ヘッドホン音量設定 | 市販のヘッドホン接続時に表示されます。動 画撮影時のヘッドホン出力の音量を調整でき ます。 | Ф65 |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ② マイク感度設定 | 動画撮影時のマイク感度を調整できます。 | Ш65 |
| 3 音声レベルインジケーター | 音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケータの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。別売のステレオマイクロホンME-1または市販のステレオマイクロホンを接続している場合、インジケーターの下にLとRが表示されます。 | Ф65 |
| ④ 録音帯域マーク | 撮影メニュー [動画の設定] の [録音帯域] の 設定を表示します。 | ш75 |
| ⑤ 風切り音低減マーク | 撮影メニュー [動画の設定] の [風切り音低 減] が [する] の場合に表示します。 | □75 |
| ⑥ 動画記録禁止マーク | 動画が撮影できない状態のとき表示します。 | _ |
| ⑦ 動画の画像サイズ | 動画の画像サイズを表示します。 | \$\pi 73 |
| ⑧ 動画記録残り時間 | 動画撮影時に、メモリーカードに記録できる 残り時間を表示します。 | Ш62 |
| ⑨ 明るさインジケーター | 液晶モニターの明るさを調整できます。 | Ш65 |
| ⑩ 操作ガイド | 動画ライブビュー表示時に操作できる機能を 表示します。 | Ф65 |

■■ ヘッドホン音量、マイク感度、液晶モニターの明る さの調整方法

調整する機能を選ぶ

- Q■ボタンを押しながらマルチセレクター の◀または▶を押して、調整する機能を 選びます。
- 選んだ機能の表示が黄色に変わります。





Q⊠ボタン

2 設定を調整する

- Q■ボタンを押したまま▲または▼を押し て値を調整します。
- ・ 液品モニターの明るさを調節しても。 (四55)、撮影した画像には反映されません。





▼ 動画ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを 表示します(四53)。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まることがあり ます。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの右上に表示されて いる動画残り記録時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間 で動画撮影を自動的に終了します。

動画撮影中の調整について

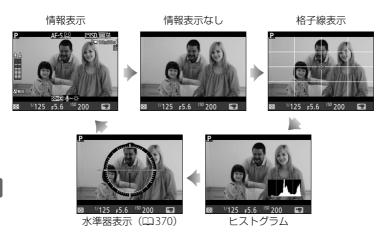
- ヘッドホンの音量は変更できません。
- ・マイク感度をに設定して動画撮影を開始した場合、動画撮影中はマイク感度を変 更できません。
- マイク感度を必以外に設定すると、動画撮影中にマイク感度を変更できます。 は変更できません。

グヘッドホンについて

- 市販のヘッドホンをヘッドホン端子に接続すると、音声はヘッドホンから再生され ます。
- マイク感度を最大にして撮影した動画を再生すると、大音量で再生される場合があ りますので、ヘッドホン使用時は特にご注意ください。

動画ライブビュー時の表示を切り換える

動画ライブビュー中は、MMボタンを押すたびに、次のように画面の表示が切り替わります。



動画ライブビュー時の撮像範囲

ファインダー撮影時や静止画ライブビュー時の撮像範囲と比べ、動画ライブビュー時の撮像範囲は次の図のようになります。動画ライブビューで撮影する動画や静止画のアスペクト比(縦横比)は、16:9です。

ファインダー撮影時 および静止画ライブ -ビュー時の撮像範囲



動画ライブビューで アスペクト比が16:9 の場合の撮像範囲

 撮影メニュー [動画の設定] の [画像サイズ/フレームレート] (□73) が [640×42430p] または [640×42425p] の場合、アスペクト 比は3:2になり、撮像範囲は次の図のようになります。

ファインダー撮影時 および静止画ライブ・ ビュー時の撮像範囲



動画ライブビューで アスペクト比が3:2 の場合の撮像範囲

● 動画ライブビュー時の撮像範囲のサイズは、FXベースの(動画)フォーマットとDXベースの(動画)フォーマットでは異なります。それぞれの撮像範囲のサイズは次の通りです。

| フォーマット | アスペクト比 | サイズ |
|------------|--------|---------------|
| FXベースの(動画) | 16:9 | 約35.7×20.1 mm |
| フォーマット*1 | 3:2 | 約35.7×23.8 mm |
| DXベースの(動画) | 16:9 | 約23.3×13.0 mm |
| フォーマット*2 | 3:2 | 約23.3×15.4 mm |

- ※1「FX ベースの(動画)フォーマット」とは、FX レンズを装着して撮影メニュー[撮像範囲]の[撮像範囲設定](□83)で[FX (36×24)1.0×]または[1.2×(30×20)1.2×]、[5:4 (30×24)]に設定した場合の動画のフォーマットです。
- ※2「DX ベースの(動画) フォーマット」とは、DX レンズを装着して撮影メニュー[撮像範囲] の [DX自動切り換え] (印84) を [する] に設定するか、[撮像範囲設定] で [DX (24 × 16) 1.5 ×] に設定した場合の動画のフォーマットです。液晶モニターには||図が表示されます。

動画ライブビュー時の静止画撮影

カスタムメニュー g4 [シャッターボタンの機能] (□353) が [静止画撮影] の場合、動画ライブ ビュー中にシャッターがきれるまでシャッター ボタンを全押しし続けると、動画と同じ撮像範囲 の静止画(□67) を撮影します。



- 動画撮影中の場合、動画撮影は終了し、そこまでの動画を記録します。
- 画質モードは、撮影メニュー [画質モード] (口89) で設定した内容になります。ただし、[動画の設定] の [画像サイズ/フレームレート] を [1920×1080 30p クロップ] 、[1920×1080 25p クロップ] または [1920×1080 24p クロップ] に設定している場合、[FINE] となります。
- 動画ライブビュー中の静止画撮影の露出は液晶モニターでは確認できません。露出モードア、5、月での撮影をおすすめします。露出モードパで撮影する場合は、静止画ライブビュー(口47)で適正露出に合わせたあと静止画ライブビューを終了し、動画ライブビューを開始して撮像範囲を確認してから撮影してください。

嘌

■■ 動画ライブビュー時に撮影できる静止画の画像サイズ

動画ライブビュー時に撮影できる静止画の画像サイズは、次の通りです。

撮影メニュー [動画の設定] の [画像サイズ/フレームレート] (□73) が [640×42430p] または [640×42425p] 以外の場合は、アスペクト比(縦横比)が16:9の静止画を撮影します。

| 撮像範囲 (□ 67) | 画像サイズ | プリント時の大きさ (出力解像度300dpiの場合) ※ |
|----------------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| FXベースの(動画) | L (4928×2768ピクセル) | 約41.7× 23.4 cm |
| フォーマット | M (3696×2072ピクセル) | 約31.3× 17.5 cm |
| (16:9) | S (2464×1384ピクセル) | 約20.9× 11.7 cm |
| DXベースの(動画) | L (3200×1792ピクセル) | 約27.1× 15.2 cm |
| フォーマット | M (2400×1344ピクセル) | 約20.3× 11.4 cm |
| (16:9) | S (1600× 896ピクセル) | 約13.5× 7.6 cm |
| 1920×1080 30p/25p/24p クロップ | 1920×1080 ピクセル | 約16.3× 9.1 cm |



• [640×424 30p] または [640×424 25p] の場合は、アスペクト比 (縦横比) が3:2の静止画を撮影します。

| 撮像範囲 (□ 67) | 画像サイズ | プリント時の大きさ (出力解像度300dpiの場合) ※ |
|-------------|--------------------------|---------------------------------|
| FXベースの(動画) | L (4928×3280ピクセル) | 約41.7× 27.8 cm |
| フォーマット | M (3696×2456ピクセル) | 約32.0× 20.8 cm |
| (3:2) | S (2464×1640ピクセル) | 約20.9× 13.9 cm |
| DXベースの(動画) | L (3200×2128ピクセル) | 約27.1× 18.0 cm |
| フォーマット | M (2400×1592ピクセル) | 約20.3× 13.5 cm |
| (3:2) | S (1600×1064ピクセル) | 約13.5× 9.0 cm |

※ピクセル数÷出力解像度 (dpi) ×2.54 cmで計算しています。

◎ 画像サイズをクロップに設定している場合の静止画撮影について「画像サイズ/フレームレート] を [1920×1080 30p クロップ]、 [1920×1080 25p クロップ] または [1920×1080 24p クロップ] に設定して静止画を撮影する場合、 測光範囲やホワイトバランスの [オート] で色温度を測定する範囲が、実際に記録される範囲と異なります。このため、露出やホワイトバランスが適正に撮影できないことがあります。試し撮りをして、画像を再生して確認することをおすすめします。

☑ 動画撮影について

- 使用しているメモリーカードの書き込み速度によっては、最長記録時間(□73)に 満たないで撮影が自動的に終了する場合があります。
- 動画撮影時は、AFエリアモードが顔認識AFの場合に認識できる人数が少なくなります。
- (動画記録禁止)マーク(□64)が表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- 動画撮影中は測光モードがマルチパターン測光に固定されます。
- 動画撮影を開始する前に [ピクチャーコントロール] (口173) または [色空間] (口299) を設定すると、設定した内容で動画撮影できます。
- ・動画ライブビュー時は、別売のスピードライト(□191)は発光しません。
- 露出モードP、5で画像が明るくなりすぎたり、暗くなりすぎたりする場合は、ライブビューを終了してからもう一度動画ライブビューを開始するか、露出モードを月にして、絞りの調整を行ってください。
- 各露出モードで動画ライブビュー時に設定できる機能は、次の通りです。

| | 絞り値 | シャッター スピード | ISO感度 | 露出補正 |
|------|-----|---------------|-------|------|
| P. 5 | _ | _ | _ | 0 |
| A | 0 | _ | _ | 0 |
| M | 0 | 0 | 0 | _ |

動画撮影中にWBボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスを変更できます(口151)。

√ マニュアル露出での動画撮影について

露出モード片で動画撮影する場合、シャッタースピードを1/25~1/8000秒の範囲で設定できます(動画のフレームレート(印73)によって、低速側の制限が異なります)。

カスタムメニュー g4 [シャッターボタンの機能] を [動画撮影] に設定すると、ワイヤレスリモートコントローラー(口408)やリモートコード(口410)のシャッターボタンを半押しして動画ライブビューを開始したり、全押しして動画撮影の開始と終了を行えます(口353)。

✓ HDMI接続時の撮影について

HDMI 対応機器との接続時には、接続した機器とカメラのモニターに被写体が表示されます。

▼ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。 これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する(□359)
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなど の点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
- 動画ライブビュー時に、**९**ボタンで画面を拡大した場合(口57)、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)、色の変化が発生しやすくなります。
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達したとき
 - メモリーカードの残量がなくなったとき
 - ライブビューセレクターを切り換えたとき
 - レンズを取り外したとき
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、 ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、カメラは自動的に 動画撮影を終了することがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など

カメラが熱くなってライブビューまたは動画撮影を開始できない場合は、カメラ内 部の温度が下がるまでライブビューおよび動画撮影を一時休止してください。この とき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- 次のような場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - 絞り値を変更した場合
 - VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)をONにした場合

県

∅ 関連ページ

- 動画撮影時のオートフォーカスについてのご注意 →「ライブビュー撮影時のオートフォーカスについてのご注意」(□52)
- レンズのフォーカスリングを使って(マニュアルフォーカスで)ピントを合わせる→「マニュアルフォーカスで撮影する」(□57)
- 動画を記録するときの画像サイズとフレームレート、画質、音声、記録先などを設定する → ▲ 「動画の設定」(印72)
- マルチセレクターの中央ボタンを押して、画面中央にフォーカスポイントを移動したり、拡大表示に切り換えられるようにする → f1 [中央ボタンの機能] (□330)
- ロボタンの動作を制限する → **/** f17 [**ライブビューボタンの設定**] (□346)
- 動画ライブビュー時のFnボタン、Pvボタン、サブセレクターの中央で撮像範囲を切り換える→ g1 [Fnボタンの機能] (□349)、 g2 [プレビューボタンの機能] (□351)、 g3 [サブセレクター中央押しの機能] (□352)
- シャッターボタンで動画ライブビューの開始や動画撮影の開始と終了ができるようにしたり、動画撮影しながらシャッターボタンを全押しして静止画を撮影できるようにする → ▲ q4 [シャッターボタンの機能](□353)
- ライブビュー表示中や動画撮影時のフリッカー現象を低減する → ♥ [フリッカー低減] (□359)

動画の設定

撮影メニュー(口293)の「**動画の設定**」では、 動画を記録するときの画像サイズとフレーム レート、画質、音声、記録先などを設定できます。



■■画像サイズ/フレームレート、動画の画質

[画像サイズ/フレームレート] では、動画を記録するときの画像サイズ (ピクセル) とフレームレートを設定します。[動画の画質] では、動画の画質を高画質と標準から選べます。それぞれの設定時の最大ビットレートと最長記録時間は次の通りです。

| [画像サイズ/フレームレート] *1 | 最大ビットレート ([動画の画質] *2: ★高画質/標準) | 最長記録時間 ([動画の画質] ※2: ★高画質/標準) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1920 × 1080 60p ³ 1920 × 1080 50p ³ 1920 | 42Mbps/24Mbps | 10分/20分 |
| 1920×1080 30p*3 1920×1080 25p*3 1920×1080 25p*3 1920×1080 24p*3 1920×1080 24p*3 1280×720 60p 1280×720 50p | 24Mbps/12Mbps | 20分/29分59秒 |
| 424節/424㎞ 640×424 30p 424節/424㎞ 640×424 25p | 8Mbps/5Mbps | 29分59秒 |
| □勧/□m 1920×1080 30p クロップ □勧/□m 1920×1080 25p クロップ □勧/□m 1920×1080 24p クロップ | 24Mbps/12Mbps | 20分/29分59秒 |

- ※1 60p:59.94コマ/秒(fps)、50p:50コマ/秒、30p:29.97コマ/秒、25p:25コマ/秒、 24p:23.976コマ/秒
- ※2 [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。
- ※3 DXベースの動画フォーマットの場合は、画像サイズを1280×720に設定して撮影したときの画質と同等になります。

【 [画像サイズ/フレームレート] について

[**画像サイズ/フレームレート**] の設定によっては、撮影した動画のノイズ(ざらつき、むら、輝点)の見え方が異なります。

// クロップについて

[画像サイズ/フレームレート] を [1920×1080 30p クロップ]、[1920×1080 25p クロップ]、[1920×1080 24p クロップ] のいずれかに設定すると、FXベースの動画フォーマット時の焦点距離の約2.7倍に相当する画角で撮影します。レンズを交換しなくても、望遠レンズで撮影したときと同様の効果があります。

- 液品干二ターに一次が表示されます。
- 測光モードはマルチパターン測光に固定されます。
- HDR (ハイダイナミックレンジ) (□186) 撮影はできません。

内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホン(□411)の感度の程度を設定します。

| マイク感度 オート(A) | カメラが自動的にマイク感度を調整します。 | |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| マイク感度 マニュアル | マイク感度を手動調整します。[1] ~ [20] の調整ができます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。 ************************************ | |
| 録音しない | 音声は記録しません。 | |



別売ステレオマイクロホンについて

別売ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続すると、ステレオ録音ができます。また、動画撮影中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの振動ノイズが録音されるのを低減できます(皿411)。

撮影メニュー [動画の設定] の [マイク感度] を [録音 しない] にして撮影した動画の場合、1コマ表示モード 時と再生中に図(音声なしマーク)が表示されます。



嘌

■■ 録音帯域

内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホン (叫411)の周波数特性を設定します。



₩WIDE 広帯域

低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめきの 録音など、幅広いシーンに適しています。

™Yolce 音声帯域

主に人の声を録音したいときに適しています。

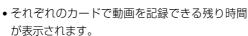
■ 風切り音低減

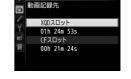
[**する**] を選ぶと、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。

 別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で [風切り音 低減] を [する] に設定しても風切り音は低減されません。ステレオマ イクロホン側で設定してください。

■■ 動画記録先

メモリーカードを2枚使用している場合に動画を 記録するスロットを設定します。





- 選んだ動画記録先のメモリーカードの残量がなくなると、撮影は自動的 に終了します。
- 動画ライブビュー時に撮影した静止画(□68)は、撮影メニューの [主 スロットの選択](□95)で選んだスロットに記録されます。

■■動画ISO感度設定



| Mモード時の | 露出モードMでの動画撮影時のISO感度(200~Hi 4)を設定で |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ISO感度設定 | きます。 |
| Mモード時の 感度自動制御 | [する] を選ぶと、露出モードがMのときもカメラが自動的に動画撮影時のISO感度を変更します。[しない] を選ぶと、露出モードがMのときに、[Mモード時のISO感度設定] で設定したISO感度に固定されます。 ・露出モードがM以外の場合は常に感度自動制御が動作します。 |
| 制御上限感度 | 感度自動制御するときに ISO 感度が高くなりすぎないように、 上限感度 (400~Hi 4) を設定できます。ISO感度の下限は200 になります。 露出モードが P、5、または Aの場合と、露出モード Aで [M モード時の感度自動制御] が [する] の場合は、ここで設定した感度が自動制御の上限になります。 |

☑ 感度自動制御についてのご注意

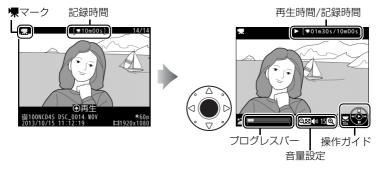
- ISO感度が上がると、被写体によっては、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が 発生することがあります。
- ISO感度が上がると、ピントが合いにくくなることがあります。
- 上記の現象が発生する場合は、[動画 ISO 感度設定] の [制御上限感度] を下げて撮影してください。

県

県

動画の再生

1コマ表示モード(□235)で**県**マークが表示されている画像が動画です。マルチセレクターの**中央**ボタンを押して動画を再生します(プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます)。



■■動画再生中の操作方法

| 一時停止する | | マルチセレクターの▼を押すと一時停止し ます。 | |
|------------------|--|----------------------------------------------------|--|
| 再生を再開する | | 一時停止中または早送り/巻き戻し中に 中央 ボタンを押すと動画再生を再開します。 | |
| 巻き戻しする/ 早送りする | | 動画の再生中に | |

| コマ戻しする/ コマ送りする | | ・一時停止中に◀または▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。・◀ または ▶ を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。 |
|-------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10秒進める/ 10秒戻す | | メインコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。 |
| インデックス マークに 移動する | | 動画撮影時に設定したインデックスマーク に移動するには、サブコマンドダイヤルを回 します。サブコマンドダイヤルを回すと、前 後のインデックスマークに移動します。 |
| 先頭フレームに 移動する/最終 フレームに移動 する | | 動画にインデックスマークがない場合にサブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。 |
| 音量を調節する | ⊕ / ⊝⊠ | ♥ボタンを押すと音量が大きくなり、 ンを押すと小さくなります。 |
| 動画を編集する | ⊗ | 一時停止中に⊗ボタンを押すと、[動画編集] 画面を表示します(Ώ79)。 |
| 再生終了 | | ▲または ▶ ボタンを押すと1コマ表示モードに戻ります。 |
| | | |

∅ インデックスマーク

撮影に戻る

インデックスマークが設定された動画(□63)の場合、 1コマ表示画面に

マークが表示されます。



シャッターボタンを半押しすると液晶モニ

ターが消灯し、すぐに撮影できます。

動画の編集

撮影した動画を編集できます。

| □ 始点/終点の設定 | 動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選 択した範囲だけを残します。 |
|-------------|-------------------------------------------|
| △ 選択フレームの保存 | 選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として 保存します。 |

動画の必要な部分を残す

1 1コマ表示モード(□235)で編集したい動画を表示する

切り取りたい位置で動画を 一時停止する

- 中央ボタンを押すと、動画が再生されます。再生中にマルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。



- プログレスバーで再生中の位置 の日安を確認できます。
- ■または▶、メインコマンドダイヤル、サブコマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。

3 [始点/終点の設定] を選ぶ

● 図ボタンを押して、[始点/終 点の設定] を選んで ▶ を押 します。



om om ボタン



4 始点または終点を選ぶ

「始点」を選んで®ボタンを押すと、選んだ 始点より後ろの部分が残ります。







• [終点] を選んで**の**ボタンを押すと、選んだ終点より前の部分が残 ります。

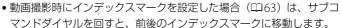


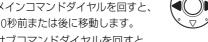


5 切り取りたい位置を調整する

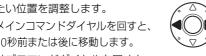
6 ▲を押して決定する

- たい位置を調整します。
- メインコマンドダイヤルを回すと、 10秒前または後に移動します。
- サブコマンドダイヤルを回すと、 先頭フレームまたは最終フレームに移動します。













• [プレビュー] を選んで®ボタンを押すと、編集後の動画のプレビューが再生されます(プレビューを終了するには▲を押します)。





• [キャンセル] を選んで∞ボタンを押すと、手順5の画面に戻ります。

8 動画ファイルの保存方法を選ぶ

• [新規保存] を選ぶと、編集前の動画とは別に、 新しい動画として保存します。[上書き保存] を選ぶと、編集前の画像が上書きされます。



9 動画ファイルを保存する

● Mボタンを押して決定します。



▼ 動画編集時のご注意

- メモリーカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- [始点/終点の設定] では、2秒未満の動画は編集できません。
- 動画編集で作成した動画の日時情報は、撮影時の日時になります。

// 動画の前後を切り取るには

手順5の画面で、◆n(匹/?) ボタンを押すと、¶(始点)または (終点)を切り換えられ、一度の操作で動画の前後を切り取ることができます。





O¬¬ (☑>/**?**) ボタン

☑ 画像編集メニュー [動画編集]

動画編集は、メニュー操作でも行えます(□373)。



塛

動画の1フレームをJPEG画像として保存する

1 保存したい位置で動画を一時 停止する

動画の再牛中にマルチセレク ターの▼を押すと、一時停止し ます。





2 [選択フレームの保存] を 選ぶ

のボタンを押して、「選択フ レームの保存〕を選んで▶ を押します。





⊗ボタン

JPEG画像として保存したい フレームを決める

保存したいフレームを選んで▲ を押します。





4 JPEG画像を作成する

「はい」を選んで@ボタンを押 すと、IPFGの画像として保存し ます。





[選択フレームの保存]で作成した画像について

- 画質モード「FINE」(□89) の JPFG画像を作成します。
- 画像編集はできません。
- 再生時の画像情報(□238)で表示されない項目があります。

画像の記録

撮像範囲を変更する

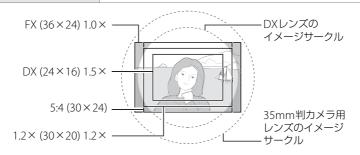
撮像範囲を切り換えて撮影できます。

■ 撮像範囲設定

このカメラで設定できる撮像範囲は次の通りです。撮像範囲は、撮影メニューの[**撮像範囲**] の[**撮像範囲設定**] で設定するか(四86)、**Fn**ボタンとコマンドダイヤルで設定します(四87)。

FX (36 × 24) 35mm判力メラに進じた画角のFXフォーマット (360 ×

| [FA] 1 7 | (30 . 21) | 55 |
|---------------------|-------------|--------------------------------------|
| 1. | 0× (FX | 23.9 mm) で画像を記録します。35mm判カメラ用のニッ |
| フ | ォーマット) | コールレンズを装着して撮影するときに設定します。 |
| 1.2x 1. | 2×(30 × 20) | 29.9 × 19.9 mmで画像を記録します。レンズに表記されてい |
| 1. | 2× | る焦点距離の約1.2倍のレンズに相当する画角になります。 |
| | X (24 × 16) | DXフォーマット (23.4 × 15.5 mm) で画像を記録します。 |
| 1. | 5× (DX | レンズに表記されている焦点距離の約1.5倍のレンズに相 |
| フ | ォーマット) | 当する画角になります。 |
| 15:4H E. | 4 (30 × 24) | アスペクト比(縦横比)が5:4 (29.9 × 23.9 mm) の画 |
| 10-11 3.4 (30 × 24) | | 像を記録します。 |



■ DX自動切り換え

撮影メニュー [**撮像範囲**] の [**DX自動切り換え**] では、DXレンズを装着したときに自動的に撮像範囲を [**DX (24×16) 1.5×**] (DXフォーマット) に切り換えるかどうかを設定できます。



| する | DXレンズを装着すると、自動的に撮像範囲を [DX (24×16) 1.5×] に切り換えます。 |
|-----|--------------------------------------------------------------|
| しない | 自動的に切り換えません。 |

▼「ケラレ」について

DXレンズは通常の35mm判カメラ用レンズに比べ、イメージサークルが小さくなっています。このため、DXレンズを装着して [DX自動切り換え] を [しない] に設定して [撮像範囲設定] を [FX (36 × 24) 1.0 ×] や [1.2 × (30 × 20) 1.2 ×]、[5:4 (30 × 24)] にして撮影すると、画面周辺部が黒くなることがあります。これを「ケラレ」といいます。ファインダー上ではケラレがないように見えても、撮影した画像を再生すると周辺部が暗くなっていることや、充分な解像度が得られないことがあります。

☑ ファインダーの表示について

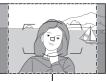
撮像範囲が [1.2×(30×20) 1.2×]、[DX (24×16) 1.5×]、[5:4 (30×24)] のと きは、下図のように表示します。記録されない部分は薄暗く表示されます。







DX (24×16) 1.5×



 $5:4 (30 \times 24)$

/ 撮像範囲の表示について

撮像範囲は、インフォ画面に表示されます。





■ 撮影メニューの [撮像範囲] で設定する場合

1 撮影メニューの [撮像 範囲] を選ぶ

 MENUボタンを押して、撮影 メニューの [撮像範囲] を 選んでマルチセレクターの
 ▶を押すと、[撮像範囲] 画面が表示されます。

MENUボタン





2 [撮像範囲設定] を選ぶ

• [**撮像範囲設定**] を選んで▶を押すと、[撮像範囲設定] 画面が表示されます。





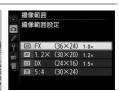
(#

3 設定したい撮像範囲を 選ぶ

- 設定したい撮像範囲を選んで、で、※ボタンを押します。
- 設定に応じた撮像範囲が ファインダー内で確認できます(¹085)。







■ Fnボタンとコマンドダイヤルで設定する場合

- **1** カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] の [コマンドダイヤル併用時の動作] (□336) を [撮像範囲選択] に設定する
 - Fnボタンとコマンドダイヤルの組み合わせに対して、撮像範囲の選択機能が割り当てられます。
- 2 Fnボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルを回す

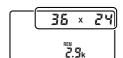




Fnボタン

メインコマン ダイヤル

- 設定に応じた撮影範囲がファインダー内で確認できます(□85)。
- Fn ボタンを押すと、上面表示パネルやインフォ 画面で撮像範囲の設定を確認できます。



| 撮像範囲 | 表示 |
|------------------------------|---------|
| FX (36 × 24) 1.0× (FXフォーマット) | 36 × 24 |
| 1.2× (30 × 20) 1.2× | 30 × 20 |
| DX (24 × 16) 1.5× (DXフォーマット) | 24 × 16 |
| 5:4 (30 × 24) | 30 × 24 |

☑ 撮像範囲の切り換えについて

撮像範囲の [**DX自動切り換え**] を [する] (□84) に設定してDXレンズを装着して いる場合、Fnボタンでは撮像範囲は切り換えられません。

// 撮像範囲を変更したときの画像サイズについて

同じ画像サイズに設定した場合でも、「撮像範囲」の設定により、撮影画像のピクセル 数が変化します。

☑ 関連ページ

- 「動画ライブビュー時の撮像範囲」(□67)
- **Pv**ボタンで撮像範囲を切り換える → **/** f4 [プレビューボタンの機能] (□337)
- サブセレクターの中央を押して撮像範囲を切り換える → ✔ f6 [サブセレクター中 **央押しの機能**] (□338)
- 動画撮影ボタンで撮像範囲を切り換える → **/** f16 [**動画撮影ボタンの機能**] $(\Box 346)$
- ●「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(□1465)

画質モードを変更する

■■ 画質モードについて

画像を記録する際の画質モードを選びます。

| 画質モード | | ファイル形式 | 内容 | |
|-----------------------------|----------|---------------|-------------------------------------------------------------------|--|
| RAW | RAW | | 撮像素子の生データを未現像の状態で記録します。撮影時に設定したホワイトバランスや コントラストなどを、撮影後に変更できます。 | |
| TIFF (RGB) | | TIFF (RGB) | 画像を8ビット非圧縮のTIFF-RGB形式で記録します。多くの画像アプリケーションで使用できます。 | |
| FINE | 高 | | 画像データを約1/4に圧縮して記録します(サイズ優先時)。 | |
| NORMAL | 画質 | JPEG | 画像データを約1/8に圧縮して記録します(サイズ優先時)。 | |
| BASIC | 低 | | 画像データを約1/16に圧縮して記録します(サイズ優先時)。 | |
| RAW+F | RAW+FINE | | RAWとJPEG (FINE) の2種類の画像を同時に記録します。 | |
| RAW+ NORMAL RAW+BASIC | | NEF + JPEG | RAWとJPEG (NORMAL) の2種類の画像を同時に記録します。 | |
| | | | RAWとJPEG(BASIC)の2種類の画像を同時に記録します。 | |

☑ 関連ページ

「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(□465)

■■ 画質モードの設定方法

QUALボタンを押しながら、 メインコマンドダイヤルを回す

● 画質モードは、背面表示パネルに 表示されます。





€:-

I RAW画像について

現像には画像編集メニューの [RAW 現像] (C)384)、または付属のソフトウェア ViewNX 2や別売のCapture NX 2(口410)を使います。ViewNX 2は付属のViewNX 2 CD-ROMを使ってインストールできます。

②[画質モード] について

画質モードは撮影メニュー(□293)でも設定できます。



✓ RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- 画質モード [RAW+FINE]、[RAW+NORMAL]、[RAW+BASIC] で撮影したと き、カメラではJPFG画像のみを再生します。メモリーカードを1枚使用している場 合、JPFG画像と同時記録されたRAW画像はパソコンでのみ再生できます。
- メモリーカードを1枚使用している場合や、メモリーカードを2枚使用していても「副 **スロットの機能**](□95)が「**順次記録**]または「**バックアップ記録**]の場合、RAW 画像と同時記録されたJPFG画像をカメラトで削除すると、RAW画像も削除されます。
- 「副スロットの機能」を「RAW+JPEG 分割記録」に設定してメモリーカードを2枚 使用している場合、「**主スロットの選択**](□95)で選んだ主スロットにRAW画像 が、もう一方のスロット(副スロット)にJPEG画像が記録されます。RAW画像と 同時記録されたJPEG画像をカメラ上で削除しても、RAW画像は削除されません。

■■ JPEG画像の圧縮方式を選ぶ

MENUボタンを押して、撮影メニュー [JPEG/TIFF記録] で [JPEG圧縮] を選んで、画質モードがJPEG (FINE)、JPEG (NORMAL)、JPEG (BASIC) の画像を記録するときの圧縮方式を設定します。

| *** | サイズ優先 | ファイルサイズがほぼ一定になるように圧縮します。 |
|-----|-------|-------------------------------------|
| ** | 間省場先 | 画質の劣化を抑えて圧縮します。画像によってファイルサイズは異なります。 |

■■ RAW画像の圧縮方式を選ぶ

MENUボタンを押して、撮影メニュー [RAW記録] で [RAW圧縮] を選んで、RAW画像の記録時の圧縮方式を設定します。

| UN <u>1</u> ロスレス 圧縮RAW | 可逆圧縮します(データを完全に復元できます)。[非圧縮 RAW] に対してファイルサイズが約60〜80%になります。記録した画像は[非圧縮RAW]と同等の画質になります。 |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ON望 圧縮RAW | 非可逆圧縮します(データは完全には復元できません)。[非 圧縮RAW]に対してファイルサイズが約45~65%になります。非可逆圧縮ですが、記録した画像は[非圧縮RAW]と ほぼ同等の画質になります。 |
| 非圧縮RAW | 圧縮しないため、[ロスレス圧縮RAW] や [圧縮RAW] に 比べ、ファイルサイズが大きくなります。 |

■ RAW画像の記録ビット数を選ぶ

MENUボタンを押して、撮影メニュー [RAW記録] で [記録ビットモード] を選んで、RAW画像の記録ビット数を設定します。

| 12-bit 12ビット記録 | RAW画像を12ビットで記録します。 | | |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 14-bit 14ビット記録 | RAW画像を14ビットで記録します。[12ビット記録] の場合よりもさらに豊かな階調表現になります。画像のファイルサイズは [12ビット記録] よりも大きくなります。 | | |

☑ 関連ページ

撮影メニュー [JPEG/TIFF記録] の [画像サイズ] と [RAW記録] の [画像サイズ] については¹¹92、94をご覧ください。

画像サイズを変更する

JPEG画像とTIFF画像の場合、画像のサイズ (大きさ) を [サイズ L]、[サイズ M] 、[サイズ S] のいずれかに設定できます。RAW画像の場合は [サイズ L] または [サイズ S] に設定できます。画像サイズは撮像範囲 との組み合わせで変わります (\square 83)。

| 撮像範囲 | 画像サイズ | プリント時の大きさ (出力解像度300dpiの場合) ** | |
|------------------------|--------------------------|----------------------------------|--|
| FV (26 × 24) | L (4928×3280ピクセル) | 約41.7× 27.8 cm | |
| FX (36 × 24) 1.0× | M (3696×2456ピクセル) | 約31.3× 20.8 cm | |
| 1.0 | S (2464×1640ピクセル) | 約20.9× 13.9 cm | |
| 1.2 × (20 × 20) | L (4096×2720ピクセル) | 約34.7× 23.0 cm | |
| 1.2× (30 × 20) 1.2× | M (3072×2040ピクセル) | 約26.0× 17.3 cm | |
| 1.2. | S (2048×1360ピクセル) | 約17.3× 11.5 cm | |
| DV (24 × 16) | L (3200×2128ピクセル) | 約27.1× 18.0 cm | |
| DX (24 × 16) 1.5 × | M (2400×1592ピクセル) | 約20.3× 13.5 cm | |
| 1.5 | S (1600×1064ピクセル) | 約13.5× 9.0 cm | |
| | L (4096×3280ピクセル) | 約34.7× 27.8 cm | |
| 5:4 (30 × 24) | M (3072×2456ピクセル) | 約26.0× 20.8 cm | |
| | S (2048×1640ピクセル) | 約17.3× 13.9 cm | |

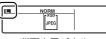
[※] ピクセル数÷出力解像度 (dpi) ×2.54 cmで計算しています。

■ JPEG画像とTIFF画像の画像サイズの設定方法

QUALボタンを押しながら、 サブコマンドダイヤルを回す

JPEG 画像と TIFF 画像の画像サイズは、背面表示パネルに表示されます。





背面表示パネル

☑ [JPEG/TIFF記録] の [画像サイズ] について

JPEG 画像とTIFF 画像の画像サイズは、撮影メニュー(口293) [**JPEG/TIFF 記録**] の [**画像サイズ**] でも設定できます。



■■ RAW画像の画像サイズの設定方法

MENU ボタンを押して、撮影メニュー [RAW記録] で [画像サイズ] を選ぶと、RAW画像を記録するときの画像サイズを [サイズ L] または [サイズ S] に設定できます。

- [サイズ S] で撮影した画像の ファイルサイズは、[サイズ L] のときの約1/2になります。
- [サイズ S] を選ぶと、背面表 示パネルにアスタリスク(*) が表示されます。

MENUボタン







背面表示パネル

✓ RAW画像の画像サイズについて

- QUALボタンとコマンドダイヤルの組み合わせでは、RAW画像の画像サイズは選べません。
- 画像サイズが「サイズS」の場合、[RAW記録]の [RAW圧縮](口91)は [非圧縮RAW]に、[記録ビットモード](口91)は [12ビット記録]に固定されます。
- [サイズS] で撮影したRAW画像は、画像編集メニュー(□373) で編集できません。

2枚のメモリーカードに記録する

(主スロットの選択、副スロットの機能)

このカメラは、XQDカードとCFカードを同時に使うことができます。このとき、優先的に使うスロット(主スロット)を選んだり、もう一方のスロット(副スロット)の機能を設定できます。

■■ 優先的に使うスロットを決める

MENUボタンを押して、撮影メニュー [主スロットの選択] を選んで、撮影時や再生時に優先的に使うスロットを設定します。

| XQDスロット | XQDカードを優先的に使うときに選びます。 |
|---------|-----------------------|
| CFスロット | CFカードを優先的に使うときに選びます。 |

■■副スロットの機能

MENUボタンを押して、撮影メニュー [**副スロットの機能**] を選んで、副スロットへの記録方法を設定します。

| □▶□ 順次記録 | 主スロットから優先的に記録し、主スロットの空き容量が なくなったら、記録先を副スロットに変更します。 |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| []+[] バックアップ 記録 | バックアップ用として同じ画像を主スロット、副スロット に記録します。 |
| R劍+Ü RAW+JPEG 分割記録 | 「画質モード」が [RAW + FINE]、[RAW + NORMAL]、または [RAW + BASIC] の場合、主スロットにRAW画像、副スロットにJPEG画像を記録します。 その他の画質モードの場合は、同じ画像を主スロットと副スロットの両方に記録します。 |

☑ [バックアップ記録] と [RAW+JPEG分割記録] について

- 上面表示パネルとファインダー内下表示の記録可能コマ数には、記録可能コマ数が 少ないスロットのコマ数を表示します。
- どちらか一方のスロットの空き容量がなくなると、シャッターがきれなくなります。
- 音声メモ (□255) を録音した場合は、主スロットの画像に記録します。

🕖 動画を記録するスロットについて

撮影メニュー [**動画の設定**] の [**動画記録先**] で、記録するスロットを設定できます (¹¹(¹)。



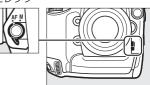
フォーカス

オートフォーカスで撮影する

フォーカスモードセレクターを**AF**に合わせると、オートフォーカスになります。ここでは、ファインダーを見ながら撮影するときの、オートフォーカスでのピントの合わせ方について説明しています。



静止している被写体の撮影に適しています。シャッ



AFモードを変更する

オートフォーカスでのピントの合わせ方を選びます。

| AF-S | シングル AFサーボ | ターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。ピントが合っていないときはシャッターはきれません。 • 初期設定はピントが合うとシャッターがきれるフォーカス優先モードです(口308)。 |
|------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AF-C | コンティニュアス AFサーボ | ファインダー内のピント表示(●)がいったん点灯してもフォーカスロックはされず、シャッターをきるまでピントを合わせ続けるモードです。スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。シャッターボタンの半押しを続けると、被写体が動いている場合には予測駆動フォーカス(□99)に切り替わり、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。 • 初期設定ではピントの状態に関係なく、いつでもシャッターがきれるレリーズ優先モードです(□307)。 |

■■ AFモードの変更方法

AFモードボタンを押しながら、 メインコマンドダイヤルを回す

• AFモードは、上面表示パネルとファ インダー内下表示に表示されます。



ダイヤル

[L.()AF-S)

上面表示パネル



ファインダー内下表示

☑ 関連ページ

- AF-Cをフォーカス優先モードにする → **/** a1 [**AF-Cモード時の優先**] (□307)
- AF-Sをレリーズ優先モードにする → **/** a2 [**AF-Sモード時の優先**] (□308)
- 押しAFレンズ駆動] (CD 308)
- AFモードを [AF-S] または [AF-C] に固定する → a12 [AFモードの制限] (□314)
- サブコマンドダイヤルでAFモードを切り換えられるようにする → ✔ f 10[コマン ドダイヤルの設定] の [メインとサブの入れ換え] (□341)
- ライブビュー/動画撮影時のAFモードを設定する → 「AFモードを変更する」(□50)

ℳ AF-ONボタンについて

AF-ONボタンを押すと、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。縦位置シャッターボタンロックレバー(口41)を解除して縦位置AF-ONボタンを押したときも、同様の動作になります。



縦位置AF-ONボタン

√ 予測駆動フォーカスについて

ファインダー撮影時のAFモードが**AF-C**のときに、シャッターボタンを半押しするか、**AF-ON**ボタン(縦位置**AF-ON**ボタン)を押してピントを合わせる場合、被写体が近づいてきたり遠ざかっていくのをカメラが認識すると、自動的に予測駆動フォーカスに切り替わります。予測駆動フォーカスが作動すると、シャッターがきれる時点での到達位置を予測しながらピントを合わせ続けます。

オートフォーカスでピントを合わせるフォーカスポイントをカメラがど のように選ぶかを設定します。

| AFエリアモード | 内容 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シングル ポイントAF | フォーカスポイントを自分で選べます(口103)。選んだフォーカスポイントだけを使ってピント合わせをします。静止している被写体の撮影に適しています。 |
| ダイナミック AF・9点 | AFモードの AF-C (口97)との組み合わせで、撮影者が選んだ1つのフォーカスポイントから被写体が一時的に外れても、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を利用してピントを合わせます。 |
| ダイナミック AF・21点 | ダイナミックAF・9点:構図を決めて撮影するときや、被写体の動く方向が予測でき、フォーカスポイントで被写体を捉えやすい撮影に適しています(例:陸上競技やモータースポーツ)。 ダイナミックAF・21点: 動きが言いばしる アメリーにくしかに |
| ダイナミック AF・51点 | ダイナミックAF・21点:動きがランダムで予測しにくい被写体の撮影に適しています(例:フィールドスポーツ)。 ダイナミックAF・51点:被写体の動きが速く、選んだフォーカスポイントで被写体を捉えにくい場合の撮影に適しています(例:野鳥撮影)。 |
| 3D-トラッキング | AFモードのAF-C (口97) との組み合わせで、51点全てのフォーカスポイントを使って被写体を追尾する3D-トラッキングになります。選んだフォーカスポイントで被写体にピントを合わせると、シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせて、フォーカスポイントを自動的に切り換えて被写体にピントを合わせ続けます。左右に動く被写体を自由な構図で撮影するのに適しています(例:テニス)。 ・カメラが途中で被写体を見失ってしまった場合は、いったんシャッターボタンを放して、もう一度フォーカスポイントで被写体にピントを合わせてください。 |



撮影者が選んだフォーカスポイント(グループ)を使ってピン ト合わせをします。広い範囲で被写体を捉えるため、あやまっ て背景にピントが合ってしまうことが起こりにくくなります。 グループエリア 1つのフォーカスポイントでは捉えにくい被写体を撮影する場 ΑF 合に適しています。 • AFモードがAF-Sのときは、人物の顔を認識します。その場合 は、認識した顔を優先してピントを合わせます。 カメラが自動的に全てのフォーカス ポイントから被写体を判別してピン トを合わせます。また、人物の顔を認 識した場合は優先してピントを合わ オートエリア せます。 © P 125 /5.6™ 100 1/791 AF • AFモードが**AF-S**のときは、ピント が合ったフォーカスポイント全て を約1秒間表示します。AF-Cのときは、ピントが合った複数の フォーカスポイントを一瞬表示してから、主に使用するフォー

カスポイント1点を表示します。

■ AFエリアモードの変更方法

AFモードボタンを押しながら、 サブコマンドダイヤルを回す

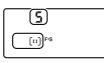
AFエリアモードは、上面表示パネル、ファインダー内下表示に表示されます。







サブコマンド ダイヤル



上面表示パネル



ファインダー内下表示

3D-トラッキングでは、半押ししていったんピントが合った時点で、選んだフォーカスポ イント周辺の色を記憶します。そのため、被写体の色が周囲の色と似ていたり、半押し 開始時の被写体が小さいと、うまく動作しない場合があります。

✓ マニュアルフォーカス時のAFエリアモードについて

AFエリアモードは自動的にシングルポイントAFになります。

AFエリアモードの表示について

上面表示パネルおよびファインダー内下表示の各AFエリアモードの表示は次のよう になります。

| AFエリア モード | 上面表示 パネル | ファインダー 内下表示 | AFエリア モード | 上面表示 パネル | ファインダー 内下表示 |
|-------------------|----------|----------------|---------------|-------------|----------------|
| シングル ポイントAF | 5 | . 5 | 3D- トラッキング | 36 | 34 |
| ダイナミック AF・9点※ | d 9 | . d 3 | グループエリア AF | GrP | GrP |
| ダイナミック AF・21点* | 421 | d2 1 | オートエリア AF | Ruto | Ruto |
| ダイナミック AF・51点* | d5 i | . d5 i | | | |

※実際にファインダーに表示されるフォーカスポイントは1点のみです。 ピント情報として利用する周辺のフォーカスポイントの数を選択できます。

∅ 関連ページ

- AFロックオンを解除する → **/** a3 [**AFロックオン**] (□308)
- ダイナミック AF 時やグループエリア AF 時のフォーカスポイントの見え方を変え る **→ /** a5 「フォーカスポイント表示] (□309)
- カメラの縦位置と横位置で個別にフォーカスポイントや AF エリアモードを設定す る → **/** a10 [**縦/横位置フォーカス切換**] (□313)
- 使用するAFエリアモードを限定する → **/** a11 [**AFエリアモードの限定**] (□ 314)
- メインコマンドダイヤルでAFエリアモードを切り換えられるようにする → ♪ f10 [コマンドダイヤルの設定] の [メインとサブの入れ換え] (□341)
- ライブビュー/動画撮影時のAFエリアモードを設定する → 「AFエリアモードを変 更する | (四51)

フォーカスポイントを自分で選ぶ

このカメラには、51カ所のフォーカスポイント(自動でピント合わせを行う領域)があります。フォーカスポイントを自分で選ぶことで、構図を自由に変えられます。

1 フォーカスポイントロックレ バーのロックを解除する

 フォーカスポイントロックレ バーを回して・に合わせ、ロックを解除すると、マルチセレクターでフォーカスポイントを選べるようになります。



フォーカスポイント ロックレバー

2 半押しタイマーがオンのときに、ファインダーをのぞきながらマルチセレクターでフォーカスポイントを選ぶ

- ファインダー内で、フォーカス ポイントが移動します。
- 中央ボタンを押すと、中央部の フォーカスポイントが選ばれます。
- フォーカスポイントロックレ バーをLの位置に回すと、フォー カスポイントをロック(固定) します。











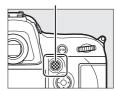


▼ オートエリアAFモードについて

AFエリアモードがオートエリアAFの場合、フォーカスポイントをカメラが自動的に 決めるため、自分ではフォーカスポイントを選べません。

- マルチセレクターの代わりにサブセレクターを上下左右に倒してフォーカスポイントを選ぶこともできます。
- サブセレクターの中央を押している間、AE ロック (四136) とフォーカスロック (四105) を同時に行います。
- サブセレクターを操作するときは、爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。

サブセレクター



// カメラを縦位置で構えるときは

カメラを縦位置で構えるときは、縦位置マルチセレクターを使ってフォーカスポイントを選ぶと便利です。カスタムメニュー f14 **[縦位置マルチセレクターの機能**]をご覧ください(四345)。

✓ サブセレクターと縦位置マルチセレクターの操作について

サブセレクターと縦位置マルチセレクターは、**中央**を押す 操作に加え、右の図のように上下左右に倒して操作することもできます。側面から押すと、正しく動作しないことが あります。



☑ 関連ページ

- マルチセレクターで選べるフォーカスポイントの数を変える→ a7[AF点数切り 換え](□310)
- カメラの縦位置と横位置で個別にフォーカスポイントや AF エリアモードを設定する → ♪ a10 [縦/横位置フォーカス切換] (□313)
- マルチセレクターの中央ボタンを押したときの機能を変更する → f1 [中央ボタンの機能] (□330)

ピントを固定して撮影する(フォーカスロック)

ピントを合わせたい被写体がいずれのフォーカスポイントにも入らないときや、オートフォーカスが苦手な被写体(ロ107)を撮影するときには、次の手順でピントを固定(フォーカスロック)して撮影してください。フォーカスロックを行う前に、AFエリアモード(ロ100)をオートエリアAF以外に設定することをおすすめします。

1 ピントを合わせたい被写体 にフォーカスポイントを重 ね、シャッターボタンを半 押しする

ピントが合うと、ファインダー 内のピント表示(●)が点灯し ます。





2 ピントを固定する

AFモード(□ 97) が**AF-Cの**とき

シャッターボタンを半押ししたまま(①)、 サブセレクターの中央を押すと(②)、ピントが固定されます。サブセレクターの中央 を押している間は、シャッターボタンから 指を放しても、ピントと露出が固定されます。

サブセレクターの中央を押している間、 ファインダー内にはAE-Lマークが点灯します。 シャッターボタン



サブセレクター

● 125 FS.8 100 F

AFモードがAF-Sのとき

シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。サブセレクターの中央を押してピントを固定することもできます。

3 フォーカスロックを行ったままで構図を変え、シャッターボタンを全押しして撮影する

被写体との距離は変えないでください。フォーカスロック後に被写体との距離が変化した場合





は、いったんフォーカスロックを解除し、ピントを合わせ直してください。

カスタムメニュー c1 [**半押しAEロック**] を [**する**] に設定すると、シャッターボタンの半押しで露出を固定できます(口317)。

☑ ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後、シャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- サブセレクターの中央を押してフォーカスロックを行った場合は、サブセレクターの中央を押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

AF-ONボタンを使ったフォーカスロックについて

- シャッターボタンの代わりに **AF-ON** ボタンを押してピントを合わせることもできます (口99)。
- ファインダー撮影時にカスタムメニュー a4 [半押し AF レンズ駆動] (□308) が [しない] に設定されている場合は、AF-ONボタンを押したときだけピント合わせを 行い、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせません。このとき、AF-ONボタンでピントを合わせた後で AF-ONボタンから指を放してもフォーカスロックの状態を維持し、常にシャッターをきることができます(ただし、AFモードが AF-Sで AFエリアモードがシングルポイントAFのときにカスタムメニュー a2 [AF-Sモード時の優先] (□308) が [フォーカス] の場合は、ピントが合っていない状態では シャッターがきれません)。なお、AF-ONボタンを押してピントを合わせた場合、ファインダー内にはピント表示(●) は点灯しません。フォーカスロックを解除してピントを合わせ直すには、もう一度AF-ONボタンを押してください。

☑ 関連ページ

サブセレクターの中央を押したときの機能を変更する $\rightarrow /$ f6 [サブセレクター中央 押しの機能] (\square 338)

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッターがきれないことや、ピントが合わなくてもピント表示(●)が点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカス(□108)でピントを合わせるか、フォーカスロック(□105)を利用してください。



被写体の明暗差がはっきりしない場合

(白壁や背景と同色の服を着ている人物など)



フォーカスポイント内に遠くのものと近くのものが混在する 被写体

(オリの中の動物など)



連続した繰り返しパターンの被写体

(ビルの窓やブラインドなど)



被写体の明暗差が極端に異なる場合

(太陽を背景にした日陰の人物など)



背景に対して被写体が小さい場合

(遠くの建物を背景に近くの人物を撮影する場合など)



絵柄が細かい場合

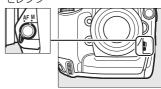
(一面の花畑など)

マニュアルフォーカスで撮影する

使用するレンズの種類によって、ピントを手動(マニュアル)で合わせるときの設定が異なります。各レンズでのマニュアルフォーカスの設定は次の通りです。

- **AF-Sレンズを使用している場合**:レンズのフォーカスモード切り換えス イッチを**M**にしてください。
- AFレンズを使用している場合: カメラのフォーカスモードセレク ターをMにしてください。レンズに フォーカスモード切り換えスイッ チがある場合は、レンズ側のフォー カスモードもMにしてください。
- マニュアルフォーカスレンズを使用する場合:カメラのフォーカスモードセレクターをMにしてください。

フォーカスモード セレクター



ピントは、レンズのフォーカスリングを回して、ファインダー内のメインの被写体がはっきり見えるように合わせます。



▼ AFレンズでマニュアルフォーカスをする場合のご注意

AFレンズでマニュアルフォーカスをする場合は、必ずカメラのフォーカスモードセレクターを**M**にしてください。フォーカスモードセレクターが**AF**のままマニュアルフォーカスをすると、カメラやレンズの故障の原因になります。

フォーカスエイドによるピント合わせ

マニュアルフォーカスで撮影するときは、ファインダー内のピント表示(●)でピントが合っているかどうかを確認できます。ピントが合っているかどうかの基準となるフォーカスポイントは51カ所から選べます。

- ピントが合うとピント表示(●)が表示されます(□42)。
- オートフォーカスの苦手な被写体(四107)では、ピントが合っていなくてもピント表示(●)が点灯することがありますので、ファインダースクリーンの像でピントが合っていることを確認してください。





別売のAF-S/AF-Iテレコンバーターを装着した場合のフォーカスエイドが可能なフォーカスポイントについては、「AF-S/AF-I テレコンバーター使用時のフォーカスポイントについて」(口404)をご覧ください。

距離基準マークについて

距離基準マーク → は撮影距離の基準となるマークで、カメラ内の撮像面の位置を示します。マニュアルフォーカスや接写などでカメラから被写体までの距離を実測する場合、このマークが基準となります。レンズ取り付け面(レンズマウント: □3)から撮像面までの寸法(フランジバック)は46.5mmです。



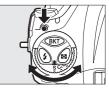
距離基準マーク→



レリーズモード

1コマ撮影や連続撮影、静音撮影など、レリーズモードを変更する

レリーズモードダイヤルロックボタンを押しながら、レリーズモードダイヤルを回すと、シャッターをきる (レリーズする) ときの動作を設定できます。



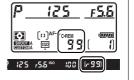
| レリーズモード | 内容 |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| S 1コマ撮影 | シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。 |
| C L 低速連続撮影 | シャッターボタンを全押ししている間、カスタムメニュー d2 [連続撮影速度] (四321) の [低速連続撮影] で設定した速度で連続撮影します (四112)。 |
| CH 高速連続撮影 | シャッターボタンを全押ししている間、カスタムメニュー d2 [連続撮影速度] (口321) の [高速連続撮影] で設定した速度で連続撮影します (口112)。動きのある被写体などに使用すると便利です。 |
| Q 静音撮影 | 1コマ撮影時より静かに撮影したい場合に適しています。静音撮影では、シャッターボタンを全押ししている間はミラーダウンしません。シャッターボタンを半押し状態に戻すとミラーダウンするため、ミラーダウン音のタイミングを遅らせることができます。また、ミラーダウンする音も1コマ撮影に比べ静かです。 ・静音撮影時には、カスタムメニューd1 [電子音設定](口320)の設定にかかわらず、電子音も鳴りません。 |
| 心 セルフタイマー撮影 | セルフタイマー撮影ができます(四114)。 |
| Mup ミラーアップ撮影 | カメラ本体のミラーアップを行い、撮影時にミラーアップの振動によるブレを防ぐことができます(四116)。超望遠撮影時や接写撮影時に効果的です。 |

連続撮影速度について

- **CL**時は、カスタムメニューd2 [連続撮影速度] の [低速連続撮影] (口321) で設定した速度で連続撮影できます。
- **CH**時の連続撮影速度は、カスタムメニューd2 [連続撮影速度] の [高速連続撮影] (□321) により、10コマ/秒または11コマ/秒に設定できます。
- 上記の連続撮影速度は、AFモードが**AF-C**、露出モード**5**または**M**、 1/250秒以上の高速シャッタースピードで、その他が初期設定のときの値です。次の場合などは連続撮影速度が遅くなることがあります。
 - シャッタースピードが低速の場合
 - 感度自動制御を [する] にして感度が自動制御されているとき (口119)
 - レンズの絞りを著しく絞り込んだ場合
 - VRレンズ使用時にレンズの手ブレ補正スイッチをONにしたとき
 - バッテリー残量が少ないとき
 - 一部のレンズを使用したとき
- 非CPUレンズ装着時およびカスタムメニューf10 [コマンドダイヤル **の設定**] の [**絞り値の設定方法**] を [**絞りリング**] に設定した場合 (□342)

必 連続撮影可能コマ数について

- シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能コマ数が上面表示パネルとファインダー内に表示されます。右図の場合、最低99コマ続けて撮影できることを示しています。
- 連続撮影は最大99コマまでできます。ただし、「「ロロ」 と表示されたとき、連続撮影速度が低下します。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、おおよその目安です。撮影条件によって増減することがあります。





▼ 連続撮影についてのご注意

- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、数十秒から1分間程度メモリーカードアクセスランプが点灯します。メモリーカードアクセスランプの点灯中にカメラからメモリーカードを取り出さないでください。データが消失するだけでなく、カメラとメモリーカードに不具合が生じるおそれがあります。
- メモリーカードアクセスランプ点灯中に電源をOFFにすると、撮影された全ての画像がメモリーカードに記録されてから電源が切れます。
- 連続撮影時にバッテリーの残量がなくなった場合は、撮影は行わず、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されて終了します。

☑ 関連ページ

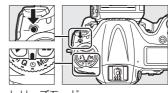
- 連続撮影時に撮影コマ数を制限する → **/** d3 [**連続撮影コマ数**] (□321)
- ●「記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数」(□465)



セルフタイマーによる撮影は記念写真など、撮影者自身も一緒に写りた いときなどに便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚などを使って力 メラを固定してください。

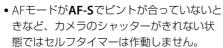
1 レリーズモードダイヤルを (さ) (セルフタイマー撮影) に 合わせる

レリーズモードダイヤルロック ボタンを押しながら、心に合わ せます。



レリーズモード ダイヤル

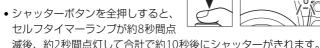
2 構図を決め、ピントを合わ せる







3 セルフタイマー撮影を開始 する







レリーズモードダイヤルを他のモードに切り換えると、セルフタイ マーは解除されます。

ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーから入った光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じることをおすすめします。



∅ 関連ページ

- セルフタイマー撮影時の電子音を設定する → ✔ d1 [電子音設定] (□320)

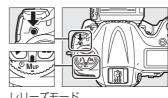


ミラーアップして撮影する (MUP)

ミラーアップ撮影すると、撮影時にミラーアップの振動によるブレを防ぐことができます。

1 レリーズモードダイヤルを MUP(ミラーアップ撮影) に合わせる

レリーズモードダイヤルロック ボタンを押しながら、Mupに合 わせます。



レリーズモード ダイヤル

2 構図と露出を決めて、シャッターボタンを全押しする

半押ししてピントを合わせた後、 シャッターボタンを全押しすると、 ミラーアップします。





3 撮影する

- もう一度シャッターボタンを全押しすると、 撮影できます。
- ブレを防ぐため、シャッターボタンは静かに 押してください。
- 撮影が終了すると、ミラーダウンします。



🕖 ミラーアップ中のご注意

- ファインダーで構図を確認できません。
- オートフォーカスと測光は使えません。

/ ミラーアップ撮影について

- 三脚の利用をおすすめします。
- ミラーアップ開始後約30秒経過すると、自動的にシャッターがきれます。

ISO感度

ISO感度を変更する

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度(ISO感度)を変更でき ます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピー ドで撮影できます(同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合)。ISO感度は ISO 100~25600の間で1/3段ステップで設定できます。また、ISO 100か ら約0.3段~約1段の範囲での減感と、ISO 25600から約0.3段~約4段の範 囲での増感ができます。

■■ ISO感度の設定方法

ISOボタンを押しながら、メイン コマンドダイヤルを回す

ISO感度は、上面表示パネル、背面 表示パネル、ファインダー内下表 示に表示されます。









背面表示パネル



✓ [ISO感度] について

ISO 感度は撮影メニュー (四293) の [**ISO 感度設定**] でも設定できます。



✓ ISO感度を高く設定した場合

ISO感度を高くするほど暗い場所での撮影や動いている被写体の撮影などに効果的です。ただし、撮影した画像に多少ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生する場合があります。

ISO感度を [**Hi 0.3**] に設定すると、ISO 25600に対して約0.3段分増感し(ISO 32000相当)、[**Hi 4**] では約4段分の増感になります(ISO 409600相当)。これらのISO感度に設定したときは、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生しやすくなります。

ISO感度を [Lo 0.3] に設定すると、ISO 100に対して約0.3段分減感します(ISO 80相当)。[Lo 1] では約1段分の減感になります(ISO 50相当)。明るい場所で絞りを開きたい場合などに使用してください。これらのISO感度で撮影した画像は、やや硬調な仕上がりになりますので、通常の撮影では「100」以上をお使いください。

∅ 関連ページ

- ISO感度の設定ステップ幅を変更する → **/** b1 [**ISO感度設定ステップ幅**] (□314)
- ・ 高感度撮影時のノイズを低減する → □ [高感度ノイズ低減] (□302)

感度自動制御機能を使う

感度自動制御機能は、設定したISO感度で適正露出が得られない場合に、 カメラが自動的にISO感度を変更する機能です。

■ 感度自動制御の設定方法

- 1 撮影メニューの「ISO感 度設定]で[感度自動 制御】を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影 メニューの「ISO感度設 定]で「感度自動制御]を 選んでマルチセレクターの ▶を押します。

MENUボタン





[する] を選ぶ

「する」を選んで®ボタン を押すと、カメラが自動的 にISO感度を変更するよう になります。フラッシュ撮 影時も、フラッシュの光量 が適正となるように感度自 動制御が機能します。





のボタン

「しない」を選ぶと、「ISO感度」で設定したISO感度に固定されます。

3 感度の制御方法を設定する

カメラが感度を自動的に制御する方法を選びます。

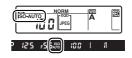




感度自動制御するときにISO感度が高くなりすぎないよう 制御 上限感度 に、上限感度(200~Hi 4)を設定できます。ISO感度の 下限は100になります。 露出モード PまたはAで感度自動制御が働き始める シャッタースピードを1/4000~30秒から設定できます。 また、「オート」に設定すると、レンズの焦点距離に応じ てシャッタースピードの低速限界をカメラが自動で設定 します(CPUレンズ装着時のみ)。例えば、望遠レンズ使 用時は手ブレが発生しやすくなるため、低速限界が自動的 に高速側に設定され、ブレを軽減できます。 低速限界設定 「オート」を選んで▶を押すと、補正値の設定画面が表示 されます。低速限界をカメラが自動で設定するときに、 より高速側または低速側になるように調整できます。 IS○感度を上欄の「制御上限感度」まで上げても露出不 足になる場合は、適正露出を得るために、低速限界設定 よりもさらにシャッタースピードが低速になります。

のボタンを押して設定します。

[感度自動制御]を「する」にすると、背面表示パネルとファインダー内下表示に、右のように表示されます。ISO-AUTO表示が点灯している場合は、[ISO感度]で設定した感度で撮影されます。感度が自動制御されるとISO-



AUTO表示が点滅し、制御されたISO感度が表示されます。

☑ 感度自動制御の設定について

ISOボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、背面表示パネルの感度自動制御アイコンが



ISO-AUTO (感度自動制御する) と**ISO** (感度自動制御しない) に切り替わります (□119)。

▼ 感度自動制御についてのご注意

- ISO 感度が高くなると、撮影した画像に多少ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生する場合があります。
- [**制御上限感度**] で設定したISO感度よりも [**ISO感度**] (平117) で設定したISO感度が高い場合、[**ISO感度**] で設定したISO感度を制御上限感度として撮影します。
- フラッシュ撮影時は、[低速限界設定]で設定したシャッタースピードよりも、カスタムメニューe1 [フラッシュ撮影同調速度](口326)で設定したシャッタースピードが優先されます。
- レンズ情報を登録していない非CPUレンズ使用時は、低速限界設定が1/30秒に固定されます。
- 別売スピードライト (口193) の装着時にフラッシュモードをスローシンクロに設定していても、背景の明るさがより適正となるように感度自動制御が機能して感度が自動的に上がり、シャッタースピードが低速にならないことがあります。

測光・露出

測光モードを設定する

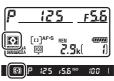
適正な露出を得るために、カメラが被写体の明るさを測ることを「測光」といいます。

| ② マルチパターン 測光 | ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い 領域を測光して、被写体の輝度(明るさ)分布、色、距離や構 図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画 像が得られます。 |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中央部重点測光 | 画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 ● 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。 ● 測光範囲はカスタムメニュー b6 [中央部重点測光範囲] (□316)で変更できますが、非CPUレンズ使用時は φ12mm相当になります。 |
| • スポット 測光 | フォーカスポイントに重なる φ4mm 相当 (全画面の約1.5%) の部分だけを測光します。逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして撮影したい場合に適しています。 • 測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、AFエリアモード (口100) がオートエリアAFのときや、非CPUレンズ使用時は、中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。 |

■■測光モードの設定方法

測光モードは、上面表示パネルと ファインダー内下表示に表示され ます。





☑ マルチパターン測光とレンズの組み合わせについて

測光モードがマルチパターン測光のときの測光方式は、レンズの種類によって変わります。

CPUレンズ

- 「**3D-RGBマルチパターン測光**工」:G、EまたはDタイプのCPUレンズ使用時の測 光方式です。距離情報を利用して測光します。
- 「RGBマルチパターン測光皿」: G、EまたはDタイプ以外のCPUレンズ使用時の測 光方式です。距離情報は利用しません。

非CPUレンズ

- セットアップメニューの [**レンズ情報手動設定**](□229)でレンズ情報を設定すると、「RGBマルチパターン測光」になります。レンズ情報を設定しない場合は、中央部重点測光になります。

∅ 関連ページ

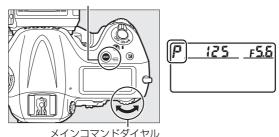
- マルチパターン測光時に顔検出をするかどうかを設定する → ♪ b5 [マルチパターン測光] (□316)
- 中央部重点測光の測光範囲を変更する → ♪ b6 [中央部重点測光範囲] (□316)
- 測光モードごとに適正露出の基準を決める → ♪ b7 [基準露出レベルの調節]
 (□317)

シャッタースピードや絞り値で露出 を設定する (露出モード)

MODE (🗝) ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、露出モードを設定できます。

• 上面表示パネルの露出モードのアイコンが切り替わります。





シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに プログラムオート 使います。シャッタースピードと絞り値の両方をカメラ (III 126) が自動制御します。 被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使いま シャッター優先 す。シャッタースピードを自分で設定し、絞り値はカメ オート (皿127) ラが自動制御します。 背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使いま ☆ 絞り優先オート す。絞り値を自分で設定し、シャッタースピードはカメ $(\Box 128)$ ラが自動制御します。 シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定しま マニュアル す。長時間露出 (バルブ、タイム) 撮影も、このモード $(\Box 129)$ で行います。

▼ 使用レンズについてのご注意

- ◆ CPUレンズ (G タイプ、Eタイプレンズを除く)の絞りリング (□403) は、必ず最小 絞り (一番大きい数値) にセットしてください。
- 露出モードが₽または5のときに非CPUレンズ(□404)を装着すると、露出モードを自動的に用に切り換えて制御します。このとき、上面表示パネルの₽または5が点滅して警告し、ファインダー内下表示に丹が点灯します。

P(プログラムオート)

被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変える「プログラムシフト」も行えます。

// プログラムシフトについて

露出モードPでは、カメラがシャッタースピードと絞り 値を決めますが、半押しタイマーがオンのときに次の方 法で「プログラムシフト」を行うと、適正露出のまま、 シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられ ます。プログラムシフト中は上面表示パネルにプログラ ムシフトマーク*が点灯します。

- 背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)場合や動き の速い被写体を撮影したい(速いシャッタースピード にする)場合には、メインコマンドダイヤルを右に回 してください。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい (絞り値を大きくする)場合や被写体の動きを強調したい(遅いシャッタースピードにする)場合には、メインコマンドダイヤルを左に回してください。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフト マーク★が消灯するまでメインコマンドダイヤルを回してください。電源をOFFに したり、他の露出モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されます。



- 「露出モードP(プログラムオート)のプログラム線図 (□437)
- •「半押しタイマーについて」(四44)



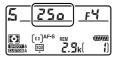
5(シャッター優先オート)

シャッタースピードを自分で決めると、露出が 適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決 定します。動きの速い被写体の撮影や、遅い シャッタースピードで被写体の動きを強調する 撮影に適しています。シャッタースピードは、半 押しタイマーがオンのときにメインコマンドダ イヤルを回して設定します。

- シャッタースピードは1/8000(8aaa)~30秒(3a'')、x 25aに設定できます。
- 設定したシャッタースピードはロックできます(口134)。



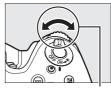
メインコマント ダイヤル



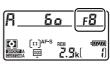
A(絞り優先オート)

絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。絞り値を設定するには、半押しタイマーがオンのときにサブコマンドダイヤルを回します。

- 設定できる最小絞り値、開放F値はレンズの種類によって異なります。
- 設定した絞り値はロックできます(□134)。



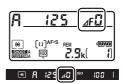
サブコマンドダイヤル



∅ 非CPUレンズを取り付けた場合

非CPUレンズを装着してセットアップメニューの [**レンズ情報手動設定**](立229)でレンズの開放絞り値(開放F値)を設定した場合は、上面表示パネルとファインダー内下表示に絞り値が表示されます。絞り値の設定は、レンズの絞りリングで行ってください。この場合、絞りリングによる中間絞りの設定は可能ですが、表示は1段単位になります。

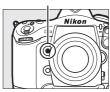
• 開放絞り値を設定しない場合は、上面表示パネルとファインダー内の絞り値表示が開放からの絞り段数表示(**AF**、開放絞りは**AF**(**2**) となりますので、絞り値の設定と確認は、レンズの絞りリングで行ってください。



❷ 被写界深度のプレビュー

Pvボタンを押し続けると、レンズの絞り羽根が絞り込まれます。この状態でファインダーをのぞくと、そのときの絞り値のおおよその被写界深度(ピントの合う前後の範囲)が確認できます。別売のニコンクリエイティブライティングシステム(四193)対応スピードライト使用時は、モデリング発光をします(四195)。モデリング発光をしないようにするには、カスタムメニューe5 [モデリング発光]を [しない] に設定してください(四328)。

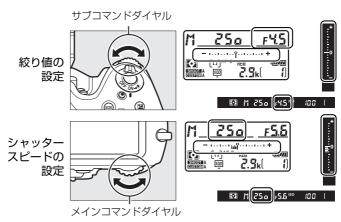




M(マニュアル)

シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出(バルブ撮影、タイム撮影、口131)で撮影する場合には、この露出モードを使います。半押しタイマーがオンのときに、露出インジケーターを確認しながら、コマンドダイヤルを回してシャッタースピードと絞り値を設定します。

- メインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピード表示が変化します。シャッタースピードは、1/8000(8000)~30秒(301) および もよら(バルブ)、--(タイム)、x 250に設定できます。
- サブコマンドダイヤルを回すと絞り値が変化します。
- ●設定できる最小絞り値、開放F値はレンズの種類によって異なります。
- 設定したシャッタースピードと絞り値はロックできます(皿134)。



✓ AFマイクロレンズ装着時の露出倍数について

AFマイクロレンズをカメラに装着して、外部露出計の測光値を参考に絞り値をサブコマンドダイヤルでセットする場合、露出倍数を考慮する必要はありません。レンズの絞りリングでセットする場合だけ、露出倍数を考慮した補正が必要になります。

☑ 露出インジケーターについて

自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が、上面表示パネルとファインダー内右表示に表示されます。この「露出インジケーター」の見方は次の通りです(表示内容はカスタムメニュー b2 [露出設定ステップ幅](口315)の設定によって変化します)。

| | [露出設定ステップ幅] が [1/3段] のとき | | | |
|-------------|----------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------|--|
| | 適正露出の場合 | ^{1/} 3段 アンダーの場合 | 3 ¹ / ₃ 段以上 オーバーの場合 | |
| 上面表示 パネル | | | = | |
| ファインダー内右表示 | ************************************** | *0 | *************************************** | |

光量がカメラの測光範囲を超えて露出の制御ができない場合や、ライブビューでの露出制御範囲を超えた場合には、露出インジケーターが点滅して警告します。

☑ 関連ページ

インジケーター表示の+/-方向を変更する → **/** f13 [インジケーターの+/-方向] (□345)

Ю

長時間露出で撮影する

(露出モード州のみ)

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火 や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに 使います。



シャッタースピードを35秒、 絞り値をF25にして撮影した場合の画像

バルブ撮影

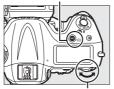
シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。

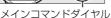
タイム撮影

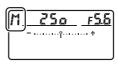
シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままになり、もう一度押すとシャッターが閉じます。

- 長時間露出撮影には、手ブレを抑えるために三脚、別売のワイヤレスリモートコントローラー (□408)、リモートコード (□410) などが必要です。
- **1** 三脚などを使ってカメラを固定する
- **2** MODE (🔤) ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回し、上面表示パネルにMを表示させる

MODE (FORMER) ボタン

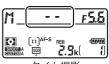






シャッタースピードをbulbまたは・・に設定すると、露出インジケーターは表示されません。





タイム撮影

4 ピントを合わせて、長時間露出撮影を開始する

バルブ撮影:

• シャッターボタンを全押しして、長時間露出撮影を開始します。 シャッターボタンは押し続けてください。

タイム撮影:

• シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、長時間露出撮影を開始します。

5 長時間露出撮影を終了する

バルブ撮影:

• シャッターボタンを放すと、長時間露出撮影は終了します。

タイム撮影:

- もう一度シャッターボタンを全押しします。
- シャッターが開いてから、ボタンを押さないまま30分経つと、シャッターが自動的に閉じて撮影を終了します。

0

√ 長時間露出について

- ファインダーから入った光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じることをおすすめします(口115)。
- 露光時間が長くなると、画像にノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生することがあります。このノイズは、あらかじめ撮影メニューの[長秒時ノイズ低減](口302)を「する]にしておくことで低減できます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、電源としてフル充電したLi-ionリチャージャブルバッテリー、または別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いいただくことをおすすめします。

シャッタースピードと絞り値をロック する

露出モード**5**ではシャッタースピードを、Aでは絞り値を、Aではシャッタースピードと絞り値のロックを設定できます。

• **P**では設定できません。

■ シャッタースピードと絞り値のロック方法

- 1 カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] (□332) の [コマンドダイヤル併用時の動作] を [シャッタースピードと絞り値のロック] に設定する (□336)
 - Fnボタンとコマンドダイヤルの組み合わせに対して、シャッタースピードと絞り値のロック機能が割り当てられます。
- 2 シャッタースピードまたは絞り値をロックする

シャッタースピードのロック:

露出モードSまたはMで、Fnボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回し、上面表示パネルとファインダー内下表示に■(シャッタースピードロック)マークを表示させます。







Fnボタン

メインコマンドダイヤル

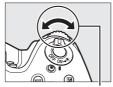
シャッタースピードのロックを解除する場合は、Fnボタンを押しなが らメインコマンドダイヤルを回し、■マークを消します。

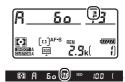
0

絞り値のロック:

露出モード骨または骨で、Fnボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回し、上面表示パネルとファインダー内下表示に■(絞り値のロック)マークを表示させます。







Fnボタン

サブコマンドダイヤル

絞り値のロックを解除する場合は、Fnボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを同し、■マークを消します。

∅ 関連ページ

- サブセレクターの中央を押してシャッタースピードと絞り値のロックを切り換える
 → f6 [サブセレクター中央押しの機能] (□338)

AEロックして露出を固定する

AE ロック撮影とは、被写体の特定の部分を測光して露出を決め、そのまま構図を変えて撮影する方法です。露出を合わせたい部分とその周囲とで、極端に明るさが異なる場合などに効果的です。

- 測光モードで中央部重点測光またはスポット測光を選ぶ (□ 123)
 - マルチパターン測光では、充分な効果が得られないため、おすすめできません。
- 2 露出を合わせたい部分にフォーカス ポイントを重ねてシャッターボタン を半押ししたまま、サブセレクター の中央を押して、露出を固定する
 - サブセレクターの中央を押している間は、 測光モードに応じた部分の露出で固定 (ロック) され、構図を変えても露出は変わりません。
 - ファインダー内下表示にAE-Lマークが点 灯します。
 - オートフォーカス撮影時はフォーカスロックも同時に行われますので、ピント表示
 - (●) の点灯も確認してください。

シャッターボタン



サブセレクター

• ₩₩₽ #25 «SS™



3 サブセレクターの中央を押したまま、構図を決めて撮影する





6

☑ 測光エリアについて

- スポット測光で、測光エリアとフォーカスポイントが連動する場合(□123)は、 選択中のフォーカスポイントの露出が記憶されます。
- 中央部重点測光に設定した場合は、ファインダー中央部(φ12mmの円内)を重点 的に測光した露出が記憶されます。

✓ AEロック中のカメラ操作について

サブセレクターの中央を押している間も次の操作ができます。

| 露出モード | 操作 | | |
|-------|----------------|--|--|
| Р | プログラムシフト(叫126) | | |
| 5 | シャッタースピードの変更 | | |
| A | 絞り値の変更 | | |

- 上面表示パネルやファインダー内下表示には、変更後のシャッタースピード、絞り値が表示されます。
- AEロック中は、測光モードは変更できません。

☑ 関連ページ

- シャッターボタンの半押しでAEロックできるようにする → c1 [半押しAEロック] (□317)
- サブセレクターの中央に別の機能を割り当てる → f6 [サブセレクター中央押しの機能] (□338)

露出補正して画像の明るさを 調整する

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。 画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。露出補正を 行うときは、測光モード(□123)を中央部重点測光またはスポット測 光に設定すると効果的です。







-1段補正

露出補正なし

+1段補正

■ 露出補正の設定方法

図ボタンを押しながら、メイン コマンドダイヤルを回す





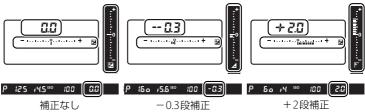
ダイヤル

- ・露出補正値は、上面表示パネルに 表示されます。
- 露出補正は、1/3段ステップで±5段の範囲で 設定できます。



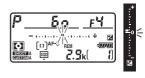
•

図ボタンを押すと、上面表示パネルとファインダー内表示で設定した補 正量を確認できます。



(**2**ボタンを押したとき)

補正量を設定すると、上面表示パネルとファインダー内右表示に露出補正マーク
 と露出補正インジケーターが表示され、露出モードが P、5、または Aの場合は [0] が点滅します。



- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正する のが基本です。
- 露出補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。

露出モードが**州**のときは、インジケーター表示が変わるだけで、設定したシャッタースピードと絞り値は変わりません。

☑ 別売スピードライト使用時の露出補正

別売スピードライト使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とスピードライトの発光量の両方に補正が行われ、画像全体の明るさが変わりますが、背景の明るさだけを補正することもできます(カスタムメニュー e4 [フラッシュ使用時の露出補正]、口328)。

☑ 関連ページ

- 露出補正のステップ幅を変更する → **♪** b3 [**露出・調光補正ステップ幅**] (□315)
- 図ボタンを使わずに露出補正する → 🌶 b4 [**露出補正簡易設定**] (□315)
- 露出補正値を変えながら撮影する → 「AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法」(□140)

オートブラケティングで露出や調光、 ホワイトバランス、アクティブD-ラ イティングを変えながら撮影する

明るさ(露出)、フラッシュの発光量、ホワイトバランス、アクティブD-ライティング(ADL)の設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。画像の明るさやフラッシュの発光量の調整が難しい場合や複数の光源が混在していてホワイトバランスを決めにくい場合の撮影に効果的です。

■■ AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮 影方法

露出値(AE)とフラッシュの発光量を変えながら撮影します。



補正なし



-1段補正



+1段補正

Q

☑ AEブラケティング、フラッシュブラケティングについて

[**AE・フラッシュブラケティング**] では、AEブラケティングとフラッシュブラケティングを同時に行います。AEブラケティングだけを行いたいときは [**AEブラケティング**] を、フラッシュブラケティングだけを行いたいときは [**フラッシュブラケティン**グ] を選びます。フラッシュブラケティングはi-TTL調光時および絞り連動外部自動調光時(別売の絞り連動外部自動調光対応スピードライト使用時のみ)に使用できます(口194、200)。

カスタムメニュー e6 [オートブラケティング のセット] で [AE・フ ラッシュブラケティン グ] を選ぶ

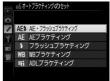
- MENUボタンを押して、カスタムメニューe6 [オートブラケティングのセット]で [AE・フラッシュブラケティング] を選んで⊗ボタンを押します。
- [AEブラケティング]、[フ ラッシュブラケティング] を選んだ場合も操作は同じ です。

MENUボタン









∞ボタン

2 撮影コマ数を設定する

• **BKT**ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、撮影コマ 数を設定できます。



• **②F**以外に設定すると、上面表示パネルとファインダー内右表示に**図**マークとオートブラケティングインジケーターが表示されます。



3 補正ステップを設定する

• **BKT** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、補正ステップを設定できます。



- 補正ステップは、露出設定ステップ幅が「1/3段」の場合、0.3 (1/3 段)、0.7 (2/3段)、1.0 (1段)、2.0 (2段)、3.0 (3段) から選ぶことができます。補正ステップを2.0または3.0に設定した場合、撮影コマ数は最大5枚です。手順2で撮影コマ数を7枚または9枚に設定していても、自動的に5枚に変更されます。
- 補正ステップが0.3のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

| オートブラケティング インジケーター | 撮影コマ数 | 撮影順序 |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------|-------------------|
| = 1 | 0 | 0 |
| | 3 | 0/+0.3/+0.7 |
| - · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 3 | 0/-0.7/-0.3 |
| | 2 | 0/+0.3 |
| - · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 2 | 0/-0.3 |
| - · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 3 | 0/-0.3/+0.3 |
| - · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 5 | 0/-0.7/-0.3/ |
| | | +0.3/+0.7 |
| 13 | 7 | 0/-1.0/-0.7/-0.3/ |
| 111111111111111111111111111111111111111 | | +0.3/+0.7/+1.0 |
| | | 0/-1.3/-1.0/-0.7/ |
| + | 9 | -0.3/+0.3/+0.7/ |
| | | +1.0/+1.3 |
| | インジケーター。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。 | インジケーター コマ数 |

4 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- シャッタースピードと絞り値は補正された値が表示されます。
- 上面表示パネルとファインダー内右表示には、オートブラケティングインジケーターが表示されます。撮影するたびに、コマ数を示す表示が、オートブラケティングインジケーター上から消えます。



撮影コマ数:3 補正ステップ:07 1コマ撮影した状態

 ◆ AEブラケティングと露出補正(□138)を同時に設定すると、両方の 補正値が加算されたAEブラケティング撮影が行えます。

☑ 関連ページ

- オートブラケティングの撮影順を変更する → **/** e8 [**BKTの順序**] (□330)

■ AE、フラッシュブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して上面表示パネルの撮影コマ数を**3** Fにしてください(**100** マークが消灯します)。ただし、設定した補正ステップは記憶されます。また、ツーボタンリセット(口209)でもブラケティングを解除できますが、この場合は設定した補正ステップもリセットされます。

✓ AE・フラッシュブラケティング、AEブラケティング、フラッシュブラケティング撮影について

- レリーズモード(口111)を CLまたは CHにセットして連続撮影する場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止し、シャッターボタンを押し直すと次の連続撮影が可能になります。
- セルフタイマー撮影時(四114)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー](四318)の [連続撮影間隔]で設定した撮影間隔で撮影します。ただし、c3の [撮影コマ数]で設定した撮影コマ数にかかわらず、四141の手順2で設定した撮影コマ数が1コマすつ撮影されます。
- 撮影中に電源をOFFにしても、もう一度ONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にメモリーカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある他のメモリーカードに交換すれば残りを撮影できます。

AEブラケティング

AEブラケティングでは、露出モードによって補正される内容(シャッタースピード、 絞り値)が異なります。

| 露出モード | 変化する内容 |
|-------|-------------------|
| Р | シャッタースピードと絞り値** 1 |
| 5 | 絞り値* ¹ |
| R | シャッタースピード※1 |
| М | シャッタースピード*2 |

- ※1撮影メニュー [ISO感度設定] の [感度自動制御] (□119) を [する] に設定し、かつ別売スピードライトを装着していない場合、まずISO感度を変化させ、ISO感度が制御範囲を超えた場合は、シャッタースピードや絞り値を変化させます。
- ※2 カスタムメニュー e7 [**BKT変化要素(Mモード)**] により変化する内容をシャッタースピードと絞り値の両方、絞り値のみ、あるいはフラッシュの調光量のみに変更できます(口329)。

■■ WBブラケティングの撮影方法

ホワイトバランスの色温度を変えながら撮影します。ホワイトバランスについての説明は、□151をご覧ください。

1 カスタムメニュー e6 [オートブラケティングのセット] で [WBブラケティング] を選ぶ



2 撮影コマ数を設定する

BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、撮影コマ数を設定できます。



• **②F**以外に設定すると、上面表示パネルには、IMMINIマークとWB ブラケティングインジケーターが、ファインダー内右表示にはIMIマークが表示されます。



WBブラケティングの制限について

WBブラケティングは、RAWを含む画質モードでは使用できません。

3 補正ステップを設定する

• **BKT**ボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回すと補正ステップを設定できます。



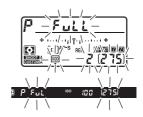
- 補正ステップは、1(1段)、2(2段)、3(3段)から選ぶことができます。
- ホワイトバランス補正ステップの1段は、約5ミレッドに相当します。A 方向に数が大きくなるごとにアンバーが強くなります。B方向に数が大き くなるごとにブルーが強くなります(□155)。
- 補正ステップが1のときの撮影コマ数と撮影順序は次の表の通りです。

| 上面表示パネル | WB ブラケティング インジケーター | 撮影コマ数 | 補正 ステップ | 撮影順序 |
|--------------|-----------------------------------------|-------|------------|-------------|
| OF 1 | ф | 0 | 1段 | 0 |
| 63F 1 | * · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 3 | B方向1段 | 0/B1/B2 |
| 83F 1 | + 1 | 3 | A方向1段 | 0/A2/A1 |
| 62F 1 | * · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 2 | B方向1段 | 0/B1 |
| 82F 1 | * · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 2 | A方向1段 | 0/A1 |
| 3F 1 | * · · · · · · · · ¡Ŷ¡ · · · · · · · * | 3 | 各方向1段 | 0/A1/B1 |
| EE (| * · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 5 | 各方向1段 | 0/A2/A1/ |
| 5 <i>F</i> / | | | | B1/B2 |
| 75 1 | * | 7 | 各方向1段 | 0/A3/A2/A1/ |
| 11- 1 | | | 口川川段 | B1/B2/B3 |
| | | | | 0/A4/A3/A2/ |
| 9F : | * * | 9 | 各方向1段 | A1/B1/B2/ |
| | | | | B3/B4 |

4 撮影する

- シャッターボタンを1回全押しすると、 設定した全てのコマ数の画像が記録されます。
- ホワイトバランスを微調整している場合 は、微調整値にWBブラケティングの補 正ステップが加算されます。
- WBブラケティングの撮影コマ数が記録可能コマ数より多い場合、上面表示パネルに**Full**が、ファインダー内下表示に**Ful**が右図のように点滅し、シャッターがきれません(上面表示パネルの残量のないメモリーカードのアイコンも点滅します)。新しいメモリーカードに交換すると撮影できます。





■■ WBブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して上面表示パネルの撮影コマ数を『Fにしてください(™™マークが消灯します)。ただし、設定した補正ステップは記憶されます。また、ツーボタンリセット(□209)でもブラケティングを解除できますが、この場合は設定した補正ステップもリセットされます。

WBブラケティング撮影について

- WBブラケティングでは、色温度(A(アンバー)からB(ブルー)への横方向)の 補正のみを行います(口155)。G(グリーン)からM(マゼンタ)への縦方向の補 正は行いません。
- 撮影中に電源をOFFにした場合、全てのコマの記録が終了してから電源が切れます。
- セルフタイマー撮影時(四114)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー]の[撮影コマ数](四318)で設定した撮影コマ数にかかわらず、四145の手順2で設定した撮影コマ数が全て記録されます。

∅ 関連ページ

「ミレッド (MIRED) について」(四156)

O

■ ADLブラケティングの撮影方法

アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影します。アクティブD-ライティングについての説明は、184をご覧ください。

1 カスタムメニュー e6 [オートブラケティングのセット] で [ADLブラケティング] を選ぶ



2 撮影コマ数を設定する

BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回すと撮影コマ数を設定できます。



- **②F**以外に設定すると、上面表示パネルには、**MM** MMマークとADLブラケティングインジケーターが、ファインダー内右表示にはMMマークが表示されます。
- 設定した撮影コマ数により、ブラケティングの内容が次のように異なります。

| 撮影コマ数 | ブラケティングの内容 | | |
|-------|--------------------------------------|--|--|
| 2コマ | [しない]→(手順3で設定するアクティブD-ライティングの度合い) | | |
| 3コマ | [しない] → [弱め] → [標準] | | |
| 4コマ | [しない] → [弱め] → [標準] → [強め] | | |
| 5コマ | [しない] → [弱め] → [標準] → [強め] → [より強め1] | | |
| | [弱め]→[標準]→[強め]→[より強め1]→[より強め2] | | |

• 撮影コマ数を3コマ以上に設定した場合は、手順4に進んでください。

3 アクティブD-ライティングの度合いを設定する

• **BKT**ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、撮影コマ数が2コマのときの2コマ目のアクティブD-ライティングの度合いを設定できます。



• アクティブD-ライティングの度合いは、上面表示パネルのADLブラケティングインジケーターで確認できます。

| アクティブ D-ライティン グの度合い | 上面表示パネル | アクティブ D-ライティン グの度合い | 上面表示パネル |
|---------------------------|----------|---------------------------|-------------------------------------------|
| 昭A オート | ### 2F | 駐H 強め | ### 25 (|
| 駐L弱め | - MAL 2F | 配H1 ^{より} 強め1 | ### 2F |
| 酤N 標準 | ### 2F | 配H2 ^{より} 強め2 | ### ### ### ### ### ### ### ### #### #### |

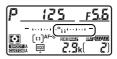
4 撮影する

- 設定した撮影コマ数を撮影してください。
- 上面表示パネルには、ADLブラケティングインジケーターが表示されます。撮影するたびに、コマ数を示す表示が、ADLブラケティングインジケーター上から消えます。





撮影コマ数:3



1コマ撮影した状態

■ ADLブラケティング撮影をやめるには

BKTボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して上面表示パネルの撮影コマ数を (Fにしてください (MM MM マークが消灯します)。ただし、設定したアクティブD-ライティングの度合いは記憶されます。また、ツーボタンリセット (四209) でもブラケティングを解除できますが、この場合は設定したアクティブD-ライティングの度合いもリセットされます。

✓ ADLブラケティング撮影について

- レリーズモード(口111)を CLまたは CHにセットして連続撮影する場合、シャッターボタンを押し続けると、セットしたコマ数の撮影が終了した時点でいったん停止し、シャッターボタンを押し直すと次の連続撮影が可能になります。
- セルフタイマー撮影時(口114)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー](口318)の [連続撮影間隔]で設定した撮影間隔で 撮影します。ただし、c3の [撮影コマ数]で設定した撮影コマ数にかかわらず、口148の手順2で設定した撮影コマ数が1コマずつ撮影されます。
- 撮影中に電源をOFFにしても、もう一度ONにすれば撮影を再開できます。
- 撮影中にメモリーカードのメモリー残量がなくなっても、メモリー残量のある他の メモリーカードに交換すれば残りを撮影できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを変更する

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定のAUTO(オート)でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

| ホワイトバランス | | 設定される 色温度 | 内容 |
|------------|------------|--------------|-------------------------|
| AUTO オート | | | AUTO (オート) で充分な効果を得るには、 |
| | AUTO1 標準 | | G、EまたはDタイプレンズをお使いになる |
| | | 約3500~ | ことをおすすめします。また、別売のスピー |
| | AUTO2 | 8000K* | ドライトの使用時は、フラッシュ発光時の |
| | 電球色を残す | | 条件に応じて適したホワイトバランスに調 |
| | | | 整されます。 |
| * 1 | 電球 | 約3000K* | 白熱電球下での撮影に適しています。 |
| | 並光灯 | _ | 蛍光灯など、次の7種類の光源を使った撮 |
| <i>™</i> | 出ノレトコ | _ | 影に適しています。 |
| | ナトリウム灯 | 約2700K* | 野球場、体育館などのナトリウム灯の混合 |
| | 混合光 | | 光を使った撮影に適しています。 |
| | 電球色蛍光灯 | 約3000K* | 電球色蛍光灯下での撮影に適しています。 |
| | 温白色蛍光灯 | 約3700K* | 温白色蛍光灯下での撮影に適しています。 |
| | 白色蛍光灯 | 約4200K* | 白色蛍光灯下での撮影に適しています。 |
| | 昼白色蛍光灯 | 約5000K* | 昼白色蛍光灯下での撮影に適しています。 |
| | 昼光色蛍光灯 | 約6500K※ | 昼光色蛍光灯下での撮影に適しています。 |
| 高色温度の | | 約7200K* | 高色温度の水銀灯などを使った撮影に適し |
| | 水銀灯 | ルジ/ 2001/14 | ています。 |
| ₩ 1 | 晴天 | 約5200K※ | 晴天の屋外での撮影に適しています。 |
| 4, - | フラッシュ | 約5400K* | 別売のスピードライトを使って撮影する場 |
| * . | <i></i> | ボリンサリリト本 | 合に適しています。 |

| ホワイトバランス | 設定される 色温度 | 内容 |
|--------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------|
| ▲ 曇天 | 約6000K* | 曇り空の屋外での撮影に適しています。 |
| ♠ 晴天日陰 | 約8000K* | 晴天の日陰での撮影に適しています。 |
| K 色温度設定 | 約2500~ 10000K | 色温度を直接指定できます(口157)。 |
| PRE プリセット マニュアル | _ | 撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、メモリーカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます(①160)。 |

[※]微調整が0の場合の値です。

■ ホワイトバランスの設定方法

WBボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

ホワイトバランスは、背面表示パネルに表示されます。





[ホワイトバランス] について

ホワイトバランスは撮影メニュー (CL)293) でも設定できます。



❷ AUTO (オート) について

AUTO (オート) の場合は、撮影メニューで [AUTO1標準] と [AUTO2電球色を残す] から選べます。[AUTO2電球色を残す] を選ぶと、電球色の光源下で撮影した際に瞬かみのある画像の仕上がりになります。

// ※ (蛍光灯) について

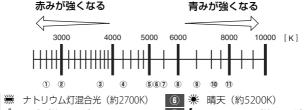
※(蛍光灯)の場合は、撮影メニュー(口293)で選んだ種類の蛍光灯になります。

▼ スタジオ用大型ストロボを使用する場合

スタジオ用大型ストロボを使用する場合は、AUTO(オート)に設定していても適正な ホワイトバランスが得られないことがあります。その場合は、4(フラッシュ)モード にして微調整を行うか、プリセットマニュアルをお使いください。

∅ 色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表 すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度(K:ケルビン) という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光 色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色になります。



- ★ 電球(約3000K)
 - 無 電球色蛍光灯(約3000K)
 - 溯 温白色蛍光灯(約3700K)
- ※ 白色蛍光灯(約4200K)
- ※ 昼白色蛍光灯(約5000K)
- フラッシュ(約5400K)
- ▲ 曇天 (約6000K)
- ⑨ ※ 昼光色蛍光灯(約6500K)
- (10 ※ 高色温度の水銀灯(約7200K)
- ▲ 晴天日陰(約8000K)

| 関連ページ

- ホワイトバランスを変えながら撮影する
- → de6 [オートブラケティングのセット] (□328)
- → 「WBブラケティングの撮影方法」(□145)

ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスは、さらに微調整できます。

■ 撮影メニューの [ホワイトバランス] で設定する場合

1 設定したいホワイトバランスを選ぶ

- MENUボタンを押して、撮影 メニューの [ホワイトバラ ンス] で設定したいホワイ トバランスを選びます。
- MENUボタン





- [色温度設定] 以外のホワ イトバランスを選んでマルチセレクターの▶を押すと、微調整画面が 表示されます。
- [オート] の場合は、[AUTO1 標準] または [AUTO2 電球色を残す] を選んで▶を押すと、微調整画面が表示されます。
- [蛍光灯] の場合は、該当する蛍光灯の種類を選んで▶を押すと、微調整画面が表示されます。
- [プリセットマニュアル] での微調整画面の表示方法については、「プリセットマニュアルデータの微調整について」(四169) をご覧ください。

2 微調整値を設定する

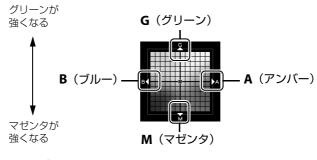
マルチセレクターを操作すると、 A (アンバー)、B (ブルー)、G (グリーン)、M (マゼンタ)の4 方向で微調整できます。設定した 座標上の色に画像を補正します。





ᄤ

• 座標とホワイトバランスの効果の関係は次の図のようになります。



ブルーが強くなる ◆ アンバーが強くなる

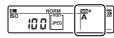
- A (アンバー)、B (ブルー) 方向は、色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。
- G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向は、色補正用 (CC) フィルター と同じような微調整を0.25段単位で行えます。1段は濃度約0.05に相当します。

3 微調整値を決定する

● Mボタンを押して微調整値を決定すると、 撮影メニューに戻ります。



ホワイトバランスを微調整すると、背面表示パネルにアスタリスク(*)が表示されます。



ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを 🖟 (電球)に設定してB (ブルー)方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。

■■ ホワイトバランスボタンとサブコマンドダイヤルで設定する場合

WBボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す

• ホワイトバランスの微調整値は、背面表示パネルに表示されます。



- **WB**ボタンとサブコマンドダイヤルで微調整する場合は、A (アンバー) からB (ブルー) への横軸の方向のみ設定できます (口155)。
- サブコマンドダイヤルを左に回すとA(アンバー)方向に、右に回すとB(ブルー)方向に色温度の高さを0.5段単位で微調整できます。1段は約5ミレッドに相当します。
- ◆ 微調整値を 0 以外に設定すると、背面表示パネルにアスタリスク(★) が表示されます。
- **WB**ボタンの操作では、**PRE**(プリセットマニュアル)のホワイトバランス は微調整できません。撮影メニューで微調整してください(□154)。

ᄱ

ℤ ミレッド (MIRED) について

色温度の逆数を百万(106)倍したものです。色温度は、同じ色温度差でも、色温度の低い場合では色の変化が大きく、色温度の高い場合では、色の変化が小さくなります。たとえば同じ1000ケルビンの違いでも6000ケルビン付近での変化は比較的小さく、3000ケルビン付近では1000ケルビンの違いで光色が大きく変わります。ミレッドは、その変化幅をほぼ同じに表現する尺度であり、色温度変換フィルターの単位としても利用されます。

例) 色温度の差(K:ケルビン):ミレッドの差(M:ミレッド)

4000K - 3000K = 1000 K : 83 M 7000K - 6000K = 1000 K : 24 M

色温度設定で色温度を指定する

ホワイトバランスを **【** (色温度設定) にしたときは、ホワイトバランス の色温度を直接数値で指定できます。

■ 撮影メニューの [ホワイトバランス] で設定する場合

A (アンバー)、B (ブルー) 方向とG (グリーン)、M (マゼンタ) 方向の両方の色温度 $(\Omega 155)$ を設定できます。

- 1 撮影メニューの [ホワ イトバランス] で [色 温度設定] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの [ホワイトバランス] で [色温度設定] を 選んでマルチセレクターの
 ▶を押します。

MENUボタン





- **2** A (アンバー)、B (ブルー) 方向の色温度を設定する
 - ◀または▶を押して色温度を 1桁ずつ選び、▲または▼を押 して数値を設定します。





A (アンバー)、 B (ブルー) 方向 の色温度

ᄱ

3 G (グリーン)、M (マゼン タ) 方向の色温度を設定する

◀または▶を押して、G(グリーン)、M(マゼンタ)方向の色温度にカーソルを移動し、▲または▼を押して数値を設定します。





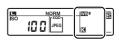
G (グリーン)、 M (マゼンタ) 方向 の色温度

4 色温度を決定する

• ❸ボタンを押して色温度を決定すると、撮影メニューに戻ります。



• G (グリーン)、M (マゼンタ) 方向の色温 度を0以外に設定すると、背面表示パネルに アスタリスク(*) が表示されます。

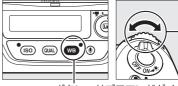




■ ボタン操作で色温度を設定する場合

WBボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す、またはマル チセレクターの**▲▼**◀▶を押す

• WB ボタンを押しながらサブ コマンドダイヤルを回すと、 色温度が切り替わります(ミ レッド単位、四156)。



WBボタン サブコマンドダイヤル

WB ボタンを押しながらマルチセレクターの ◀ ま たは▶を押すと、色温度を1桁ずつ選べます。▲ま たは▼を押すと選んだ桁の数値を設定できます (10ケルビン単位)。



- A (アンバー)、B (ブルー) 方向の色温度のみ設定 できます。
- 色温度は、背面表示パネルに表示されます。



背面表示パネル

▲ 色温度設定についてのご注意

- 光源が蛍光灯やフラッシュのときは、色温度設定を使わず、それぞれ ※(蛍光灯)、 4(フラッシュ)に設定してください。
- ホワイトバランスの色温度を指定したときは、試し撮りをして、設定した色温度が 撮影状況に適しているかどうかを確認することをおすすめします。

プリセットマニュアルで 基準となる白を設定する

プリセットマニュアルでは、撮影する照明下で取得したホワイトバランスデータまたは撮影済みの画像のプリセットマニュアルデータをカメラに保存し、ホワイトバランスを設定します。カクテル照明や特殊照明下で、前記のAUTO(オート)や魚(電球)などの各設定や、色温度設定では望ましいホワイトバランスが得られない場合に便利です。

最大6種類のプリセットマニュアルデータ(d-1~d-6)をカメラに保存できます。プリセットマニュアルデータを保存するには、次の方法があります。

| プリセットマニュアルデータを カメラで新規取得して保存する | 撮影する照明下で白またはグレーの被写体を基準にして撮影を行い、撮影データから取得して保存します(四161)。静止画ライブビュー(四47)または動画ライブビュー(四61)撮影時には、液晶モニターに表示中の被写体の一部分を選んでプリセットマニュアルデータを取得できます(スポットホワイトバランス、四165)。 |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 撮影済みの画像のホワイトバランス データをコピーして保存する | メモリーカードにある画像のホワイトバランスデータをコピーして保存します (¹ 168)。 |

使用するブリセットマニュアルデータの保存場所は、撮影メニュー(「A」~「D」)(口294)ごとに設定できます。ただし、各保存場所にあるブリセットマニュアルデータ(d-1~d-6)の内容は、全ての撮影メニューで共用しています。したがって他の撮影メニューで使用されているブリセットマニュアルデータの内容を変更すると、その撮影メニューのホワイトバランスも変更されることになります。他の撮影メニューで使用しているブリセットマニュアルデータの内容を変更しようとすると、液晶モニターに警告メッセージが表示されます。

ファインダー撮影時にプリセットマニュアル データを新規取得する

プリセットマニュアルデータを取得する前に:

- プリセットマニュアルデータを取得する場合は、あらかじめホワイトバランスをセットする照明下で、無彩色(白またはグレー)の被写体を用意しておいてください。スタジオ用大型ストロボにてホワイトバランスをセットする場合は、被写体をグレー(ホワイトバランス取得用の18%標準反射板)にすることをおすすめします。
- 無彩色(白またはグレー)の被写体を基準にプリセットマニュアルデータを取得するときは、カメラが露出を通常よりも1段オーバーになるように自動的に調整します。露出モードがパの場合は、露出インジケーターを確認して、適正露出になるよう設定してください(口130)。

1 WBボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、 背面表示パネルのホワイトバランス表示をPREに合わせる



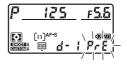
2 新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

WBボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、これから取得するプリセットマニュアルデータの保存場所をd-1~d-6の中から選びます。

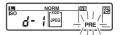


3 プリセットマニュアル取得モードにする

 いったんWBボタンから指を放し、再度 WBボタンを押し続けると、プリセット マニュアル取得モードになり、上面表示 パネルとファインダー内下表示にPr€の 文字が、背面表示パネルにPREが、それ ぞれ約6秒間点滅します。



上面表示パネル



背面表示パネル



ファインダー内下表示

4 Pr Eの点滅中に白またはグレーの被写体を撮影する

• 撮影時に使う照明の下で、用意した無彩色(白またはグレー)の被写体をファインダーいっぱいにとらえてシャッターボタンを全押しすると、プリセットマニュアルデータが取得され、手順2で選んだ保存場所に保存されます。



- ᄱ
- ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアルデータが正常に取得されます。
- シャッターボタンを押しても、メモリーカードに画像は記録されません。

5 正常にプリセットマニュアルデータが取得されたことを確認 する

プリセットマニュアルデータが取得され ると、上面表示パネルと背面表示パネルに 「このこの文字が、ファインダー内下表示 にるの文字が、それぞれ約6秒間点滅し、 プリセットマニュアル取得モードを終了 します。

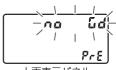


上面表示パネル





被写体が極端に低輝度または高輝度の場 合、カメラがプリセットマニュアルデー 夕を取得できないことがあります。この 場合、上面表示パネル、背面表示パネル、 ファインダー内下表示に 📭 🗓 🖒 の文字 が、それぞれ約6秒間点滅します。このと き、シャッターボタンを半押しするとプ リセットマニュアル取得モード(手順4) に戻ります。



上面表示パネル





☑ プリセットマニュアル取得モードの時間制限について (ファインダー撮影時)

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままカスタムメニュー c2 「**半押 しタイマー**](□317)で設定した時間が過ぎると解除されます。

次の場合は、プリセットマニュアルデータを取得できません。

- ◆ HDR (ハイダイナミックレンジ) 撮影時 (□186)
- 多重露出撮影時(□212)
- カスタムメニュー q4 [シャッターボタンの機能] が [動画撮影] のとき (□353)

プロテクト設定(\Box 171)されたプリセットマニュアルデータが選ばれている場合、プリセットマニュアルデータは新規取得できません(上面表示パネルとファインダー内下表示で $P_{\Gamma k}$ が、背面パネルで $O_{\Pi n}$ が点滅します)。

☑ プリセットマニュアルデータについて

- ご購入時のプリセットマニュアルデータ d-1 \sim d-6 は、晴天モードと同じ色温度 5200Kに設定されています。
- 撮影メニューから [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選ぶと、取得したプリセットマニュアルデータが右のように表示されます。マルチセレクターでプリセットマニュアルデータを選んで®ボタンを押すと、選んだプリセットマニュアルを使って撮影できます。



ЫR

<u>ライブビュー撮影時にスポットホワイトバラン</u> スでプリセットマニュアルデータを取得する

静止画ライブビュー(四47)または動画ライブビュー撮影時(四61)には、液晶モニターに表示されている被写体の一部分を選んでプリセットマニュアルデータを取得できます(スポットホワイトバランス)。被写体の一部に白、またはグレーの部分があれば、あらかじめプリセットマニュアル取得用の被写体を用意する必要はなく、望遠レンズ装着時にも、レンズを交換せずにそのままプリセットマニュアルデータを取得できます。

1 ロボタンを押す

ミラーアップしてライブビューを開始します。ファインダー内が暗くなり、液晶モニターに被写体が表示されます。



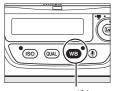
2 WBボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、 背面表示パネルのホワイトバランス表示をPREに合わせる





3 新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

WBボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、これから取得するプリセットマニュアルデータの保存場所をd-1~d-6の中から選びます。





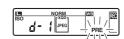


WBボタン

サブコマンドダイヤル

4 プリセットマニュアル取得モードにする

 いったんWBボタンから指を放し、再度 WBボタンを押し続けると、プリセットマニュアル取得モードになり、背面表示パネルにPREが点滅します。



背面表示パネル

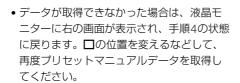
5 PREの点滅中に、マルチセレクターを 操作して、□を被写体の白またはグ レーの部分に重ねる

• ♥ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、 □で選んだ部分を細部まで確認できます。



ᄱ

6 マルチセレクターの中央ボタンを押す か、シャッターボタンを全押しして、プ リセットマニュアルデータを取得する







7 WBボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終了する

 撮影メニューから [ホワイトバランス] の [プリセットマニュアル] を選ぶと、ライブ ビュー撮影時に取得したプリセットマニュ アルデータには、ホワイトバランスを取得 した範囲に枠が表示されます。



ライブビュー撮影時のプリセットマニュアル取得モードの時間制限は、カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間] の [ライブビュー表示] で設定した時間になります (□319)。

- ◆ HDR (ハイダイナミックレンジ)撮影時(□186)は、プリセットマニュアルデータを取得できません。また、静止画ライブビュー時に液晶モニター用ホワイトバランス(□54)が -- 以外の場合もプリセットマニュアルデータは取得できません。
- ・ ライブビューセレクターが帰の場合にカスタムメニューg4 [シャッターボタンの機能]が [動画撮影] のとき (□353) は、プリセットマニュアルデータ取得はできません。

プリセットマニュアルデータを管理する

■ 撮影済み画像のホワイトバランスデータをコピーする

選んだプリセットマニュアルデータの保存場所に、メモリーカード内の 画像で使用されたホワイトバランスを、プリセットマニュアルデータと してコピーできます。

- 1 撮影メニューの [ホワ イトバランス] で [プ リセットマニュアル] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影 メニューの [ホワイトバラ ンス] で [プリセットマ

MENUボタン





ニュアル〕を選んでマルチセレクターの▶を押します。

2 コピー先を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を 移動してd-1~d-6の中からコ ピー先を選びます。
- 中央ボタンを押すと設定画面が表示されます。





ЫR

3 [使用する画像の選択] を選ぶ

• [使用する画像の選択] を選んで ▶を押すと、メモリーカード内の 画像が一覧表示されます。





4 ホワイトバランスデータをコピーしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を 移動して画像を選びます。
- 画像は、**ペ**ボタンを押している間、拡大して確認できます。
- Q≅ボタンを押すと、[スロット/フォルダー 指定メニュー] 画面が表示され、スロットや フォルダーを切り換えられます(□236)。







5 ホワイトバランスデータをコピーする

- ※ボタンを押すとメモリーカード内の画像の ホワイトバランスデータがコピーされます。
- 選んだ画像に画像コメント(口363) がある場合、画像コメントもコピーされます。



®ボタン

☑ 設定画面でのプリセットマニュアルデータの切り換えについて

設定画面で、マルチセレクターの▲を押してプリセットマニュアルデータ (d-1~d-6) を選び、▶を押すと、プリセットマニュアルデータが切り替わります。



☑ プリセットマニュアルデータの微調整について

設定画面で [微調整] を選ぶと、微調整画面が表示され、選択中のプリセットマニュアルデータを微調整できます(口154)。



■ プリセットマニュアルデータにコメントを入力する

選んだプリセットマニュアルデータにコメント(最大36文字)を入力します。

- **1** 撮影メニューの [ホワイトバランス] で [プリセットマニュアル] を選ぶ
 - [プリセットマニュアル] を選ん でマルチセレクターの▶を押し ます。





2 プリセットマニュアルデータ を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を 移動して、プリセットマニュア ルデータを選びます。
- 中央ボタンを押すと設定画面が表示されます。





3 [コメント編集] を選ぶ

• [**コメント編集**] を選んで**▶**を押します。





WВ

4 コメントを入力する

 最大36文字入力できます。コメントの入力 方法は、「カスタムピクチャーコントロール を登録する」の手順6をご覧ください (四180)。



■ プリセットマニュアルデータを保護する(プロテクト)

選んだプリセットマニュアルデータにプロテクト(保護)を設定できま す。プロテクト設定されたプリセットマニュアルデータは微調整やコメ ント編集ができなくなります。

撮影メニューの「ホワイトバ ランス] で「プリセットマ ニュアル] を選ぶ

• 「プリセットマニュアル」 を選ん でマルチセレクターの▶を押し ます。





2 プリセットマニュアルデータ を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を 移動して、プリセットマニュア ルデータを選びます。
- 中央ボタンを押すと設定画面が 表示されます。





3 「プロテクト」を選ぶ

「プロテクト」を選んで▶を押し ます。





ᄱ

4 「する」を選ぶ

- [**する**] を選んで**®**ボタン を押すと、選んだプリセッ トマニュアルデータがプロ テクト設定されます。
- プリセットマニュアルデー タのプロテクトを解除する には、もう一度「プロテクト]を選んでから「しない」を選びます。





⊗ボタン

画像処理

ピクチャーコントロールを使って 画像の仕上がりを簡単に設定したり、 思い通りに調整する

「ピクチャーコントロール(Picture Control)システム」とは、対応するカメラまたはソフトウェアで調整した画像調整の設定を相互に利用できるニコン独自の画作りシステムです。

ピクチャーコントロールを選ぶ

このカメラには、被写体や撮影シーンに合わせて選ぶことのできる「ピクチャーコントロール」が搭載されています。

| △SD スタンダード | 鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 • ほとんどの撮影状況に適しています。 |
|------------|------------------------------------------------------------|
| 四NL ニュートラル | 素材性を重視した自然な画像になります。 ・撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。 |
| ©VI ビビッド | メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 ・青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。 |
| ☑MC モノクローム | 白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。 |
| ☑PT ポートレート | 人物の肌が滑らかで自然な画像になります。 |
| 四LS 風景 | 自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。 |

ピクチャーコントロールの 一覧画面が表示されます。





O¬¬ (四>/?) ボタン

2 設定したいピクチャー コントロールを選ぶ

● ボタンを押して設定します。





⊗ボタン

∅ [カスタムピクチャーコントロール] について

撮影メニューで**「カスタムビクチャーコントロール**」を選ぶと、調整したピクチャーコントロールに名前を付けて登録したり(四179)、メモリーカードを使って、同じ機種のカメラやピクチャーコントロールに対応するソフトウェアと共用する(四182)ことができます。

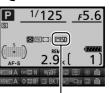
∅ [ピクチャーコントロール] について

ピクチャーコントロールは撮影メニュー (口293) でも 設定できます。



☑ 撮影中のピクチャーコントロールの確認について

使用しているピクチャーコントロールは、**晒**ボタンを押すと表示されるインフォ画面で確認できます。



ピクチャーコントロールマーク

100

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロール(凹179)の設 定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。輪郭強調、コントラスト、 色の濃さ(彩度)をバランス良く自動的に調整できる「クイック調整」や各 項目を手動で細かく調整する「手動調整」ができます。

1 調整したいピクチャーコント ロールを選ぶ

ピクチャーコントロールの一覧画 面(四174)で、マルチセレク ターの▶を押します。





クイック調整 コントラスト

2 ピクチャーコントロールを調 整する

▲または▼で調整する項目 (□176)を選んで、◀または▶ で値を設定します。

「クイック調整」を選ぶと、各項 目のレベルを自動的に調整します。

- 血(麻麻) ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。

3 設定する

●ボタンを押して設定します。



プピクチャーコントロールを調整した場合 の表示について

ピクチャーコントロールを調整すると、アイコンの横に アスタリスク(*)が表示されます。



■ レベル調整の設定項目

| | | 輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)のレベルを自動的に |
|----------|---------------|------------------------------------------------------|
| | | 調整します。 $[-2] \sim [+2]$ までの調整ができます。 |
| クイック調整※1 | | ● -側にするとそれぞれのピクチャーコントロールの特徴を抑 |
| | | えた画像になり、+側にするとそれぞれのピクチャーコント |
| | | ロールの特徴を強調した画像になります。たとえば「 ビビッ |
| | | ド 〕を選んで+側にクイック調整すると、色の鮮やかさを強 |
| | | 調します。 |
| | | 輪郭の強弱を調整します。[0] (輪郭強調しない) ~ [9] まで |
| | | の手動調整と、自動で調整する「Al(オート)があります。 |
| | 輪郭強調 | ● 数字が大きいほどくっきりとした画像になり、小さいほどソ |
| | | |
| | | フトな画像になります。 |
| | | 画像のコントラストを調整します。[-3] ~ [+3] までの手 |
| | コント | 動調整と、自動で調整する [A] (オート) があります。 |
| | ラスト | ● 一側にすると軟調な画像になり、+側にすると硬調な画像に |
| | 271 | なります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは |
| | | -側が、霞んだ遠景の撮影などには+側が適しています。 |
| | 明るさ | 白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。 |
| | | [-1] ~ [+1] までの調整ができます。 |
| _ | | ● -側にすると暗くなり、+側にすると明るくなります。 |
| 手 | | 画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整します。[-3] ~ [+3] まで |
| 動 | 色の濃さ | の手動調整と、自動で調整する [A] (オート) があります。 |
| 調整 | (彩度) ※2 | ● -側にすると鮮やかさが抑えられ、+側にするとより鮮やか |
| æ | | になります。 |
| | | ■像の色合いを調整します。[-3] ~ [+3] までの調整がで |
| | 色合い | きます。 |
| | (色相) ※2 | ● 肌色を基準にした場合、-側にすると赤みが増し、+側にす |
| | | ころと黄色みが増します。 |
| | | 白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような |
| | フィルター 効果※3 | 効果が得られます。フィルター効果は [OFF]、[Y]、[O]、[R]、 |
| | | [G] から選べます (四178)。 |
| | | [G] ガウ度へより(G1770)。 印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できま |
| | 調色※3 | |
| | | す。調色は [B&W]、[Sepia]、[Cyanotype]、[Red]、[Yellow]、 |
| | | [Green] 、[Blue Green] 、[Blue] 、[Purple Blue] 、[Red |
| | | Purple] から選べます(皿178)。 |

※1 [ニュートラル] と [モノクローム] はクイック調整できません。カスタムピクチャーコントロール (皿179) の場合も、クイック調整できません。 手動調整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した値は無効になります。

176

- ※2 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときは、表示されません。
- ※3 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときのみ表示されます。

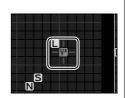
【輪郭強調】、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]の [A] (オート) についてのご注意

- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。
- 充分な効果を得るには、Gタイプ、EタイプまたはDタイプのレンズをお使いになる ことをおすすめします。

☑ ピクチャーコントロール調整時のグリッド表示

- ピクチャーコントロール調整中にQ™ボタンを押している間、調整しているピクチャーコントロールのコントラストと彩度が座標で表示され、他のピクチャーコントロールとの関係がわかります。ボタンを放すと、調整画面に戻ります。
- [モノクローム] の場合、グリッド表示はコントラストのみ表示されます。
- [コントラスト] または [色の濃さ (彩度)] に [A] (オート) が設定されたピクチャーコントロールは、グリッド表示時はアイコンが緑色で表示されます。また、各軸に平行な上下または左右の線が表示されます。





☑ ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される アンダーバーは、調整する前の値を示しています。前 回調整した値を参考にして調整するときに便利です。



☑ [モノクローム] の [フィルター効果] について

[フィルター効果] には、次のような効果があります。

| Y (黄*) | コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明る | | | | | | |
|------------------|---------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| O (オレンジ*) | さを抑えたい場合などに使います。[Y] \rightarrow [O] \rightarrow [R] | | | | | | |
| R (赤*) | の順にコントラストが強くなります。 | | | | | | |
| G (緑※) | 肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。 | | | | | | |

※ 市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。[**フィルター効果**] で得られる効果 は、市販の白黒写真用カラーフィルターよりも強くなります。

☑ [モノクローム] の [調色] について

[調色] の項目([B&W] 以外)を選んでマルチセレクターの▼を押すと、さらに色の濃淡を7段階から選べます。 ◀または▶を押して選んでください。



カメラに搭載された「ピクチャーコントロール」は、好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

■ カスタムピクチャーコントロールの登録方法

- **1** 撮影メニューの [カス タムピクチャーコント ロール] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影 メニューの [カスタムピク チャーコントロール] を選 んでマルチセレクターの▶ を押します。

MENUボタン





2 [編集と登録] を選ぶ

• [編集と登録] を選んで▶を押す と、[編集・登録対象を選択] 画 面が表示されます。





3 元にするピクチャーコント ロールを選ぶ

- ピクチャーコントロールを選ん で▶を押すと、編集画面が表示 されます。
- 編集を行わない場合は∞ボタンを押します。「登録先の選択」画面が表示されます(手順5へ)。







4 ピクチャーコントロールを調整する

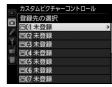
- 項目の内容や調整方法は [ピクチャーコントロール] と同じです。
- ● ボタンを押すと [登録先の選択] 画面が表示されます。
- 面(**!) ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。



5 登録先を選ぶ

◆C-1~9(カスタム1~9)の中から登録先を選びます。





6 登録名を編集する

- 登録先を選んで▶を押すと、 [登録名変更] 画面が表示されます。
- 初期状態では、「(元になったピクチャーコントロール名) -XX」が名前エリアに入力されています。



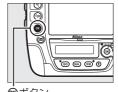
す。XXには自動的に数値が設定されます。

- 登録名は19文字まで入力できます。文字はカーソル位置に挿入されます。
- 登録名を変更しない場合は、手順7へ進みます。
- 名前エリアに新しい文字を入力する場合は、マルチセレクターを操作して入力するキーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、**中央**ボタンを押します。
- 名前エリアのカーソルを左右に移動する場合は、Q™ボタンを押しながらオたは▶を押します。
- 名前エリアからあふれた文字は削除されます。
- ●登録名を1文字削除するには、
 ●型ボタンを押しながら
 ●または
 ●を押して削除する文字の上にカーソルを移動させ、
 ●(※回)ボタンを押します。



7 登録名の編集を終了する

のボタンを押します。



登録したカスタムピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面に表示されます。





☑ 登録名変更について

[カスタムピクチャーコントロール] で [登録名変更] を選ぶと、登録したカスタムピクチャーコントロールの 名前を変更できます。



☑ 登録したカスタムピクチャーコントロールを削除するには

[カスタムピクチャーコントロール] で [削除] を選ぶと、登録したカスタムピクチャーコントロールを削除できます。

カスタムピクチャーコントロールの調整画面では、元になったピクチャーコントロールがアイコンで表示されます。

元になった ピクチャーコントロール



☑ カスタム1~9で調整できる項目について

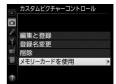
カスタム1~9を選んだ場合は、元になったピクチャーコントロールと同じ項目が調整できます。

メモリーカードを使ってピクチャーコントロール を対応ソフトウェアと共用する

付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2のピクチャーコントロールユー ティリティー (Picture Control Utility) で作成したカスタムピクチャー コントロールを、メモリーカードからカメラに読み込んで登録したり、カ メラで作成したカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードにコ ピーすることができます。また、メモリーカード上の不要なカスタムピ クチャーコントロールを削除することもできます。

- 1 「カスタムピクチャーコント ロール] 画面で [メモリー カードを使用]を選ぶ
 - 「メ干リーカードを使用」を選ん。 でマルチセレクターの▶を押す と、「メモリーカードを使用〕画 面が表示されます。





2 「カメラに登録」、[メモリー カードから削除] または「メモ リーカードにコピー]を選ぶ

「カメラに登録]:

メモリーカードにあるカスタムピ クチャーコントロールをカメラに





100

登録できます。カメラに登録したいカスタムピクチャーコントロール と登録先(C-1~9(カスタム1~9))を選んで名前を付けると、選ん だカスタムピクチャーコントロールがカメラに登録されます。

メモリーカードにあるカスタムピクチャーコントロールを選んで削除できます。
 右のような確認画面が表示されるので、[はい]を選んで®ボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールを削除できます。





「メモリーカードにコピー]:

カメラにあるカスタムピクチャーコントロールをメモリーカードにコピーできます。メモリーカードにコピーしたいカスタムピクチャーコントロールとコピー先(1~99)を選んで®ボタンを押すと、選んだカスタムピクチャーコントロールがメモリーカードにコピーされます。



☑ メモリーカードへのコピー /メモリーカードからの削除について

- カメラに搭載されているピクチャーコントロール (スタンダード、ニュートラル、 ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景) は、コピーや削除ができません。
- メモリーカードを2枚使用している場合、撮影メニューの [主スロットの選択] (四95)
 で選んだ主スロットのカードが対象になります。
- メモリーカードに保存できるカスタムピクチャーコントロールは、99個までです。

白とびや黒つぶれを抑えて撮影する

アクティブD-ライティングで撮影する

撮影の前にあらかじめ [アクティブD-ライティング] を設定しておくと、ハイライト部の白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減する効果があります。 見た目のコントラストに近い画像に仕上がります。 暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。アクティブD-ライティングを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします (□123)。



アクティブD-ライティング [**しない**]



アクティブD-ライティング 「**町 A オート**〕

[アクティブD-ライティング] を設定してから撮影すると、撮影シーンに応じて露出や階調を制御し、ハイライト部やシャドー部および中間調を適切に調整して画像を記録します。一方、[D-ライティング](四376)は、撮影済みの画像に対して階調を再調整してシャドー部を明るく補正します。

■ アクティブD-ライティングの設定方法

1 撮影メニューの [アク ティブD-ライティング] を選ぶ

• MENUボタンを押して、撮影メニューの [アクティブD-ライティング] を選んでマルチセレクターの▶を押します。

MENUボタン





2 効果の度合いを選び、 ®ボタンを押す

 [臨Aオート]、[配H2より 強め2]、[配H1より強め1]、 [配H強め]、[配N標準]、 [配L弱め]、[しない] に設 定できます。





のボタン

• [**昭 A オート**] に設定すると、撮影シーンに応じて自動的に効果の度合いを設定します。

▼ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が強調される場合があります。
- アクティブD-ライティングを設定していても、ISO感度がHi 0.3以上の場合、アクティブD-ライティングは機能しません。
- 動画撮影時は、アクティブD-ライティングは機能しません。
- 露出モードが # のときは、[**暗 A オート**] に設定していても [**暗 N標準**] 相当の度合いに固定されます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。

🕖 関連ページ

アクティブD-ライティングの効果の度合いを変えながら撮影する → 「ADLブラケティングの撮影方法」 (□ 148)

HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う

1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。明暗差が著しい撮影シーンなどで、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。HDRモードを設定したときは、測光モードをマルチパターン測光に設定して撮影することをおすすめします(□123)。



露出暗めで撮影 した画像



露出明るめで撮影 した画像



HDRモードで合成 された画像

撮影メニューの [HDR (ハイダイナミックレン ジ)] を選ぶ

• MENUボタンを押して、撮影 メニューの [HDR (ハイダ イナミックレンジ)] を選 び、マルチセレクターの▶ を押します。

MENUボタン





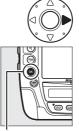
100

▼ RAWを含む画質モードについて

RAWを含む画質モードの場合、HDR撮影はできません。

2 [HDRモード] を設定する

- [**HDRモード**] を選んで**▶**を押します。
- ▲または▼を押してHDR モードを設定し、∞ボタン を押します。





・
がボタン

| ON ≎ する (連続) | HDRモードで続けて撮影します。HDRモードを解除するには、もう一度 [HDRモード] を選んで [しない] を選んでください。 |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| する (1回) | 撮影を終了すると、HDRモードが解除されます。 |
| しない | HDRモードを解除します。 |

• [する (連続)] または [する (1回)] を選ぶと、HDRモードの撮影待機状態になり、 上面表示パネルに
ロマークが点灯します。

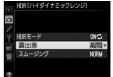




3 [露出差] を設定する

「露出差」を選んで▶を押します。





- ▲または▼を押して露出差を設定し、※ボタンを押します。
- 露出差を大きく設定するほど、 輝度範囲のより広い被写体に対 応できます。





- 被写体の輝度範囲に適した露出 差以上に設定すると、不自然な 画像になる場合があります。被写体の輝度範囲に合わせて選んでくだ さい。
- [**オート**] に設定すると、シーンに適した露出差が選ばれます。

4 [スムージング] を設定する

• [スムージング] を選んで▶を押 します。





- ▲または▼を押してスムージング(2枚の画像の境界のなめらかさ)の強さを設定し、®ボタンを押します。
- スムージングを強めに設定する ほど、画像がよりなめらかに合 成されます。

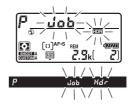






5 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、2回連続してシャッターがきれます。
- 合成処理中は、上面表示パネルによるb M が、ファインダー内下表示によるb Hdrが 点滅します。この表示が消えるまで撮影できません。
- **[する (連続)**] の場合、**[HDRモード**] で **[しない**] を選んでHDRモードを解除する まで、HDRモードで撮影できます。

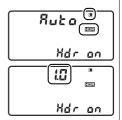


HDRモードが [する(1回)] の場合、1回撮影すると、HDRモードが解除され、
 になったが消灯します。

☑ BKTボタンとコマンドダイヤルでHDRモードと露出差を設定する カスタムメニューf9 「BKTボタンの機能」 (□340) を 「HDR (ハイダイナミックレ

カスタムメニュー f9 [**BKTボタンの機能**] (口340) を [**HDR (ハイダイナミックレンジ)**] に設定すると、**BKTボ**タンとコマンドダイヤルの操作で手順2の [**HDRモード**] と手順3の [**露出差**] を設定できます。

- BKT ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを 回すと、上面表示パネルのHDRアイコンが [しない] (アイコンなし)、■ [する (1回)]、■ [■ [する (連続)] に切り替わります。
- BKTボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回す と、上面表示パネルの露出差の表示が切り替わります。



M HDR撮影時のご注意

- 撮影した画像の画像周辺部は切り取られます。
- 撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されない場合があります。撮影時は、一脚の使用をおすすめします。
- 動いている被写体を撮影すると、正しく合成されない場合があります。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。「スムージング」の設定で調整できます。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 測光モードが中央部重点測光またはスポット測光のときや、非CPUレンズ装着時に、 [露出差]を [オート] に設定すると、露出差は [2 EV] 相当の度合いに固定されます。
- 別売のスピードライトは発光しません。
- レリーズモード(口111)がCLまたはCHの場合にシャッターボタンを全押しし続けても連続撮影しません。
- シャッタースピードは、**bułb** (バルブ) または **-** (タイム) に設定できません。

✓ HDRモードの制限について

HDRモードは、次の機能とは同時に使用できません。

- 動画撮影 (□61)
- オートブラケティング撮影(□140)
- 多重露出撮影 (□212)
- 微速度撮影 (□224)

✓ HDRモードとインターバルタイマー撮影の組み合わせについて

- HDRモードを [する (連続)] に設定してインターバルタイマー撮影 (四217) を 設定すると、設定されたインターバルでHDR撮影ができます。この場合、[インター バルタイマー撮影] で設定されたインターバルで撮影されます。
- HDRモードが [する(1回)] の場合は、1回だけHDRモードで撮影した後、インター バルタイマーとHDRモードが解除されます。

☑ 撮影メニューの管理

HDRモードは、撮影メニュー(「A」~「D」)(\square 294)ごとに設定できますが、多重露出撮影中(\square 212)またはインターバルタイマー撮影中(\square 217)にHDRモードを [する (連続)] または [する (1回)] に設定した撮影メニューに切り換えた場合、HDRモードが解除されます。また、HDRモードが [する (連続)] または [する (1回)] のときに、RAWを含む画質モードが選ばれている撮影メニューに切り換えた場合も、HDRモードが解除されます。

100

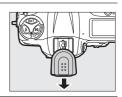
フラッシュ撮影

使用できるスピードライト

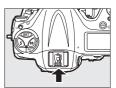
このカメラは、アクセサリーシューに別売スピードライト(□193)を装着することでフラッシュ撮影が可能になります。暗いところではもちろん、昼間の屋外撮影などでも、逆光時や主要被写体の陰影を弱めたいとき、人物の目にキャッチライトを入れたいときなどに、補助光としても使用できます。お使いのスピードライトで使用できる機能については、スピードライトの使用説明書をご覧ください。

別売スピードライトをカメラに装着するには

1 アクセサリーシューカバーを取り外す



- **2** 別売のスピードライトをアクセサリーシューに取り付ける
 - セーフティーロックピン付きのスピードライトを取り付けると、スピードライトが不用意に外れるのを防止できます。
 - スピードライトの取り付け方は、お使いに なる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。



2 シンクロターミナル

シンクロコードを必要とするスピードライト撮影時に、シンクロコードをシンクロターミナル(JIS-B型外れ防止ネジ付き)に接続してください。ただし、後幕シンクロ撮影ができるスピードライトをアクセサリーシューに装着して後幕シンクロを行う場合には、シンクロターミナルに他のスピードライトを接続して増灯撮影などを行わないでください。



▼ 他社製フラッシュについてのご注意

他社製のフラッシュ(カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アクセサリーシュ一部の接点をショートさせてしまうもの)を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) について

ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) は、ニコンのスピー ドライトとカメラのデータ通信方式を改良したシステムで、スピードラ イト撮影に新たな可能性を開く、さまざまな機能を提供します。

■ ニコンクリエイティブライティングシステム対応 スピードライトの主な仕様

| | ガイドナンバー(ISO 100・m/ISO 200・m、20℃) | | | | | |
|-----------|----------------------------------|--|--|--|--|--|
| SB-910*1 | 34/48(照射角35mm、スタンダード配光時) | | | | | |
| SB-900*1 | 34/48(照射角35mm、スタンダード配光時) | | | | | |
| SB-800 | 38/53(照射角35mm時) | | | | | |
| SB-700*1 | 28/39(照射角35mm、スタンダード配光時) | | | | | |
| SB-600 | 30/42(照射角35mm時) | | | | | |
| SB-400*2 | 21/30 | | | | | |
| SB-300*2 | 18/25 | | | | | |
| SB-R200*3 | 10/14 | | | | | |

- ※1 カメラのホワイトバランスをAUTO(オート)または4(フラッシュ)に設定し、 SB-910、SB-900、またはSB-700用カラーフィルターを装着して撮影すると、 カメラが自動的にフィルターを識別し、最適なホワイトバランスを設定します。
- ※2 ワイヤレス機能はありません。
- ※3 リモート発光用スピードライト SB-R200 を使用するには、SB-910、SB-900、 SB-800、SB-700、またはワイヤレススピードライトコマンダーSU-800が必要 です。

■ SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800は、ワイヤレスでSB-910、 🛂 SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-R200を制御するコマンダーです。 スピードライトを3つのグループに分けて制御できます。SU-800には発光 機能はありません。

7

■■ ニコンクリエイティブライティングシステム対応 スピードライトとの組み合わせで使用できる機能

| | | | | ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト | | | | | | ۲- | |
|-------------------|-------|-------|-------------------------|-------------------------------|---|--------|-------------|---------------|---------|--------|--------|
| | | | | SB-910 | | SB-600 | SU-800 | | | | |
| | | | | SB-900 | | | コマンダー 撮影 | クローズ アップ撮影 | SB-R200 | SB-400 | SB-300 |
| | | | i-TTL-BL調光※1 | 0 | 0 | 0 | _ | _ | _ | 0 | 0 |
| | | i-TTL | スタンダード i-TTL調光 | O*2 | 0 | O*2 | _ | _ | _ | 0 | 0 |
| | | AA | 絞り連動 外部自動調光 | O*3 | _ | _ | _ | _ | _ | _ | _ |
| | 1灯 | Α | 外部自動調光 | ○*3 | _ | _ | _ | _ | _ | _ | _ |
| | | GN | 距離優先 マニュアル発光 | 0 | 0 | - | _ | _ | _ | _ | _ |
| | | М | マニュアル発光 | 0 | 0 | 0 | _ | _ | _ | ○*4 | O*4 |
| | | RPT | リピーティング フラッシュ | 0 | _ | _ | _ | _ | _ | _ | _ |
| イング | | | - トフラッシュ 終光指示 | 0 | 0 | _ | 0 | 0 | _ | _ | _ |
| | | i-TTL | i-TTL 調光 | 0 | 0 | _ | _ | _ | _ | _ | _ |
| | 主灯 | [A:B] | クイック ワイヤレス コントロール | _ | 0 | _ | _ | 0 | _ | _ | _ |
| | | AA | 絞り連動 外部自動調光 | O*5 | _ | - | _ | _ | _ | _ | _ |
| 7 | | Α | 外部自動調光 | 0 | _ | _ | _ | _ | _ | - | _ |
| K | | М | マニュアル発光 | 0 | 0 | _ | _ | _ | _ | _ | _ |
| 747 | | RPT | リピーティング フラッシュ | 0 | _ | _ | _ | _ | _ | _ | _ |
| 5 | | i-TTL | i-TTL 調光 | 0 | 0 | 0 | _ | _ | 0 | _ | _ |
| アドバンストワイヤレスライティング | 補助灯 | [A:B] | クイック ワイヤレス コントロール | 0 | 0 | 0 | _ | _ | 0 | _ | _ |
| F | | AA | 絞り連動 外部自動調光 | ○*5 | _ | _ | _ | _ | _ | _ | _ |
| | | Α | 外部自動調光 | 0 | - | - | _ | - | _ | _ | _ |
| | | М | マニュアル発光 | 0 | 0 | 0 | _ | _ | 0 | _ | _ |
| | | RPT | リピーティング フラッシュ | 0 | 0 | 0 | _ | _ | _ | _ | _ |
| 発光色温度情報伝達 | | 0 | 0 | 0 | _ | - | _ | 0 | 0 | | |
| _ | | | -ドシンクロ *6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | _ |
| | ロック※フ | | Laboratoria. | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | レチポイン | | 伸 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | _ | _ | _ |
| 赤目軽減発光 | | 0 | 0 | 0 | _ | _ | _ | 0 | _ | | |

| | ニコングリエイティノフィティングシステム対応スピートフィト | | | | | | | |
|--------------------------|-------------------------------|--------|--------|-------------|---------------|---------|--------|--------|
| | SB-910 | | | SU-800 | | 800 | | |
| | SB-900 SB-800 | SB-700 | SB-600 | コマンダー 撮影 | クローズ アップ撮影 | SB-R200 | SB-400 | SB-300 |
| カメラ起動モデリング発光 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | _ |
| カメラからの発光モード設定 | _ | _ | _ | _ | _ | _ | 0 | 0 |
| カメラからのスピードライト ファームアップ | ○*8 | 0 | _ | _ | _ | _ | _ | 0 |

- ※1 スポット測光時は設定できません。
- ※2 スピードライト側でも設定できます。
- ※3 AA モードと A モードの選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。また、セットアップメニューの[レンズ情報手動設定]でレンズの開放絞り値と焦点距離を設定していない非(PUレンズを装着した場合はAモードになります。
- ※4 カメラ側でのみ設定できます。
- ※5 スピードライトのカスタム設定にかかわらず、セットアップメニューの[レンズ情報 手動設定]でレンズの開放絞り値と焦点距離を設定していない非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。
- ※6 発光モードがi-TTI、AA、A、GN、Mの場合のみ動作します。
- ※7 発光モードがi-TTI、AA、Aの場合のみ動作します。
- ※8 SB-910とSB-900のみカメラからのスピードライトファームアップが可能です。

ダ モデリング発光について

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト (SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600など) 装着時には、**Pv**ボタンを押すとモデリング発光が行われます。アドバンストワイヤレスライティングによる増灯時には、使用する全てのスピードライトのモデリング発光が行われるので、照射光の効果を簡単に確認できます。ブレビュー時にモデリング発光を行わないようにするには、カスタムメニューe5 「モデリング発光」(口328) を「**Lない**」に設定してください。

グ ガイドナンバーとは

フラッシュの光量を示す値で、大きいほど光が遠くまで届きます。「ガイドナンバー=絞り値×撮影距離(m)」(ISO感度が100の場合)という関係があります。ガイドナンバーが34(ISO感度100、20℃)のスピードライトの場合、ISO感度が100で絞り値がF5.6なら、34÷5.6=約6.1mまでフラッシュの光が届くことになります。また、実効ガイドナンバーはISO感度が2倍になると約1.4 倍($\sqrt{2}$ 倍)になります。たとえば、ISO感度が200の場合、絞り値がF5.6なら34÷5.6×1.4=約8.6mまで光が届きます。

4

√ その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光 (**A**) あるいはマニュアル発光撮影となります。装着レンズによって機能が変わることはありません。

| フピードラノト | | SB-80DX SB-28DX | SB-50DX | SB-28 SB-26 SB-25 SB-24 | SB-30 SB-27 * 1 SB-22S SB-22 SB-20 SB-16B SB-15 | SB-23 SB-29*2 SB-21B*2 SB-29S*2 | |
|---------|--------|--------------------|---------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---------|
| | Α | 外部自動調光 | 0 | _ | 0 | 0 | _ |
| 区分 | М | マニュアル発光 | 0 | 0 | 0 | 0 | \circ |
| X | 555 | マルチフラッシュ | 0 | _ | 0 | _ | _ |
| | REAR*3 | 後幕シンクロ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

- ※1 このカメラとSB-27を組み合わせると自動的に**TTL**モードになりますが、**TTL**モードでは使えません。SB-27を**A**モードに設定し直してください。
- ※2 SB-29・21B・29Sでオートフォーカスができるレンズは、AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-EDとAF-S Micro NIKKOR 60mm F2.8G EDのみです。
- ※3 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

▼ スピードライト使用時のご注意

- 詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書に カメラ分類表が記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフに該当する箇所をお読みください。なお、このカメラは SB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載のデジタル一眼レフカメラには 該当しません。
- i-TTL や外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出アンダーになる可能性のある場合には、発光直後にレディーライトなが約3秒間点滅し、露出アンダー警告を行います。
- i-TTLモード時のISO 感度連動範囲はISO 100~12800相当です。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならない場合があります。
- 露出モードが中の場合、下表の絞り値よりも絞りを開くことはできません。

| ISO感度と開放側の限界絞り(F) | | | | | | | |
|-------------------|--------------------------------------|-----|-----|---|-----|----|----|
| 100 | 100 200 400 800 1600 3200 6400 12800 | | | | | | |
| 4 | 4.8 | 5.6 | 6.7 | 8 | 9.5 | 11 | 13 |

- ※制御される絞り値よりも開放絞りが暗い場合は、装着レンズの開放絞りによって 制御されます。
- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシンクロモードの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。
- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、ワイヤレススピード ライトコマンダーSU-800の使用時に、AF補助光の照射条件が満たされると、スピー ドライト側のAF補助光を自動的に照射します。

| AFレンズの焦点距離が | AFレンズの焦点距離が | AFレンズの焦点距離が |
|-------------|--------------|---------------|
| 17mmから19mmの | 20mmから105mmの | 106mmから135mmの |
| 場合 | 場合 | 場合 |
| | | |

 スピードライトSB-800、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダーSU-800の AF補助光は、24~105mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離でオート フォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。

| AFレンズの焦点距離が | AFレンズの焦点距離が | AFレンズの焦点距離が |
|-------------|-------------|--------------|
| 24mmから34mmの | 35mmから49mmの | 50mmから105mmの |
| 場合 | 場合 | 場合 |
| | | |

スピードライトSB-700のAF補助光は、24~135mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離でオートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。

| AFレンズの焦点距離が | AFレンズの焦点距離が |
|-------------|--------------|
| 24mmから27mmの | 28mmから135mmの |
| 場合 | 場合 |
| | |

- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからスピードライトを離して撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- i-ITLモード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材 (拡散板など)を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

√ インフォ画面のフラッシュモード表示について

インフォ画面のフラッシュモードでは、別売のスピードライト使用時の発光方式が、次のように表示されます。

| | 通常発光 | FP発光(□326) |
|-----------------------------|-----------------------------------------|------------------|
| i-TTL-BL調光 スタンダードi-TTL調光 | # ==== | # FP |
| 絞り連動外部自動調光(AA) | ♣ | # ≓¶ AA FP |
| 外部自動調光(A) | 4 | # ≓¶ A FP |
| 距離優先マニュアル発光(GN) | # ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ | # GN FP |
| マニュアル発光 | # = = M | # ≓¶ M FP |
| リピーティング発光 | # ≓¶ RPT | _ |
| アドバンストワイヤレスライティング | CMD ← T | CMD FP |
| | | |

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト (□193)をカメラに装着し、スピードライトの発光モードをTTLにセットすると、モニター発光を行う専用TTLモード(i-TTLモード)になり、i-TTL-BL調光などによるフラッシュ撮影ができます。ニコンクリエイティブライティングシステム非対応のスピードライトでは、i-TTLモードでの撮影はできません。

i-TTLモード時は、次のような調光方式が利用できます。

| i-TTL-BL | 91Kピクセル(約91,000ピクセル)RGBセンサーによる測光情報を もとに主要被写体と背景光のバランスを考慮したBL(バランス)調 光を行います。シャッターボタンを押すと、シャッターの開く直前に スピードライトがモニター発光を行い、被写体と背景光のバランスを 考慮した最適な発光量を決定します。 |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調光 | ● G、EまたはDタイプレンズ装着時は、レンズから得られた被写体までの距離情報も利用して最適な発光量を決定します。 ● 非CPUレンズ装着時は、レンズ情報(開放絞り値、焦点距離)を設定することにより、より精度が向上します(□229)。 |
| スタンダード i-TTL 調光 | 背景の明るさは考慮されず、撮影画面が基準露光量となるように調 光します。主要被写体のみを強調する場合や、フラッシュ撮影で露 出補正する場合に適しています。 |

• 測光モードがスポット測光に設定されている場合、自動的にスタンダードi-TTL調光になります。

4

フラッシュモードを設定する

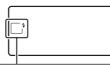
| - IX | + |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| モード | 内容 |
| 大幕シンクロ モード | 通常のフラッシュ撮影時にはこのモードを設定します。露出モードをPまたはAにセットしてフラッシュ撮影すると、カメラが適正露出となるようにシャッタースピードを1/250~1/60秒 (オートFPハイスピードシンクロ時は1/8000~1/60秒)に自動的にセットします。 |
| ● \$ 赤目軽減 モード | 赤目軽減発光機能付きのスピードライトを使用することにより、暗いところで人物の目が赤く写るのを軽減できます(SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400使用時のみ)。 ・シャッターがきれるまで、カメラや被写体の人物が動かないように注意してください(シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません)。 |
| ************************************ | 赤目軽減モードとスローシンクロモードが同時にセットされます。露出モードは P または A に設定してください(SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400使用時のみ)。夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。 ◆ シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚をお使いいただくことをおすすめします。 |
| s.owj スローシンクロ モード | 露出モードをPまたはAに設定してフラッシュ撮影すると、背景の露出を考慮してシャッタースピードが最長30秒まで延長されます。これにより、背景を描写しながらスピードライトを発光させ、夕景や夜景の雰囲気を活かした撮影ができます。 ・シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚をお使いいただくことをおすすめします。 |
| REAR (REAR) 後幕シンクロ モード | シャッター後幕の走行開始(シャッターが閉じる)直前にスピードライトが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌道などを表現したい場合などに適しています。 ・露出モードをPまたはAに設定すると、スローシンクロモードも自動的にセットされます。シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレに注意してください。三脚をお使いいただくことをおすすめします。 |
| ② 発光禁止 | スピードライトは発光しません。 |

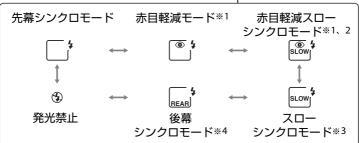
フラッシュモードを切り換える

★ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回す

フラッシュモードは、上面表示パネルに表示されます。







- ※1 スピードライト側が赤目軽減発光機能に対応していない場合は、フラッシュモード 表示の赤目軽減マーク ● が点滅します。
- ※2 露出モードが5またはMの場合、赤目軽減スローシンクロモードは設定できません。 このモードを選んだ場合は自動的に「赤目軽減モード」に変更されます。
- ※3 露出モードが5またはMの場合、スローシンクロモードは設定できません。このモードを選んだ場合は自動的に「先幕シンクロモード」に変更されます。
- ※4 露出モードがPまたはAの場合は、スローシンクロモードも自動的にセットされ、4ボタンから指を放すと右のように表示されます。



4

スタジオ用大型ストロボでは正しい同調が行えないため、後幕シンクロモードは使用できません。

∅ 別売スピードライト使用時のシャッタースピードと絞り値

別売のスピードライト使用時にカメラで設定できるシャッタースピードと絞り値は、次の通りです。

| 露出モード | 設定可能なシャッタースピード | 設定可能な絞り値 | Ш |
|-------|-------------------------------------------|--------------------------|-----|
| P | カメラが自動的に1/250〜 1/60秒にセット※ ¹ | カメラが自動的に設定 | 126 |
| 5 | 1/250~30秒※ ² | 日割り川に政化 | 127 |
| A | カメラが自動的に1/250〜 1/60秒にセット* ¹ | 任意の 絞り値* ³ | 128 |
| М | 1/250~30秒、 bulb、 *2 | 収り値へっ | 129 |

- ※1 スローシンクロモード、後幕スローシンクロモード、赤目軽減スローシンクロモード選択時は、シャッタースピードが最長30秒まで延長されます。また、カスタムメニューe1 [フラッシュ撮影同調速度] (皿326) を [1/250秒 (オートFP)] に設定してオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードが1/8000秒まで制御されます。
- ※2 カスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速度] (口326) を [1/250秒 (オート FP)] に設定してオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライトを装着した場合は、高速側のシャッタースピードを1/8000秒まで設定できます。
- ※3 調光範囲は設定しているISO感度と絞り値によって決まります。AまたはA時の絞り値の設定はスピードライトの調光範囲を考慮して行ってください。

☑ 関連ページ

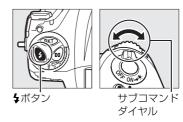
調光補正してフラッシュの発光量を 変更する

調光補正とは、フラッシュの発光量を意図的に変えることで、背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに使います。発光量を多くして被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくして被写体に光が強く当たりすぎないようにするなど、発光量の微妙な調整ができます。

■調光補正の設定方法

≰ボタンを押しながら、サブコマンド
ダイヤルを回す

- 調光補正値は、上面表示パネルに表示されます。
- 調光補正は、1/3段ステップで-3段 ~+1段の範囲で設定できます。



◆ボタンを押すと、上面表示パネルとファインダー内表示で設定した補 正量を確認できます。



補止なし (**∮**ボタンを押したとき)

- 補正量を設定すると、上面表示パネルに**登**マークが、ファインダー内 右表示に調光補正マーク**型**が表示されます。
- ★ボタンを押すと、上面表示パネルで設定した補正量を確認できます。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときはー側に補正するのが基本です。
- 調光補正を解除するには、補正量を0.0にしてください。カメラの電源 をOFFにしても、補正量の設定は解除されません。

☑ 別売スピードライトの調光補正について

カメラ側とスピードライト側で同時に調光補正を行う場合、両方の補正値を加算します。

☑ 関連ページ

- 調光補正のステップ幅を変更する → **♪** b3 [**露出・調光補正ステップ幅**] (□315)
- フラッシュ撮影時に露出補正した場合に調光量も補正するかどうかを設定する → ♠ e4 [フラッシュ使用時の露出補正] (□328)
- 調光補正値を変えながら撮影する → 「AEブラケティング、フラッシュブラケティングの撮影方法」(□140)

FVロックして調光量を固定する

別売のニコンクリエイティブライティングシステム (□193) 対応スピードライト使用時は、調光量をロック(固定)することにより、被写体に調光量を合わせたまま構図を変えたり、同じ調光量を維持したまま撮影できます。被写体が画面の中央にない場合など、自由な構図で適切な調光量のフラッシュ撮影が可能です。

- FVロック中にカメラのISO感度や絞り値を変更しても、フラッシュの発光量が補正されることによりFVロックは維持されます。
- **1** カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] (□332) の [押し時の動作] を [FV-L] に設定する



- **2** FVロック対応スピードライト (□194) をカメラのアクセ サリーシューに装着する
- **3** スピードライトの電源をONにし、発光モードをTTLまたは「モニター発光あり」のAAまたはAのいずれかにセットする
 - 別売スピードライトの発光モードについては、スピードライトの使用 説明書をで覧ください。
- 4 被写体にピントを合わせる
 - 発光量を合わせたい被写体を画面の中央でとらえ、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。





4

- ファインダー内下表示にもが点灯している ことを確認し、Fnボタンを押すと、フ ラッシュがモニター発光を行い、調光量 を計算します。
- FVロックが行われ、上面表示パネルと ファインダー内下表示にFVロックマーク (MICCOX、MI) が表示されます。



Fnボタン





6 構図を変更する



7 シャッターボタンを全押しして撮影する

• FVロック中は、被写体の露出を一定にしたまま複数のコマを撮影できます。必要に応じて手順6~7を繰り返してください。

8 FVロックを解除する

4

FVロック時の測光エリアは次のようになります。

| 撮影状態 | 発光モード | 測光エリア |
|------------------|--------------------------------------------|-----------------|
| | - - - - - - - - - - - - - | 画面中央 ϕ 6mm |
| 1灯撮影時 | 11166 1 | 相当 |
| 1 又7 3 秋 次 7 万 7 | 絞り連動外部自動調光 | スピードライトの |
| | 似り注動が印出動画儿 | 外部測光エリア |
| | i-TTLモード | 全画面 |
| アドバンストワイヤレス | 絞り連動外部自動調光 | |
| ライティングによる | 外部自動調光 | スピードライトの |
| 増灯時 | (マスタースピード | 外部測光エリア |
| | ライト) | |

☑ 関連ページ

- **Pv**ボタンを押してFVロックをする → **/** f4 [**プレビューボタンの機能**](□337)
- サブセレクターの中央を押してFVロックをする→
 か f6 [サブセレクター中央押し の機能] (□338)

撮影の便利な機能

ツーボタンリセットで 基本的な機能を初期設定に戻す

ISOボタンとWBボタン(それぞれのボタンに緑色の●が付いています)を2秒以上同時に押すと、一瞬上面/背面表示パネルの表示が消え、カメラの機能が次のように初期設定に戻ります。



■ 撮影メニュー項目※1

| 撮影メニュー項目 | 初期設定 | 撮影メニュー項目 | 初期設定 | |
|-------------|---------------|-----------|----------------------------|--|
| 撮影メニューの | 1 +=1 > | ISO感度設定 | | |
| 拡張 | しない | ISO感度 | 100 | |
| 画質モード | NORMAL | 感度自動制御 | しない | |
| JPEG/TIFF記録 | | 多重露出 | 解除**4 | |
| 画像サイズ | サイズL | インターバル | 4 77 Γ △ ≥ 5 | |
| RAW記録 | | タイマー撮影 | 解除※5 | |
| 画像サイズ | サイズL | 静止画ライブ | ±4.☆ | |
| ホワイトバランス | AUTO1 標準 | ビュー撮影 | 静音 | |
| 微調整 | A-B: 0、G-M: 0 | 動画ISO感度設定 | | |
| ピクチャー | | Mモード時の | 200 | |
| コントロールの | 解除※2 | ISO感度設定 | 200 | |
| 調整値 | | Mモード時の | しない | |
| HDR (ハイダイナ | 解除※3 | 感度自動制御 | 0/401 | |
| ミックレンジ) | 門中小小小 | 制御上限感度 | 25600 | |

- ※1 現在選択中の撮影メニュー(「A」~「D」のいずれか)の項目のみが解除されます (多重露出とインターバルタイマー撮影は、全ての撮影メニューで共通です)。
- ※2 現在選択中のピクチャーコントロールのみ解除されます。
- ※3 HDRモードが [する (連続)] または [する (1回)] の場合は [しない] に設定されます。露出差とスムージングは初期設定には戻りません。
- ※4 多重露出撮影が中断され、その時点までの露光結果だけを重ね合わせた画像が記録 されます。また、多重露出モードが [する (連続)] または [する (1回)] の場合は [しない] に設定されます。コマ数と自動ゲイン補正は初期設定には戻りません。
- ※5 インターバルタイマー撮影が中断されます。開始日時、撮影間隔、撮影回数×1回のコマ数、露出平滑化は初期設定には戻りません。

Ő

■■その他の撮影関連の機能

| 機能 | 初期設定 | 機能 | 初期設定 |
|-------------|----------|-------------|----------|
| フォーカスポイント※1 | 中央 | ライブビュー/ | ノーマル |
| プリセットフォーカス | 中央 | 動画撮影時の | エリアAF |
| ポイント | | AFエリアモード | TO/AF |
| 露出モード | Р | 液晶モニターの色み設 | |
| プログラムシフト | 解除 | 定(静止画ライブビュー | |
| 露出補正 | 解除 (0.0) | 撮影) | |
| AE-L (ホールド) | 解除 測光モード | マルチ | |
| コマンドロック(絞り) | 解除 | | パターン測光 |
| コマンドロック | 解除 | オートブラケティング | 解除※2 |
| (シャッタースピード) | | フラッシュモード | 先幕シンクロ |
| AFT-F | AF-S | 調光補正 | 解除 (0.0) |
| ファインダー撮影時の | シングル | FVロック | 解除 |
| AFエリアモード | ポイントAF | 露出ディレーモード※3 | しない |

- ※1 AFエリアモードがオートエリアAFのときは、フォーカスポイントは表示されません。
- ※2 撮影コマ数が0に設定されます。AE、フラッシュ、WBブラケティングの補正ステップは1になります。ADLブラケティングで撮影コマ数が2コマのときの2コマ目のアクティブD-ライティングの度合いは、[**昭 A オート**] になります。
- ※3 現在選択中のカスタムメニュー(「A」~「D」のいずれか)の項目のみが解除されます。



「初期設定一覧」(□429)

多重露出撮影で1つの画像に 重ねて写し込む

多重露出撮影は2~10コマまで重ねて写し込み、1つの画像として記録します。RAWデータを使用して合成するため、通常のアプリケーションソフトウェアなどで画像を合成する場合と比べ、階調特性に優れた画像になります。

■ 多重露出の撮影方法

1 撮影メニューの [多重露 出] を選ぶ

 MENUボタンを押して、撮影 メニューの [多重露出] を 選んで、マルチセレクター の▶を押します。

MENUボタン





ď

√ 撮影間隔が長くなる場合について

- 多重露出撮影中に、何も操作しないで30秒経過すると、カメラが待機状態に入ります。撮影を中断する前に撮影した画像は記録されます。
- 撮影間隔が長くなる場合は、カスタムメニュー c2 [半押しタイマー] (口317) を 長めに設定することをおすすめします。カメラが待機状態に入るまでの時間が、c2 で設定した時間に30秒を加えたものに延長されます。

- [**多重露出モード**] を選んで、▶ を押します。
- ▲または▼を押して多重 露出モードを設定し、∞ボ タンを押します。









| ON ⊅ する (連続) | 同じ設定で続けて多重露出撮影します。多重露出撮影を解除するには、もう一度 [多重露出モード] を選んで [しない] に設定してください。 |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| する (1回) | 多重露出撮影を終了すると、多重露出が解除されます。 |
| しない | 多重露出撮影を解除します。 |

• [する (連続)] または [する (1回)] を選ぶと、多重露出の撮影待機状態になり、上面表示パネルに■マークが点灯します。



3 [コマ数] (露光回数) を設定する

- [**コマ数**] を選んで、▶を押します。
- ▲または▼を押して露光回数を 設定し、※ボタンを押します。











4 「自動ゲイン補正」を設定す る

- 「自動ゲイン補正」を選んで、 を押します。
- 自動ゲイン補正の設定後、 のボタンを押します。









| する | 重ね合わせた画像の露出が適正になるように、露光回数に合わせて自動的にゲイン(出力)を補正します。 ・各コマのゲインは、「1 ÷露光回数」となります。たとえば、露光回数が「2コマ」の場合は1/2、「3コマ」の場合は1/3になります。 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| しない | ゲインを補正せず、全ての露光結果をそのまま重ね合わせ ます。 |

5 1回目の撮影をする

撮影を始めると、■マークが点 滅します。





6 2回目以降の撮影をする

• [する (連続)] の場合、[多重露 出モード]で[しない]を選ん で多重露出モードを解除するま で、多重露出撮影できます。





ď

• 多重露出モードが [する (1回)] の場合、手順3で設定したコマ数分 の撮影をすると、多重露出撮影が解除され、■マークが消灯します。

☑ BKTボタンとコマンドダイヤルで多重露出モードとコマ数を設定する

カスタムメニュー f9 [**BKTボタンの機能**] (口340) を [**多重露出**] に設定すると、**BKT**ボタンとコマンドダイヤルの操作で手順2の [**多重露出モード**] と手順3の [**コマ 数**] を設定できます。

- BKT ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを 回すと、上面表示パネルの多重露出アイコンが [しない] (アイコンなし)、 [する(1回)]、 [する(連続)] に切り替わります。
- BKT ボタンを押しながら、サブコマンドダイヤルを回すと、上面表示パネルのコマ数が切り替わります。



▼ 多重露出撮影時のご注意

- 音声メモは、多重露出撮影終了後に録音できます(四255)。多重露出撮影中には音 声メモは録音できません。
- 多重露出の撮影途中、画像の再生やメニュー画面の表示で液晶モニターを点灯した場合、液晶モニターが消灯してから操作のないまま30秒が経過すると、画像が記録されて多重露出が解除されます。
- 多重露出撮影中は、ライブビュー撮影ができません。
- 多重露出モードを [する (連続)] または [する (1回)] に設定していても、ライブ ビュー表示にすると [しない] になります。
- 自動ゲイン補正(口214)を[**しない**]に設定した場合、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生しやすくなります。
- 多重露出による撮影中は、メモリーカードを交換しないでください。
- レリーズモード(印111)をCLまたはCHに設定して撮影する場合、多重露出モードが「する(1回)」のときは、シャッターボタンを押し続けると、多重露出で設定された撮影コマ数の撮影後、多重露出撮影を解除します。「する(連続)」のときは、シャッターボタンを押し続けている間、多重露出で設定された撮影コマ数で多重露出撮影を繰り返します。
- セルフタイマー撮影時(□114)には、シャッターボタンを全押しすると、カスタムメニューc3 [セルフタイマー](□318)の [連続撮影間隔]で設定した撮影間隔で撮影します。ただし、c3の [撮影コマ数]で設定した撮影コマ数にかかわらず、多重露出で設定した撮影コマ数の撮影が終了した時点で画像が記録されます。
- 多重露出の撮影データ(撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、露出モード、露出補正値、焦点距離、縦横位置情報など)は、1コマ目の内容になります。

■ 多重露出撮影を中断するには

設定したコマ数分を撮影する前に多重露出撮影を中断するには、多重露出モードを [しない] に設定します。多重露出撮影を中断すると、その時点までの露光結果だけを重ね合わせた画像が記録されます([自動ゲイン補正] を [する] にしていたときは、露光回数に合わせてゲイン補正が行われます)。

多重常出 多重常出モード グ ONC する(連続) する(1 回) しない

このほか、次の場合も、多重露出は中断されます。

- ・ツーボタンリセット(□209)を行ったとき
- カメラの電源をOFFにしたとき
- バッテリーの残量がなくなったとき
- 多重露出中に撮影した画像を削除したとき

ď

☑ 多重露出とインターバルタイマー撮影の組み合わせについて

多重露出を設定してから1コマ目を撮影する前にインターバルタイマー撮影(口217)を設定すると、設定されたインターバルで多重露出撮影ができます。この場合、[インターバルタイマー撮影]で設定されたインターバルで1コマずつ撮影され、[多重露出]で設定されたコマ数の撮影が終了すると、インターバルタイマー撮影を解除します。多重露出が[する(1回)]の場合は、多重露出も解除されます。

夕 多重露出撮影時に利用できない機能について

多重露出撮影中はメモリーカードの初期化はできません。また、一部のメニュー項目 がグレーで表示されて選択できません。

0FF

インターバルタイマー撮影で 設定した間隔で撮影する

このカメラは、設定した開始方法(即時または設定時刻)と撮影間隔で自動的に撮影を行う、インターバルタイマー撮影が可能です。つぼみがゆっくりと開く様子や、蝶が羽化する様子などを記録したい場合などに便利です。インターバルタイマー撮影は、レリーズモードをS、CL、CH、QまたはMupに設定して撮影してください。

■ インターバルタイマー撮影の開始

- 1 撮影メニューの [イン ターバルタイマー撮影] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影 メニューの [インターバル タイマー撮影] を選んでマ ルチセレクターの▶を押し

MENUボタン



ます。「インターバルタイマー撮影」画面が表示されます。

▼ インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをすることをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニューの [地域と日時] (□29) で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、または別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いください。

2 [開始方法の設定] を設定する

- [開始方法の設定] を選んで▶を 押します。
- ▲または▼を押して開始方法を 設定します。





即時スタート

開始日時設定

インターバルタイマーの設定後、[**撮影開始**] を選ぶとす ぐにインターバルタイマー撮影が開始されます。

▶を押すと、インターバルタイマー撮影の開始日時を設定できます。

きます。

• ◀または ▶ を押して開始日、時、分を選び、 ▲ または ▼ を押して数値を設定後、 ※ ボ

タンを押します。



• 現在の日付とその後7日間から開始日を選べます。

3 [撮影間隔] (インターバル) を設定する

- [**撮影間隔**] を選んで▶を押します。





- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードに1回のコマ数(手順4) を掛けた値よりも長い時間を設定してください。
- 撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した[撮影回数×1回のコマ数](手順4)で撮影できないことがあります。

Ď

4 [撮影回数×1回のコマ数] を設定する

- [**撮影回数×1回のコマ数**] を選 んで**▶**を押します。
- ◆ 書たは ▶ を押して撮影回数と 1回のコマ数を1桁ずつ選び、 ▲ または ▼ を押して数値を設定後、 ®ボタンを押します。



インターバルタイマー撮影 露出平滑化

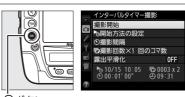
№ 10/15 10:05 **※** 00:01′00″

5 [露出平滑化] を設定する

- [**露出平滑化**] を選んで▶を押します。
- ▲または▼を押して露出平滑化をするかどうかを設定し、⊗ボタンを押します。
- [する] を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。ただし、露出モードがで撮影メニュー [ISO感度設定] の [感度自動制御] が [しない] の場合、露出の調整は行いません。

6 インターバルタイマー 撮影を開始する

 [撮影開始] を選んで®ボタンを押します。手順2の [開始方法の設定] で [即時スタート] を選んでいる場合は、約3秒後に撮影を



⊗ボタン

開始します。[**開始日時設定**] を選んでいる場合は、設定した日時に 撮影を開始します。

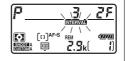
• 設定した撮影間隔とコマ数で撮影を繰り返します。

▼ インターバルタイマー撮影についてのご注意

- 実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間などが含まれます。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した撮影間隔で撮影できず、その回の撮影がキャンセルされることがあります(四222)。
- 設定した開始日時が現在時刻後1分以内の場合や「撮影間隔」が「00:00'00"」の場合、シャッタースピードがあょと。(バルブ)または・・(タイム)の場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- メモリーカードのメモリー残量がない場合、撮影時刻ごとにカウントは進みますが、 実際の撮影は行われません。メモリー残量のあるメモリーカードに交換し、インター バルタイマー撮影を再開してください(口221)。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や 画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピース シャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じることをおすすめします (CD 115)。

- インターバルタイマー撮影とオートブラケティングを同時に行う場合は、オートブラケティングを先にセットしてからインターバルタイマーを設定してください。
- インターバルタイマー撮影時に AE・フラッシュブラケティング、AE ブラケティング、フラッシュブラケティングまたは ADLブラケティングを行う場合は、撮影時間でとにオートブラケティングで設定したコマ数が撮影されます。
- インターバルタイマー撮影時にWBブラケティングを行う場合は、撮影時間ごとに 1コマ撮影し、オートブラケティングで設定したコマ数が記録されます。

インターバルタイマー撮影の待機状態では、上面表示パネルに INTERWAL マークが点滅します。撮影直前になるとシャッタースピード表示部に残りの撮影回数を、絞り値表示部にその回の残りの撮影コマ数を、それぞれ表示します。



- 待機状態でシャッターボタンを半押しすると、残りの 撮影回数と撮影コマ数を表示します。
- 撮影メニューから [インターバルタイマー撮影] を選ぶと開始日時、撮影間隔、残りの撮影回数と撮影コマ数、露出平滑化の設定が表示されます。また、インターバルタイマー撮影の [一時停止]/[再開](口221)と「終了](口222)が選べます。



■■ インターバルタイマー撮影の一時停止と再開

次の場合はインターバルタイマー撮影が一時停止状態になります。

- 撮影待機中に@ボタンを押したとき
- 撮影待機中に撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] で [一時停 IF] を選び、®ボタンを押したとき
- 電源をOFFにして、再度ONにしたとき(電源がOFFの間にバッテリー やメモリーカードを交換しても、一時停止状態が持続します。)
- レリーズモードをめに切り換えたとき

インターバルタイマー撮影を再開する手順は次の通りです。

撮影メニューの [イン ターバルタイマー撮影] を選ぶ

 MENUボタンを押して、撮影 メニューの [インターバル タイマー撮影] を選んでマ ルチセレクターの▶を押し

MENUボタン





ます。[インターバルタイマー撮影]画面が表示されます。

2 [開始方法の設定] を設定する

- すぐに撮影を再開する場合は [即時スタート] を選びます。
- 開始日時を設定する場合は[開始日時設定]を選んでマルチセレクターの▶を押し、開始日時を設定して⊛ボタンを押します。





Ď

3 インターバルタイマー 撮影を再開する

- [再開] を選んで®ボタン を押すと撮影を再開します。
- 撮影途中の回で停止状態になった場合、その回の残りのコマはキャンセルされま





. ∞ボタン

す。再開した場合は、次の回の1コマ目から撮影されます。

■ インターバルタイマー撮影の終了

次の場合はインターバルタイマー撮影が終了します。

- 撮影待機中に撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] で [終了] を 選び、∞ボタンを押したとき
- サンーボタンリセット(□209)を行ったとき
- [撮影メニューの管理] (CD 294) で撮影メニューをリセットしたとき
- オートブラケティング(□140)を設定、または解除したとき
- HDR (ハイダイナミックレンジ) モードを解除したとき (□186)
- 多重露出を解除したとき(□212)
- バッテリーの残量がなくなったときインターバルタイマー撮影終了後は通常の撮影待機状態に戻ります。

■ 撮影のキャンセル

撮影開始予定時刻を8秒過ぎても次の状態にある場合は、その回の撮影を キャンセルし、次の回の撮影時刻から撮影を再開します。

- 前の回のコマを撮影中
- ▲ 連続撮影可能コマ数が0のとき
 - メモリーカードに空きがないとき
 - AFモードがAF-Sで、被写体にピントが合わないとき(撮影ごとにピントを合わせます)

// レリーズモードについて

レリーズモードに関係なく、1回の撮影ごとに設定された撮影コマ数が撮影されます。

インターバルタイマー撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作や、画像の再生を行うことができます。ただし、メニュー画面や再生画面を表示している場合、撮影時刻の約4秒前に液晶モニターを消灯して、撮影に入ります。

インターバルタイマー撮影は、次の機能とは同時に使用できません。

- 微速度撮影(□224)
- カスタムメニュー q4 [シャッターボタンの機能] の [動画撮影] (□353)

☑ 撮影メニューの切り換えとリセットについて

インターバルタイマー撮影設定画面の内容は、全ての撮影メニュー(「A」~「D」)(口294)で共通です。このため、撮影メニューの[撮影メニューの管理] で撮影メニューを切り換えても、インターバルタイマー撮影は続行します。また、[撮影メニューの管理] で撮影メニューをリセットすると、全ての撮影メニューでインターバルタイマー撮影設定が初期状態(開始方法の設定:即時スタート、撮影間隔:1分、撮影回数×1回のコマ数:1回/1コマ、露出平滑化:しない)にリセットされ、実行中のインターバルタイマー撮影は終了します。

微速度撮影する

微速度撮影では、設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないで動画として記録できます。撮影メニュー [動画の設定] (①72) の [画像サイズ/フレームレート]、[動画の画質] および [動画記録先] で設定した内容で動画が記録されます。

■■ 微速度撮影の開始

1 撮影メニューの [微速度 撮影] を選ぶ

MENUボタンを押して、撮影メニューの [微速度撮影]
 を選んでマルチセレクターの▶を押します。 [微速度撮影] 画面が表示されます。

MENUボタン





2 [撮影間隔] (インターバル) を設定する

- [**撮影間隔**] を選んで▶を押します。





• 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードよりも長い時間を設定してください。

3 [撮影時間] を設定する

- [**撮影時間**] を選んで▶を押します。
- ◀または▶を押して時間、分を 選び、▲または▼を押して数値 を設定後、∞ボタンを押します。





• 撮影時間は、最長で7時間59分まで設定できます。



4 「露出平滑化」を設定する

- 「露出平滑化」を選んで▶を押します。
- ▲または▼を押して露出平滑化をするかど うかを設定し、**®**ボタンを押します。
- 「する」を選ぶと、1コマ前に撮影した静止 画と大きく明るさが変化しないようにカメ ラが自動で露出を調整します。ただし、露出モードMで撮影メニュー [ISO感度設定]の「感度自動制御]が「しない」の場合、露出の調整 は行いません。

5 微速度撮影を開始する

- 「撮影開始」を選んで®ボ タンを押します。約3秒後 に撮影を開始します。
- 手順3で 設定した撮影時間 内に手順2で設定した撮影 間隔で撮影を繰り返します。





微速度撮影

しない

⊕ 00′ 01. 4″/90′ 22. 1°

のボタン

// 微速度撮影を開始する前に

- 動画ライブビューで実際に記録される範囲を確認してください(Q161)。
- ファインダー撮影時の明るさで撮影します。試し撮りをして、画像を再生して確認 することをおすすめします。
- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、別売のパワーコネクターとACアダプター、ま たは充分に充電されたバッテリーをお使いください。

☑ 微速度撮影の記録コマ数(撮影回数)と動画の長さについて

- 手順3で設定する撮影時間を手順2で設定する撮影間隔で割った数(小数点以下切り上げ)が、記録コマ数(撮影回数)になります。
- 微速度撮影で記録される動画の長さは、上記の記録コマ数÷ [動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート]で選んだフレームレートで計算できます(例えば、[動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート]が [1920×1080 24p] のときに記録コマ数が48コマの場合、記録される動画の長さは約2秒になります)。
- 最長20分の動画を記録できます。

記録時間/ 最長記録時間

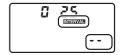


動画の画像サイズ/ フレームレート

▼ 微速度撮影についてのご注意

- 微速度撮影時には、音声は記録されません。
- 実際の微速度撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した撮影間隔で撮影できないことがあります。
- 次のような場合には、微速度撮影を開始できません。
 - 設定した[撮影時間] が[撮影間隔] より短い場合
 - [撮影時間] または [撮影間隔] が [**00:00'00"**] の場合
 - メモリーカードのメモリー残量がない場合
- AFモードがAF-Sで、被写体にピントが合わないときは、その回の撮影をキャンセルし、次の回から撮影を再開します(撮影ごとにピントを合わせます)。
- 微速度撮影中は、▶ボタンを押しても画像の再生はできません。MENUボタンを押すと「微速度撮影」画面が表示され、その他のメニューは選択できません。
- 微速度撮影をする場合、ホワイトバランスをAUTO(オート)以外に設定すると色みを固定することができます(CD 151)。
- 微速度撮影で明るさの変化を記録したいときは、露出モード州で露出を固定して撮影してください(ロ129)。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じることをおすすめします(口115)。
- 微速度撮影中は、カスタムメニューc2 [半押しタイマー](口317)の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。

 微速度撮影の待機状態では、上面表示パネルに マークが点滅し、微速度撮影中マークが点灯します。 撮影直前になるとシャッタースピード表示部にその回の残りの撮影時間を表示します(時間、分)。



- 待機状態でシャッターボタンを半押しすると、残りの 撮影時間を表示します。
- 待機状態でMENUボタンを押すと、液晶モニターの微速 度撮影画面に撮影間隔と撮影時間、露出平滑化の設定 が表示されます。また、[終了]を選んで微速度撮影を 終了できます(口228)。



☑ [画像サイズ/フレームレート] のクロップについて

撮影メニュー [動画の設定] の [画像サイズ/フレームレート] (口73) を [1920×1080 30p クロップ]、[1920×1080 25p クロップ] または [1920×1080 24p クロップ] に設定して微速度撮影するときは、測光範囲、調光範囲、およびホワイトバランスの [オート] で色温度を測定する範囲が、実際に記録される範囲と異なるため、露出、調光、およびホワイトバランスが適正に撮影できないことがあります。試し撮りをして、画像を再生して確認することをおすすめします。

√ 撮影直後の画像確認について

微速度撮影中は、▶ボタンで画像を表示することはできません。ただし、再生メニューの [撮影直後の画像確認] (□289) を [する] にすると、撮影のたびに自動的に画像が数秒間液晶モニターに表示されます (表示だけを行い、通常の再生時の操作は無効になります)。

// 微速度撮影動画の記録先について

微速度撮影で撮影した動画は、撮影メニューの [**動画の設定**] の [**動画記録先**] (口75) で選んだスロットに記録されます。

■■微速度撮影の終了

- 次の場合は微速度撮影が終了し、終了時点までの動画がメモリーカード に記録されます。
 - 撮影待機中に撮影メニュー [**微速度撮影**] で [**終了**] を選び、∞ボタンを押したとき
 - 微速度撮影の待機状態や撮影直後の画像確認時に**®**ボタンを押したとき
 - カメラの電源をOFFにしたとき
 - バッテリーの残量がなくなったとき
 - レンズを取り外したとき
 - HDMIケーブルを接続したとき
 - 空いているスロットにメモリーカードを入れたとき
 - シャッターボタンを全押ししたとき(微速度撮影を終了し、静止画を 撮影します。)
- 次の場合は動画を記録せずに、微速度撮影が終了します(微速度撮影終 了時の電子音は鳴りません)。
 - バッテリーやACアダプターを取り外したとき
 - メモリーカードを取り出したとき
- 微速度撮影終了後は通常の撮影待機状態に戻ります。

▼ 微速度撮影の制限について

微速度撮影は、次の機能とは同時に使用できません。

- ライブビュー撮影(口47、61)
- 長時間露出(バルブまたはタイム)撮影(□131)
- オートブラケティング撮影(□140)
- HDR (ハイダイナミックレンジ) (□186)
- 多重露出撮影 (□212)
- インターバルタイマー撮影(□217)

/ レリーズモードについて

- レリーズモードに関係なく、1回の撮影ごとに1コマ撮影します。
- 心に設定していてもセルフタイマー撮影を行いません。

∅ 関連ページ

微速度撮影終了時に電子音が鳴るようにする → **/** d1 [電子音設定] (□320)

このカメラでは、非CPUレンズ装着時も露出モード用または↑で撮影ができます。非CPUレンズを使用する場合、絞り値はレンズの絞りリングで設定します。セットアップメニューの[レンズ情報手動設定]でレンズの情報をカメラに登録すると、非CPUレンズ(□402)を使って撮影するときに、次の機能が使用できるようになります。

• 焦点距離を設定して使用できる機能:

- 別売のスピードライトのオートパワーズーム
- 再牛画面での焦点距離表示(焦点距離に*印が付きます)
- 開放絞り値(開放F値)を設定して使用できる機能:
 - レンズで設定した絞り値表示(上面表示パネル、ファインダー内下表示)
 - スピードライトの絞り連動外部自動調光
 - 再生画面での絞り値表示(絞り値に*印が付きます)
- 焦点距離と開放絞り値の両方を設定して使用できる機能:
 - RGB マルチパターン測光(レフレックスニッコールなど一部のレンズでは、焦点距離と開放絞り値を設定してもRGBマルチパターン測光では充分な精度が得られない場合があります。中央部重点測光またはスポット測光に設定して撮影してください)
- 焦点距離と開放絞り値の両方を設定すると精度が向上する機能:
 - 中央部重点測光
 - スポット測光
 - i-TTL調光

Ď

▼ ズームレンズまたはテレコンバーター使用時のご注意

- ズームレンズ使用時やテレコンバーター使用時など、一致する焦点距離が選択項目にないときは、装着レンズの焦点距離に最も近く、かつ大きい値を選んでください。
- テレコンバーターを使用した際の開放絞り値は、合成絞り値を設定してください。

■ レンズ情報の登録方法

- 1 セットアップメニュー の[レンズ情報手動設 定]を選ぶ
 - MENUボタンを押して、 セットアップメニューの [レンズ情報手動設定] を 選んで、マルチセレク ターの▶を押します。

MENUボタン





2 [レンズNo.] を選ぶ

◀または▶を押して、登録した いレンズNo. (1~9)を選びま す。





3 [焦点距離 (mm)] を選ぶ





4 [開放絞り値] を選ぶ

◀または▶を押して、レンズの 開放絞り値(F1.2~F22)を選 びます。





å

5 ∞ボタンを押して、設定を終了する

レンズの設定が保存されて、セットアップ メニュー画面に戻ります。



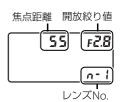
∞ボタン

■ 手動設定済みレンズ情報の選択方法

- 1 カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] の [コマンドダイヤル併用時の動作] を [手動設定済みレンズの選択] に設定する (□336)
 - Fnボタンとコマンドダイヤルの組み合わせに対して、レンズの選択機能が割り当てられます。
- 2 Fnボタンを押しながらメインコマンド ダイヤルまたはサブコマンドダイヤル を回す



レンズNo.は上面表示パネルに表示されます。使用したいレンズの番号が表示されるまでメインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルを向します。



Ø ズームレンズ装着時について

非CPUズームレンズを装着してズーミングをした場合、変化するレンズの焦点距離や開放絞り値とカメラで設定されているレンズ情報は連動しません。ズーミングを行った場合は、もう一度レンズ情報を設定してください。

☑ 関連ページ

- Pvボタンで手動設定済みレンズ情報を切り換える→
 f4 [プレビューボタンの機能] (□337)
- サブセレクターの中央を押して手動設定済みレンズ情報を切り換える → f6 [サブセレクター中央押しの機能] (□338)

位置情報を画像に記録する

このカメラは、10ピンターミナル(□2)に接続したGPS機器により、位置情報を画像に記録することができます。GPS機器と通信して撮影した画像には、再生時の画像情報に位置情報のページ(□245)が追加されます。位置情報を記録するには、次の2つの方法があります。

- 別売のGPSユニットGP-1またはGP-1Aと接続する
 GP-1/GP-1Aを接続すると、画像データに撮影時の緯度、経度、標高、UTC(協定世界時)を記録できます。
- ●他社製のGPS機器と接続する (□411) 別売のGPS変換コードMC-35を介して、市販の対応GPS機器 (□411) と通信し、画像データに撮影時の緯度、経度、標高、UTC (協定世界 時)、撮影方位を記録できます。

■ 別売のGPSユニットGP-1/GP-1Aと接続する

別売のGPSユニットGP-1/GP-1Aは、ニコンデジタルカメラ専用のGPS機器です。カメラとGP-1/GP-1Aの接続方法については、GP-1/GP-1Aの使用説明書をご覧ください。

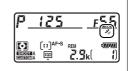


ď

☑ GPS機器使用時の表示について

GPS機器との通信状態は、上面表示パネルの衛星受信状態マークるで確認できます。

- 為(点灯): GPS機器との通信中です。
- (点滅): GPS 機器が取得している情報が確定していないため、位置情報は記録されません。
 が点灯するまでお待ちください。
- ★(消灯): GPS機器との通信が2秒以上途絶えると、★が消灯します。この状態で 撮影した画像データには位置情報は記録されません。



■ GPS機器接続時のカメラの設定について

MENUボタンを押して、セットアップメニューの [位置情報] を選んでマルチセレクターの▶を押すと、GPS機器と接続時の半押しタイマーの設定、取得した位置情報の表示、衛星による日時合わせの設定ができます。

• [**半押しタイマー**] では、カメラとGPS機器を接続しているときの半押 しタイマーを設定できます。

| | カメラを操作していないときは、カスタムメニュー c2 [半押しタ |
|------|------------------------------------------|
| | イマー](口317)で設定された時間でオフになります。 |
| 有効 | • カメラのバッテリーの消耗を少なくすることができます。 |
| 1920 | • GP-1/GP-1Aとの接続時には、電源をONにした直後または半押 |
| | しタイマーがオンになった直後は、カメラが位置情報を取得で |
| | きるまで半押しタイマーがさらに最大1分間延長されます。 |
| 無効 | GPS機器と接続中は、半押しタイマーがオフになりません。 |

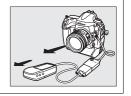
• [情報表示] では、GPS機器接続時に取得した情報を表示します。

| 緯度 | 緯度を表示 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経度 | 経度を表示 |
| 標高 | 標高を表示 |
| 方位 | 撮影方位を表示 |
| UTC | UTC(協定世界時)を表示。 UTC(Coordinated Universal Time=協定世界時)は、GPS機器 と接続して取得された世界標準時で、カメラで設定されている時 刻とは別に記録されます。 |

• [衛星による日時合わせ] が [する] の場合、GPS機器接続時に取得した日時の情報でカメラの内蔵時計を合わせます。GPS機器を使用して日時を合わせないときは、[しない] を選んでください。

☑ 撮影方位について

- 撮影方位は、電子コンパス内蔵のGPS機器と接続して撮影 した場合のみ記録されます。
- GP-1/GP-1Aを接続した場合、撮影方位は記録されません。
- 撮影方位を正確に記録したい場合は、カメラからGPS機器を20cm以上離し、撮影する方位にGPS機器の向きを合わせてください。



▶

画像の再生

画像を再生する



1コマ表示モード

■ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

- マルチセレクターの◀を押すと前の画像が、▶を押す と次の画像が表示されます。
- ▲または▼を押すと、表示中の画像についての詳しい 情報が表示されます(□238)。

▶ボタン



サムネイル表示モード

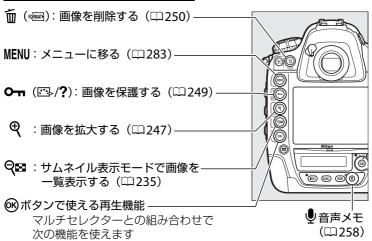
1コマ表示モードのときに**Q™**ボタンを押すと、複数の縮小画像(サムネイル画像)を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。

- 表示される画像の数は、Q™ボタンを押すたびに4コマ、9コマ、72コマの順に増え、Qボタンを押すたびに減ります。
- マルチセレクターの ▲▼◀▶ またはななめを押して 画像を選びます。
- 中央ボタンを押すたびに、1コマ表示とサムネイル表示が切り替わります。



Q⊠ボタン

画像再生時のボタン操作





[スロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表示されます。 スロットを選んで▶を押すと、選んだスロット内のフォル ダーの一覧が表示されます。フォルダーを選んで®ボタンを 押すと、フォルダー内の画像が表示されます。



- **静止画の場合**:画像編集メニュー(口375)が表示されます。
- **動画の場合**: 動画編集メニュー (口79) が表示されます。



セットアップメニュー [IPTC] (口365) でカメラに登録した IPTC プリセットの一覧が表示されます。IPTC プリセットを選んで®ボタンを押すと、選んだIPTC プリセットが表示中の静止画に添付されます(すでに画像にIPTC プリセットが添付されている場合は、選んだIPTC プリセットに上書きされます)。





有線LANまたは無線LAN接続時に、選んだ画像を画像送信モードでパソコンやFTPサーバーに送信できます(□270)。

☑ メモリーカードスロットの切り換えについて

サムネイル表示モードの72コマ表示時に**92**ボタンを押して [スロット/フォルダー指定メニュー] 画面を表示することもできます。

再生メニューの [縦位置自動回転] (□290) を [する] に設定すると、縦位置で撮影された画像を、右のように 縦位置で再生します。



☑ 撮影直後の画像確認について

再生メニューの[撮影直後の画像確認] (□289) で [する] が設定されているときは、▶ボタンを押さなくても、撮影した画像を自動的に液晶モニターに表示します。

- レリーズモードがCHやCLのときは、撮影終了後に、最初のコマから順次画像を表示します。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、再生メニューの [縦位置 自動回転] (□290) を [する] に設定しても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

☑ 撮影に戻るには

シャッターボタンを半押しするかI■ボタンを押すと、液晶モニターが消灯し、すぐに撮影できます。

サムネイル表示中や右のような画像選択画面では、マルチセレクターの▲▼◀▶またはななめを押して画像を選べます。





☑ 関連ページ

- ・画像のコマ送りやメニュー操作をコマンドダイヤルで行えるようにする → f10 [コマンドダイヤルの設定] の [再生/メニュー画面で使用] (□343)

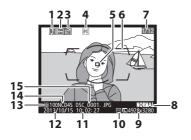
画像情報を表示する

1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができます。マルチセレクターの▲または▼を押すと、次のように撮影情報の表示が切り替わります。



- ▶
- ※1 再生メニューの [再生画面設定] (□285) で設定している場合のみ表示します。
- ※2 IPTCプリセット(□365)を添付した静止画の場合のみ表示します。
- ※3 GPS機器(□232)を使用して撮影した画像の場合のみ表示します。

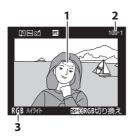
■■ 標準表示



| 1 | 音声メモの有無255 |
|----|-------------------|
| 2 | プロテクト設定の有無249 |
| 3 | 画像編集の有無373 |
| 4 | IPTCプリセット添付の有無 |
| | 236、365 |
| 5 | フォーカスポイント※1、2 103 |
| 6 | AFエリアフレーム※137 |
| 7 | コマ番号/ |
| | フォルダー内全画像数 |
| 8 | 画質モード89 |
| 9 | 画像サイズ92 |
| 10 | 撮像範囲 83 |
| 11 | 撮影時刻 29 |
| 12 | 撮影日付 29 |
| 13 | スロット32 |
| 14 | フォルダー名296 |
| 15 | ファイル名298 |
| | |

- ※1 再生メニューの [**再生画面設定**] (\$\Pi 285) で [**フォーカスポイント**] を設定している場合のみ表示します。
- ※2表示されるフォーカスポイントは、撮影時の設定により、次のように異なります。
 - **ファインダー撮影時の AF モードが AF-S の場合、**最初にロックしたフォーカスポイントを赤く表示します。
 - ファインダー撮影時のAFモードがAF-Cで、AFエリアモード(□100)がシングルポイントAF、ダイナミックAF、3D-トラッキングまたはグループエリアAFの場合、ピントが合ったときはフォーカスポイントを赤く表示し、ピントが合っていないときは表示しません。
 - ファインダー撮影時のAFモードがAF-CでAFエリアモードがオートエリアAFの場合、フォーカスポイントを表示しません。

■ ハイライト表示



- 1 画像のハイライト部分(画像の中の 非常に明るい部分)を各色ごとに点 滅表示します※
- ※ ♥☎ ボタンを押しながらマルチセレクターの ◀ または ▶を押すと、次のように点滅表示するハイライト部分が切り替わります。





■■ RGBヒストグラム

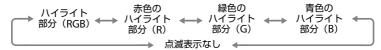


| 1 | 画像のハイライト部分を 各色ごとに点滅表示します※ 240 |
|---|----------------------------------|
| | 日告しこに忠槻衣がしみ 9 ** 240 |
| 2 | フォルダー番号-コマ番号 296 |
| 3 | ホワイトバランス151 |
| | ホワイトバランス色温度 157 |
| | ホワイトバランス微調整 154 |
| | プリセットマニュアル160 |
| 4 | ハイライト部分が点滅表示 |
| | している色※ |
| 5 | RGBのヒストグラム |
| 6 | 赤色 (R) のヒストグラム |

緑色(G)のヒストグラム 青色(B)のヒストグラム

※ ※ ※ ※ が※ ががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが<l>





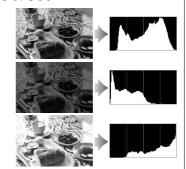
RGBヒストグラム表示でのボタンを押すと、ヒストグラム表示のまま拡大画面になります。拡大ヒストグラム表示では、拡大領域のヒストグラムを表示することができます。また、拡大表示中にマルチセレクターを操作すると画面をスクロールして見たい部分に移動できます。



// ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ(輝度)の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

- いろいろな明るさの被写体が写っている 画像では、グラフの山が全体的に分布し たヒストグラムになります。
- 暗い画像はヒストグラムの分布が左側に 寄った形になります。
- 明るい画像はヒストグラムの分布が右側 に寄った形になります。



露出補正を+側にすれば山が右側に寄り、-側にすれば山が左側に寄ります。 屋外などで周りが明るすぎて液晶モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

ピ ヒストグラム表示について

- RGBヒストグラムは明るさ(輝度)を表示しています。
- ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。目安としてお使いください。

▶

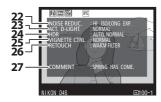
■■ 撮影情報

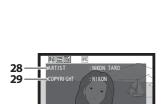
撮影時の設定の詳細を表示します。





| 1 | ■ 測光モード123 |
|---|--------------------|
| | シャッタースピード 127、129 |
| | 絞り値128、129 |
| 2 | |
| | ISO感度*1117 |
| 3 | 露出補正値138 |
| | 基準露出レベルの調節値※2 317 |
| 4 | 焦点距離 |
| 5 | レンズ情報229 |
| 6 | ■ フォーカスモード97 |
| | レンズのVR(手ブレ補正)機能の |
| | ON/OFF**3 |
| 7 | ■ フラッシュの種類※4 |
| | コマンダーモードの有無※4 |
| 8 | フラッシュモード※4201 |
| 9 | ■ フラッシュ発光方式※4327 |
| | 調光補正値※4204 |
| 1 | カメラ名 |
| 1 | ■ 撮像範囲83 |
| 1 | 7 フォルダー番号-コマ番号 296 |
| | |
| 1 | 3 ホワイトバランス151 |
| | ホワイトバランス色温度157 |
| | ホワイトバランス微調整154 |
| | プリセットマニュアル160 |
| 1 | |
| 1 | |
| 1 | |
| | 元になった |
| | ピクチャーコントロール※6 173 |
| 1 | |
| 1 | |
| 1 | |
| 2 | |
| | フィルター効果※8 |
| 2 | |
| _ | 調色※8176 |
| | ■ № □ ´ |





| | 22 | 高感度ノイズ低減302 長秒時ノイズ低減302 |
|---|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| Ī | 23 | アクティブD-ライティング 184 |
| Ī | 24 | HDRの露出差188 |
| ı | | HDRのスムージング188 |
| | 25 | ヴィネットコントロール 300 |
| | 26 | 画像編集メニュー(口373)で行われた 画像編集の内容が一覧表示されます。 複数の画像編集が行われた場合は、順 番に表示されます。 |
| Ī | 27 | 画像コメント363 |
| | 28 29 | 撮影者名*9 |
| | | |

- ※1 感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。
- ※2 カスタムメニューb7 [基準露出レベルの調節] (□317) を0以外に設定している場合のみ表示します。
- ※3 VRレンズ装着時のみ表示します。
- ※4 別売のスピードライト使用時にのみ表示します(□191)。
- ※5 [スタンダード]、[ビビッド]、[ポートレート]、[風景] のとき表示します。
- ※6 [ニュートラル]、[モノクローム]、カスタムピクチャーコントロールのとき表示します。
- ※7 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールの場合、表示しません。
- ※8 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールの ときのみ表示します。
- ※9 セットアップメニューの [著作権情報] (□364) を設定して撮影した画像の場合の み表示します。

■ 位置情報※1 (□232)

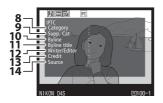


- 1 緯度
- 2 経度
- 3 標高
- 4 UTC(協定世界時)
- 5 撮影方位**2
- ※1 動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を表示します。
- ※2 電子コンパス内蔵のGPS機器と接続して撮影した場合のみ表示します。

■■ IPTC情報(□ 365)



- 1 Caption
 - 2 Event ID
- 3 Headline
- 4 Object name
- 5 City
- 6 State
- 7 Country



- 8 Category
- 9 Supp. Cát. (Supplemental Categories)
- 10 Byline
- 11 Byline title
- 12 Writer/editor
- 13 Credit
- 14 Source

■ 統合表示

17-

| 21 22 00 F2.8 SQHi 0.3 | 50mm = 23 |
|-------------------------------|------------------|
| 1.0 \$ | 24 SD 25 |

| | 16 151413 12 11 |
|----|-----------------|
| 1 | コマ番号/ |
| | フォルダー内全画像数 |
| 2 | 画像コメントの有無363 |
| 3 | 音声メモの有無255 |
| 4 | プロテクト設定の有無249 |
| 5 | 画像編集の有無373 |
| 6 | カメラ名 |
| 7 | IPTCプリセット添付の有無 |
| | 236、365 |
| 8 | 位置情報の有無232 |
| 9 | 画像のヒストグラムを表示します |
| | (□242)。 |
| 10 | 画質モード89 |
| 11 | 画像サイズ92 |
| 12 | 撮像範囲83 |
| 13 | ファイル名298 |
| 14 | 撮影時刻29 |
| 15 | フォルダー名296 |
| 16 | 撮影日付29 |
| | |

| 17 | スロット | . 95 |
|----|------------------|------|
| 18 | 測光モード | 123 |
| 19 | 露出モード | 125 |
| 20 | シャッタースピード 127、 | 129 |
| 21 | 絞り値128、 | 129 |
| 22 | ISO感度※1 | 117 |
| 23 | 焦点距離229、4 | 405 |
| 24 | アクティブD-ライティングの強馬 | ŧ |
| | | 185 |
| 25 | ピクチャーコントロール | 173 |
| 26 | 色空間 | 299 |
| 27 | フラッシュモード※2 | 201 |
| 28 | ホワイトバランス | 151 |
| | ホワイトバランス色温度 | |
| | ホワイトバランス微調整 | |
| | プリセットマニュアル | |
| 29 | 調光補正値※2 | |
| 2) | 調ル補止!!! | 204 |
| | | |
| 30 | 露出補正値 | 138 |
| | | |

- ※1 感度自動制御された画像の場合、ISO感度を赤く表示します。
- ※2 別売のスピードライト使用時にのみ表示します(□191)。

画像を拡大表示する

1コマ表示モードのときに[♥]ボタンを押すと、拡大表示されます。拡大できる最大の大きさ(長さ比)は、画像サイズがLの場合は約30倍、Mでは約23倍、Sでは約15倍です(撮像範囲が [FX (36×24)1.0×]の場合)。拡大表示中に人物の顔を認識した場合、最大35人までの顔を白枠で囲み、サブコマンドダイヤルを回して順次移動することができます。



■ 拡大表示中の操作方法

| 拡大率を上げる | Ф | ボタンを押すごとに拡 大率が上がります。 | |
|-------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 拡大率を下げる | Qss | ボタンを押すごとに拡 大率が下がります。 | 拡大表示中に拡大率を操作すると、画面の右下に ナビゲーションウィンドウが表示され、拡大表示中の部分が黄色い枠で囲んで示されます。数秒す |
| 画面をスクロール (移動) させる | | 画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。マルチセレクターを押し続けると、高速で移動します。 | ると消えます。 |
| 人物の顔へ移動させる | | 拡大表示中に人物の顔 を認識すると、画面右 下のナビゲーション ウィンドウに白枠が表 示されます。サブコマ ンドダイヤルを回す と、認識した顔に順次 | |

移動します。



メインコマンドダイヤルを回すと、そのままの拡 大率と表示範囲で、前後の静止画を表示します(動 画を選ぶと、拡大表示を終了します)。

От (ЕУ/?)

表示中の画像にプロテクト(保護)を設定します $(\square 249)_{\circ}$

撮影に戻る



MENU

シャッターボタンを半押しするか、シボタンを押す と、液晶モニターが消灯し、すぐに撮影できます。

メニュー に移る

メニューが表示されます(四283)。

プロテクトで画像を 削除できないように保護をする

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト(保護)を設定できます。ただし、メモリーカードを初期化(フォーマット: \$\Pi\$5.355)すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

1 プロテクトする画像を選ぶ

- 1コマ表示モード/拡大表示の場合は、 プロテクトする画像を表示します。
- サムネイル表示モードの場合は、プロ テクトする画像をマルチセレクターで 選びます。





2 O¬¬ (៤₃/?) ボタンを 押す

- **M**アイコン が表示されま す。
- 画像のプロテクトを解除するには、解除する画像を表示(選択)して、On(四/?)ボタンを押します。





Om (四/?) ボタン

音声メモが録音された画像にプロテクトをかけると、画像と音声メモの両方にプロテクトがかかります。個別に設定することはできません。

☑ プロテクトの一括解除について

画像を削除する

メモリーカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には 戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクトおよび非表示設定さ れている画像は削除できません。

ボタン操作で画像を削除する

血(🚾) ボタンを押すと、表示中の画像を1コマ削除したり、再生フォルダー内の全ての画像を削除できます。

1 削除する画像を選ぶ

- 1コマ表示モードのときは、削除する画像を表示します。
- サムネイル表示モードのときは、削除する画像を選びます。

- 削除方法の選択画面が表示 されるので、[選択中の画像]を選びます。
- [再生フォルダー設定] (□284) で設定したフォ ルダー内の全ての画像を削 除するには、マルチセレク ターの▼を押して、画像 を削除するスロットを選び ます。
- ■ボタンを押すと、画像の 削除はキャンセルされます。

血(roman) ボタン







3 画像を削除する

- ●選択中の画像を削除する場合は、 (๑) (๑) ボタンをもう一度押します。
- 再生フォルダー内の全ての画像を削除する場合は、∞ボタンを押します。

☑ 音声メモ付き画像の削除について

音声メモ付きの画像を削除する場合は、①250の手順2 で [選択中の画像] を選んでから (全国) ボタンを押す と右のような音声メモ付き画像の削除確認画面が表示されます。

- [画像と音声] を選んで fm (📼) ボタンを押すと、表示中の画像と音声メモを削除します。
- [音声のみ] を選んで面(※※) ボタンを押すと、音声 メモのみを削除します。
- 削除確認画面の表示中に「●ボタンを押すと、画像の削除をキャンセルして、再生画面に戻ります。
- [全画像] 削除の場合は、音声メモ付き画像の削除確認画面は表示されません。



画像の削除後に表示される画像を変更する → ▶ [削除後の次再生画像] (□290)



複数の画像をまとめて削除する

再生メニューの [**削除**] では、複数の画像を一括して削除できます。たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

書書 選択画像削除 選んだ画像を削除します。

[**再生フォルダー設定**] (口284) で設定したフォルダー内の全て

ALL 全画像削除

の画像を削除します。

• メモリーカードを2枚使用して

メモリーカードを2枚使用している場合は、画像を削除するスロットを選択できます。



■■ 選択画像削除

1 再生メニューの [削除] で [選択画像削除] を 選ぶ

• MENUボタンを押して再生メニューの [削除] で [選択 画像削除] を選びます。マルチセレクターの▶を押す MENUボタン





と、削除画像の選択画面が表示されます。

2 削除する画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選びます。
- ♥ボタンを押している間、 選択中の画像を拡大表示します。
- 製工ダンを押すと、「スロット/フォルダー指定メニュー」画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(四236)。





♥ボタン





中央ボタンを押すと、 fnが表示 されます。もう一度中央ボタン を押すと、面が消えます。





削除する画像全てに設定してく ださい。

4 設定を完了する

● Mボタンを押して、設定を終了します。



のボタン

確認画面で「はい」を選んで®ボタンを押す と、選んだ画像が全て削除されます。





音声メモ付き画像を削除する場合、音声メモも同時に削除されます。

音声メモを録音する

撮影した画像に、最長で約60秒の音声メモを録音できます。

音声メモに関する設定を行う

音声メモを録音する前に、セットアップメニューの [**音声メモの設定**] で **[撮影時の録音**]、**[撮影時の上書き録音**] (口256)、**[音声ボタンの操作**] (口256) を設定します。

■ 撮影時の録音

M● 手動録音のみ

画像を撮影するたびに音声メモを自動的に録音 するか、手動で録音するかを設定できます。

 $(\Box 257)_{\circ}$



1 録音しない 撮影時には、音声メモを録音できません。 撮影直後に音声メモを自動的に録音します(□257)。 「自動録音と手動録音」を選ぶ 音声メモの設定 と、右の画面が表示されます。 録音時間を「5秒]、「10秒]、 **₽**5s 自動録音と [20秒]、[30秒]、[45秒]、 手動録音 [**60秒**] から選びます。ただし、 再生メニューの「撮影直後の画 **像確認**] を [する] に設定して いる場合(□289) は、自動録音しません。 最後に撮影した画像に対して音声メモを手動で録音します

■ 撮影時の上書き録音

撮影時に、すでに音声メモが録音されている画像に対して、音声メモを上書き録音できるように設定できます。

| 禁止 すでに音声メモが録音されているに に上書き録音はできません。 | |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 許可 | 最後に撮影された画像に音声メモが録音されていても、音声メモを手動で上書き録音できます(CL)257)。 |



■ 音声ボタンの操作

音声メモ録音時の**♥**ボタンの操作方法について 設定します。

| ●並 押し続けている間録音 | ●ボタンを押し続けている 間のみ録音します(最長約 60秒)。 |
|---------------|-----------------------------------------------------------|
| ♥単 押して開始/終了 | ●ボタンを押して録音を開始し、もう一度押すか、約60秒経過すると録音を終了します。 |





√ 撮影時の録音設定表示について

[撮影時の録音] が [自動録音と手動録音] または [手動録音のみ] に設定されている場合、背面表示パネルに設定が表示されます。





[撮影時の録音] (\$\simple\$255) を [自動録音と手動録音] に設定すると、撮影した画像に対して自動的に音声メモを録音します。

- 撮影後にシャッターボタンから指を放すと(半押しを解除すると)、音 声メモが自動的に録音されます。
- **●**ボタンを押すか、設定した時間が経過すると、音声メモの録音を終了します。

撮影時に手動で録音する

[撮影時の録音] (□255) を [自動録音と手動録音] または [手動録音のみ] に設定すると、最後に撮影した画像に対して手動で音声メモを録音できます。

●ボタンを押し続けている間(1秒以上)、音声 メモが録音されます。



▼ 撮影直後の画像確認についてのご注意

- 再生メニューの [撮影直後の画像確認] (□289) が [する] の場合は、自動録音されません。
- 撮影直後の画像確認時は、[撮影時の録音]が[録音しない]になっていても、再生中の画像に音声を記録することができます。

☑ 撮影時の音声メモ録音の制限について

次の場合は、音声メモは録音できません。

- ・ ライブビュー表示中または動画撮影時(□47、61)
- 微速度撮影時 (□224)

☑ 副スロットの機能(□95)が[バックアップ記録]または [RAW+JPEG分割記録]のときの音声メモの録音先について

メモリーカードを2枚使用しており、撮影メニューの [**副スロットの機能**] が [**バックアップ記録**] または [**RAW+JPEG分割記録**] の場合、音声メモは主スロットの画像に記録されます。

再生時に音声メモを録音する

1 音声メモを録音する画像を選ぶ (□235)

• 画像の再生時は、すでに音声メモが録音されている画像(「ハアイコンが表示されている画像)に対して音声メモを録音することができません。音声メモを削除してから録音してください(中251)。



2 ♥ボタンを押し続ける

●ボタンを押し続けている間(1秒以上)、 音声メモが録音されます。



音声メモ録音中は、背面表示パネルで●アイコンが点滅し、背面表示パネルに録音可能な残り時間のカウントダウンが秒単位で表示されます。

音声メモ録音中は、画像上に●アイコンが表示されます。



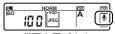


lacksquare

音声メモの録音中にカメラのシャッターボタンやその他のボタンを操作すると、録音が自動的に終了することがあります。また、電源をOFFにしたときや、インターバルタイマー撮影中に撮影時刻の約2秒前になったときも音声メモの録音を終了します。

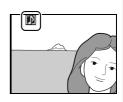
☑ 撮影時、再生時の音声メモ録音後の表示について

最後に撮影された画像に、音声メモが録音されている 場合は、背面表示パネルで♥アイコンが点灯します。



背面表示パネル

音声メモが録音された画像には「D)アイコンが表示されます。



音声メモを録音すると、DSC_nnnn.WAVという名称の音声ファイルが作成されます。nnnnには対応する画像ファイルの名称と同じ数字が入ります。たとえば、DSC_0002.JPGという画像ファイルに音声メモを録音した場合、DSC_0002.WAVという名称の音声ファイルが作成されます。音声ファイル名はパソコンで確認することができます。

- 撮影メニューの [色空間] (口299) で [Adobe RGB] に設定して撮影した画像の場合、音声ファイル名は DSCnnnn.WAVになります。
- 撮影メニューの「ファイル名設定](□298)でファイル名の[DSC]の3文字を変更して撮影した画像の場合、音声ファイルの[DSC]の3文字も同様に変更されます。



音声メモを再生する

画像の再生時(□235)に、「☑アイコンの付いた画像を選んで、●ボタンを押すと、音声メモを再生できます。



| 音声メモの |
|-------|
| 再生/終了 |
| 音声メモの |

削除



m

●ボタンを押すと、音声メモを再生します。もう一度●ボタンを押すか、録音内容が終了すると再生を終了します。

音声メモ付き画像の削除については、□251をご覧ください。

lacksquare

音声メモの再生中にカメラのシャッターボタンやその他のボタンを操作すると、再生が自動的に終了することがあります。また、電源をOFFにしたときや、他の画像を選んだときも音声メモの再生を終了します。

再生方法と音量の設定について

セットアップメニュー [音声メモの設定] の [音声の出力] では、音声の出力方法を設定できます。



| ď | スピーカー / ヘッドホン | カメラ本体に内蔵のスピーカーやカメラに接続中のヘッドホンで音声メモを再生します。[スピーカー/ヘッドホン]を選ぶと、右の画面が表示されます。 ・マルチセレクターの▲または▼を押して、音量を [1] ~ [15] から選びます。 ・選んだ音量でサンブル音が鳴ります。数値が大きくなるほどサンプル音も大きくなります。 ・※ボタンを押すと設定を終了します。 | |
|------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| HDMI | HDMI出力 | HDMI機器から音声メモを一定音量で出力します。 | |
| Ø | 出力しない | ●ボタンを押しても、音声を出力しません。音声メモが録音されている画像には、*メアイコンが表示されます。 | |





◇パソコン、プリンター、 テレビとの接続

ViewNX 2をインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込めば、静止画や動画の表示、編集ができます。インストールを始める前に、お使いのパソコンの環境が口265の動作



環境に合っているか確認してください。

- **1** パソコンを起動し、ViewNX 2 CD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、インストーラーを起動する
 - 右の画面で言語 を選びます。



2 インストールを開始する

画面の指示に従ってインストールしてください。



3 インストールを終了する



4 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

☑ 必ず最新バージョンのソフトウェアをお使いください

- お使いのカメラに対応していないバージョンのソフトウェアを使用すると、 RAW画像をカメラからパソコンへ正常に転送できないことがあります。必ず 最新バージョンのViewNX 2をお使いください。
- 最新版のViewNX 2は、当社ホームページ(口xviii)からダウンロードしてインストールすることもできます。

M

ℤ ニコンホームページへのアクセスについて(Windowsのみ)

ViewNX 2をインストールした後、Windowsの [**スタート**] メニューから [**すべてのプログラム**] → [**Link to Nikon**] の順にクリックすると、当社のホームページにアクセスできます(インターネットに接続できる環境が必要です)。

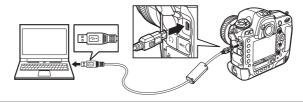
| ❷ ViewNX 2の動作環境について | | | | |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| o viewi | Windows | Mac | | |
| プロセッサー (CPU) | 静止画: Intel Celeron/Pentium4/ Coreシリーズ1.6GHz以上 動画: 再生時: Pentium D 3.0GHz以上 編集時: Intel Core i5以上 | 静止画:Intel Coreシリーズ/Xeonシリーズ 動画: 再生時: Core Duo 2GHz以上 編集時: Intel Core i5以上 1280 × 720 ピクセル以上でフレームレート30fps以上、または1920×1080ピクセル以上で動画 | | |
| OS | Windows 8.1、Windows 7、 Windows Vista、Windows XP ◆全てプリインストールされているモデルに対応 ◆64ビット版Windows XP上では動作しません。 | • OS X 10.9、10.8、10.7 | | |
| | 32ビット版 Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista: 1 GB 以上(2 GB以上推奨) 64ビット版 Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista: 2 GB 以上(4 GB以上推奨) Windows XP: 512 MB以上(2 GB以上推奨) | 2 GB以上(4 GB以上推奨) | | |
| ハード ディスク | OS起動ディスクの空き容量が1 GB以上(3 GB以上推奨) | | | |
| モニター | 以上(1280×1024ピクセル以上 推奨) 表示色数:24ビットカラー以上 | 解像度:1024×768ピクセル(XGA) 以上 (1280×1024ピクセル以上 推奨) 表示色数:1670万色以上 | | |
| ※ 対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報(卬xviii)でご確認ください。 | | | | |

ViewNX 2を使う

パソコンに画像を取り込む

1 パソコンに接続する

• メモリーカードを入れたカメラの電源を OFF にしてから、付属の USBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONに します。



2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

• 起動するプログラム (ソフトウェア) を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

3 画像をパソコンに取り込む

• [転送開始] をクリックすると、 記録されている画像がパソコ ンに取り込まれます (ViewNX 2の初期設定)。



[転送開始]

4 接続を解除する

カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。



✓ Windows 7をお使いの場合

右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

- **1** [**画像とビデオのインポート**] で使用 するプログラムにNikon Transfer 2 を選ぶ
 - [画像とビデオのインポート]の[プログラムの変更]をクリックすると



表示される画面で、**「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**」を 選んで、「**OK**】をクリックします。

2「画像ファイルを取り込む」をダブルクリックする

画像を見る

画像の取り込みが終わると、 ViewNX 2が自動的に起動し、取り 込んだ画像が表示されます。



■■静止画を編集する

ViewNX 2のツールバーで [**エディット**] をク リックします。



階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り 抜き(クロップ)などの編集ができます。

■動画を編集する

ViewNX 2のツールバーで [**Movie Editor**] を クリックします。



このカメラで撮影した動画の不要な部分を削除 するなどの編集ができます。

■■画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで**[印刷**] をクリック します。







✓ ViewNX 2を手動で起動するには

- Windows: デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルク リックする
- Mac: Dockの [ViewNX 2] アイコンをクリックする

✓ ViewNX 2の詳しい使い方は

ViewNX 2のヘルプを参照してください。

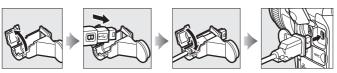


✓ パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、 まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜い てください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

▼ USBケーブルクリップについて

付属のUSBケーブルクリップを取り付けると、カメラからUSBケーブルが不用意に外れることを防ぐことができます。



▼ USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンやプリンターに接続すると、正しく動作しないことがあります。

M

<u>有線LAN/無線LANを使ってパソコンに画像を</u> 転送する

このカメラは、有線LAN (市販のイーサネットケーブルを使用)、無線LAN (別売のワイヤレストランスミッター WT-5またはWT-4) (□408) を装着または接続することにより、パソコンやFTPサーバーと通信できます。

■■ 有線LAN使用時または別売のWT-5接続時に使える機能

| FTP画像送信モード | メモリーカードに記録した静止画および動画や、撮影直後 |
|-------------|---------------------------------------|
| PC画像送信モード | の静止画をパソコンやFTPサーバーに保存できます。 |
| カメラコントロール | 別売のCamera Control Pro 2で、カメラをコントロールした |
| モード | り、撮影した静止画および動画をパソコンに保存できます。 |
| HTTPサーバー | パソコンやiPhoneのWebブラウザーからメモリーカード |
| モード | に記録した画像などの閲覧やリモート撮影ができます。 |
| 連動レリーズ | マスターカメラのレリーズに連動して、複数のリモートカ |
| (WT-5接続時のみ) | メラをレリーズさせることができます。 |

■ 別売のWT-4接続時に使える機能

| 画像送信 | メモリーカードに記録した静止画および動画や、撮影直後 |
|-------|---------------------------------------|
| | の静止画をパソコンやFTPサーバーに保存できます。 |
| PCモード | 別売のCamera Control Pro 2で、カメラをコントロールした |
| | り、撮影した静止画および動画をパソコンに保存できます。 |

- 有線LAN/無線LANでD4Sをネットワークに接続する方法については、 付属の「ネットワークガイド」をご覧ください。
- 別売のワイヤレストランスミッター WT-5 または WT-4 の使用方法に ついては、各製品の使用説明書をよくお読みください。
- ワイヤレストランスミッターと通信ユニットのファームウェアや付属の ソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。



✓ 別売の通信ユニットUT-1について

カメラに別売の通信ユニットUT-1(口408)を接続して有線LANで通信したり、UT-1にWT-5を取り付けて無線LANで通信することもできます。別売の通信ユニットUT-1接続時は、WT-4接続時と同じ機能が使用できます。

☑ 画像送信モード

画像送信モード (有線LAN/WT-5の場合は [**PC画像送信モード**] または [**FTP画像送信モード**]、WT-4とUT-1の場合は [**画像送信**]) で画像をパソコンやFTPサーバーに送信するには、1コマ表示モードやサムネイル表示モードで送信したい画像を選んでから、®ボタンを押しながらマルチセレクターの中央ボタンを押してください。

▼ 画像転送状態でのご注意

画像転送状態のときは、動画の記録および再生はできません。また、撮影メニュー [**静止画ライブビュー撮影**] が [**無音**] の場合は静止画ライブビュー撮影はできません (画像転送状態とは、有線LAN/無線LANで画像を転送中、または、転送予定の画像が残っている状態のことです)。

✓ 動画の転送について

有線LAN/無線LANをお使いの場合、動画は画像送信モードでパソコンに転送できます ([ネットワーク] の [オブション] が [撮影後自動送信] または [フォルダー送信] の場合を除く)。

▼ HTTPサーバーモードについて

HTTPサーバーモードでは、カメラ本体での動画の記録および再生はできません。また、撮影メニュー [**静止画ライブビュー撮影**] が [**無音**] の場合、カメラ本体での静止画ライブビュー撮影はできません。

画像をプリンターで印刷する

PictBridge (ピクトブリッジ: CD 461) 対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接接続してメモリーカード内の画像をプリントできます (ダイレクトプリント)。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにしてからプリンターの電源をONにする

2 カメラとプリンターを接続する

• USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。

3 カメラの電源をONにする

正しく接続されると、液晶モニターにPictBridgeのロゴが表示された 後、撮影された画像が表示されます。

▼ ダイレクトプリントの前に

- ダイレクトプリント時は、残量が充分にあるバッテリーをお使いください。別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いになることをおすすめします。
- 直接プリントする画像は、撮影メニューの [**色空間**] を [sRGB] に設定して撮影してください (□299)。

▼ USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

▼ ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW画像およびTIFF画像(¹(¹289) はダイレクトプリントできません。RAW画像の場合は画像編集メニューの [RAW現像](¹2384) で作成したJPEG画像をプリントしてください。
- [**フチ設定**] と [**範囲指定**] は、それぞれの機能に対応していないブリンターでは選べません。なお、[**範囲指定**] で狭い範囲を大きくブリントした場合は、画像が粗くブリントされる場合があります。



1コマだけプリントする

1 プリントしたい画像を選んで∞ボタンを押す

- マルチセレクターの◀または▶を押してプリントしたい画像を選びます。
- 1コマ表示中に♥ボタンを押すと、表示中の画像を拡大表示します (□247)。1コマ表示に戻ります。
- 中央ボタンを押して6コマ表示に切り換えて、画像を選ぶことができます。もう一度中央ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- 6コマ表示中に**9四**ボタンを押すと、[スロット/ フォルダー指定メニュー] 画面が表示されます (□236)。

2 プリント設定の項目を設定する

• [プリント設定] 画面で設定したい項目を選んで▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。設定方法については、「プリント項目設定について」(下記参照)をご覧ください。

3 プリントを開始する

- [プリント実行]を選んで、∞ボタンを押すとプリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度®ボタンを押してください。

■ プリント設定項目について

| 用紙設定※ | プリントする用紙のサイズを選んで⊗ボタンを押します。プリ |
|---------|----------------------------------------|
| | ンターが対応する用紙サイズのみが表示されます。 |
| 枚数指定 | プリントする枚数 (1~99枚) を設定して∞ボタンを押します。 |
| フチ設定※ | [あり] を選んで∞ボタンを押すと、画像にフチを付けてプリ |
| | ントします。 |
| 日付プリント※ | [あり] を選んで∞ボタンを押すと、画像に日付をプリントし |
| | ます。 |
| 範囲指定 | [する] を選んで、▶を押すと、[範囲指定] 画面が表示されま |
| | す。プリント範囲(黄色の枠)は Q≅ ボタンを押すと狭くなり、 |
| | ♥ ボタンを押すと広くなります。マルチセレクターを操作する |
| | とプリント範囲が移動します。プリント範囲を決定するには❸ |
| | ボタンを押します。 |

※ プリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に [プリンターの設定] を 選んでください。

複数の画像をプリントする

- **1** カメラとプリンターを接続し(□272)、撮影した画像が表示されたらMENUボタンを押す
- 2 プリント方法を選んで、プリントする画像や枚数を設定する
 - プリント方法を選んでマルチセレクターの▶を押します。

| | プリントする画像と枚数を選んでプリントします。 |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------|
| | • マルチセレクターを操作してプリントする画像を選び、 ○ (○ /?) |
| | ボタンを押しながら▲または▼を押して枚数 (1~99枚)を設定し |
| - 2115.1 | |
| プリント | て、∞ボタンを押します。 |
| 画像選択 | • Q≅ ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定メニュー] 画面が |
| | 表示されます (四236)。 |
| | • ♥ボタンを押している間は、選択中の画像を拡大表示します。 |
| | • プリントしない画像は枚数を0 にします。 |
| DDOF | 再生メニューの「 プリント指定 (DPOF)] (ロ276) で設定した画 |
| DPOF | 像をプリントします。プリント指定した画像と枚数を確認してから |
| プリント | ◎ボタンを押します。○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |
| | |
| | メモリーカードの中のJPEG画像(□89)を一覧できる「インデッ |
| | クス」をプリントします。 |
| | • [INDEXプリント] 画面が表示されたら、Mボタンを押します。 |
| INDEX | ● インデックスプリントできるのは 256 コマまでです。メモリー |
| | |
| プリント | カード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像 |
| | があります(確認画面が表示されます)。 |
| | • 用紙サイズによってはプリントできない場合があります(警告 |
| | メッセージが表示されます)。 |
| | ハフピーフロ弦がC11の970 |

3 プリント設定の項目を設定する

• [プリント設定] 画面で設定したい項目を選んで▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。[用紙設定]、[フチ設定]、[日付プリント] を設定できます。設定方法については、「プリント設定項目について」(□273)をご覧ください。



4 プリントを開始する

- [プリント実行] を選んで®ボタンを押すと、プリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度∞ボタンを押してください。

M

プリント時のエラーについては、「警告メッセージ」(四450)をご覧ください。

プリントしたい画像を指定する(プリント指定)

メモリーカードをプリンターのカードスロットに挿入して印刷するときや、プリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼するとき、またはカメラとプリンターを直接接続してダイレクトプリントするとき(①272)に、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます(プリンターやプリントサービス店がDPOF規格に対応している必要があります)。プリント指定の方法は次の通りです。

1 再生メニューの [プリント 指定 (DPOF)] で [設定] を選ぶ

MENUボタンを押して、再生メニューの[プリント指定(DPOF)]で[設定]を選び、マルチセレクターの▶を押します。

MENUボタン





2 プリントする画像と枚数を設定する

- マルチセレクターを操作してプリントする画像を選び、○m(ビシ/?)
 ボタンを押しながら▲または▼を押して枚数(1~99枚)を設定して、®ボタンを押します。
- **Q**⊠ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指 定メニュー] 画面が表示されます(□ 236)。
- **♥**ボタンを押している間は、選択中の画像を 拡大表示します。
- プリントしない画像は枚数を0 にします。





3 プリント指定の項目を設定する

指定した画像全てに撮影情報や日付をプリントしたい場合は、「撮影情報」または「日付」を選び、▶を押してチェックボックスをオン」
 ☑にします。



4 ∞ボタンを押して、プリント指定を終了する

✓ プリント指定についてのご注意

- ダイレクトプリント時には、[ブリント指定(DPOF)]の[撮影情報]、[日付]の 設定は無効になります。ダイレクトプリントで日付をプリントしたい場合は、ダイレクトプリントの[日付ブリント]を「あり」にしてください。
- メモリーカードの残量が充分にないときは、プリント指定ができない場合があります。
- RAW画像(¹(1)89)は、プリント指定ができません。画像編集メニューの [RAW現像](¹(1)384)で作成した [PFG画像をプリントしてください。
- プリント指定を行ったメモリーカード内のデータを、このカメラ以外で削除しないでください。正しくプリントできなくなる場合があります。

設定したプリント指定を一括で解除したいときは

前ページの手順1の画面で [一括解除] を選ぶと、[プリント指定 (DPOF)] で設定した内容を全て解除します。

M

画像をテレビで見る

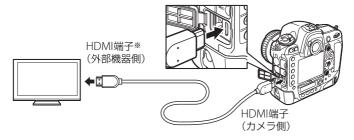
<u>HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと</u> 接続する

カメラをHDMI端子のあるハイビジョンテレビなどと接続することができます。接続には、別売のHDMI端子用ケーブル(口409)または市販のHDMI端子用ケーブル(Type C)が必要です。別途お買い求めください。

1 カメラの電源をOFFにする

HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

2 カメラとハイビジョンテレビを接続する



※使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください。

3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

4 カメラの電源をONにして、▶ボタンを押す

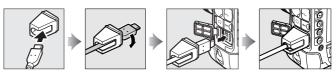
• 撮影した画像がテレビの画面に表示されます。





ℤ HDMIケーブルクリップについて

付属のHDMIケーブルクリップを取り付けると、カメラから別売のHDMIケーブルが不用意に外れることを防ぐことができます(HDMIケーブルクリップは、市販のHDMI端子用ケーブルには取り付けられません)。



HDMI対応機器との接続時の設定を変更する

セットアップメニュー (C) 354) の [**HDMI**] で、HDMI対応機器との接続時の設定を変更できます。

■ 出力解像度

HDMI対応機器への出力解像度を設定できます。

• [出力解像度] が [オート] の場合、出力先の 映像信号形式を自動的に検出します。



■ 詳細設定

| 出力レンジ | ビデオ信号の色階調の入力範囲(RGBレンジ)は、HDMI対応機器によって異なります。通常は、HDMI対応機器に合わせて自動で出力レンジを切り換える [オート] をお使いください。HDMI対応機器のRGBレンジを識別できない場合は、次のいずれかを選んでください。 ・リミテッドレンジ: RGBレンジが16~235の機器に適しています。画面で黒色がつぶれて表示される場合に選びます。 ・フルレンジ: RGBレンジが0~255の機器に適しています。黒色が明るく表示されたり、薄く表示されたりする場合に選びます。 |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出力画面サイズ | MDM 対応機器の画面に出力する範囲を、95%と100%から |
| | 選びます(いずれも上下左右とも)。 |
| ライブビュー時の | HDMI接続してライブビュー撮影をするときに、HDMI対応 |
| 情報表示 | 機器に撮影情報を表示するかどうかを設定します。[しない] |
| 1月報衣小 | の場合は、撮影情報が表示されません。 |
| | HDMI対応機器との接続時に、カメラの液晶モニターを点灯 |
| | するかどうかを設定します。[しない]を選ぶと、液晶モニ |
| モニターの | ターが消灯するため、カメラのバッテリーの消耗を少なくす |
| 同時表示 | ることができます。 |
| | • [ライブビュー時の情報表示] が [しない] の場合、[モニ |
| | ターの同時表示] は [する] に固定されます。 |

MDMIとは

High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。このカメラでは別売のHDMI端子ケーブル(Type C)を使ってHDMI対応機器と接続できます(四409)。

HDMI入力端子を装備した、市販の外部レコーダー(AJA Video Systems社のKi ProシリーズやAtomos社のNinjaシリーズ)を使用すると、HDMI出力映像を非圧縮のまま、直接記録できます。

- 画像の再生方法は、液晶モニターで再生するときと同じです。
- ・テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラレて表示される場合があります。その場合は、セットアップメニュー [HDMI] → [詳細設定] → [出力画面サイズ] (□ 280) を「95%」に設定してください。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、別売のパワーコネクターとACアダプターをお使いになることをおすすめします。

セットアップメニュー [音声メモの設定] の [音声の出力] (口261) を [HDMI出力] に設定すると、音声メモをテレビのスピーカーで再生することができます。

グ スライドショー

再生メニューの [**スライドショー**] (四291) では、撮影した画像を1コマずつ連続再生できます。

☑ 動画の音声について

- 動画撮影時に別売のステレオマイクロホンME-1 (口411)を使ってステレオ録音した 音声は、HDMIケーブルでカメラとHDMIテレビをつなぐと、ステレオ再生されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側で は音量調節できません。

✓ HDMIケーブル接続時のライブビュー撮影と動画撮影について

HDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐと、テレビ画面を見ながらライブビュー撮影や動画撮影を行えます(CL49、70)。

- [**画像サイズ/フレームレート**] (口73) を [**1920×1080 60p**] に設定して動画を 記録しながらHDMI出力するには、次の条件をすべて満たす必要があります。
 - [HDMI] > [出力解像度]: [オート] または [1080p (プログレッシブ)]
 - [HDMI] > [詳細設定] > [出力画面サイズ]: [100%]
 - [HDMI] > [詳細設定] > [ライブビュー時の情報表示]: [しない]
- その他の設定にした場合、動画記録中に [HDMI] (口280) の [出力解像度] や [出力画面サイズ] の設定、フレームレートが変更されてHDMI出力されることがあります。



メニューガイド

▶ 再生メニュー:

再生で使える便利な機能

MENUボタンを押して、タブの「▶」アイコンを選ぶと、再生メニューが表示されます。

MENUボタン



再生メニューの項目は、次の通りです。

| メニュー項目 | ш |
|-----------|-----|
| 削除 | 252 |
| 再生フォルダー設定 | 284 |
| 非表示設定 | 284 |
| 再生画面設定 | 285 |
| 画像コピー | 286 |

| メニュー項目 | \Box |
|--------------|--------|
| 撮影直後の画像確認 | 289 |
| 削除後の次再生画像 | 290 |
| 縦位置自動回転 | 290 |
| スライドショー | 291 |
| プリント指定(DPOF) | 276 |

☑ 関連ページ

「再生メニューの初期設定」(□429)

画像はメモリーカード内のフォルダーに保存されます。

画像の再生(□235)時に表示するフォルダーを設定します。

| NCD4S | D4Sで作成された全てのフォルダー内の画像を再生します。 |
|----------|------------------------------|
| 全てのフォルダー | メモリーカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。 |
| 記録中の | 画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再生 |
| フォルダー | します。 |

非表示設定

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

非表示設定した画像は、非表示設定画面以外では表示されません。

1 [設定] を選ぶ

• [設定] を選んでマルチセレク ターの▶を押すと、画像の選択 画面が表示されます。





2 非表示する画像を選ぶ

マルチセレクターを操作して画像を選び、中央ボタンを押して設定します。設定すると™が表示されます。もう一度中央ボタンを押すと、™が消えます。





- 非表示にする画像全てに設定してください。
- ♥ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。
- **Q**圏ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表示されます (□236)。

3 設定を完了する

● Mボタンを押して、設定を終了します。



✓ 非表示設定についてのご注意

- メモリーカードを初期化すると、非表示設定した画像も削除されますのでご注意ください。
- プロテクトと非表示の両方を設定した画像の非表示設定を解除すると、プロテクト 設定も解除されます。

∅ 設定した非表示設定を一括で解除したいときは

[非表示設定] 画面で [**一括解除**] を選ぶと、[**非表示設定**] で設定した内容を全て解除します。

再生画面設定

MENUボタン **→ ▶** 再生メニュー

標準表示画面(①239)で、選んだフォーカスポイントまたはピント合わせに使用したフォーカスポイントを表示するかどうかを設定できます。また、1コマ表示時の画像情報表示に、画像のみ表示、ハイライト表示、RGBヒストグラム表示、撮影情報表示、統合表示を追加します。

- 追加したい項目を選び、マルチセレクターの▶を押してチェックボックスをオン団にします。もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフロになります。
- ⋒ボタンを押すと、設定を完了します。

メモリーカードを2枚使用しているときに、メモリーカード内の画像をも う一方のメモリーカードにコピーできます。

| コピー元の選択 | コピーしたい画像があるスロットを選びます。 |
|------------|-------------------------------------|
| コピー元画像の選択 | コピーしたい画像を選びます。 |
| コピー先フォルダーの | [コピー元の選択] で選ばなかったスロットにあるフォ |
| 選択 | ルダーを画像のコピー先として選びます。 |
| コピー実行 | コピーを実行します。 |

■■ 画像のコピー方法

1 [コピー元の選択] を選ぶ

 [コピー元の選択] を選んでマル チセレクターの▶を押すと、[コ ピー元の選択] 画面が表示され ます。





2 コピーしたい画像があるスロットを選ぶ

 コピーしたい画像が入っている カードのスロットを選んで®ボ タンを押すと、[画像コピー] 画 面に戻ります。





3 [コピー元画像の選択] を選ぶ

[コピー元画像の選択] を選んで▶を押すと、[コピー元画像の選択] 画面が表示されます。





4 コピー元画像があるフォル ダーを選ぶ

コピー元画像のあるフォルダーを 選んで▶を押すと、[画像選択の初 期状態] 画面が表示されます。





5 画像の選択方式を選ぶ

コピー画像の選び方は、次の 3通りがあります。





全画像非選択

フォルダー内の全ての画像が選ばれていない状態で表示されます。

全画像選択

• コピーする画像を1枚ずつ自分で選びたい場合に適しています。 フォルダー内の全ての画像が選ばれた状態で表示されます。

プロテクト 画像選択

• フォルダー内の全画像をコピーしたい場合に適しています。 フォルダー内のプロテクトされている画像だけが選ばれた状態で表示されます。

6 コピーする画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選んで中央ボタンを押すと、✓が表示されます。もう一度中央ボタンを押すと、✓が消えます。



- **९**ボタンを押している間、選択 中の画像を拡大表示します。
- コピーしたい全ての画像に▼を入れてから⊗ボタンを押すと、[画像 コピー] 画面に戻ります。

7 [コピー先フォルダーの選択] を選ぶ

 [コピー先フォルダーの選択]を 選んで▶を押すと、[コピー先 フォルダーの選択]画面が表示 されます。







8 コピー先フォルダーの選択方 法を選ぶ

コピー先フォルダーの選択方法 を選んで▶を押します。





コピー先のフォルダー番号を入力 フォルダー番号指定 して指定します (m296)。指定し たフォルダー番号のフォルダーが フォルダー 102 ない場合は、フォルダーを新規作 番号指定 成します。 砂移動 ⇔設定 03決定 既存フォルダーの一覧表示から、 既存フォルダーから選択 コピー先フォルダーを選びます。 100NCD4S 101NCD4S 既存フォルダー 102NCD4S から選択 103NCD4S

9 コピー先フォルダーを選ぶ

それぞれの画面で、フォルダー番号を指定または選んで⊗ボタンを押すと、コピー先フォルダーを設定して[画像コピー]画面に戻ります。

10 [コピー実行] を選ぶ

• [**コピー実行**] を選んで**®** ボタンを押すと、コピーの 確認画面が表示されます。





11 [はい] を選ぶ

[コピーしますか?] というメッセージと、コピーする枚数が表示されます。





- [**はい**] を選んで®ボタンを押す と、コピーを実行します。
- コピーが終了したら、もう一度のボタンを押してコピーを完了します。

▼ 画像コピーについてのご注意

- コピー先メモリーカードの残量がない場合、コピーできません。
- コピー先フォルダーに同じファイル番号が存在する場合、右のような画面が表示されます。このとき、[上書き]または [全て上書き]を選ぶと、コピー元の画像に上書きされますのでご注意ください。ただし、コピー



先の画像にプロテクトまたは非表示が設定されている場合は、上書きできません。 [スキップ] を選ぶと、上書きせずに残りの画像のコピーを続けます。[キャンセル] を選ぶと、コピーを中止します。

- プロテクト設定と音声メモはコピー先の画像に引き継がれます。
- [プリント指定 (DPOF)] (口276) で設定した情報は、コピー先の画像には引き継がれません。
- 非表示設定した画像はコピーできません。
- 動画をコピーするときは、バッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

撮影直後の画像確認

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。[**しない**] を選んだ場合に撮影画像を表示確認するには、「・」ボタンを押してください。

画像を削除した後に表示する画像を設定できます。

| □■■ 後ろのコマ | | 削除した画像の次に撮影した画像を表示します。 |
|-----------|--------|--------------------------------|
| □□■■ 1友~ | 夜りのコマ | 最後の画像を削除した場合は、1つ前の画像を表示します。 |
| | | 削除した画像の前に撮影した画像を表示します。 |
| | 前のコマ | 最初の画像を削除した場合は、次に撮影した画像を表示し |
| | | ます。 |
| | | • 直前のコマ送りが前の画像から後の画像の順番のとき |
| | 直前コマ送り | は、[後ろのコマ] と同じ動作になります。 |
| | 方向に従う | • 直前のコマ送りが後の画像から前の画像の順番のとき |
| | | は、[前のコマ] と同じ動作になります。 |

縦位置自動回転

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示します。

₩ 縦位置自動回転についてのご注意

- 「縦位置自動回転」を [する] に設定しても、セットアップメニューの [縦横位置情報の記録] (□361) を [しない] にして撮影した画像は、全て横位置で表示されます。
- 縦位置で撮影した状態のまま画像確認がしやすいように、[縦位置自動回転] を [する] に設定しても、撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

撮影した画像を記録された順番に1コマずつ連続再生します。[**再生フォルダー設定**](口284)で設定されたフォルダー内の画像が記録された順番で再生されます。ただし、[**非表示設定**](口284)されている画像は再生されません。

| 開始 | スライドショーを開始します。 |
|----------|-----------------------------------------------------|
| 再生画像の種類 | スライドショーで再生する画像の種類を [静止画と動 |
| | 画]、[静止画のみ]、[動画のみ] から選べます。 |
| インターバル設定 | 1コマの静止画を表示する時間を設定します。 |
| 立士市井 | スライドショー中の音声メモを自動的に再生できます |
| 音声再生 | (四292)。 |

■ スライドショーを再生する

[**開始**] を選んで®ボタンを押すと、スライドショーが始まります。スライドショーの再生中は、次の操作が可能です。



| 1コマ進む/ 戻る | | マルチセレクターの ◆ を押すと前の画像が、 ▶ を押すと次の画像が表示されます。 |
|-----------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 画像情報を 切り換える | | ▲または▼を押すと、静止画再生時に画像情報の切り換えができます(□238)。画像情報を「画像のみ」に切り換えると、画像だけをスライドショーで再生できます。 |
| 一時停止する/ 再開する | ОК | スライドショーが一時停止します (音声メモの再生は停止しません)。もう一度®ボタンを押すと再開します。 |
| 再生メニューに 戻る | MENU | スライドショーを中止して、再生メニューに戻ります。 |
| 通常再生に 戻る | • | スライドショーを中止して、1コマ表示モードまたは サムネイル表示モードに戻ります(口235)。 |
| 撮影に戻る | | シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できます。 |

再生が終わると、右のような画面が表示されます。[**再開**]を選んで®ボタンを押すと、スライドショーが再開します。[**終了**]を選んで®ボタンを押すと、スライドショーが終了します。



■ 音声再生

静止画に音声メモが録音されている場合、スライドショー中に音声メモ を自動的に再生できます。

| | スライドショー | -中に音声メモを再生します。マルチセレクターの▶ |
|-----|-----------------------|--------------------------------|
| | を押すと音声メモ再生について設定できます。 | |
| する | インターバル 設定優先 | 音声メモの録音時間が [インターバル設定] (CD 291) |
| | | で設定した画像の表示時間よりも長い場合、音声メ |
| | | モの再生は途中で終了します。 |
| | | 音声メモの録音時間が [インターバル設定] で設定 |
| | 音声時間優先 | した画像の表示時間よりも長い場合、音声メモの再 |
| | | 生が完了してから次の画像を再生します。 |
| しない | スライドショー | -中に音声メモを再生しません。 |

動画の音声再生について

動画をスライドショーで再生する場合、動画の音声は、[**音声再生**] の設定にかかわらず、再生されます。

▲ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能

MENUボタンを押して、タブの ▲ アイコンを選ぶと、撮影メニューが表示されます。

MENUボタン



撮影メニューの項目は次の通りです。

| メニュー項目 | ш |
|-----------------|-----|
| 撮影メニューの管理 | 294 |
| 撮影メニューの拡張 | 295 |
| 記録フォルダー設定 | 296 |
| ファイル名設定 | 298 |
| 主スロットの選択 | 95 |
| 副スロットの機能 | 95 |
| 画質モード | 89 |
| JPEG/TIFF記録 | 298 |
| RAW記録 | 298 |
| 撮像範囲 | 83 |
| ホワイトバランス | 151 |
| ピクチャーコントロール | 173 |
| カスタムピクチャーコントロール | 179 |

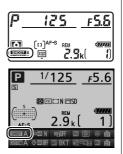
| メニュー項目 | m |
|-------------------|-----|
| 色空間 | 299 |
| アクティブD-ライティング | 184 |
| HDR (ハイダイナミックレンジ) | 186 |
| ヴィネットコントロール | 300 |
| 自動ゆがみ補正 | 301 |
| 長秒時ノイズ低減 | 302 |
| 高感度ノイズ低減 | 302 |
| ISO感度設定 | 117 |
| 多重露出 | 212 |
| インターバルタイマー撮影 | 217 |
| 静止画ライブビュー撮影 | 58 |
| 微速度撮影 | 224 |
| 動画の設定 | 72 |

カメラは、撮影メニューの設定内容を、「A」、「B」、「C」、「D」の4通り記憶できます。それぞれの撮影メニューで設定した内容は、他の撮影メニューには反映されません。ただし、ピクチャーコントロールの調整値(クイック調整および手動調整)、[撮影メニューの拡張]、[多重露出]、[インターバルタイマー撮影]、[微速度撮影]での設定は、全ての撮影メニューで共通になります。

[撮影メニューの管理] で「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを選んでから撮影メニューの設定を変更すると、カメラが設定内容を記憶します。記憶した設定内容は、設定時の撮影メニューを選び直すことで呼び出せます。

√ 撮影メニュー設定表示について

上面表示パネルとインフォ画面には、ISDOT と撮影メニュー名(「A」~「D」)が表示されます。



∅ 関連ページ

- ボタン操作で、撮影メニューの設定を切り換えられるようにする → f3 [Fnボタンの機能] の [コマンドダイヤル併用時の動作] (□336)

■ 名前編集

撮影メニュー「A」~「D」の名前を編集するには、名前を変更したい撮影メニューを選んでマルチセレクターの▶を押します。名前は20文字まで入力できます。入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(□180)。

■ 撮影メニューのリセット

撮影メニュー「A」~「D」を個別にリセットできます。リセットしたい撮影メニューを選んで前(空)ボタンを押すと、確認画面が表示されます。[はい]を選んで®ボタンを押すと、選んだ撮影メニューの設定をリセットして初期設定に戻します(口429)。

前(romana) ボタン





撮影メニューの拡張

MENUボタン → 凸撮影メニュー

[する] を選ぶと、撮影メニュー(「A」~「D」)ごとに露出モード、シャッタースピード (露出モード**5、M**のみ)、絞り値 (露出モード**A、M**のみ)、フラッシュモードを記憶できます。

- [撮影メニューの管理] で「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを選んでから露出モード、シャッタースピード、絞り値、フラッシュモードの設定を変更すると、カメラが設定内容を記憶します。記憶した設定内容は、設定時の撮影メニューを選び直すことで呼び出せます。
- [**しない**] を選ぶと、[**する**] を選ぶ前に設定した露出モード、シャッタースピード、絞り値、フラッシュモードに戻ります。

記録フォルダーの新規作成や既存フォルダーからの選択を行います。 [フォルダー番号指定] では、フォルダーを新規作成できます。[**既存フォ ルダーから選択**〕では、既存フォルダーの一覧から選べます。

■ フォルダー番号指定

記録するフォルダー番号を指定します。フォルダーが存在しない場合は 新しく作成します。

1 [フォルダー番号指定] を選ぶ

- 「フォルダー番号指定」を選んで マルチセレクターの▶を押すと、 「フォルダー番号指定] 画面が表 示されます。
- ●「フォルダー番号指定」画面の右



上には、主スロット(□95)が下線で強調されて表示されます(新規 作成する場合、フォルダーは主スロットに作成されます)。

2 フォルダー番号の桁を選ぶ

◆ ■または ▶ を押して、フォルダー番号の変更したい桁を選びます。

3 フォルダー番号を変更する

▲または▼を押して、フォルダー番号の数値を変更します。

4 フォルダー番号を設定する

- Mボタンを押すと、新規フォルダーを作成して撮影メニュー画面に戻 ります。
- 次に撮影する画像は、作成した新規フォルダーに保存されます。
- ◆作成済みのフォルダー番号を指定すると、フォルダー番号の左にフォル ダーマーク $(\Box, \Box, \blacksquare)$ が表示されます。
 - □または■が表示されたフォルダーを選んで∞ボタンを押すと、指定 したフォルダーを記録フォルダーに設定して撮影メニューに戻ります。
- キャンセルしたい場合は、MENUボタンを押すと撮影メニューに戻ります。

// フォルダーマークについて

[フォルダー番号指定] 画面では、フォルダー番号の左に、画像の入っていないフォルダーのときは□、フォルダー内のファイル数が999個またはファイル番号が9999に達しているフォルダーのときは■のフォルダーマークが表示されます。■が表示されているフォルダーには、画像は記録できません。

■ 既存フォルダーから選択

既存のフォルダーの一覧から選びます。

に既存フォルダーから選択 を選ぶ

 「既存フォルダーから選択」を選 んでマルチセレクターの▶を押 すと、「既存フォルダーから選 択」画面が表示されます。





2 フォルダーを選ぶ

▲または▼を押して、画像を記録するフォルダーを選びます。

3 画像を記録するフォルダーを設定する

- ❷ボタンを押すと、設定が有効になり撮影メニュー画面に戻ります。
- 次に撮影する画像は、選んだフォルダーに保存します。

▼ フォルダー番号およびファイル番号についてのご注意

フォルダー番号が999に達しているときに、ファイル番号が9999に達するか、このフォルダー内のファイル数が999個に達した場合は、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。ただし、次の場合、メモリーカードにまだ空き容量があれば、さらに撮影を続けられます。

- フォルダー番号が999以下で、そのうちのファイル数が999に達していないフォルダーを記録フォルダーとして選んだ場合
- フォルダー番号が999 以下のフォルダーを新規に作成し、それを記録フォルダーとして選んだ場合

✓ 大容量のメモリーカードを使用する場合

すでにたくさんのフォルダーや画像が記録されているメモリーカードを使用する場合、メモリーカードを挿入したときや、カメラの電源をONにしたときなどに行われるファイル検索に時間がかかるため、撮影や再生ができるまでに時間がかかることがあります。



このカメラで撮影した画像には、自動的にDSC_nnnn.xxxというファイル名が付きます。[ファイル名設定]では、「DSC」の3文字を任意に変更できます。入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する | の手順6をご覧ください(口180)。

☑ ファイル名について

- このカメラで撮影された画像にはDSC_nnnn.xxxという名称が付きます。 nnnnには0001~9999までの数字が入ります。xxxには選んだ画質モードによって、 次の拡張子が入ります。
 - NEF: RAWの場合 - TIF: TIFF(RGB)の場合
 - JPG: FINE/NORMAL/BASICの場合
 - MOV: 動画の場合
 - NDF:イメージダストオフデータの場合
- 撮影メニューの [色空間] で [Adobe RGB] (□299) を選んだ場合は DSCnnnn.xxxという名称が付きます。
- 同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれ NEF、JPGになります。

JPEG/TIFF記録

MENUボタン → 凸撮影メニュー

JPEG画像、TIFF画像を記録するときの画像サイズ(□93)と、JPEG画像の圧縮方法(□91)を設定できます。

RAW記録

MENUボタン → 🗖 撮影メニュー

RAW画像を記録するときの画像サイズ(四94)と圧縮方法(四91)、記録ビットモード(四91)を設定できます。

記録する画像の色空間を指定します(色空間とは、モニターやプリンターで表現できる色の範囲のことです)。[sRGB] 色空間は、再生やプリントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。[Adobe RGB] 色空間は [sRGB] 色空間に比べて色域が広いため、商業印刷などの業務用途に適しています。



✓ Adobe RGB色空間について

適切な色再現には、カラーマネージメント機能に対応したアプリケーション、モニター、プリンターなどの環境が必要です。

✔ 色空間についてのご注意

- 動画を撮影するときは、色空間を [sRGB] に設定することをおすすめします。
- 付属のソフトウェアViewNX 2または別売のCapture NX 2をお使いになると、正しい色空間での処理が自動的に行われます。他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、正しく色が表示されないことがあります。

ヴィネットコントロールは、レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的です。Gタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズを装着しているときのみ機能します(DXレンズ、PCレンズを除く)。

| □Ⅱ 強め | |
|-------|----------------------------------------------------------|
| □N 標準 | 効果が強い順に、[強め]、[標準]、[弱め] になります。 |
| □L 弱め | |
| しない | 周辺光量の低下を補正しません。 |

▼ ヴィネットコントロールについてのご注意

- 次の場合、ヴィネットコントロールの効果は適用されません。
 - DX レンズを装着している場合、または FX レンズを装着して [**撮像範囲設定**] を **[DX (24×16) 1.5×**] に設定している場合
 - 撮影メニューの [**多重露出**] (CD212) を設定しているとき
 - 動画撮影時
- TIFFおよびJPEG画像の場合、使用するレンズ、撮影条件や撮影シーンの組み合わせによっては、周辺光量が過剰に補正されて画像周辺部が明るくなることや補正が不足して暗くなること、画像にノイズ(むら)が発生することがあります。また、調整したピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールを設定している場合も、適切な補正ができない場合があります。初期設定は【標準】ですが、試し撮りをして、撮影状況に適した設定を選ぶことをおすすめします。

[**する**] にすると、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。

• [自動ゆがみ補正] は、Gタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズを装着した場合のみ機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レンズ以外を装着した場合については、動作を保証しません。

✓ 自動ゆがみ補正についてのご注意

- [する] の場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかる場合があります。
- ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。
- DXレンズを装着している場合は、自動ゆがみ補正を行う前に、[**DX自動切り換え**] を [する] に設定するか、[撮像範囲設定] を [**DX (24×16) 1.5×**] に設定してください(口83)。その他の撮像範囲で撮影すると、画像周辺部が大きく切り取られたり、DXフォーマットの外側の部分が特に強く補正されることがあります。
- 動画撮影時は、自動ゆがみ補正の効果は適用されません。

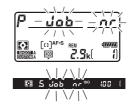
☑ 関連ページ

撮影した画像のゆがみを補正する → 【 [ゆがみ補正] (□390)

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ(ざらつき、むら、輝点)を低減します。

| する | シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を行います。 |
|-----|-------------------------------------------|
| しない | 長秒時ノイズの低減処理を行いません。 |

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、上面表示パネルとファインダー内下表示に**ปαbnr**が点滅します。この表示が消えるまで、撮影はできません。長秒時ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録するまでの時間は、長秒時ノイズ低減を行わない場合の約2倍になります。



▼ 長秒時ノイズ低減についてのご注意

- 連続撮影速度は遅くなり、連続撮影可能コマ数も少なくなります。
- 処理中に電源をOFFにすると、処理は行われず、長秒時ノイズの低減処理を行う前の画像が保存されます。

高感度ノイズ低減

MENUボタン→ 凸撮影メニュー

静止画撮影時に、感度が高くなるほど発生しやすいノイズ (ざらつき、むら、すじ) を低減します。

| 強め | 全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO感 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------|
| 標準 | 度が高くなるほど効果的です。 |
| 弱め | ノイズ低減の効果は、強い順に [強め]、[標準]、 [弱め] になります。 |
| しない | ISO感度が6400以上の高感度になったときのみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は [弱め] よりもさらに弱くなります。 |

♪ カスタムメニュー:

撮影に関するさらに詳細な設定

MENUボタンを押して、タブの **∲**アイコンを選ぶと、カスタムメニューが表示されます。

MENUボタン



カメラの各種設定を撮影者の好みに合わせて変更できます。カスタムメニュー画面は、2つの階層で構成されています。



| | メニュー項目 | \Box |
|---------|----------------------|--------|
| カスタ | 7ムメニューの管理 | 305 |
| a オ- | ートフォーカス | |
| a1 | AF-Cモード時の優先 | 307 |
| a2 | AF-Sモード時の優先 | 308 |
| a3 | AFロックオン | 308 |
| a4 | 半押しAFレンズ駆動 | 308 |
| a5 | フォーカスポイント表示 | 309 |
| a6 | フォーカスポイント 循環選択 | 310 |
| a7 | AF点数切り換え | 310 |
| a8 | AF-ONボタンの機能 | 311 |
| a9 | 縦位置AF-ONボタンの 機能 | 312 |
| a10 |) 縦/横位置フォーカス 切換 | 313 |
| a1 | 1 AFエリアモードの限定 | 314 |
| a12 | 2 AFモードの制限 | 314 |
| b 露b | 出・測光 | |
| b1 | ISO感度設定ステップ幅 | 314 |
| b2 | 露出設定ステップ幅 | 315 |
| b3 | 露出・調光補正ステップ幅 | 315 |
| b4 | 露出補正簡易設定 | 315 |
| b5 | マルチパターン測光 | 316 |
| b6 | 中央部重点測光範囲 | 316 |
| b7 | 基準露出レベルの調節 | 317 |
| c AE | ロック・タイマー | |
| c1 | 半押しAEロック | 317 |
| | 半押しタイマー | 317 |
| c3 | セルフタイマー | 318 |
| c4 | モニターのパワーオフ 時間 | 319 |
| d 撮影 | 影・記録・表示 | |
| d1 | 電子音設定 | 320 |
| d2 | | 321 |
| d3 | AZ-1003-AK30 — 1 30X | 321 |
| d4 | Antonia - 1 | 321 |
| d5 | 連番モード | 322 |

| | | メニュー項目 | \Box |
|---|-----|-----------------------|--------|
| | d6 | ファインダー内格子線 表示 | 323 |
| | d7 | 表示情報の切り換え | 323 |
| | d8 | インフォ画面のガイド表示 | 324 |
| | d9 | インフォ画面の表示設定 | 324 |
| | d10 |)イルミネーター点灯 | 325 |
| е | フラ | ラッシュ・BKT撮影 | |
| | e1 | フラッシュ撮影同調速度 | 326 |
| | e2 | フラッシュ時シャッター スピード制限 | 327 |
| | e3 | 外付けフラッシュ発光 | 327 |
| | e4 | フラッシュ使用時の 露出補正 | 328 |
| | e5 | モデリング発光 | 328 |
| | e6 | オートブラケティングの セット | 328 |
| | e7 | BKT変化要素(Mモード) | 329 |
| | e8 | BKTの順序 | 330 |
| F | 操作 | | |
| | f1 | 中央ボタンの機能 | 330 |
| | f2 | マルチセレクターの 半押し起動 | 332 |
| | f3 | Fnボタンの機能 | 332 |
| | f4 | プレビューボタンの機能 | 337 |
| | f5 | サブセレクターの機能 | 337 |
| | f6 | サブセレクター 中央押しの機能 | 338 |
| | f7 | 縦位置Fnボタンの機能 | 339 |
| | f8 | シャッタースピードと 絞り値のロック | 340 |
| | f9 | BKTボタンの機能 | 340 |
| | f10 | コマンドダイヤルの設定 | 341 |
| | f11 | ボタンのホールド設定 | 344 |
| | f12 | | 344 |
| | f13 | インジケーターの +/-方向 | 345 |
| | f14 | 縦位置マルチセレクター の機能 | 345 |

| メニュー項目 | \square |
|-----------------------------|-----------|
| f15 画像の拡大/縮小方法 | 345 |
| f16 動画撮影ボタンの機能 | 346 |
| f17 ライブビューボタンの 設定 | 346 |
| f18 リモコン (WR) のFnボ タンの機能 | 347 |
| f19 レンズのフォーカス作動 ボタン機能 | 348 |

| Ī | |
|--------------------|-----------------------------------------------|
| Fnボタンの機能 | 349 |
| プレビューボタンの機能 | 351 |
| サブセレクター 中央押しの機能 | 352 |
| シャッターボタンの機能 | 353 |
| | Fnボタンの機能 プレビューボタンの機能 サブセレクター 中央押しの機能 |

※設定内容が初期設定と異なる場合、変更されたメニュー項目の左上にアスタリスク(*)を表示します。

☑ 関連ページ

「カスタムメニューの初期設定」(口432)

カスタムメニューの管理

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

カメラは、カスタムメニューの設定内容を、「A」、「B」、「C」、「D」の4通り記憶できます。それぞれのカスタムメニューで設定した内容は、他のカスタムメニューには反映されません。

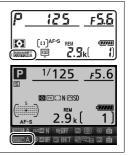
[カスタムメニューの管理]で「A」、「B」、「C」、「D」のいずれかを選んでからカスタムメニューの設定を変更すると、カメラが設定内容を記憶します。記憶した設定内容は、設定時のカスタムメニューを選び直すことで呼び出せます。

■ 名前編集

カスタムメニュー「A」~「D」の名前を編集するには、名前を変更したいカスタムメニューを選んでマルチセレクターの▶を押します。名前は20文字まで入力できます。入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(□180)。

// カスタムメニュー設定表示について

上面表示パネルとインフォ画面には、WSSOMとカスタム メニュー名(「A」~「D」)が表示されます。



■ カスタムメニューのリセット

カスタムメニュー「A」~「D」を個別にリセットできます。リセットしたいカスタムメニューを選んで**´n**(『図)ボタンを押すと、確認画面が表示されます。[**はい**]を選んで®ボタンを押すと、選んだカ

スタムメニューの設定をリセット して初期設定に戻します(CD432)。







a:オートフォーカス

a1:AF-Cモード時の優先

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

ファインダー撮影時のAFモードが**AF-C**のとき(¹ロ97)にシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

| | レリーズ | ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることが |
|-----------------|----------------|-----------------------------|
| | | できます。 |
| | | 撮影優先でシャッターをきることができますが、低コント |
| | フォーカス/ レリーズ | ラスト・低輝度の被写体を連続撮影するとき、1コマ目は撮 |
| [::] | | 影タイミングよりピント合わせを優先します。2コマ目以降 |
| | | はピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきること |
| | | ができます。連続撮影時に1コマ目のピント状態を優先した |
| | | いときにお使いください。 |
| | レリーズ/ フォーカス | ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることが |
| | | できますが、低コントラスト・低輝度の被写体を連続撮影 |
| ©[] | | するときは、連続撮影速度を落としてピント合わせを行い |
| | | ます。連続撮影速度よりもピント合わせを優先したいとき |
| | | にお使いください。 |
| [::::] | フォーカス | ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししても |
| [::::] | | シャッターをきることができません。 |

AFモードがAF-Cのときは、[AF-Cモード時の優先] の設定にかかわらず、ピント表示(●)が点灯してもフォーカスロックは行われず、シャッターをきるまでピント合わせの動作を続けます。

ファインダー撮影時のAFモードが**AF-S**のとき(口97)にシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

| ◎ レリーズ | ピント状態に関係なく撮影優先でシャッターをきることがで |
|----------------|-----------------------------|
| © D9-X | きます。 |
| Ⅲ フォーカス | ピントが合うまで、シャッターボタンを全押ししてもシャッ |
| | ターをきることができません。 |

AFモードがAF-Sのときは、[AF-Sモード時の優先] の設定にかかわらず、ピント表示(●) が点灯した状態でシャッターボタンの半押しを続けると、シャッターをきるまでフォーカスロックが行われます。

a3:AFロックオン

ファインダー撮影時のAFモード(197)がAF-Cのときに、被写体との 距離が瞬時に大きく変わった場合のピント合わせの動作について設定で きます。

| AF ≣ 5 (強め) | 被与体との距離が瞬時に大きく変わったとき、一定時間経過 |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------|
| AF= 4 | してから被写体を追従するピント合わせを行います。被写体 |
| AF≣ 4 | とカメラの間を障害物が横切るような撮影など、意図に反し |
| AF 臺 3 (標準) | て障害物にピント合わせを行うことを防止します。 |
| AF≣ 2 | ● 被写体との距離が瞬時に大きく変わってから、追従するピ |
| ΛI = ² | ント合わせを開始するまでの時間が長い順に、「 5 (強め)]、 |
| AF <u>I</u> 1 (弱め) | [4]、[3 (標準)]、[2]、[1 (弱め)] になります。 |
| | 被写体との距離が瞬時に大きく変わったときは、すぐに追従 |
| しない | するようにピント合わせを行います。距離の異なる複数の被 |
| | 写体を次々と撮影するようなときに便利です。 |

 ◆ AFエリアモード(□100)が3D-トラッキングまたはオートエリアAF の場合は、[2]、[1(弱め)]、[しない]に設定していても、[3(標準)] を選んだときと同じ動作になります。

a4:半押しAFレンズ駆動

MENUボタン **→ /**カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししたときの、ピント合わせの動作を設定できます。[しない]を選んだ場合は、AF-ONボタンを押したときにピント合わせを行い、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせません。

ファインダー内のフォーカスポイントの表示に関する設定ができます。

■■ マニュアルフォーカス時の表示

「**する**] に設定すると、マニュアルフォーカスでの撮影時にフォーカスポ イントが常に点灯します。[しない]に設定すると、フォーカスポイント を移動したときのみ一瞬点灯します。

■■ 連写時の表示

「する」に設定すると、CHまたはCLでの連続撮影時にフォーカスポイン トが点灯します。

■ フォーカスポイントの明るさ設定

ファインダー内のフォーカスポイントの明るさ を設定できます。



■ ダイナミックAFモード時の表示

「**する**] に設定すると、ダイナミックAFモード(□100) 時に自分で選ん だフォーカスポイントと周辺のフォーカスポイントを同時に表示します。

• 「**する**] に設定すると、3D- トラッキングの場合、フォーカスポイント の中央に点が表示されます (□)。

■■ グループエリアAFモード時の表示

グループエリアAFモード(CD101)時の、ファインダー内のフォーカス ポイントの見え方を選べます。

| - | フォーカスポイントを四角で表示します。 | |
|----------|---------------------|--|
| -:- | フォーカスポイントを点で表示します。 | |

a6:フォーカスポイント循環選択 MENUボタン→ ◆カスタムメニュー

フォーカスポイントをマルチセレクターで選ぶときに、上下左右端で循環するように設定できます。

[する] を選んだ場合、一番端のフォーカスポイント(①) を選んでいるときに、さらにマルチセレクターを同方向(右図の場合は▶)に押すと、反対側の端のフォーカスポイント(②) に移動します。



a7:AF点数切り換え

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

| AF51 51点 | 51点全てのフォーカスポイントを選べます。 | |
|----------|------------------------------------------------------------|--|
| AF11 11点 | 11点のフォーカスポイントから選べます。 フォーカスポイントの位置をすばやく動か したいときに便利です。 | |

AF-ONボタンを押しているときの機能を設定します。



| AF-ON | AF-ON | AF-ONボタンを押すと、自動的にピントを合わせます。 |
|-------|-----------|-----------------------------------|
| | AE-L/AF-L | AF-ONボタンを押している間、AEロックとフォーカスロッ |
| AE | AL-L/AI-L | クを同時に行います。 |
| Æ | AE-L | AF-ONボタンを押している間、AEロックを行います。 |
| Æ 🗢 | AE-L | ー 1回押すとAEロックを行い、AEロック状態を維持します。 |
| | (レリーズで | もう一度AF-ONボタンを押すか、シャッターをきるか、半押 |
| | リセット) | しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。 |
| | | 1回押すとAEロックを行い、AEロック状態を維持します。 |
| | AE-L | シャッターをきってもAEロックを解除しません。ただし、 |
| | (ホールド) | もう一度AF-ONボタンを押すか、半押しタイマーがオフに |
| | | なると、AEロックを解除します。 |
| Æ | AF-L | AF-ONボタンを押している間、フォーカスロックを行い |
| | / U L | ます。 |
| | 設定しない | AF-ONボタンは機能しません。 |

縦位置AF-ONボタンの機能を設定します。

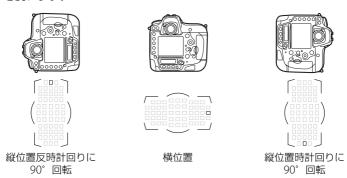


| = AFON | AF-ONボタン と同じ | AF-ONボタンの設定と同じです。 |
|--------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AF-ON | AF-ON | 縦位置 AF-ON ボタンを押すと、自動的にピントを合わせます。 |
| | AE-L/AF-L | 縦位置 AF-ON ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。 |
| Æ | AE-L | 縦位置 AF-ON ボタンを押している間、AEロックを行います。 |
| Æ® | AE-L (レリーズで リセット) | 1回押すとAEロックを行い、AEロック状態を維持します。もう一度縦位置 AF-ON ボタンを押すか、シャッターをきるか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。 |
| Æ® | AE-L(ホールド) | 1回押すとAEロックを行い、AEロック状態を維持します。シャッターをきってもAEロックを解除しません。ただし、もう一度縦位置 AF-ON ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。 |
| Æ | AF-L | 縦位置AF-ONボタンを押している間、フォーカスロックを行います。 |
| | 設定しない | 縦位置AF-ONボタンは機能しません。 |

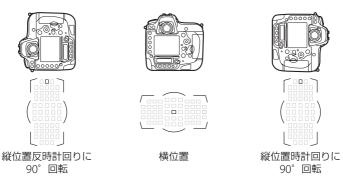
a10:縦/横位置フォーカス切換 MENUボタン→ € カスタムメニュー

カメラを正位置(横位置)にしたときと、時計回りの縦位置と反時計回りの縦位置にしたときで個別にフォーカスポイントとAFエリアモードを設定できます。

• [**しない**] に設定した場合、横位置と縦位置で同じフォーカスポイント を使います。



• [フォーカスポイント] に設定すると、横位置と縦位置で個別にフォーカスポイントを設定できます。[フォーカスポイントとAFエリアモード] に設定した場合、フォーカスポイントに加えてAFエリアモードも個別に設定できます。



a11:AFエリアモードの限定 MENUボタン

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

AFモードボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回した場合に選べるAFエリアモード(□100)を設定できます。

 項目を選んでマルチセレクターの ▶ を押すと、 項目の左側のチェックボックスがオン団になり ます。もう一度 ▶を押すと、チェックボックス がオフロになります。チェックボックスをオン 団にした項目のみ、サブコマンドダイヤルで選 べるようになります。



- ®ボタンを押すと、設定を完了します。
- [AFエリアモードの限定] ではファインダー撮影時のAFエリアモードを限定できます。ライブビュー撮影時のAFエリアモード(ロ51) は限定しません。

a12:AFモードの制限

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

ファインダー撮影時のAFモード(¹ロ97)を固定できます。[**AF-S**] または [**AF-C**] を選ぶと、AFモードボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回してもAFモードは変わりません。



b:露出·測光

b1:ISO感度設定ステップ幅

MENUボタン → **/**カスタムメニュー

ISO感度のステップ幅を設定できます(口117)。 ISO感度のステップ幅を変更したとき、設定されているISO感度が変更後のステップ幅に存在しない場合は、最も近い値に変更されます。



シャッタースピード、絞り値、およびオートブラケティング補正量のステップ幅を設定できます。



b3:露出・調光補正ステップ幅 MENUボタン→ ✔カスタムメニュー

露出補正時と調光補正時の補正量のステップ幅 を設定できます。



b4:露出補正簡易設定

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

☑ボタンを使用せずに、コマンドダイヤルだけで露出補正できるように 設定を変更できます。

露出補正簡易設定を [**する (自動リセット)**] または [**する**] に設定する と、露出インジケーターの [0] が点滅します。

| | コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。 |
|----------|--------------------------------|
| する | • コマンドダイヤルだけを使って設定した露出補正値は、電源 |
| (自動リセット) | をOFFにするか、半押しタイマーがオフになると、リセット |
| | されます。 |
| | コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。 |
| する | • 電源をOFFにしても、半押しタイマーがオフになっても、設 |
| | 定した露出補正値はリセットされません。 |
| しない | ☑ボタンを押しながら、メインコマンドダイヤルを回して露出 |
| Uaui | 補正を設定します。 |

[**露出補正簡易設定**] とカスタムメニューf10 [**コマンドダイヤルの設定**] (口341) の [**メインとサブの入れ換え**] との併用により、次の表で記載しているコマンドダイヤル で露出補正ができるようになります。

| | | カスタムメニュー f10→ | メインとサブの入れ換え |
|-----|---|---------------|-------------|
| | | しない | する |
| | P | サブコマンドダイヤル | サブコマンドダイヤル |
| 露出 | 5 | サブコマンドダイヤル | メインコマンドダイヤル |
| モード | R | メインコマンドダイヤル | サブコマンドダイヤル |
| | M | 機能しません | |

b5:マルチパターン測光

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

測光モード(□123)がマルチパターン測光の場合、カメラが人物の顔を認識したときに顔の明るさに合わせて露出を決定するかどうかを選べます。この設定は、ファインダー撮影時のみ有効です。

เ⊇ON 顔認識する カメラが認識した顔を優先して測光を行います。

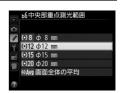
望0FF 顔認識しない カメラが顔を認識した場合も顔を優先した測光を行いません。

b6:中央部重点測光範囲

MENUボタン → **/**カスタムメニュー

中央部重点測光は、ファインダー中央部を重点 的に測光して、露出値を決定します。中央部重 点測光の範囲を変更できます。

非 CPU レンズを装着しているときの測光範囲は、 φ12mm相当になります。



適正露出の基準を撮影者の好みに合わせ、測光 モードごとに明るめ(+側)または暗め(-側) に調節できます。1/6段ステップ幅で±1段の 範囲で設定できます。初期設定は0です。



▼ 基準露出レベルの調節について

- カスタムメニュー b7 [基準露出レベルの調節] は、カスタムメニュー「A」~「D」 ごとに設定します。カスタムメニューを切り換えるときは、カスタムメニュー b7の 設定の違いにご注意ください。
- カスタムメニュー b7 [基準露出レベルの調節] を0以外に設定しても、20マークは表示されませんのでご注意ください。設定した基準露出レベルは、カスタムメニューb7の画面でのみ確認できます。
- 基準露出レベルの調節の設定は、ツーボタンリセットでは解除できません。

c: AEロック・タイマー

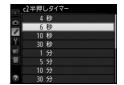
c1:半押しAEロック

シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。

c2: 半押しタイマー

MENUボタン → **/**カスタムメニュー

シャッターボタンを半押ししてから何も操作しないで一定時間が過ぎると、待機状態に入ります。この待機状態になるまでの時間を変更できます。



- 待機状態になると、上面表示パネルのシャッタースピードと絞り値の表示とファインダー内の表示が消灯します。
- 半押しタイマーを延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

セルフタイマー撮影時(口114)にシャッターボタンを全押ししてからシャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数、連続撮影するときの撮影間隔を設定できます。

| 時間 | シャッターがきれるまでの時間を選べ ます。 | 3セルフタイマー 時間 ツ ②2s 2 秒 ③5s 5 秒 ⑤10s 10 秒 ③70k 20 秒 |
|--------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 撮影コマ数 | マルチセレクターの▲または▼を押して、1コマ〜9コマの間で設定できます。 | ○ 3セルフタイマー 撮影コマ数○ 1~9○ 3・決定 |
| 連続撮影間隔 | [撮影コマ数] を2コマ以上に設定した場合に連続撮影するときの撮影間隔を選べます。 | は ・ |

c4:モニターのパワーオフ 時間

液晶モニターが自動的に消灯するまでの時間を 変更できます。

• [画像の再生]、[メニュー表示]、[インフォ画面表示]、[撮影直後の画像確認]、[ライブビュー表示]で液晶モニターが自動的に消灯するまでの時間を個別に設定できます。



- 初期設定は、[画像の再生] と [インフォ画面表示] の場合は10秒、[メニュー表示] は1分、[撮影直後の画像確認] は4秒、[ライブビュー表示] は10分です。
- 液晶モニターの表示時間を延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。

d1:電子音設定

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

電子音の音の高さや音量を設定できます。

■ 音量

電子音の音量を設定できます。

• [電子音なし] を選ぶと、電子音は鳴りません。



■ 音の高さ

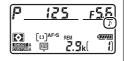
電子音の音の高さを [**高音**] と [**低音**] から選べます。



- [音量] を [電子音なし] 以外に設定すると、次の場合に電子音が鳴ります。
 - セルフタイマー作動中(□114)
 - 微速度撮影終了時(□224)
 - オートフォーカスのピントが合ったとき(ただし、AFモード(四97) が**AF-C**のとき、電子音は鳴りません)
- 静止画ライブビューで撮影メニュー[**静止画ライブビュー撮影**] (四58) が [**無音**] のとき、動画ライブビュー時 (四61)、およびレリーズモードが**Q** (四111) の場合は、[**電子音設定**] の設定にかかわらず、ピントが合ったときの電子音は鳴りません。

☑ 電子音設定時の表示について

[音量] が [電子音なし] 以外の場合は上面表示パネルとインフォ画面に♪ (電子音あり) マークが表示されます。



CH(高速連続撮影)時とCL(低速連続撮影)時の連続撮影速度を設定できます。

| 高速連続撮影 | 高速連続撮影 (CH) するときの連続撮影速度を [11コマ/秒] |
|--------|-----------------------------------|
| 同还建机版彩 | または [10コマ/秒] のいずれかに設定できます。 |
| 低速連続撮影 | 低速連続撮影(CL)時の連続撮影速度を、[10コマ/秒]~ |
| 以还连机饭泉 | [1コマ/秒] の間で設定できます。 |

● 連続撮影時の制限については、□112をご覧ください。

d3:連続撮影コマ数

MENUボタン → / カスタムメニュー

連続撮影を最大何コマまで継続できるかを設定できます。マルチセレクターの▲または▼を押して、1コマ~200コマの間で設定します。

連続撮影コマ数について

カスタムメニュー d3 [連続撮影コマ数] で設定するコマ数は、連続撮影を継続できる最大のコマ数です。ただし、連続撮影速度を維持したまま連続撮影できるコマ数には、画質モードなどによって上限があります(口465)。このコマ数を超えると「**r00**」と表示され、連続撮影速度は低下します。

d4:露出ディレーモード

顕微鏡撮影時などのカメラブレを最小限に抑えるため、シャッターボタンを押すと最初にミラーが作動し、約1~3秒後にシャッターがきれるように変更できます。



撮影メニュー [静止画ライブビュー撮影] が [無音] の場合 (□58)、カスタムメニュー d4

[**露出ディレーモード**] の設定にかかわらず、露出ディレーモードは動作しません。

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

| する | メモリーカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更しても、連番でファイル番号を付けます。複数のカードを使って撮影してもファイル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 理しやすくなります。 |
| | メモリーカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、 |
| | ファイル番号が「0001」に戻ります。画像を記録するフォルダー内 |
| | にすでに画像ファイルがある場合は、次の番号からファイル番号が |
| しない | 付きます。 |
| | • 連番モードを [する] から [しない] に変更しても、カメラはファ |
| | イル番号を記憶しています。次に[する]に切り換えたときは、以 |
| | 前記憶した番号からの連番でファイル名が付きます。 |
| | [する] に設定したときのファイル番号をリセットします。リセット |
| | した後に撮影を行うと、現在選択中のフォルダーに画像ファイルが |
| リセット | ない場合は0001から連番で画像が記録されます。すでにファイルが |
| | ある場合には、そのファイル番号の次の番号からファイル番号が付 |
| | きます。 |

/ ファイル番号について

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダーが作成され、ファイル番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が 999 に達しているときにファイル番号が 9999 に達するか、このフォルダー内のファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、カスタムメニュー d5 [連番モード] を「リセット」した後、メモリーカードを初期化するか、交換してください。

▼ フォルダーの自動作成について

- 撮影中に記録フォルダー内に 999 個のファイルが記録された場合、メモリーカード 内に存在する最大フォルダー番号+1という番号のフォルダーを自動的に作成して、 記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。
- 撮影中にファイル番号が9999となった場合、メモリーカード内に存在する最大フォルダー番号+1の番号のフォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。

d6:ファインダー内 格子線表示

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

ファインダー内に構図用格子線(¹9)を表示するかしないかを設定できます。

d7:表示情報の切り換え

MENUボタン → / カスタムメニュー

背面表示パネルおよびファインダー内下表示に表示される内容を設定できます。

| 背面表示パネル | ISO ISO感度 | ISO感度を表示します。 |
|---------|-------------|---------------------------------------|
| の表示 | ○ 記録可能コマ数 | 記録可能コマ数を表示します。ISO感度は、ISOボタンを押すと表示します。 |
| ファインダー内 | [88] 撮影コマ数※ | 撮影コマ数を表示します。 |
| の表示 | じ 記録可能コマ数※ | 記録可能コマ数を表示します。 |

[※]シャッターボタンを半押しまたは全押しし続けている間は、連続撮影可能コマ数が表示されます。

d8: インフォ画面のガイド表示 MENUボタン→ ◆ カスタムメニュー

インフォ画面で選んだ項目の文字表示ガイドを表示するかどうかを設定します(CD14)。



d9:インフォ画面の表示設定

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

明るい場所や暗い場所で液晶モニターが見づらいときにインフォ画面 (口11) の見え方を設定できます。







白文字表示

| | 面の表示を見やすくするように、カメラが自動的に白黒 | | |
|-------------------------------------|---------------------------|--------------------------|--|
| AUTO 自動 反転します。明るい場所では黒文字表示に、暗い場所では明 | | | |
| | 抑えた白文字 | 表示に切り替わります。 | |
| | 手動でインフォ画面の表示を切り換えます。 | | |
| | | 明るい場所で撮影するときにインフォ画面が見やす | |
| | B 黒文字 | いように、液晶モニターが点灯し、文字を黒く表示し | |
| 手動 | | ます。 | |
| | | 暗い場所で撮影するときにインフォ画面が見やすい | |
| | W 白文字 | ように、液晶モニターの明るさを抑え、文字を白く表 | |
| | | 示します。 | |

[**しない**] に設定すると、電源スイッチを**※**に合わせたときだけ、上面表示 パネルや背面表示パネルのイルミネーター(照明)とボタン照明が点灯し ます(CM3)。[**する**] に設定すると、このほか、半押しタイマー(CM44) の作動中にも、上記のイルミネーター(照明)が点灯します。ただし、バッ テリーの消耗は早くなります。

カスタムメニューd10 [イルミネーター点灯] の設定にかかわらず、 シャッターボタンを押している間、イルミネーターは消灯します。

☑ ボタン照明について

ボタン照明では、次のボタンやダイヤルが点灯します:

| BKTボタン | MENUボタン | ® ボタン | WBボタン |
|-----------------|---------------|--------------|---------|
| ∳ ボタン | От (₾/?) ボタン | info ボタン | QUALボタン |
| ◙ボタン | 역 ボタン | ■ボタン | ISOボタン |
| レリーズモード ダイヤル | Q≅ ボタン | ⊎ ボタン | |

e:フラッシュ・BKT撮影

e1:フラッシュ撮影同調速度 MENUボタン→ ✔カスタムメニュー

フラッシュ撮影時の同調速度を設定できます。

| 1/250秒 (オートFP) | フラッシュ撮影時の同調速度を1/250秒に設定します。別売のオートFPハイスピードシンクロ対応スピードライト(口194)使用時は1/250秒より速いシャッタースピードでは自動的にFP発光に切り替わります。** | | |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 1/250秒 | | | |
| 1/200秒 | フラッシュ撮影時の同調速度を、 1/250~1/60秒の範囲で設定できます。 | | |
| 1/160秒 | | | |
| 1/125秒 | | | |
| 1/100秒 | | | |
| 1/80秒 | | | |
| 1/60秒 | | | |

※露出モードが P または P で、上面表示パネルまたはファインダー内下表示のシャッタースピードが1/250秒を示す場合、実際に制御されるシャッタースピードが1/250秒よりわずかでも高速側であれば、FP発光に切り替わります。

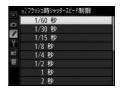
露出モードが5またはMのときに、シャッタースピードの同調速度をカスタムメニュー e1 [フラッシュ撮影同調速度] で設定した値に固定するには、最も低速側(30秒また は-・)の次の位置を選んでください。上面表示パネルとファインダー内下表示にX(フラッシュシンクロマーク)と設定した同調速度が表示されます。

✓ FP発光について

フラッシュ撮影時のシャッタースピードをカメラの最高速度まで設定できます (口203)。[1/250秒 (オートFP)] に設定すると、シャッタースピードがフラッシュ 撮影同調速度よりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り替わります。日中でも、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影ができます。

 FP 発光に切り替わると、インフォ画面のフラッシュモードに「FP」が表示されます (口199)。 露出モードが**P**または**A**の場合のフラッシュ撮 影時のシャッタースピードの低速側の制限を、 [**1/60秒**] ~ [**30秒**] から設定できます。

• スローシンクロモード、後幕シンクロモード、 赤目軽減スローシンクロモード時や露出モードが**5、M**の場合には、カスタムメニュー e2 [フラッシュ時シャッタースピード制限] の設定にかかわらず、シャッタースピードの低速側の制限は30秒になります。



e3:外付けフラッシュ発光

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

別売スピードライトSB-400またはSB-300使用時のフラッシュの発光方 式を設定できます。

フラッシュの発光方式は、インフォ画面のフラッシュ モードで確認できます(口11、199)。



e4:フラッシュ使用時の露出 補正

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

フラッシュ撮影時に露出補正を設定した場合のフラッシュの調光を設定 できます。

| 92Z | 全体を補正 | 露出と調光量を同時に補正します。全体の露出が変化します。 | Ł |
|-----|--------|------------------------------|---|
| ≇ | 背景のみ補正 | 背景の露出だけを補正します。 | |

e5:モデリング発光

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト (□193) 使用時に、カメラの**Pv**ボタンを押したときに、陰影の状況を把握するためのモデリング発光を行わないように設定できます。

e6:オートブラケティングの セット

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

オートブラケティング(□140)の種類を設定できます。

| AE\$ | AE・フラッシュ ブラケティング | 露出値(AE)とフラッシュの発光量を変えながら撮影します。 |
|------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AE | AEブラケティング | 露出値を変えながら撮影します。 |
| \$ | フラッシュ ブラケティング | フラッシュの発光量を変えながら撮影します。 |
| WB | WBブラケティング (□145) | 1回の撮影でホワイトバランス(WB)を変えた画像を記録します。複数の光源が混在しているなど、ホワイトバランスを決めにくいときや、微妙な白の色みを好みで選びたいときなどに便利です。RAW画像を含む画質モードを設定したときは、WBブラケティングは使用できません。 |
| 町 | ADLブラケティング (□148) | アクティブD-ライティング (口184) の効果の度合いを変えながら撮影します。 |

e7:BKT変化要素(Mモード) MENUボタン→ ● カスタムメニュー

露出モードパでオートブラケティングを行うときに変化する内容は、カスタムメニューe6 [オートブラケティングのセット] とe7 [BKT変化要素(Mモード)] との組み合わせによって次のようになります。

| カスタムメニュー e7 | カスタムメニ [オートブラケティ | |
|----------------------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| [BKT変化要素(Mモード)] | AE・フラッシュ ブラケティング※ | AEブラケティング※ |
| 4+ 票 フラッシュ・ シャッタースピード | シャッタースピードと フラッシュの調光レベル | シャッタースピード |
| ∳ ● フラッシュ・ シャッタースピード・ 絞り値 | シャッタースピード、 絞り値、 フラッシュの調光レベル | シャッタースピード と絞り値 |
| 4+多 フラッシュ・絞り値 | 絞り値と フラッシュの調光レベル | 絞り値 |
| ‡ フラッシュ | フラッシュの調光レベル | - |

[※]カスタムメニューe7 が「フラッシュ・シャッタースピード」、「フラッシュ・シャッタースピード・絞り値」、「フラッシュ・絞り値」のいずれかのときに、「感度自動制御」(口119)が「する」に設定され、フラッシュを使用していない場合、ブラケティング1コマ目のISO感度で固定されます。

グフラッシュ調光レベルについて

フラッシュブラケティング中は、フラッシュ調光レベルは、i-TTL調光時または絞り連動外部自動調光時のみ変化します。

オートブラケティングの補正順序を変更できます。

| N | [0] → [−] → [+] | 「補正なし」→「-側に補正」→「+側に補正」の |
|-----|-----------------|-------------------------|
| | | 順になります。 |
| -++ | [-] → [0] → [+] | 「−側に補正」→「補正なし」→「+側に補正」の |
| | | 順になります。 |

 カスタムメニューe6 [オートブラケティングのセット] が [ADLブラケティング] の場合、e8の設定を変更しても補正順序は変わりません。

f:操作

f1:中央ボタンの機能 MENU

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

ファインダー撮影時とライブビュー撮影時または再生時にマルチセレクターの中央ボタンを押したときの機能を設定できます(1コマ表示中の画像が動画の場合、[再生モード]の設定にかかわらず、中央ボタンを押すと動画を再生します)。

■■ 撮影モード

| KESEI フォーカスホイント中 | 中央 ボタンを押すと、中央のフォーカスボイントか |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 央リセット | 選ばれます。 |
| PRE⊡ プリセットフォーカス ポイント | 中央ボタンを押すと、あらかじめ設定した位置のフォーカスポイント(プリセットフォーカスポイント) が選ばれます。 ・プリセットフォーカスポイントを設定するには、設定したい位置にフォーカスポイントを移動して、フォーカスポイントが点滅するまでAFモードボタンを押しながら中央ボタンを長押しします。 ・a10 [縦/横位置フォーカス切換] を [しない] 以外に設定した場合、カメラの横位置と時計回りの方向の縦位置、反時計回りの方向の縦位置で個別にプリセットフォーカスポイントを設定できます。 |
| 設定しない | 中央 ボタンは機能しません。 |
| | |

■■ 再生モード

| | 1コマとサムネイル | 中央ボタンを押すごとに、1コマ表示とサムネイル表 |
|----|------------------|---------------------------------------|
| 88 | の切り換え | 示 (4コマ、9コマ、72コマ) を切り換えます。 |
| | | 中央ボタンを押している間、ヒストグラム(四242) |
| | ヒストグラム表示 | を表示します。サムネイル表示時もヒストグラム表示 |
| | | できます。 |
| | ① 拡大画面との 切り換え | 中央ボタンを押すと、設定した拡大率で拡大表示しま |
| | | す。もう一度 中央 ボタンを押すと、元の表示に戻ります。 |
| | | • ファインダー撮影した画像は撮影時のフォーカス |
| æ | | ポイントを、ライブビュー撮影した画像は画面中央 |
| Q | | を中心にして拡大表示されます。 |
| | | • [拡大画面との切り換え] を選んで ▶ を押すと、拡 |
| | | 大率を [低倍率 (50%)]、[等倍 (100%)]、[高倍 |
| | | 率(200%)]から選べます。 |
| | | • サムネイル表示時も拡大表示できます。 |
| Г- | スロット/ | 中央ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定メ |
| ш | フォルダー指定 | ニュー] 画面(囗236)が表示され、画像を再生する |
| | ノイルノー相圧 | スロットとフォルダーを指定できます。 |

■ ライブビュー

| RESET | フォーカスポイント 中央リセット | ライブビュー表示中に 中央 ボタンを押すと、フォーカスポイントが画面中央に移動します。 |
|-------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Q | 拡大画面との 切り換え | ライブビュー表示中に中央ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心にして、設定した拡大率で拡大表示します。もう一度中央ボタンを押すと、元の表示に戻ります。 • [拡大画面との切り換え] を選んで▶を押すと、拡大率を [低倍率 (50%)]、[等倍 (100%)]、[高倍率 (200%)] から選べます。 |
| | 設定しない | 中央ボタンは機能しません。 |

半押しタイマー(□44)がきれたときにマルチセレクターを操作すると、 半押しタイマーが起動するように設定できます。

f3:Fnボタンの機能

MENUボタン → / カスタムメニュー

Fnボタンを単独で押したときの機能と、Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能を設定できます。



■ 押し時の動作

Fnボタンを単独で押したときの機能を設定できます。

| ® | プレビュー | ファインダー撮影時にFnボタンを押し続けると、レンズの絞り羽根が絞り込まれ、Fnボタンを押している間、被写界深度が確認できます(口128)。静止画ライブビュー時にFnボタンを1回押すと開放絞りになり、ピントがどこに合っているかを確認しやすくなります。もう一度Fnボタンを押すと、設定した絞り値に絞り込まれます(口49)。 | |
|----------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| \$L | FV-L | 別売のスピードライト(口193)使用時は、FVロック (口206)を行い、もう一度 Fn ボタンを押すと解除します。 | |
| A | AE-L/AF-L | Fnボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。 | |
| Æ | AE-L | Fn ボタンを押している間、AEロックを行います。 | |
| Æ® | AE-L (レリーズで リセット) | Fnボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。もう一度Fnボタンを押すか、シャッターをきるか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。 | |
| A | AE-L (ホールド) | Fnボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度Fnボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。 | |

| Ā | AF-L | Fnボタンを押している間、フォーカスロックを行います。 | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| AF-ON | AF-ON | Fnボタンを押している間、AF-ONボタンを押し続けたときと同様にカメラが自動的に被写体にピントを合わせます。 | | |
| 3/ \$ | \$発光禁止/ 許可切換 | フラッシュモードが発光禁止以外の場合、Fnボタンを押している間、フラッシュは発光禁止になります。フラッシュモードが発光禁止の場合は、Fnボタンを押している間、先幕シンクロモードで撮影できます。 | | |
| BKT⊡ | BKT自動連写 | カスタムメニュー e6の [オートブラケティングのセット] が [WBブラケティング] 以外の場合でレリーズ モードがCHまたはCLのときは、Fnボタンを押しながら シャッターボタンを全押ししている間、1回分のブラケティング設定コマ数を撮影し終えた後も、引き続きオートブラケティング撮影をします。また、レリーズモードがSまたはQのときは、Fnボタンを押しながらシャッターボタンを全押しし続けると、1回分のブラケティング設定コマ数を連続撮影します。 [オートブラケティングのセット] が [WBブラケティング] の場合は、Fnボタンを押しながらシャッターボタンを全押ししている間連続撮影して、各コマに対してWBブラケティングを行います。 | | |
| (BASIC) の場合、Fnボタンを押すと背面表示パネル画質モードに「RAW」が表示され、押してから1回の影のみRAW画像がJPEG画像と同時に記録されます。 影後シャッターボタンから指を放すか、もう一度Frタンを押すと [プラスRAW記録] を解除します。 ・RAW画像は撮影メニュー [RAW記録] (1298) | | 画質モードがJPEG (FINE)、JPEG (NORMAL)、JPEG (BASIC) の場合、Fnボタンを押すと背面表示パネルの画質モードに「RAW」が表示され、押してから1回の撮影のみRAW画像がJPEG画像と同時に記録されます。撮影後シャッターボタンから指を放すか、もう一度Fnボタンを押すと「プラスRAW記録」を解除します。 • RAW画像は撮影メニュー [RAW記録] (□298) の設定で記録されます。 | | |
| 0 | マルチパターン 測光簡易設定 | Fnボタンを押している間、測光モードがマルチパターン 測光になります。 | | |
| (0) | 中央部重点測光簡易設定 | Fnボタンを押している間、測光モードが中央部重点測光になります。 | | |
| • | スポット測光簡易設定 | Fnボタンを押している間、測光モードがスポット測光になります。 | | |

| | ファインダー内 | Fnボタンを1回押すと、ファインダーに構図用格子線を | |
|---------------------|-------------|----------------------------------------|--|
| ш | 格子線表示 | 表示します(叫9)。もう一度Fnボタンを押すと、格子 | |
| 恰丁称衣示 | | 線の表示を終了します。 | |
| | 7 - / \ # + | Fnボタンを1回押すと、ファインダーに水準器インジ | |
| -↔ | ファインダー内 | ケーターを表示します (CD335)。もう一度 Fn ボタンを | |
| | 水準器 | 押すと、水準器表示を終了します。 | |
| | | ワイヤレストランスミッターやワイヤレスリモートコ | |
| ı D≠® | 連動レリーズ | ントローラーを接続して連動レリーズモードで撮影す | |
| | 禁止 | る場合、Fnボタンを押している間、マスターカメラのみ | |
| | | 撮影を行い、リモートカメラでは撮影を行いません。 | |
| | | ワイヤレストランスミッターやワイヤレスリモートコ | |
| % ≠ % | リモートカメラ | | |
| | のみレリーズ | る場合、Fnボタンを押している間、リモートカメラでの | |
| | | み撮影を行います。 | |
| 囝 | マイメニュー | Fn を押すと、マイメニュー(口394)を表示します。 | |
| | · · · · – | (413) 1) 24 11 2 (413) 1) 22(313) 3 | |
| 「過 | マイメニューの | | |
| | トップ項目先へ | | |
| | ジャンプ | に登録して、この機能を使うと便利です。 | |
| | | Fnボタンに▶ボタンと同じ機能を割り当てます。望遠 | |
| ▶ | 再生 | レンズなどを使用していて、「上ボタンを左手で操作で | |
| | | きないときに便利です。 | |
| | 設定しない | Fnボタンは機能しません。 | |
| | | | |

☑ [押し時の動作] と [コマンドダイヤル併用時の動作] が併用できない場合について

[押し時の動作] と [コマンドダイヤル併用時の動作] の機能が同時に設定できない場合は、メッセージが表示され、先に設定していた内容が [設定しない] に変更されます。

☑ 水準器インジケーターについて

[押し時の動作] を [ファインダー内水準器] に設定してFnボタンを押すと、カメラに 内蔵している傾斜センサーを使って、ファインダーに水準器インジケーターを表示し ます。この「水準器インジケーター」の見方は次の通りです。

ローリング方向

| カメラが時計回りに傾いて いる場合 | カメラが正位置の 場合 | カメラが反時計回りに傾い ている場合 |
|----------------------|----------------|-----------------------|
| | (傾いていない場合) | |
| | | |

ピッチング方向

| カメラが前に傾いている場合 | カメラが正位置の場合(傾いていない場合) | カメラが後ろに傾いている場合 |
|-----------------------------------------|----------------------|----------------|
| *************************************** | -* | Processing |

- カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。
- カメラを縦位置に構えて撮影するときは、ローリング方向とピッチング方向の水準器の表示位置が入れ替わります。

■ コマンドダイヤル併用時の動作

Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能を設定できます。

| FIIハン. | ノを押しないりコ | マントダイドルを凹したことの成形を設定してより。 |
|----------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| EX III. | 撮像範囲選択 | Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、[撮像範囲] (□83) の設定を切り換えられます。 • 項目を選んで、マルチセレクターの▶を押すと、項目の走側のチェックボックスがオン ☑ になります。もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフ□になります。チェックボックスをオン ☑ にした項目のみ、Fnボタンとコマンドダイヤルで選べるようになります。※ボタンを押すと、設定が完了します。 |
| ∜⊕□ | シャッター スピードと 絞り値のロック | 露出モードが S またはMのとき、Fnボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを固定します。露出モードがMまたはMのとき、Fnボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、絞り値を固定します。シャッタースピードと絞り値のロックについては、四134をご覧ください。 |
| ∯ | シャッター・ 絞り値1段 選択 | カスタムメニュー b2 [露出設定ステップ幅] (口315) の設定にかかわらず、シャッタースピードまたは絞り値を1段ステップで設定できます。 ・露出モードが 5 またはMのとき、Fnボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを1段ステップで設定します。 ・露出モードがMまたはMのとき、Fnボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、絞り値を1段ステップで設定します。 |
| Non-CPU | 手動設定済み レンズの選択 | Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、現在使用中のレンズの情報を、セットアップメニューの [レンズ情報手動設定] (口229) で設定したレンズNo.のものに切り換えます。 |
| 畦 | アクティブ D-ライティング 設定 | Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、アクティブD-ライティング (口184) の設定を切り換えられます。 |
| SHOOT | 撮影メニュー 切り換え | Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、撮影メニューを切り換えられます(口294)。 |
| | 設定しない | Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても機能しません。 |

Pvボタンを単独で押したときの機能と、コマンドダイヤルを併用したときの機能を設定できます。



■ 押し時の動作

Pvボタンを単独で押したときの機能は、カスタムメニュー f3 [**Fnボタンの機能**]→[押**し時の動作**](□332)と同じです。初期設定は[プレビュー]です。

■ コマンドダイヤル併用時の動作

Pvボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は、カスタムメニューf3 [**Fnボタンの機能**] → [**コマンドダイヤル併用時の動作**] (□336) と同じです。初期設定は [**設定しない**] です。

f5:サブセレクターの機能

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

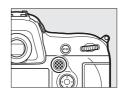
サブセレクターを上下左右に倒したときの機能を変更できます。



| = 🚯 | マルチセレクターと 同じ | マルチセレクターの ▲▼◀▶ と同じ機能になり ます。 |
|------|-----------------|---------------------------------------|
| [11] | フォーカスポイント 選択 | フォーカスポイントを選べます(口103)。 |

の機能

サブセレクターの**中央**を単独で押したときの機能と、コマンドダイヤルを併用したときの機能を設定できます。



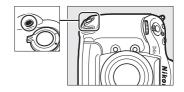
■ 押し時の動作

サブセレクターの中央を単独で押したときの機能は、カスタムメニューf3 [Fnボタンの機能] → [押し時の動作] (□332) とほぼ同じですが、その他に [フォーカスポイント中央リセット] 、[プリセットフォーカスポイント] (□330) も選べます。初期設定は [AE-L/AF-L] です。

■ コマンドダイヤル併用時の動作

サブセレクターの中央を押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は、カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] → [コマンドダイヤル併用時の動作] (□336) とほぼ同じですが、[シャッター・絞り値1段選択] と [アクティブD-ライティング設定] は選べません。初期設定は [設定しない] です。

縦位置**Fn**ボタンを単独で押したときの機能と、コマンドダイヤルを併用したときの機能を設定できます。



■ 押し時の動作

縦位置 \mathbf{Fn} ボタンを単独で押したときの機能は、カスタムメニュー $\mathbf{f3}$ [\mathbf{Fn} ボ**タンの機能**] \rightarrow [押し時の動作](\square 332) とほぼ同じですが、[$\mathbf{AF-ON}$]、[**連動レリーズ禁止**] または [$\mathbf{JF-h}$ カメラのみレリーズ] は選べません。初期設定は [$\mathbf{AE-L/AF-L}$] です。

■ コマンドダイヤル併用時の動作

縦位置**Fn**ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は、カスタムメニューf3 [**Fnボタンの機能**] → [**コマンドダイヤル併用時の動作**] (□336) で選べる項目および、[**ISO感度**]、[**露出モード**]、[**露出補正**]、[**測光モード**] です。初期設定は [**設定しない**] です。

| 150 150 | ISO感度 | 縦位置Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、 |
|---------------|--------|-----------------------------|
| 130 130 | | ISO感度を変更できます (口117)。 |
| MUU3 華山 | 露出モード | 縦位置Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、 |
| MDN 路口 | | 露出モードを切り換えられます(四125)。 |
| 12 露出 | 露出補正 | 縦位置Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、 |
| 路山 | | 露出補正を設定できます(口138)。 |
| ि क आध | 〕測光モード | 縦位置Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、 |
| | | 測光モードを変更できます(四123)。 |

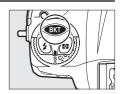
[シャッタースピードのロック] を [する] にすると、露出モード5または Mではシャッタースピードを現在の設定でロックします。 [絞り値のロック] を [する] にすると、露出モードAまたはMでは絞り値を現在の設定でロックします。

• 露出モードが **P** の場合はシャッタースピードと絞り値のロックは使えません。

f9:BKTボタンの機能

MENUボタン → / カスタムメニュー

BKTボタンを押したときの機能を設定できます。



| | オート ブラケティング | BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルまた |
|------|----------------|--------------------------------------|
| BKT | | はサブコマンドダイヤルを回すと、オートブラケティン |
| | | グ撮影時の撮影コマ数、補正ステップ、アクティブD-ラ |
| | | イティングの度合いを設定できます (□140)。 |
| | 多重露出 | BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回 |
| | | すと、多重露出モードを設定できます。 BKT ボタンを押 |
| | | しながらサブコマンドダイヤルを回すと、多重露出のコ |
| | | マ数を設定できます (皿215)。 |
| HDB | HDR (ハイ | BKTボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回 |
| וטוי | ダイナミック | すと、HDRモードを設定できます。 BKT ボタンを押しな |
| | レンジ) | がらサブコマンドダイヤルを回すと、HDRの露出差を設 |
| | υ <i>29</i>) | 定できます (口186)。 |
| | 設定しない | BKTボタンは機能しません。 |

• HDR(ハイダイナミックレンジ)または多重露出の設定が有効なときに、カスタムメニュー f9 [BKTボタンの機能] に他の機能を割り当てた場合、BKTボタンは使えません。BKTボタンが使えないときは、HDR(ハイダイナミックレンジ)または多重露出を解除してください。

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルに関する設定ができます。

■ 回転方向の変更

露出補正の設定時またはシャッタースピード/絞り値の設定時に、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルを操作するときの回転方向を逆方向に変更できます。



- [**露出補正の設定時**] または [**シャッタースピー ド/絞り値の設定時**] を選んでマルチセレクター
 - の▶を押すと、項目の左側のチェックボックスがオン **☑**になります。も う一度▶を押すと、チェックボックスがオフ □になります。
- mボタンを押すと、設定が完了します。
- 縦位置コマンドダイヤルの回転方向も変更されます。

■ メインとサブの入れ換え

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を入れ換えられます。



| | [する] を選ぶと、メインコマンドダイヤルで絞り値を、サ |
|------|---------------------------------------|
| 商山乳杏 | ブコマンドダイヤルでシャッタースピードを設定します。 |
| 露出設定 | [する (Aモード)] を選ぶと、露出モード吊のときのみ、メ |
| | インコマンドダイヤルで絞り値を設定します。 |
| | [する] を選ぶと、AFモードボタンを押しながらメインコ |
| AF設定 | マンドダイヤルを回してAFエリアモードを、サブコマンド |
| | ダイヤルを回してAFモードを設定します。 |

• 縦位置コマンドダイヤルの機能も入れ替わります。

■ 絞り値の設定方法

CPUレンズの装着時に露出モードが**月**または**州**の場合、レンズの絞りリングで絞り値を設定できるように変更できます。

| サブコマンド ダイヤル | サブコマンドダイヤルで絞り値をセットします([メインとサブの入れ換え]を[する]に設定した場合は、メインコマンドダイヤルで絞り値をセットします)。 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 絞りリング | レンズの絞りリングで絞り値をセットします。絞りリングによる中間絞りの設定は可能ですが、絞り値の表示は1段ステップになります。 |

- ◆ 絞りリングのないレンズ(Gタイプ、Eタイプレンズ)装着時は、[絞り値の設定方法]での設定にかかわらず、絞り値はサブコマンドダイヤルで設定します。
- 非 CPU レンズ装着時は、[**絞り値の設定方法**] での設定にかかわらず、 絞り値はレンズの絞りリングで設定します。

■ 再生/メニュー画面で使用

画像のコマ送りやメニュー操作を、マルチセレクターでの操作から、メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作でも行えるように変更できます。

| 再生時: 1コマ表示時には、メインコマンドダイヤルで撮影画像をコマ送りします。サブコマンドダイヤルを回すと、「サブコマンドダイヤルで画像送り」で設定した方法でコマ送りします。 サムネイル表示時には、メインコマンドダイヤルを回すと、黄色の枠(カーソル)が左右に移動し、サブコマンドダイヤルを回すと、ページを切り換えます。メニュー画面表示時*: メインコマンドダイヤルで選択項目を切り換えます。サブコマンドダイヤルを時計方向に回すと、サブメニューに移動します。反時計回りに回すと、前の画面に戻ります。 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [する] と同じ内容ですが、撮影直後の画像確認時は操作できません。 |
| 再生時の表示画像の切り換え、画像の選択、およびメニュー画面での項目の選択は、マルチセレクターを操作して行います。 |
| |

※サブコマンドダイヤルでは項目を決定することはできません。項目を決定するには、**⊗**ボタンか、マルチセレクターの**▶**または**中央**ボタンを押してください。

■ サブコマンドダイヤルで画像送り

[**再生/メニュー画面で使用**] で [する] または [する (撮影後確認時を除く)] に設定した場合、1コマ表示時にサブコマンドダイヤルを回したときのコマ送りの方法を設定できます。

| 10コマ | 10コマずつコマ送りします。 |
|---------|-----------------|
| 50コマ | 50コマずつコマ送りします。 |
| □ フォルダー | 再生フォルダーを切り換えます。 |

ボタンを押しながらコマンドダイヤルを操作するときに、指を放しても 設定できる状態が維持できます。

[ボタンのホールド設定] の対象ボタンは、MODE (※回) ボタン、2 ボタン、BKTボタン、★ボタン、1 ボタン、ISOボタン、QUALボタン、WBボタン、AFモードボタンです。また、カスタムメニュー f3 [Fnボタンの機能] (□332)、f4 [プレビューボタンの機能] (□337) またはf7 [縦位置Fnボタンの機能] (□339) の [コマンドダイヤル併用時の動作]で、Fnボタン、Pvボタンまたは縦位置Fnボタンに [アクティブD-ライティング設定] が割り当てられている場合も、[ボタンのホールド設定]の対象になります。

| | 1回ボタンを押すと、ボタンを放しても設定できる状態が維持 |
|-----|-------------------------------------------------------|
| | され、コマンドダイヤル単独で設定できます。もう一度ボタン |
| する | を押すか、シャッターボタンを半押しするか、半押しタイマー |
| 9 % | がオフになると、解除されます。 |
| | ◆ カスタムメニュー c2 [半押しタイマー] が [制限なし] に設 |
| | 定されている場合には、自動的に解除されません。 |
| しない | ボタンを押し続けている間のみ設定できる状態となります。 |

f12:カードなし時レリーズ MENUボタン→ **/**カスタムメニュー

カメラにメモリーカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

| LOCK レリーズ禁止 | メモリーカードを入れていないときは、シャッターはき れません。 |
|-------------|-------------------------------------------------------------|
| | メモリーカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。再生時には[デモモード]と表示され、画像は記録できません。 |

f13: インジケーターの+/-方向

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

上面表示パネルとインフォ画面(■) でのインジケーターの+と-方向を 入れ換えることができます。

| | インジケーターの+側を左に、-側を右に表示 します。 |
|---------------------------|-------------------------------|
| -0+ - ₄lıiıiıııııı | インジケーターの-側を左に、+側を右に表示 します。 |

f14:縦位置マルチセレクター の機能

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

縦位置マルチセレクターを上下左右に倒したときの機能を変更できます。

| = 🚱 | マルチセレクターと 同じ | マルチセレクターの▲▼◀▶と同じ機能になります。[上下左右機能入れ換え]で [する] を選ぶと、上または下に倒して表示画像を、左または右に倒して画像情報のページを切り換えられるようになります。 |
|------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [11] | フォーカスポイント 選択 | フォーカスポイントを選べます(四103)。縦位置マルチセレクターの中央ボタンを押したときの機能は、カスタムメニューf6 [サブセレクター中央押しの機能]→[押し時の動作](四338)と同じです。 |

f15:画像の拡大/縮小方法

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

画像の再生時の拡大/縮小方法を選べます。

| QQ 甲ボタンと | ♥ボタンを押すたびに表示中の画像の拡大率を上げ、 |
|------------------|--------------------------------------------|
| Q≅ボタン | ♥ ■ボタンを押すたびに拡大率を下げます。 |
| | ♥ボタンまたは♥☎ボタンを押しながらメインコマン |
| | ドダイヤルを右方向に回すと、表示中の画像の拡大率 |
| Q+Q ®/QBボタン+ 3 | が上がり、 ♥ ボタンまたは ♥■ ボタンを押しながらメ |
| CALS ALABAMAN TE | インコマンドダイヤルを左方向に回すと、拡大率が下 |
| | がります。 ♥ ボタンまたは ♥⊠ ボタンを押しただけで |
| | は拡大率は変わりません。 |

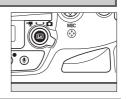
ライブビューセレクターが▲の場合に、動画撮影ボタンを押しながらコ マンドダイヤルを回したときの機能を設定できます。

| ISO ISO感度 | 動画撮影ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回す |
|----------------------------------|---------------------------------------------|
| 100 100 窓皮 | と、ISO感度を変更できます (□117)。 |
| | 動画撮影ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回す |
| | と、[撮像範囲](□83)の設定を切り換えられます。 |
| | • 項目を選んで、マルチセレクターの▶を押すと、項目の |
| | 左側のチェックボックスがオン 🗹 になります。もう一度 |
| 區 | ▶を押すと、チェックボックスがオフロになります。 |
| | チェックボックスをオン 🗹 にした項目のみ、Fn ボタ |
| | ンとコマンドダイヤルで選べるようになります。❸ボ |
| | タンを押すと、設定が完了します。 |
| SHOOT 撮影メニュー | 動画撮影ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回す |
| 切り換え | と、撮影メニューを切り換えられます(口 294)。 |
| | 露出モードが5または10とき、動画撮影ボタンを押し |
| 88 0 11 2 1 2 11 5 | ながらメインコマンドダイヤルを回すと、シャッタース |
| ()⊕■ シャッター | ピードを固定します。露出モードが 月 または M のとき、 |
| スピードと | 動画撮影ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを |
| 絞り値のロック | 回すと、絞り値を固定します。シャッタースピードと絞 |
| | り値のロックについては、□134をご覧ください。 |
| =76001 +e13 | 動画撮影ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回し |
| 設定しない | ても機能しません。 |

f17:ライブビューボタンの 設定

MENUボタン → **/**カスタムメニュー

意図せずに 🖸 ボタンを押したときにライブ ビューが開始しないように、ロボタンを無効に 設定できます。



| 有効 | ☑ボタンを押すとライブビューが開始されます。 |
|---------------------------|-----------------------------|
| ON ⁽²⁾ 半押しタイマー | 半押しタイマーがオンのときに 🖸 ボタンを押した場合の |
| 作動中のみ有効 | み、ライブビューが開始されます。 |
| 無効 | ☑ボタンを押してもライブビューは開始しません。 |

f18:リモコン (WR) の Fnボタンの機能

ワイヤレスリモートコントローラーのFnボタンを押したときの機能を設定できます。



| | | ファインダー撮影時にFnボタンを押し続けると、レンズの |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------------|
| <u>r</u> | | 絞り羽根が絞り込まれ、Fnボタンを押している間、被写界 |
| | プレビュー | 深度が確認できます(叫128)。静止画ライブビュー時に |
| (80) | 7021- | Fnボタンを1回押すと開放絞りになり、ピントがどこに |
| | | 合っているかを確認しやすくなります。もう一度Fnボタン |
| | | を押すと、設定した絞り値に絞り込まれます(□49)。 |
| 31 | FV-L | 別売のスピードライト(CD193)使用時は、FVロック |
| | FV-L | (皿206)を行い、もう一度 Fn ボタンを押すと解除します。 |
| A | AE-L/AF-L | Fnボタンを押している間、AEロックとフォーカスロッ |
| ΔĒ | AE-L/AF-L | クを同時に行います。 |
| Æ | AE-L | Fnボタンを押している間、AEロックを行います。 |
| A S | AE-L | Fnボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持 |
| | (レリーズで | されます。もう一度 Fn ボタンを押すか、シャッターをきるか、 |
| | リセット) | 半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。 |
| Æ: | AF-L | Fnボタンを押している間、フォーカスロックを行います。 |
| AEON | AF-ON | Fnボタンを押している間、AF-ONボタンを押し続けたとき |
| ATTON | AF-UN | と同様にカメラが自動的に被写体にピントを合わせます。 |
| | | フラッシュモードが発光禁止以外の場合、Fnボタンを押 |
| 3/4 | \$ 発光禁止/ | している間、フラッシュは発光禁止になります。フラッ |
| | 許可切換 | シュモードが発光禁止の場合は、Fnボタンを押している |
| | | 間、先幕シンクロモードで撮影できます。 |
| | | 画質モードがJPEG(FINE)、JPEG(NORMAL)、JPEG |
| | | (BASIC) の場合、 Fn ボタンを押すと背面表示パネルの |
| | | 画質モードに「RAW」が表示され、押してから1回の撮 |
| +RAW プラスRAW記録 | 影のみRAW画像がJPEG画像と同時に記録されます。撮 | |
| | ノノスハハVの山地 | 影後シャッターボタンから指を放すか、もう一度Fnボ |
| | | タンを押すと [プラスRAW記録] を解除します。 |
| | | ◆ RAW 画像は撮影メニュー [RAW 記録] (□298) の |
| | | 設定で記録されます。 |

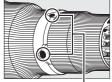
| (LV) ライフビュー | Fnボタンを押すと、ライブビューを開始します。もう一 |
|-------------|----------------------------|
| | 度Fnボタンを押すと、ライブビューを終了します。 |
| 設定しない | Fnボタンは機能しません。 |

f19: レンズのフォーカス 作動ボタン機能

MENUボタン → ♪カスタムメニュー

フォーカス作動設定スイッチがあるレンズを装着し、スイッチがAF-Lに設定されている場合に、レンズのフォーカス作動ボタンを押したときの機能を設定できます。





フォーカス作動ボタン

| Æ | AF-L | フォーカス作動ボタンを押している間、フォーカスロッ |
|----------|-----------|------------------------------------------------|
| AL | AI-L | クを行います。 |
| A | AE-L/AF-L | フォーカス作動ボタンを押している間、AEロックと |
| AE | AE-L/AF-L | フォーカスロックを同時に行います。 |
| Æ | AE-L | フォーカス作動ボタンを押している間、AEロックを行 |
| AE | AC-L | います。 |
| PRF[iii] | プリセット | フォーカス作動ボタンを押している間、あらかじめ設定 |
| I IVE | | した位置のフォーカスポイント(プリセットフォーカス |
| | フォーカス | ポイント) が選ばれます (口330)。フォーカス作動ボタ |
| | ポイント | ンを放すと、元のフォーカスポイント位置に戻ります。 |
| | | フォーカス作動ボタンを押している間、設定したAFエ |
| | | リアモードに変更します。フォーカス作動ボタンを放す |
| | | と、元のAFエリアモードに戻ります。 |
| | | • カメラのAFエリアモード (□100) が3D-トラッキン |
| C7 | | グの場合、オートフォーカスでピント合わせをしてい |
| ردیا | AFエリアモード | る間は、フォーカス作動ボタンを押しても設定した |
| | | AFエリアモードに変更されません。 |
| | | • [AFエリアモード] を選んでマルチセレクターの ▶ を |
| | | 押すと、AFエリアモードを選べます。ただし、「 3D - |
| | | トラッキング] は選べません。 |
| | | 1 7 7 1 7 7 1 10/22 10/22 10/21 |

| ③/\$ \$ 発光禁止/ 許可切換 | フラッシュモードが発光禁止以外の場合、フォーカス作動ボタンを押している間、フラッシュは発光禁止になります。フラッシュモードが発光禁止の場合は、フォーカス作動ボタンを押している間、先幕シンクロモードで撮影できます。 |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ロ=8 連動レリーズ 禁止 | ワイヤレストランスミッターやワイヤレスリモートコントローラーを接続して連動レリーズモードで撮影する場合、フォーカス作動ボタンを押している間、マスターカメラのみ撮影を行い、リモートカメラでは撮影を行いません。 |
| ⋈≓ リモートカメラ のみレリーズ | ワイヤレストランスミッターやワイヤレスリモートコントローラーを接続して連動レリーズモードで撮影する場合、フォーカス作動ボタンを押している間、リモートカメラでのみ撮影を行います。 |

g:動画

g1:Fnボタンの機能

■ 押し時の動作

動画ライブビューでFnボタンを押したときの機能を設定できます。

| 0 | パワー絞り (開放絞り側) | Fnボタンを押している間、開放絞り側に絞りが動きます。カスタムメニューg2 [プレビューボタンの機能] の [押し時の動作] が [パワー絞り (最小絞り側)] のときは、自動的にこの項目が選ばれます (口351)。 |
|----|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| • | インデックス マーキング | 動画撮影中にFnボタンを押すと、撮影中の動画にインデックスマークを付けることができます。インデックスマークを付けると、動画の再生時や編集時に目的の場所へ素早く移動できます(〇63、78)。 |
| ΔĐ | 静止画撮影情報 の表示 | Fnボタンを押すと、動画ライブビューで静止画を撮影するときの撮影情報が表示されます。もう一度Fnボタンを押すと元の画面に戻ります。 |
| | 設定しない | Fnボタンは機能しません。 |

■ コマンドダイヤル併用時の動作

Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能を設定できます。

| | Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画ライブビュー時の撮像範囲(口67)の設定を切り換えられます。 |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 設定しない | Fn ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても機能しません。 |

☑ 動画ライブビュー時の撮像範囲切換について

- 「FXベースの (動画) フォーマット」、「DXベースの (動画) フォーマット」、「クロップ」の順に切り換えられます。
- •「クロップ」に切り換えた場合のフレームレートは、撮影メニュー [動画の設定] の [画像サイズ/フレームレート] (口73) の設定により異なります。

| FXまたはDXベースの(動画)フォー マット時のフレームレート | クロップ時のフレームレート |
|------------------------------------|---------------|
| 60pまたは30p | 30p |
| 50pまたは25p | 25p |
| 24p | 24p |

• 動画撮影中は、撮像範囲の切り換えはできません。

■ 押し時の動作

動画ライブビューでPvボタンを押したときの機能を設定できます。

| | Pvボタンを押している間、最小絞り側に絞りが動きます。カスタムメニュー g1 [Fnボタンの機能] の [押し時の動作] が [パワー絞り (開放絞り側)] のときは、自動的にこの項目が選ばれます (口349)。 |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・ インデックス マーキング | 動画撮影中にPvボタンを押すと、撮影中の動画にインデックスマークを付けることができます。インデックスマークを付けると、動画の再生時や編集時に目的の場所へ素早く移動できます(口63、78)。 |
| ● 静止画撮影情報 の表示 | Pvボタンを押すと、動画ライブビューで静止画を撮影するときの撮影情報が表示されます。もう一度Pvボタンを押すと元の画面に戻ります。 |
| 設定しない | Pvボタンは機能しません。 |

■ コマンドダイヤル併用時の動作

Pvボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は、カスタ ムメニュー q1 [Fnボタンの機能] → [コマンドダイヤル併用時の動作] (Q350) と同じです。初期設定は「**設定しない**]です。

☑ パワー絞りについて

- 露出モード月またはMのときのみ動作します。
- 動画撮影中はパワー絞りは動作しません。
- 静止画撮影情報の表示中は、パワー絞りは動作しません。
- パワー絞りが動作しないときは、 スマークが液晶モニターに表示されます。
- パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。

■ 押し時の動作

動画ライブビューでサブセレクターの**中央**を押したときの機能を設定できます。

| 中の |
|-----------------------------|
| 。イ |
| 時に |
| |
| 静止 |
| ·度 中 |
| |
| |
| クと |
| クと |
| クと |
| |
| |
| :行い |
| :行い :れま |
| :行い :れま せん。 |
| :行い :れま せん。 半押 |
| 行い れま せん。 半押 す。 |
| |

■ コマンドダイヤル併用時の動作

サブセレクターの中央を押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は、カスタムメニューg1 [Fnボタンの機能] → [コマンドダイヤル併用時の動作] (□350) と同じです。初期設定は「設定しない」です。

ライブビューセレクターが帰の場合に、シャッターボタンを押したとき の機能を設定できます。

| 静止画撮影 | シャッターボタンを全押しすると、動画と同じアスペクト比の静止画を撮影します(撮影中の動画は終了します)。静止画の画像サイズ(ピクセル)については、「動画ライブビュー時に撮影できる静止画の画像サイズ」(□69)をご覧ください。 |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東 動画撮影 | シャッターボタンを半押しすると、動画ライブビューを開始します。フォーカスモードセレクターがAFの場合、動画ライブビュー中にシャッターボタンを半押しするとピント合わせが行われます。また、全押しすると、動画撮影を開始します。もう一度シャッターボタンを押すと、動画撮影を終了します。・動画ライブビューを終了するには、ロボタンを押してください。・別売のワイヤレスリモートコントローラー(ロ408)、リモートコード(ロ410)使用時には、ワイヤレスリモートコントローラーやリモートコードのシャッターボタンを半押しして動画ライブビューを開始したり、全押しして動画撮影の開始と終了を行えます。 |
| ※ 動画撮影中の フレーム保存 | 動画撮影中にシャッターボタンを全押しすると、アスペクト比16:9の静止画を撮影します。動画撮影を継続したまま、静止画を撮影できます。 ・静止画の画像サイズ(ピクセル)は撮影メニュー [動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート] (口73)で設定した画像サイズと同じサイズになります。画質モードはJPEG FINEになります。 ・レリーズモードに関係なく、シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影します。 ・動画撮影を開始していない場合は、[静止画撮影]を選んだときと同じ動作になります。 |

【 [シャッターボタンの機能] が [動画撮影] のときのご注意

カスタムメニュー q4 [シャッターボタンの機能] が [動画撮影] の場合、インターバ ルタイマー撮影(□217)はできません。また、ライブビューセレクターが帰のとき、 静止画撮影、プリセットマニュアルホワイトバランスデータ取得、イメージダストオ フデータ取得などのシャッターボタンを使う操作は行えません。これらの機能を使う には、q4の設定を「動画撮影」以外に設定してください。

↑ セットアップメニュー: カメラを使いやすくする基本設定

MENUボタンを押して、タブのਊアイコンを選ぶと、セットアップメニューが表示されます。

MENUボタン



セットアップメニューの項目は次の通りです。

| メニュー項目 | |
|-----------------|-----|
| カードの初期化(フォーマット) | 355 |
| モニターの明るさ | 355 |
| モニターのカラーカスタマイズ | 356 |
| イメージセンサークリーニング | 416 |
| クリーニングミラーアップ* | 419 |
| イメージダストオフデータ取得 | 357 |
| フリッカー低減 | 359 |
| 地域と日時 | 360 |
| 言語(Language) | 360 |
| 縦横位置情報の記録 | 361 |
| 電池チェック | 362 |
| 画像コメント | 363 |

| メニュー項目 | |
|---------------|-----|
| 著作権情報 | 364 |
| IPTC | 365 |
| 音声メモの設定 | 255 |
| カメラ設定の保存と読み込み | 368 |
| 水準器表示 | 370 |
| レンズ情報手動設定 | 229 |
| AF微調節 | 371 |
| HDMI | 280 |
| 位置情報 | 233 |
| ネットワーク | 270 |
| ファームウェアバージョン | 372 |
| | |

※ バッテリー残量表示が 一川以下のときは選べません。

☑ 関連ページ

「セットアップメニューの初期設定」(四436)

【️ 【ネットワーク】の【通信機能】について

セットアップメニュー [**ネットワーク**] の [**通信機能**] が [**有効**] のときは、ファームウェアのバージョンアップは行えません。



メモリーカードを初期化(フォーマット)しま す。初期化したいスロットを選んで「**はい**〕を 選ぶと、選んだスロットのメモリーカードを初 期化します。**初期化すると、カード内のデータ** は全て削除されます。カード内に必要なデータ が残っている場合は、初期化の前にパソコンな どに保存してください。



✓ カードの初期化についてのご注意

「カードの初期化(フォーマット)中です。〕のメッヤージが液晶モニターに表示されて いる間は、電源をOFFにしたり、メモリーカードを取り出さないでください。

ボタン操作による初期化

⋒(~)ボタンとMODE(~)ボタンを2秒以上同時に押して初期化することもでき ます (四35)。

モニターの明るさ

MENUボタン → Y セットアップメニュー

画像の再生時、メニュー表示時、インフォ画面表示時の液晶モニターの明 るさを設定できます。

液晶モニターが点灯した時点で照度センサー(□4)の測定した周 囲の明るさに合わせて、カメラが自動で液晶モニターを見やすい明 オート るさに調整します。照度センサーを指でふさがないでください。

液晶モニターの明るさを、マルチセレクターの▲または▼を押して マニュアル 調整できます。+にすると明るく、-にすると暗くなります。

☑ 静止画ライブビューまたは動画ライブビュー中の液晶モニターの 明るさについて

[モニターの明るさ] で設定した液晶モニターの明るさは、静止画ライブビューまたは 動画ライブビュー中の明るさには反映されません。ライブビュー表示中の液晶モニ ターの明るさを設定するには、「液晶モニターの明るさの調整方法」(□55)をご覧く ださい。

モニターのカラーカスタマイズ MENUボタン→Y セットアップメニュー

カメラの液晶モニターの色調を好みに合わせて変更できます。

右のような画面が表示され、マルチセレクターで液晶モニターの色みを調整できます。
 ▲▼◀▶を押すたびに、液晶モニターの色みが次のように変わります。
 ※ボタンを押すと決定します。



グリーンが強くなる



アンバーカ 強くなる

マゼンタが強くなる

- ●液晶モニターの色みを調整すると、メニュー表示や画像再生時、静止画 ライブビューまたは動画ライブビュー中の表示全てに反映されますが、 撮影した画像には反映されません。
- 最後に撮影した画像または最後に再生した画像がサンプルとして表示されます。撮影した画像がメモリーカード内にない場合、グレーで表示されます。
- Q™ボタンを押すと、画像の選択画面が表示されます。画像を選んで®ボタンを押すと、選んだ画像がサンプルとして表示されます。
- 画像の選択画面ででがあった押すと、ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。
 で製ボタンを押すと、「スロット/フォルダー指定メニュー」画面が表示されます(□236)。



イメージダストオフデータ取得 MENUボタン→ Y セットアップメニュー

別売のCapture NX 2 (□410) の 「イメージダストオフ機能 | を使うため のデータを取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子の前 面にあるローパスフィルターに付いたゴミの写り込みをRAW画像から取 り除く機能です。イメージダストオフ機能については、Capture NX 2 の 使用説明書をご覧ください。

■■ イメージダストオフデータ取得の手順

イメージダストオフデータの取得方法を選ぶ

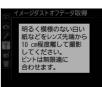
• [開始] を選んで®ボタンを 押すと、「イメージダストオ フデータ取得]画面が表示 されます。

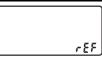




⋒ボタン

- [イメージセンサークリーニング後 開始] を選んでMボタンを押すと、すぐにイメー ジャンサークリーニングを実行します。イ メージセンサークリーニングの実行後に、 「イメージダストオフデータ取得」画面が表 示されます。
- ▶面表示パネル、背面表示パネル、ファイ ンダー内下表示に右のように表示されま す。
- ずータ取得を取り消したいときは、MENU ボタンを押してください。





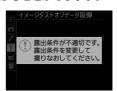


2 レンズ先端から10cm 程度離れた、明るく白い無地の被写体 を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを合わせます。
- マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターボタンを押すと、液晶モニターが消灯します。
- 被写体が暗いとき、ノイズ低減が自動的に実行される場合があります。その場合、メモリーカードへの記録に時間がかかることがあります。
- 被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、 データが取得できなかった場合は、液晶モニターに右の画面が表示され、手順1の状態に 戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。



▼ イメージセンサークリーニングについてのご注意

イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータは、クリーニング実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致しなくなるため、Capture NX 2のイメージダストオフ機能を使用できません。イメージセンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、「イメージセンサークリーニング後 開始」を選択後に撮影することをおすすめします。

▼ イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- 非CPUレンズをお使いの場合は、[イメージダストオフデータ取得] を選べません。
- お使いになるCPUレンズは、焦点距離が50mm以上のレンズ(DXレンズを除く)をおすすめします(口401)。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値を変更して 撮影した画像にも適用できます。
- イメージダストオフデータは画像処理ソフトウェアなどで開けません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生すると、右の画面が表示されます。



蛍光灯や水銀灯などの光源下で、ライブビュー表示中(□47)や動画撮影時(□61)に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。通常はカメラが自動的に電源周波数を選ぶ [オート] をお使いください。[オート] にしていても、フリッカー低減効果が得ら



れない場合は、お使いの地域の電源周波数に応じて、[**50 Hz**] と [**60 Hz**] から選びます。東日本など電源周波数が50 Hzの地域では [**50 Hz**] を選び、西日本など電源周波数が60 Hzの地域では [**60 Hz**] を選んでください。

▼ フリッカー低減についてのご注意

- [オート] に設定してもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで(より大きい数値にして)ください。
- 露出モードが所以外の場合、設定したシャッタースピードが必ずしも反映されないため、フリッカー低減できるシャッタースピードに設定しても、フリッカー低減効果が得られないことがあります。そのような場合は、露出モードを所に設定し、シャッタースピードを次の値にすることで、フリッカー現象を低減できます。
 - 電源周波数が50Hzの場合: 1/100秒、1/50秒、1/25秒
 - 電源周波数が60Hzの場合:1/125秒、1/60秒、1/30秒

現在地と日時、年月日の表示順を設定します。日時設定の手順については、「日付と時刻を設定する」をご覧ください(四29)。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

| | 現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイムゾーンを |
|--------|------------------------------------------------------------|
| 現在地の設定 | 変更すると、[日時の設定] で設定された日時が、時差に合わ |
| | せて自動的に更新されます。 |
| ⊓⋢⋀⋽⋏⋣ | [現在地の設定]で選ばれているタイムゾーンの時刻を設定し |
| 日時の設定 | ます。 |
| ロ仕の主二順 | 液晶モニターに表示される、日付の年、月、日の表示順を、 |
| 日付の表示順 | [年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選びます。 |
| 夏時間の設定 | 現在地で夏時間(サマータイム制)が実施されている場合は |
| | [する] に、そうでない場合は [しない] に設定します。[す |
| | る] にすると、時刻が1時間進みます。初期設定は [しない] |
| | です。 |

日時が設定されていない場合、上面表示パネルに時刻未設定マーク 400003 が点滅して警告します。

言語 (Language)

MENUボタン → Y セットアップメニュー

メニュー画面やメッセージの表示言語を、日本語または英語に設定します。

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。

液晶モニターや付属のViewNX 2、別売のCapture NX 2(□410)で画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に回転表示されます。

記録されるカメラの縦横位置情報は、次の3種類です。

する



構位置



縦位置 時計回りに 90°回転



縦位置 反時計回りに 90°回転

しない

縦横位置情報は記録されず、再生時には常に横位置で表示します。

✔ 縦横位置情報記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

❷ 再生メニュー [縦位置自動回転]

再生メニューの [**総位置自動回転**] (口290) では、**[総横位置情報の記録**] を **[する**] に設定して総位置で撮影された画像を、液晶モニターに縦位置で表示するように変更できます。

カメラに装着中のバッテリーの情報を表示します。



| 残容量 | バッテリーの残量を1%単位で表示します。 |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 撮影回数 | 充電後にシャッターをきった回数を表示します。 |
| キャリブ レーション | キャリブレーションの必要性の有無を表示します。キャリブレーションはバッテリー容量をより正確に測定するための機能で、充放電をある程度繰り返すと [※CAL] が表示されます。 ・ [※CAL] が表示されているときは、キャリブレーションすることをおすすめします (口462)。 ・ [] が表示されているときは、キャリブレーションの必要はありません。 |
| 劣化度 | バッテリーの劣化度合いが5段階のバーグラフで表示されます。 • バーグラフが「0」(個) のときは、バッテリーは劣化していません。 • バーグラフが「4」(【型) のときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。 |

√ 撮影回数について

[撮影回数] に表示される回数は、シャッターをきった回数です。ホワイトバランスのプリセットマニュアルデータ取得など、実際に画像がメモリーカードに記録されない場合でも、シャッターをきるごとに1ずつ加算されます。

▼ 低温で充電した場合の劣化度表示について

一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、バッテリーに充電できる容量は少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場合、[電池 チェック] で劣化度が「1」と表示されることがありますが、約20℃以上で再充電すると劣化度の表示は「0」に戻ります。

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添付されたコメントは、付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2 (口410)のメタデータで確認できます。

■ コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。[コメント入力] を選んでマルチセレクターの▶を押すと、画像コメントの入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する | の手順6をご覧ください(□180)。

■ コメント添付

登録したコメントを画像に添付したいときは、 [コメント添付]を選んで▶を押し、チェックボックスをオン☑にします。❷ボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像には全てコメントが添付されます。



// 画像情報に表示される画像コメントについて

入力・添付された画像コメントは、「撮影情報」の「画像コメント」に表示されます (皿244)。 撮影した画像に著作権情報を添付することができます。添付された著作権情報は、付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2 (口410) のメタデータで確認できます。

■ 撮影者名入力、著作権者名入力

36文字までの撮影者名と、54文字までの著作権者名を登録できます。[撮影者名入力] または [著作権者名入力] を選んでマルチセレクターの ▶ を押すと名前の入力画面が表示されます。入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(□180)。

■ 著作権情報添付

登録した著作権情報を画像に添付したいときは、[著作権情報添付]を選んで▶を押し、チェックボックスをオン☑にします。❷ボタンを押すと、設定が有効になり、その後撮影した画像には全て著作権情報が添付されます。



著作権情報に関するご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用を防ぐため、[著作権情報添付]の設定を必ず解除してください。また、撮影者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報] の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を負いません。

☑ 画像情報に表示される著作権情報について

入力・添付された著作権情報は、「撮影情報」に表示されます(□244)。

IPTCプリセット登録用ソフトウェア(口367)を使ってメモリーカードに保存したIPTCプリセット(IPTC情報)をカメラに読み込んで登録したり、名前や内容を編集したり、撮影した静止画に添付することができます。



■ カメラに登録

[カメラに登録] を選んでマルチセレクターの ▶を押すと、あらかじめメモリーカードに保存 したIPTCプリセットを最大10個カメラに登録 できます。



- カメラに登録したいIPTC プリセットを選び、® ボタンを押すと、「登録先を選択」画面が表示さ
 - れます(選んだIPTCプリセットの内容を確認したい場合は、∞ボタンの 代わりに▶を押します。確認を終了して[登録先を選択]画面に進むに は∞ボタンを押します)。
- 登録先を選んで®ボタンを押すと、選んだIPTCプリセットがカメラに 登録されます。

■ 登録名の変更と登録内容の編集

[編集] を選んで▶を押すと、[編集対象を選択] 画面が表示され、カメラに登録したIPTCプリセットが一覧表示されます。

- [登録名の変更] : 登録名を変更したい IPTC プリセットを選んで [登録 名の変更] を選ぶと、名前の入力画面が表示されます。
- [登録内容の編集]:登録内容を変更したいIPTCプリセットを選んで[登録内容の編集]を選ぶと、IPTCプリセット項目が一覧表示されます(四367)。項目を選ぶと、登録内容変更画面が表示されます。
- 入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(四180)。

■ 登録内容の削除

[**削除**] を選んで▶を押すと、右のような確認画面が表示されます。[**はい**] を選んで❸ボタンを押すと、選んだIPTCプリセットの登録名と登録内容が削除されます。

■ 登録内容の添付

[撮影時自動付加] を選んで▶を押すと、右のようなIPTCプリセットの選択画面が表示されます。IPTCプリセットを選んで❷ボタンを押すと、その後撮影した静止画には選んだIPTCプリセットが添付されます。[しない] を選ぶと、IPTCプリセットは添付されません。





❷ IPTCプリセット(IPTC情報)

IPTC情報とは、国際新聞電気通信評議会 (IPTC) が作成した基準で、写真をさまざまな 出版物で共有する場合に必要な情報を簡易化し、明確化するために考案されています。

▼ IPTCプリセット登録時のご注意

- メモリーカードを2枚使用している場合、撮影メニューの [主スロットの選択] (口95)
 で選んだキスロットのカードが対象になります。
- カメラでは半角英数字のみ表示できます。その他の文字は、カメラでは伏せ文字で表示されますが、IPTCプリセットを添付した画像をパソコンで表示すると、正しく表示されます。
- 登録名(□366)は半角英数字18文字まで登録できます。IPTC ブリセット登録用ソフトウェアを使ってカメラに登録する場合、IPTCブリセットの登録名が18文字以上のときは、18文字を超える文字は削除されます。
- 各IPTCプリセットには、登録可能な文字数の制限があります。下記の文字数を超える文字は削除されます。

| 2000 64 |
|------------|
| 64 |
| |
| 256 |
| 256 |
| 256 |
| 256 |
| 256 |
| 3 |
| |

| IPTCプリセット | 登録可能文字数 (半角英数字) |
|--------------------------------------------|--------------------|
| Supp. Cat. (Supplemental Categories) | 256 |
| Byline | 256 |
| Byline title | 256 |
| Writer/editor | 256 |
| Credit | 256 |
| Source | 256 |

✓ IPTCプリセット登録用ソフトウェアについて

IPTC プリセット登録用ソフトウェアは、付属のViewNX 2 CD-ROMを使って当社のホームページからダウンロードして、パソコンにインストールできます(インターネットに接続できる環境が必要です)。IPTC プリセット登録用ソフトウェアを使うと、パソコンでIPTC プリセットを作成して、メモリーカードに保存できます。IPTC プリセット登録用ソフトウェアの使用方法は、IPTC プリセット登録用ソフトウェアのヘルプを参照してください。

カメラの各機能の設定データをメモリーカードに保存できます。また、メモリーカードに保存されている設定データをカメラで読み込むこともできるので、複数のD4Sを同じ設定で使う場合などに便利です。

• メモリーカードを2枚使用している場合、撮影メニューの [主スロット の選択] (¹95) で選んだ主スロットのカードが対象になります。 設定を保存、読み込みできる機能は次の通りです。

| | 再生画面設定 |
|---------------|-------------------------------|
| 五 4. 7 | 撮影直後の画像確認 |
| 再生メニュー | 削除後の次再生画像 |
| | 縦位置自動回転 |
| | 撮影メニューの管理 |
| | 撮影メニューの拡張 |
| | ファイル名設定 |
| | 主スロットの選択 |
| | 副スロットの機能 |
| | 画質モード |
| | JPEG/TIFF記録 |
| | RAW記録 |
| | 撮像範囲 |
| | ホワイトバランス (微調整値、プリセットマニュアルデータ) |
| 世界ソーニ | ピクチャーコントロール(カメラに搭載されているピク |
| 撮影メニュー | チャーコントロール(スタンダード、ニュートラル、ビ |
| (A~D全メニュー) | ビッド、モノクローム、ポートレート、風景) 以外の場合 |
| | は、「スタンダード」で保存します。) |
| | 色空間 |
| | アクティブD-ライティング |
| | ヴィネットコントロール |
| | 自動ゆがみ補正 |
| | 長秒時ノイズ低減 |
| | 高感度ノイズ低減 |
| | ISO感度設定 |
| | 静止画ライブビュー撮影 |
| | 動画の設定 |
| カスタムメニュー | 全メニュー |
| (A~D全メニュー) | エハーユ |

| | イメージセンサークリーニング |
|----------|-------------------|
| | フリッカー低減 |
| | 地域と日時(日時の設定を除く) |
| | 言語 (Language) |
| | 縦横位置情報の記録 |
| セットアップ | 画像コメント |
| メニュー | 著作権情報 |
| | IPTC |
| | 音声メモの設定 |
| | レンズ情報手動設定 |
| | HDMI |
| | 位置情報 |
| マイメニュー / | マイメニューに登録したメニュー項目 |
| 最近設定した項目 | 最近設定したメニュー項目 |
| | このタブの機能変更 |

■ 保存

カメラの設定データをメモリーカードに保存します。メモリーカードに 空き容量がない場合は、エラーメッセージが表示され、設定データは保 存されません。保存された設定データは他機種のカメラとの互換性はあ りません。

■ 読み込み

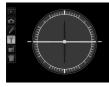
メモリーカードからカメラの設定データを読み込みます。メモリーカードが装着されていないときや、メモリーカードに設定データが記録されていないときは、[読み込み] は選べません。

▶ 設定データについてのご注意

メモリーカードに保存したカメラの設定データのファイル名は「NCSETUPE」です。ファイル名を変更すると、設定データを読み込めなくなるためご注意ください。

カメラに内蔵している傾斜センサーを使って、液晶モニターにローリング 方向とピッチング方向の水準器を表示します。

- カメラを正位置(傾きのない状態)にすると、ローリング方向の場合は水準器表示の基準線が緑色に変わります。ピッチング方向の場合は中央の●が緑色に変わります。
- 水準器の1目盛は、5°を表します。



カメラがローリング 方向、ピッチング方向 とも正位置の場合



カメラがローリング 方向に傾いている場合



カメラがピッチング 方向に傾いている場合

▼ 水準器の精度について

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。

∅ 関連ページ

- 静止画ライブビュー、動画ライブビュー時に水準器を表示する→「静止画ライブ ビュー時の表示を切り換える」(□56)、「動画ライブビュー時の表示を切り換える」 (□66)

装着したレンズごとに最適なピント合わせを行いたいときに、自分でピント位置を調節できます。通常はAF微調節を行う必要はありません。必要な場合のみ調節を行ってください。正常なレンズを調整すると、ピントが合わなくなる場合がありますのでご注意ください。

| AF微調節 | する | AF微調節の設定が有効になります。 |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (する/しない) | しない | AF微調節を行いません。 |
| 個別レンズ の登録 | 節値を登録で レクターの。 て、+20~- きます。最大 登録できます ・非CPUレン してあるし | SCPUレンズの微調できます。マルチセム は置がカメラから遠ざかりで20の範囲で調節で 今回の ます。 20種類のレンズを 微調節値 |
| その他レンズ の登録 | いないCPUL きに、一律で 定します。 | の登録] で登録して ノンズを装着したと が微調節する値を設 本または▼を押し ・20の範囲で調節で ・20の範囲で調節で |
| 個別レンズ 登録リスト | ズを一覧表示 らレンズを頭画面が表示で • [識別番号 の識別番号 たは ▼ を で、 W ボジ レンズを複 所有してし | 入力」画面では、レンズ 最を変更できます。▲ま 押して識別番号を選ん タンを押します。[個別レンズの登録] は同じ種類の 製数登録できないため、たとえば、同じレンズを数本 いるときに登録したレンズのシリアル番号の末尾2桁 にしておくと、どのレンズで登録したかを識別できる |

MAF微調節設定時のご注意

AF微調節を行うと、レンズの無限遠側または至近側で、ピントが合わなくなる場合がありますのでご注意ください。

▼ ライブビュー撮影時のAF微調節について

ライブビュー撮影時にオートフォーカスでピント合わせを行うときは、[**AF微調節**] で設定した微調節値は適用されません。

✓ 個別レンズの登録について

同じ種類のレンズは複数登録できませんが、テレコンバーターを装着した場合は違うレンズとして個別登録できます。

❷ 登録したレンズを削除するには

[個別レンズの登録] で登録したレンズを削除するには、[個別レンズ登録リスト] 画面の一覧表示から削除したいレンズを選んで、面(空) ボタンを押します。

ファームウェアバージョン MENUボタン→↑ セットアップメニュー

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。

📝 画像編集メニュー:

撮影した画像に行う編集機能

MENUボタンを押して、タブのプアイコンを選ぶと、画像編集メニューが表示されます。

MENUボタン



画像編集メニューでは、メモリーカード内の撮影済み画像を編集することができます(撮影メニュー [RAW記録] の [画像サイズ] で [サイズ S] (194) に設定して撮影したRAW画像を除く)。編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてメモリーカードに記録されます。画像編集メニューの項目は次の通りです。

| メニュー項目 | |
|-------------------|-----|
| □ D-ライティング | 376 |
| ● 赤目補正 | 377 |
| ₩ トリミング | 378 |
| □ モノトーン | 379 |
| ② フィルター効果 | 379 |
| ೄ ∅ カラーカスタマイズ | 380 |
| ■ 画像合成※1 | 381 |

| | メニュー項目 | \Box |
|------------|-------------|--------|
| RAW + | RAW現像 | 384 |
| | リサイズ | 386 |
| (- | 傾き補正 | 389 |
| •• | ゆがみ補正 | 390 |
| | アオリ効果 | 391 |
| ĬŢ. | 動画編集 | 79 |
| ■+□ | 編集前後の画像表示※2 | 392 |
| | | |

- ※1 MENUボタンを押して、タブのプアイコンを選んだときのみ表示されます。
- ※2 編集前または編集後の画像を1コマ表示して、∞ボタンを押しながら▶を押したときのみ表示されます。

▼ 同時記録した画像について

撮影メニュー [RAW記録] の [画像サイズ] で [サイズS] に設定し、RAW画像とJPEG画像を1枚のメモリーカードに同時記録した場合(口95)の画像も画像編集は行えません。

画像編集の操作方法

画像編集メニューでメニュー 項目を選ぶ

マルチセレクターの▲または▼ でメニュー項目を選び、▶を押 します。





2 画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選びます。
- ¶ボタンを押している間、選ん だ画像を拡大表示します。





• **Q**圏ボタンを押すと、[スロット/フォルダー 指定メニュー]画面が表示され、スロットや フォルダーを切り換えられます(□236)。



●画像を選んで®ボタンを押すと、編集画面が表示されます。

3 画像を編集する

- 画像の編集方法については、各項目の説明をご覧ください。
- 画像編集を途中でやめるには、MENUボタンを押してください。画像編 集メニューに戻ります。

4 編集した画像を記録する

- 画像編集した画像にはばが 付きます。





☑ 1コマ表示モードで選んだ画像を編集する

1コマ表示モード(CP235)で静止画を選び、®ボタンを押しながら▶を押すと、画像編集メニューが表示され、選んだ画像を編集できます。



静止画を選び、®ボタン を押しながら▶を押す

メニュー項目を選び、 **®**ボタンを押す

選んだ画像を編集する

☑ 画像編集についてのご注意

- カメラにメモリーカードが入っていない場合やメモリーカードに画像が記録されて いない場合は、画像編集メニューは表示されません。
- RAW画像とJPEG画像を1枚のメモリーカードに同時記録した場合(¹口95)、RAW画像が画像編集の対象になります。
- このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または編集できないことがあります。
- 選択中の画像に使用できない画像編集項目は、画像編集メニューでグレーで表示されて選べません。
- 画像編集中に何も操作しないまましばらくすると、液晶モニターが消灯し、編集中の画像は保存されません。カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間] (口319)の「メニュー表示)の時間を長く設定することをおすすめします。

☑ 繰り返し画像編集する場合のご注意

- 画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、画像が粗くなったり、褪色したりする場合があります。
- 同じ画像編集を繰り返し行うことはできません([画像合成]、[動画編集] の [始点 /終点の設定] を除く)。
- 画像編集の組み合わせによっては繰り返し編集できないものもあります。

// 画質モードと画像サイズについて

[D-ライティング]、[赤目補正]、[モノトーン]、[フィルター効果]、[カラーカスタマイズ]、[傾き補正]、[ゆがみ補正]、[アオリ効果]で作成した画像は、元画像と同じ画質モードと画像サイズで記録します。ただし、元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、画質モードが [FINE]、画像サイズが [サイズL] のJPEG 画像を作成します。TIFF(RGB)で撮影された画像の場合、画質モードは [FINE] になりますが、元画像と同じ画像サイズで記録します。また、どの画質モードで撮影した画像も、JPEG圧縮は [サイズ優先] になります。

D-ライティングでは、画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。







D-ライティング後

編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。

- マルチセレクターの▲または▼を押して、効果の度合いを [強め]、[標準]、[弱め] の3段階から選びます。効果の度合いは、設定画面のプレビュー画像で確認できます。
- M ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。



フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなって しまった画像を、補正できます。

- フラッシュを発光しないで撮影した画像は選べません。
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。

編集画面では、プレビュー画像が表示され、次の操作ができます。

| 拡大率を上げる | Ф | ♥ ボタンを押すごとに プレビュー画像の拡大率 が上がります。 | |
|----------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 拡大率を下げる | ବ୍ଞ | プレビュー画像の拡大再生中は、 | 拡大表示中にこれらの操作を行うと、画面の右下に画像全体が表示され、拡大部分が黄色い枠で囲んで示さ |
| 画面を スクロール (移動) する | | プレビュー画像の拡大再 生中は、画面をスクロール して、見たい部分に移動で きます。マルチセレクター を押し続けると、高速で移 動します。 | れます。数秒すると消えますが、もう一度操作すると表示されます。 |
| 拡大表示を 終了する | ©K) | 拡大表示中に⊗ボタンを押す | すと、拡大表示を終了します。 |
| 画像を 保存する | ©K) | 補正した画像が記録されま | ਰ . |

▼ 赤目補正についてのご注意

赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。

- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。

赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確認して ください。 画像の必要な部分だけを切り抜きます。

編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作ができます。



| 切り抜く範囲を狭くする | Q₽ | Q≅ ボタンを押すごとにトリミングで切り抜かれる範囲が狭くなります。 |
|-------------------------|----|-----------------------------------------------------|
| 切り抜く範囲を広くする | Ф | ♥ ボタンを押すごとにトリミングで切り抜かれる範囲が広くなります。 |
| 画像のアスペクト比 (縦横比)を変更する | | メインコマンドダイヤルを回すと、アスペクト比を3:2、4:3、5:4、1:1、16:9に変更できます。 |
| 切り抜く範囲を移動する | | トリミングで切り抜く範囲を移動します。マルチセレクターを押し続けると、 高速で移動します。 |
| 画像のプレビューを見る | | トリミングした画像のイメージを見る ことができます。 |
| トリミングを実行して画像 を保存する | ©K | トリミングした画像が記録されます。 |

▼ トリミング画像についてのご注意

- トリミング画像は、拡大表示できないことがあります。
- トリミング画像の画質モード(口89)は、元画像の 画質モードが RAW を含む画質モードや [TIFF (RGB)]のときは [FINE]になり、[FINE]、 [NORMAL]、[BASIC]のときは元画像と同じ画質 モードになります。
- トリミング画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます。画像サイズは、トリミング時の拡大率とアスペクト比により変わります。





モノトーンの画像 (1種類の色の明暗のみで構成 される画像) を作成します。

[**モノトーン**] を選ぶと、右のメニューが表示され、色調を選ぶことができます。



| 白黒 | モノクロになります。 |
|-----|----------------------|
| セピア | セピア色(褐色)のモノトーンになります。 |
| クール | ブルー系のモノトーンになります。 |

- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- [セピア] または [クール] を選ん だ場合は、マルチセレクターで色の 濃さを調整できます。▲を押すと色 が濃くなり、▼を押すと色が薄くな ります。調整した色の濃さはプレ ビュー画像に反映されます。





● ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

フィルター効果

MENUボタン → **/** 画像編集メニュー

画像全体の色調を演出できます。

| スカイライト | スカイライトフィルターの ように、画像の青みを抑える 効果があります。 |
|---------|-------------------------------------------|
| ウォームトーン | 画像を暖色にする効果があ ります。 |



編集画面では、プレビュー画像を表示します。

• 凾ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

画像全体の色調を調整できます。

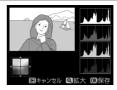
右のような画面が表示され、マルチセレクターで画像全体の色調を調整できます。▲▼◀ ▶を押すたびに、画面全体の色調が次のように変わります。

グリーンが強くなる



- アンバーが 強くなる

マゼンタが強くなる



色調を操作すると、プレビュー画像と 画面右側のRGBヒストグラム(色の分 布図: \$\Pi242)(に反映されます。

• ❷ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

☑ プレビュー画像の拡大表示について

調整画面で ♥ ボタンを押すと、プレビュー画像を拡大表示し、拡大領域のヒストグラムを表示することができます。拡大表示中に ◆n (四・/*) ボタンを押すと、色調の調整と拡大表示の操作を切り換えられます。拡大表示中にマルチセレクターを操作して画面をスクロールさせて、見たい部分に移動できます。 ♥∞ ボタンを押すと画像を縮小表示します。



メモリーカードに記録されているRAW画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に合成できます。RAWデータを使用して合成するため、通常のアプリケーションソフトウェアなどで画像を合成する場合と比べ、階調特性に優れた画像になります。







画像編集メニュー画面で [画像合成] を選ぶ

「画像合成」を選んでマルチセレクターの▶を押すと、右のような画面が表示され、「画像1」欄がハイライト表示されます。





2 合成する画像の1コマ目を 選ぶ

● 図ボタンを押すと表示される RAW画像のサムネイル一覧から、 1コマ目の画像を選びます。





- ♥ボタンを押している間、選択 中の画像を拡大表示します。
- **Q⊠**ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(□236)。

3 1コマ目の画像を決定 する

 ● 圏ボタンを押すと、選んだ 画像が1コマ目に設定され、 [画像1] 欄にプレビューが 表示されます。





∞ボタン

4 2コマ目の画像を選ぶ

 ▶を押して [画像2] を選び、手順2~3と同じ手順で2コマ目の 画像を選びます。





5 ゲインを調節する

• プレビュー欄に [**画像1**] と [**画像2**] を合成した画像が表示 されます。プレビュー欄で確認 しながら、合成画像の明るさが 適正になるように、[**画像1**] ま





たは [**画像2**] を選んでから▲または▼を押してゲイン(出力)を 設定します。

- ゲインは0.1~2.0の範囲で、0.1ステップで設定できます。
- 各数値は初期設定の1.0(補正なし)を基準にした比率です。たとえば 0.5にするとゲインは約半分になります。

6 プレビュー欄に移動する

- ◀または▶を押して、プレビュー欄に移動します。
- 合成画像を確認せずに画像を保存したいときは、[保存]を選んで®ボタンを押してください。







7 合成画像を確認する

- [合成] を選び、∞ボタンを押す と、合成画像の確認画面が表示 されます。
- 設定をやり直したいときは、♥♥ ボタンを押してください。手順6 の画面に戻ります。





8 合成画像を保存する

もう一度∞ボタンを押すと、合成画像が保存され、合成画像が 表示されます。





☑ 画像合成についてのご注意

- 合成できる画像は、このカメラで撮影した[RAW記録]の[画像サイズ]が[サイズL]のRAW画像だけです。機種の異なるカメラやRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- 合成画像の画質モード(口89)と画像サイズ(口92)は、合成時のカメラの設定と同じになります(ただし [RAW記録] の [画像サイズ] が [サイズ5] の場合は、[サイズL] として合成されます)。画像合成をする前に、これらの設定を確認してください。合成した画像をさらに別のRAW 画像と合成したいときは、画質モードをRAW、画像サイズを [サイズL] に設定してください。
- [撮像範囲] と [記録ビットモード] が同じRAW画像のみ合成できます。
- 合成時にRAWを含む画質モードが選ばれている場合、元画像と同じ記録ビットモードになります。また、RAW圧縮は合成時のカメラの設定になります。
- 合成時の画質モードがJPEGの場合、JPEG圧縮は [サイズ優先] になります。
- 合成画像のホワイトバランス、ピクチャーコントロール、撮影データ(撮影日時、 測光モード、シャッタースピード、絞り値、露出モード、露出補正値、焦点距離、 縦横位置情報など)は、[画像1] で選んだ画像の内容を引き継ぎます。ただし、著 作権情報は引き継ぎません。また、合成された画像には、画像合成時にカメラに設 定されている画像コメントが添付されます。



RAWを含む画質モード(口89)で記録したRAW画像を、カメラでRAW 現像してJPEG画像を作成できます。

画像編集メニュー画面で [RAW現像] を選ぶ

[RAW現像] を選んでマルチセレクターの▶を押すと、RAW画像がサムネイル表示されます。





2 RAW現像する画像を選ぶ

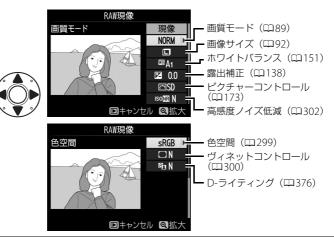
- マルチセレクターでRAW現像する画像を選んで⊗ボタンを押します。
- ♥ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。





• **Q**圏ボタンを押すと、[スロット/フォルダー指定メニュー] 画面が表示され、スロットやフォルダーを切り換えられます(□236)。

3 表示されている項目をそれぞれ設定する



4 RAW現像する

- [現像] を選んで∞ボタン を押すと、JPEG画像を保存 します。
- RAW現像後のJPEG画像が 保存されます。
- キャンセルして画像編集メニューに戻るときは、MENUボタンを押してください。



▼ RAW現像についてのご注意

- RAW 現像できる画像は、このカメラで撮影した [RAW 記録] の [画像サイズ] が [サイズL] のRAW画像だけです。機種の異なるカメラで撮影したRAW画像やRAW 以外の画質モードで撮影した画像は選べません。付属のソフトウェア ViewNX 2 (口266) や別売のCapture NX 2 (口410) でRAW現像を行ってください。
- 多重露出撮影した画像や「画像合成」で編集した画像の場合、「ホワイトバランス」
 と「ヴィネットコントロール」は選べません。
- [**露出補正**] で設定できる明るさ (-2~+2) は、通常の露出補正の段数とは異なります。
- RAW現像の [ピクチャーコントロール] では、調整時のグリッド表示はできません (□177)。

リサイズ

MENUボタン → → 画像編集メニュー

サイズの小さい画像を作成します。メモリーカードを2枚使用している場合は、記録先のスロットも指定できます。

■■ 複数の画像を選んでリサイズ画像を作成する

MENUボタンを押して画像編集メニューを選んだ場合、複数の画像のリサイズ画像を一度に作成できます。

画像編集メニュー画面で[リ サイズ]を選ぶ

• [リサイズ] を選んでマルチセレ クターの▶を押します。





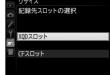
2 記録先のスロットを選ぶ

- メモリーカードを2枚使用している場合は、[記録先スロットの選択] を選んで▶を押します。
- メモリーカードが1枚しか入って いない場合は、[記録先スロット の選択] を選べません。手順3に 進んでください。
- ▲または▼でスロットを選び、 ∞ボタンを押します。







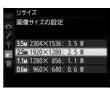


3 画像サイズを設定する

• [**画像サイズの設定**] を選んで**▶** を押します。



▲または▼で画像サイズを選び、※ボタンを押します。



4 [画像選択] を選ぶ

[画像選択] を選んで▶を押すと、画像の選択画面が表示されます。

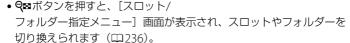






5 リサイズしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターを操作して、 リサイズしたい画像を選びます。
- ・ ♥ボタンを押している間、選ん だ画像を拡大表示します。







6 設定する

マルチセレクターの中央ボタンを押して設定します、設定すると™が表示されます。もう一度中央ボタンを押すと、™が消えます。





リサイズする画像全てに設定したら、のボタンを押します。

7 リサイズ画像を作成する

確認画面で [はい] を選ん で⊗ボタンを押すと、リサ イズ画像が保存されます。





▼ リサイズ画像についてのご注意

- リサイズ画像は、拡大表示できないことがあります。
- リサイズ画像の画質モード(口89)は、元画像の画質モードがRAWを含む画質モードや [TIFF (RGB)]のときは [FINE]になり、[FINE]、[NORMAL]、[BASIC]のときは元画像と同じ画質モードになります。
- 撮影メニュー [撮像範囲] の [撮像範囲設定] (□83) を [5:4 (30 × 24)] にして 撮影した画像は、リサイズできません。

画像の傾きを±5°の範囲(約0.25°ステップ)で 補正できます。

- 編集画面では、プレビュー画面を表示します。
- 補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺部は 切り取られます。



| 傾きを補正 する | | マルチセレクターの▶を押すと時計回りに傾き、 ◆ を押すと反時計回りに傾きます。 |
|--------------------------|----------|-------------------------------------------------|
| キャンセル する | • | 編集中の画像を保存せずに、画像の再生に戻ります。 |
| 傾き補正を 実行して 画像を保存する | ⊗ | 傾き補正した画像が記録されます。 |

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます。 [オート] を選ぶと画像のゆがみを自動的に判別して補正しますが、好みに応じて微調整することもできます。 [マニュアル] を選ぶと自分でゆがみを補正できます。



- 編集画面では、プレビュー画面を表示します。
- [オート] は、Gタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズで撮影した画像のみ機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズで撮影した画像には機能しません。また、対応レンズ以外で撮影した画像については、動作を保証しません。
- [自動ゆがみ補正] (□301) を行った画像の場合、[マニュアル] のみ 選べます。

| ゆがみを補正 する | | たる型のゆがみを補正するには、マルチセレクターの▶を押します。糸巻き型のゆがみを補正するには、◀を押します。 |
|---------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| キャンセル する | • | 編集中の画像を保存せずに、画像の再生に戻ります。 |
| ゆがみ補正を 実行して画像を 保存する | ©K) | ゆがみ補正した画像が記録されます。 |

☑ ゆがみ補正についてのご注意

- 補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。
- DXレンズを装着し、撮像範囲を [DX (24×16) 1.5×] 以外に設定して撮影した 画像の場合、画像周辺部が大きく切り取られたり、DXフォーマットの外側の部分が 特に強く補正されることがあります。

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、 遠近感による被写体のゆがみを補正します。

- 編集画面では、プレビュー画像を表示します。
- アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。



| アオリ効果を 調節する | | マルチセレクターの ▲▼◀▶ でアオリの効果を 変更できます。 |
|---------------------------|-----|-------------------------------------------|
| キャンセル する | ▶ | 編集中の画像を保存せずに、画像の再生に戻ります。 |
| アオリ効果を 実行して画像を 保存する | ©K) | アオリ効果の画像が記録されます。 |







アオリ効果処理後

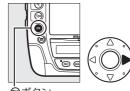
編集前後の画像表示

画像編集を行った画像を、元画像と並べて表示して、画像編集の効果を確認できます。このメニュー項目は、編集元または編集後の画像を1コマ表示して∞ボタンを押しながら▶を押したときのみ表示されます。

■ 編集前後の画像表示方法

1 1コマ表示モードで画像を選ぶ

- 画像編集で作成した画像(**営**が表示されている画像)または画像編集の元画像を 選びます。
- ・画像を選んで®ボタンを押しながら▶を押すと、画像編集メニュー項目を表示します。







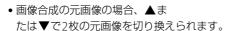
2 [編集前後の画像表示] を選ぶ

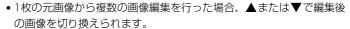




3 編集前と編集後の画像を比較 する

- 編集前の画像を左側、編集後の 画像を右側に表示します。
- 画像編集の内容は、2つの画像の 上に表示されます。
- マルチセレクターの◀または▶で、編集前/編集後の画像を切り換えられます。





- ♥ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ●ボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を1コマ表示モードで再生します。
- ▶ボタンを押すと、再生画面に戻ります。

☑ 編集前後の画像表示についてのご注意

- 次の画像を編集した場合は、編集前の画像は表示されません。
 - プロテクト (□249) が設定されている画像
- 編集元の画像を削除した場合や非表示設定(□284)にした場合、編集前の画像は表示されません。





画像編集の内容

編集前 の画像

編集後の画像



🖫 マイメニュー / 🗐 最近設定した項目

MENUボタンを押して、タブの包アイコンを選ぶと、[マイメニュー] 画面が表示されます。

MENUボタン



同 マイメニュー:よく使うメニューを登録する

再生、撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。登録した項目は、削除したり、表示順序を変えたりできます。

■■ マイメニューを登録する

- **1** [包マイメニュー] 画面で [マイメニュー登録] を選ぶ
 - [マイメニュー登録] を選んで、マルチセレクターの▶を押します。





2 登録したいメニューを選ぶ

登録したいメニューを選んで▶を押すと、選んだメニューが一 覧表示されます。





3 マイメニューに登録す る項目を選ぶ

マイメニューに登録する項目を選んで®ボタンを押します。

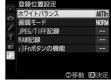




4 登録する項目の表示位 置を選ぶ

▲または▼で登録する項目の表示位置を選んで、@ボタンを押します。





5 マイメニューに表示したい全 ての項目を登録する

- ◆が表示されている項目は、すでにマイメニューに登録済みです。
- ・ 左横に広が表示されている項目は、マイメニューにこューにごかません。
- 手順1~4を繰り返して、マイメニューに表示したい項目を登録します。



■ 登録した項目を削除する

- **1** [令マイメニュー] 画面で [登録項目の削除] を選ぶ
 - [登録項目の削除] を選び、マルチセレクターの▶を押します。

削除したいメニュー項目を 選ぶ

- ▶を押すと、項目の左側の チェックボックスが**☆**になります。
- 削除したい全ての項目に▼を入れます。





3 選んだ項目を削除する

● 圏ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度®ボタンを押すと、選んだ項目が削除されます。





∞ボタン

☑ ボタン操作で登録した項目を削除するには

[包マイメニュー] 画面で削除したい項目を選んで面(※※) ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度面(※※※) ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

■ 登録した項目の表示順序を変える

- 1 [令マイメニュー] 画面で [登録項目の順序変更] を選ぶ
 - [登録項目の順序変更] を選び、マルチセレクターの▶を押します。

順番を変えたい項目を 選ぶ

順番を変えたい項目を選んで、で、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・順番を変えたい項目を選んで、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</l>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・





∞ボタン

3 選んだ項目を移動したい位置を選ぶ

 ▲または▼で移動したい位置を 選んで、∞ボタンを押すと、マ イメニューの中で位置が変わり ます。





• 必要に応じて手順2~3を繰り返します。

4 [⑦マイメニュー] 画面 に戻る

MENUボタンを押すと、[見マイメニュー] 画面に戻ります。







■■ マイメニューの機能を「最近設定した項目」に変更する

- 1 [□マイメニュー] 画面で [このタブの機能変更] を 選ぶ
 - [**このタブの機能変更**] を選び、マルチセレクターの**▶**を押します。





- [このタブの機能変更] 画面で[**冒最近設定した項** 目]を選んで、⊗ボタンを押します。
- [マイメニュー] が [最近 設定した項目] に切り替わります。





■■「最近設定した項目」の設定方法

メニューを設定するたびに「最近設定した項目」に追加されます。最大20項目まで登録されます。



☑ 最近設定した項目を削除するには

[最近設定した項目] 画面で削除したい項目を選んで面(※※※※)ボタンを押すと、確認 画面が表示されます。もう一度面(※※※※※※※※※)ボタンを押すと、選んだ項目を削除します。

☑「最近設定した項目」からマイメニューに戻すには

「最近設定した項目」の [**このタブの機能変更**] を選ぶと、□398の手順2と同じ画面が表示されます。[**同マイメニュー**] を選んで⊗ボタンを押すと、マイメニューに切り替わります。

資料

このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるレンズ

CPUレンズ(IXニッコールを除く)をおすすめします。とくにGタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズは、カメラの機能を最大限に引き出すことができます。

| モード | | フォーカスモード | | | 露出モード | | 測光モード | | |
|-------|---------------------------------------------------------------|------------|-------|-------------|-------|-----|-----------|-----|--------------|
| | | AF (オート | フォーカス | M (マニュアル | P | R | マルチ/ 測 | | 中央部 重点測光/ |
| レ: | ンズ | フォーカス) | エイド | フォーカス) | 5 | М | 3D-RGB | RGB | スポット 測光 |
| レンズ※1 | Gタイプレンズ*2、 Eタイプレンズ*2、 Dタイプレンズ*2、 AF-Iレンズ、 AF-Sレンズ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | × | () *3 |
| | PC-E NIKKOR シリーズ | × | O*4 | 0 | O*4 | O*4 | O*4 | × | O*3, 4 |
| | PCマイクロ 85mm F2.8D*5 | × | O*4 | 0 | × | ○*6 | 0 | × | O*3,4 |
| CPU | AF-S/AF-Iテレコン バーター* ⁷ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | × | O*3 |
| | Gタイプ、Eタイプ、 Dタイプ以外のAFレ ンズ(F3AF用を除 く) | O**8 | O**8 | 0 | 0 | 0 | × | 0 | O**3 |
| | AI-Pニッコール | × | ○*9 | 0 | 0 | 0 | × | 0 | ○*3 |

| モード | | フォーカスモード | | | 露出モード | | 測光モード | | |
|--------|-------------------------------------------------|------------|--------------|-------------------------------|--------|------|---------------|------|--------------|
| | | AF (オート | フォーカス | フォーカス エイド (マニュアル フォーカス) | P 5 | A | マルチパターン 測光 | | 中央部 重点測光/ |
| レ: | ンズ | フォーカス) | エイド | | | | 3D-RGB | RGB | スポット 測光 |
| | AI-S、AI、AI改造 レンズ、シリーズE レンズ* ¹¹ | × | ○*9 | 0 | × | O*12 | × | ○*13 | O**14 |
| %10 | メディカル120mm f/4 | × | 0 | 0 | × | ○*15 | × | × | × |
| ズなど*10 | レフレックスレンズ | × | × | 0 | × | ○*12 | × | × | ○*14 |
| Ķ | PCニッコール | × | ○*4 | 0 | × | ○*16 | × | × | 0 |
| PUL | AI-S、AIテレコン バーター*17 | × | ○*18 | 0 | × | ○*12 | × | ○*13 | O**14 |
| 非CPU | ベローズアタッチ メントPB-6 * 19 | × | ○*18 | 0 | × | O*20 | × | × | 0 |
| | オート接写リング (PK-11A、12、13、 PN-11) | × | ○ *18 | 0 | × | O*12 | × | × | 0 |

- ※1 IXレンズは装着できません。
- ※2 このカメラはVRレンズのVR(手ブレ補正)機能に対応しています。
- ※3 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能(CD123)。
- ※4 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※5 カメラの測光モード、および調光制御機能は、アオリ操作(シフトまたはティルト)をしているとき、または開放絞り以外に絞り値が設定されているときには、正しく機能しません。
- ※6 露出モードはMで使用可能。
- ※7 AF-S レンズ、AF-I レンズ専用です。オートフォーカスとフォーカスエイド可能なフォーカスポイントについては、□404をご覧ください。
- ※8 AF80-200mm f/2.8S、AF35-70mm f/2.8S、AF28-85mm f/3.5-4.5S(New)、AF28-85mm f/3.5-4.5Sレンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とオートフォーカスのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、マニュアルフォーカスによりファインダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。
- ※9 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。
- ※10 一部装着不可能なレンズ(□405)があります。
- ※11 AI ED80-200mm f/2.8Sの三脚座を回転するとカメラと干渉するため、回転方向 に制限があります。AI ED200-400mm f/4Sをカメラに装着したままでのフィル ター交換はできません。

- ※12 レンズ情報手動設定(□229)でレンズの開放絞り値を設定することにより上面表示パネル、ファインダー内下表示に絞り値が表示されます。
- ※13 レンズ情報手動設定(□229)でレンズの焦点距離、開放絞り値を設定することにより可能です。一部のレンズでは焦点距離と開放絞り値を設定しても充分な精度が得られない場合があります。この場合は中央部重点測光またはスポット測光を選んで撮影してください。
- ※14 レンズ情報手動設定(□229)で焦点距離、開放絞り値を設定することにより、測 光の精度が向上します。
- ※15 露出モードがMでフラッシュ同調シャッタースピードより1段以上低速のシャッタースピードのときに使えます。
- ※16 絞り込み測光で使用します。露出モードが¶の場合はレンズ側で絞りプリセットを行い、AEロック後にアオリ操作を行ってください。露出モードが¶の場合はレンズ側で絞りプリセットを行い、あおる前に測光して露出を決定してください。
- ※17 AI 28-85mm f/3.5-4.5S、AI 35-105mm f/3.5-4.5S、AI 35-135mm f/3.5-4.5S、AF-S 80-200mm f/2.8Dレンズの組み合わせによっては、露出補正を行う必要があります。
- ※18 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。
- ※19 オート接写リングPK-12またはPK-13を併用すると装着できます。カメラの姿勢、 位置によりPB-6Dが必要です。
- ※20 絞り込み測光で使用可能、露出モードが見の場合はベローズアタッチメント側で絞り込みを行い、測光後撮影してください。
- 複写装置PF-4へはカメラアダプターPA-4を併用すると装備できます。
- 高感度撮影時には、オートフォーカス作動中にノイズ(すじ)が発生することがあります。この場合は、マニュアルフォーカスまたはフォーカスロックを利用して撮影してください。また、動画撮影時やライブビュー表示中にISO感度が高い場合は、絞り作動中にノイズ(すじ)が発生することがあります。

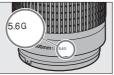
☑ CPUレンズ、Gタイプレンズ、Eタイプレンズ、Dタイプレンズ の見分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。GタイプレンズにはG] マークが、EタイプレンズにはG] マークが、DタイプレンズにはD] マークが付いています。GタイプレンズとEタイプレンズには、絞りリングがありません。

CPU信号接点

絞りリング







CPUレンズ G/Eタイプレンズ

Dタイプレンズ

✓ レンズの開放F値とは

レンズの明るさを示す数値で、そのレンズで最も絞りを開いたときの絞り値を意味します。レンズ名称の最後のほうに「f/2.8」「f/3.5-5.6」などと記されています。

☑ AF-S/AF-Iテレコンバーター使用時のフォーカスポイントについて

AF-S/AF-Iテレコンバーターを装着して撮影を行う場合、オートフォーカスとフォーカスエイドが可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです(合成絞り値がF5.6 より暗い場合は、コントラストの低い被写体や輝度の低い被写体の撮影時にピントが合わないことがあります)。

| テレコン バーター | 装着レンズ の開放F値 | フォーカス ポイント |
|--------------|----------------|-----------------------------------------|
| TC-14E/ | F4まで | 000000000000000000000000000000000000000 |
| TC-14E II | F5.6 | *1 |
| | F2.8まで | 000000000000000000000000000000000000000 |
| TC-17E II | F4 | *1 |
| | F5.6 | *2 |

| テレコン バーター | 装着レンズ の開放F値 | フォーカス ポイント |
|--------------------------|----------------|-----------------------------------------|
| TC-20E/ | F2.8まで | 000000000000000000000000000000000000000 |
| TC-20E II/ TC-20E III | F4 | *3 |
| | F5.6 | <u>*2</u> |
| TC-800- 1.25EED | F5.6 | *1 |

- ※1 AFエリアモード(□100)が3D-トラッキングまたはオートエリアAFの場合、シングルポイントAFに変更されます。
- ※2 この組み合わせの場合、オートフォーカス撮影はできません。
- ※3 中央のフォーカスポイント以外はラインセンサーによってピント情報を取得します。
- AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-EDをお使いの場合、オートフォーカス撮影はできません。

非CPUレンズを使用する場合は、セットアップメニューの [**レンズ情報手動設定**] (口229) でレンズの焦点距離と開放絞り値を設定することによって、絞り値表示、RGB マルチパターン測光などの機能が使用できるようになります。レンズの焦点距離と開放 絞り値を設定しない場合、測光モードをマルチパターン測光に設定しても、自動的に中央部重点測光になります。

また、絞り値はレンズの絞りリングでのみ設定できます。[**レンズ情報手動設定**] でレンズの開放絞り値を設定しない場合、上面表示パネルとファインダー内下表示の絞り値表示が開放からの絞り込み段数表示となりますので、絞り値は、レンズの絞りリングで確認してください。

▼ 使用できないレンズ

次の非CPUレンズは使用できません。無理に装着しようとすると、カメラやレンズを破損しますのでご注意ください。

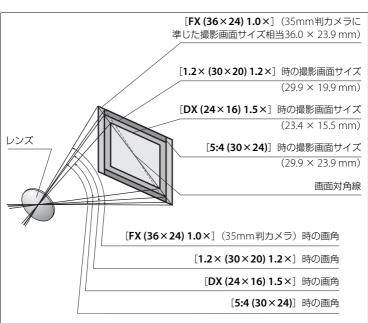
- AFテレコンバーター TC-16AS
- AI改造をしていないレンズ (AI方式以前の連動爪を使用するタイプ)
- フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ(400mm f/4.5、600mm f/5.6、800mm f/8、1200mm f/11)
- フィッシュアイ(6mm f/5.6、7.5mm f/5.6、8mm f/8、OP10mm f/5.6)
- 2.1cm f/4
- K2リング
- ED180-600mm f/8 (製品No.174041~174180)
- ED360-1200mm f/11 (製品 No.174031~174127)
- 200-600mm f/9.5 (製品 No.280001~300490)
- E3AF用 (AF80mm f/2.8、AF FD200mm f/3.5、テレコンバーター TC-16S)
- PC28mm f/4 (製品 No.180900以前の製品)
- PC35mm f/2.8 (製品 No.851001~906200)
- IBPC35mm f/3.5
- 旧レフレックス 1000mm f/6.3
- レフレックス1000mm f/11 (製品 No.142361~143000)
- レフレックス2000mm f/11 (製品 No.200111~200310)

✓ レンズの画角と焦点距離について

D4Sでは、さまざまな当社製35mm判カメラ用レンズが使用できます。[**DX自動切り換え**](口84)を[**する**]に設定している場合、35mm判カメラのレンズを装着すると、35mm判カメラと同じ画角(フィルム面に写し込む範囲)の [**FX (36×24) 1.0×**] で撮影できます。DXレンズを装着すると、カメラが判別して自動的に [**DX (24×16) 1.5×**] に切り換えます。

[DX自動切り換え] の設定を変えて、使用しているレンズと異なる画角で撮影することもできます。たとえば、35mm判カメラのレンズの使用時に、[DX (24×16) 1.5×] や [1.2× (30×20) 1.2×] に設定して画角を狭くしたり、[5:4 (30×24)] に設定してアスペクト比(縦横比)の異なる画像を撮影することもできます。

このため、[**撮像範囲**] の設定によっては、同じレンズで撮影しても、画角と画面サイズが異なることにご注意ください。



35mm判カメラの撮影画面サイズは、対角線の長さで [DX (24×16) 1.5×] のときの約1.5倍、[1.2×(30×20) 1.2×] のときの約1.2倍、[5:4 (30×24)] のときの約1.1倍です。したがって、D4Sに35mm判カメラのレンズを装着したときのレンズに表記されている焦点距離は、[DX (24×16) 1.5×] のときが約1.5倍、[1.2×(30×20) 1.2×] のときが約1.2倍、[5:4 (30×24)] のときが約1.1倍に相当します。たとえば、焦点距離50 mmのレンズを装着したときは、[DX (24×16) 1.5×] では約75 mm、[1.2×(30×20) 1.2×] では約60 mm、[5:4 (30×24)] では約55 mmの焦点距離に相当する画角になります。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18a (□21、24) ニコンデジタルカメラD4S用のバッテリーです。EN-EL18aは、バッ テリーチャージャー MH-26aを使用して充電、キャリブレーション

| |)))) () () () () () () () () |
|-------------|---------------------------------------------------|
| | (四462) が行えます。 |
| | - EN-EL18aの代わりにEN-EL18も使えます。 |
| | ● バッテリーチャージャー MH-26a(皿21) |
| | Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18a およびEN-EL18用の |
| | チャージャーです。キャリブレーション機能も装備しています。 |
| = 'F | ● パワーコネクター EP-6、ACアダプター EH-6b ※ |
| 電源 | ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定し |
| | て電源を供給できます。 |
| | - このカメラは、カメラ本体と AC アダプターを接続するためにパ |
| | ワーコネクターEP-6が必要です。カメラとパワーコネクター、AC |
| | アダプターを接続する方法については、「カメラとパワーコネク |
| | ター、ACアダプターの接続方法」(□413) をご覧ください。 |
| | - EH-6bの代わりにACアダプター EH-6a、EH-6も使えます。 |
| | ※日本国内専用電源コード(AC 100V対応)付属。日本国外でお使 |
| | いになるには、別売の電源コードが必要です。 |
| | • フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルター |
| | をお使いください。 |
| | • カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター(Polar)は使用でき |
| | ません。円偏光フィルター(C-PL、C-PL Ⅱ)をお使いください。 |
| | • 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィル |
| | ターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このよ |
| | うな場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。 |
| フィルター | • 露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、 |
| フィルター | X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND2S、ND4S、ND4、ND8S、ND8、 |
| | ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用する場合、RGBマルチ |
| | パターン測光、または3D-RGBマルチパターン測光の効果が得られ |
| | ない場合がありますので、測光モードを中央部重点測光に切り換え |
| | て撮影することをおすすめします。詳しくは、各フィルターの使用 |
| | 説明書をご覧ください。 |
| | ◆特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォー |
| | |

カスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。

ワイヤレストランスミッター WT-4 USBケーブルでカメラと接続することにより、カメラで撮影した画 像をワイヤレスで転送したり、別売のCamera Control Pro 2を使っ てパソコンからカメラを遠隔操作できます。また、イーサネット ケーブルを接続することにより有線でも通信できます。 • ワイヤレストランスミッター WT-5 カメラの拡張端子に装着することにより、カメラで撮影した画像をワ イヤレスで転送したり、別売のCamera Control Pro 2を使ってパソ コンからカメラを遠隔操作できます。さらに、パソコンやiPhoneの 無線/有線LAN Webブラウザから画像の閲覧やリモート撮影ができます。 アダプター • 诵信ユニットUT-1 $(\square 270)$ USBケーブルでUT-1をカメラに接続してから、I ANケーブルをUT-1 に接続することにより、カメラで撮影した画像を有線でパソコンや FTP サーバーに転送したり、別売のCamera Control Pro 2を使って パソコンからカメラを遠隔操作できます。UT-1にWT-5を取り付け ると、無線LANで通信することもできます。 ワイヤレストランスミッターおよび通信ユニットをお使いいただく 場合は、無線I ANの知識および環境が必要です。ワイヤレストランス ミッターおよび通信ユニットに付属のソフトウェアは、必ず最新版に バージョンアップしてお使いください。 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10/WR-T10 ワイヤレスリモートコントローラーWR-R10を、10ピンターミナル に接続したWR用変換アダプター WR-A10に取り付けると、ワイヤ レスリモートコントローラー WR-T10からの操作で無線での遠隔撮 ワイヤレス 影を行えます。 リモートコン • ワイヤレスリモートコントローラー WR-1 トローラー WR-1は、他のWR-1やWR-R10またはWR-T10と組み合わせて、送 信機または受信機として使います。たとえば、受信機に設定した WR-1をカメラの10ピンターミナルに取り付けると、送信機に設定 したWR-1からの操作で、遠隔撮影することができます。 • PCカードアダプター EC-AD1 PCカード (Fカード (Type I) と組み合わせて、PC (ard Standard-ATAに準

拠したPCカードとして使用できます。CFカードの画像を、PCMCIAカードスロットを装備したパソコンに直接読み込めます。

アダプター

• 接眼目当てDK-19

接眼部に取り付けて使用する。ゴム製の接眼目当てです。ファイン ダー視野がよりはっきり確認でき、目の疲れを軽減します。

接眼補助レンズDK-17C

遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだけで簡 単に取り換えることができます。-3、-2、0、+1、+2m-1の 5種類が用意されています。視度補正は個人差が大きいので店頭で 実際に取り付けてお選びください。このカメラには視度調節機能が 付いています $(-3\sim +1m^{-1})$ ので、この範囲外の視度補正が必 要なときにお使いください。

• マグニファイングアイピースDK-17M

接眼部に取り付けることにより、ファインダー倍率を約1.2倍に拡 大します。

• マグニファイヤー DG-2

ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合わせが 必要なときに使用します。

ファインダー用 アクセサリー

• アイピースアダプター DK-18

このカメラにマグニファイヤーDG-2やアングルファインダーDR-3 を取り付けるためのアダプターです。

アンティフォグ ファインダーアイピースDK-14、DK-17A

寒いときや湿度が高い場合など、ファインダーのくもりの発生を防 止し、クリアーなファインダー像を提供します。

変倍アングルファインダー DR-5

変倍アングルファインダーDR-5をカメラの接眼部に取り付けると、 撮影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラの真上など)か らファインダー内の画像を確認できます。全視野が見える1倍と、よ り精密なピント確認作業が可能な2倍*の2種類の倍率を選択できま す。また、視度調節も可能です。

※2倍では周辺部にケラレが生じます。

• アングルファインダー DR-4

アングルファインダー DR-4をカメラの接眼部に取り付けると、撮 影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラの真上など)から ファインダー内の画像を確認できます。

HDMIケーブル - HDMIケーブルHC-E1 $(\Box 278)$

カメラ側がType C、HDMI機器側がType AのHDMIケーブルです。

ボディー キャップ

ボディーキャップBF-1B、BF-1A

レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ゴミ やほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。

Capture NX 2

画像編集用ソフトウェアです。選択コントロールポイントや自動レ タッチブラシなどさまざまな機能を備えています。

Camera Control Pro 2

ニコンデジタル カメラ専用 ソフトウェア

パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接ハードディスクなどへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。Camera Control Pro 2で画像の記録先の設定が [PC] になっている場合、カメラとパソコンを接続してCamera Control Pro 2を起動すると、上面表示パネルにPC接続中マークPCが表示されます。

- ソフトウェアは必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。ご使用のパソコンがインターネットに接続されている場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、ニコンメッセージセンター2はソフトウェアの更新情報などを確認します(初期設定)。更新情報がある場合は、「通知の画面」が自動的に表示されます。
- 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報(口xviii)で ご確認ください。

10ピンターミナル(¹ ロ2)に次のアクセサリーを接続することにより、遠隔撮影や無人撮影などができます。

使用しない場合は、必ず10ピンターミナルにキャップをしてください。ゴミ等が入ると、誤作動の原因となることがあります。

- リ**モートコードMC-22、MC-22A**(長さ:約1 m)
 コード先端にある端子(青、黄、黒)に特殊装置を接続すると、音や信号による遠隔操作が可能です。
- リモートコードMC-30、MC-30A(長さ:約80 cm)
 カメラブレを避けたいときや、カメラから離れてレリーズ操作をしたいときに便利です。

10ピン ターミナルに 接続する アクセサリー

- リモートコードMC-36、MC-36A(長さ:約85 cm) 一定間隔で撮影するインターバルタイマー機能を備えたリモート 撮影用コードです。
- 延長コードMC-21、MC-21A(長さ:約3 m)
 MC-20、MC-22、MC-22A、MC-23、MC-23A、MC-25、MC-25A、MC-30、MC-30A、MC-36A、ML-3に併用できる延長コードです(MC-21またはMC-21Aを2本以上接続して使用することはできません)。
- 接続コードMC-23、MC-23A(長さ:約40 cm)10ピンターミナルを装備するカメラを2台同時に作動させるための 接続コードです。

・変換コードMC-25、MC-25A (長さ:約20 cm) 2ピンターミナル用のラジオコントロールセットMW-2や、インターバロメーターMT-2、ルミコントロールセットML-2などを、10ピンターミナルに接続するための変換コードです。 ・WR用変換アダプター WR-A10 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10を10ピンターミナル装備のカメラに装着するためのアダプターです。 ・GPSユニットGP-1/GP-1A 10ピンターミナルでカメラとGP-1/GP-1Aを接続することにより、撮影時の緯度、経度、標高、協定世界時(UTC:四233)を画像データに記録することができます(四232)。 ・GPS変換コードMC-35 (長さ:約35 cm)カメラとGPS機器で通信を行うための接続コードです(四232)。

10ピン ターミナルに 接続する アクセサリー

- データ形式がNMEA (National Marine Electronics Association)
 0183 ver.2.01 およびver.3.01 を満たすGPS機器 (GARMIN社製: 「eTrex」シリーズ、「geko」シリーズ)と接続できます。
 PC-Interface Cableが接続可能な機種のみ対応しています。USBインターフェース対応機種には接続できません。
- MC-35とGPS機器との接続には、GPSメーカーのPC接続ケーブル (D-sub9ピンタイプ) が必要です。詳しくはMC-35の使用説明書をご覧ください。
- GPS機器の通信形式は、NMEAに設定してください (Baud rate は4800です)。
- GPS機器の使用方法については、GPS機器の使用説明書をご覧ください。

ルミコントロールセットML-3

最大で約8m離れたところから、信号(赤外パルス光)による遠隔 操作ができます。

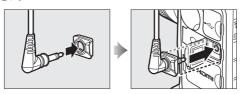
外部マイク

ステレオマイクロホンME-1 (□65) ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続すると、ス

ステレオマイクロホクME-Tを外部マイク人力場子に接続すると、人 テレオ録音ができます。また、動画撮影中(口61)にオートフォー カスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音が録音されるのを軽減できます。

☑ ステレオミニプラグケーブル用端子カバーについて

このカメラには、ステレオミニプラグケーブル用端子カバー UF-2が付属しています (Ω i)。UF-2を取り付けると、ステレオマイクロホンME-1 (別売)のステレオミニプラグが不用意にカメラから外れることを防ぐことができます。取り付けは、次の手順で行ってください。



∅ 使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

カメラとパワーコネクター、ACアダプターの 特殊主法

接続方法

カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認してください。

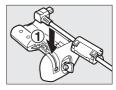
1 バッテリー室カバー BL-6を取り外す

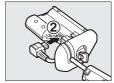
バッテリー着脱ノブを引き起こしてから《方向に回し(①)、バッテリー室カバーを取り外します(②)。



2 パワーコネクター EP-6にACアダプター EH-6bを接続する

- ACアダプターの接続コードをパワーコネクターのコード通し口に奥まで差し込みます (①)。
- ACアダプターのDCプラグをパワーコネクターのDCプラグコネクターに差し込みます (②)。





3 カメラにパワーコネクターを入れる

パワーコネクターは右図で示されている向き で奥までしっかりと入れてください。



4 パワーコネクター着脱ノブを ロックする

パワーコネクター着脱ノブを右図 のように回してから(①)、凹み に倒して収納します(②)。





- カメラの操作中にパワーコネク ターが外れないように、パワーコネクター着脱ノブがしっかりとロッ クされていることをご確認ください。
- パワーコネクターとACアダプターの使用時には、上面表示パネルの バッテリー残量表示が消えます。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、下記の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

クリーニングについて

| カメラ本体 | ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意:カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。 |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| レンズ・ ミラー・ ファインダー | ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ファインダーを傷つけることがあります)。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけないように注意して拭きます。 |
| 液晶モニター | ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、 表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、 破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。 |

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

<u>ローパスフィルターを自動で掃除する</u> (イメージセンサークリーニング)

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子の前面にあるローパスフィルターにゴミやほこりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。イメージセンサークリーニングを作動させると、ローパスフィルターを振動させてゴミをふるい落とすことができます。

イメージセンサークリーニングは、メニューから操作する方法と、電源のON/OFF時に自動的に行う方法があります。

■■ セットアップメニューの [イメージセンサークリーニング] から操作する

- セットアップメニューの[イメージセンサークリーニング]を選ぶ
 - MENUボタンを押して、セットアップメニューの[イメージセンサークリーニング]を選びます。マルチセ

MENUボタン





レクターの▶を押すと、[イメージセンサークリーニング] 画面が表示されます。

2 [実行] を選ぶ

「実行」を選んで®ボタンを 押すと、イメージセンサー クリーニングが開始されま す。実行中は、上面表示パ ネルに**というが**点滅し、撮 像素子のチェックも行われ ます。









• bu 5 が表示されている間は、カメラの操 作はできません。バッテリーやACアダプ ターを取り外さないでください。



▼ イメージセンサークリーニング時のカメラの向きについて

効果的にゴミをふるい落とせるように、正位置(カメラ を横位置で構えるときの向き) にしてイメージセンサー クリーニングを行ってください。



■ 電源のON/OFF時にイメージセンサークリーニングする

| ⑥ON 電源ONで実行 | 電源ONと同時にイメージセンサークリーニングが作動 |
|------------------------|----------------------------|
| ON 电源ON C大门 | します。 |
| ●OFF 電源OFFで実行 | 電源OFFと同時にイメージセンサークリーニングが作 |
| WIII 电源UFF C天1] | 動します。 |
| ⑥ 電源ONとOFFで | 電源ON、OFFと同時にイメージセンサークリーニング |
| 実行 | が作動します。 |
| 実行しない | 電源ON、OFFしてもイメージセンサークリーニングは |
| 夫打しない | 作動しません。 |

[イメージセンサークリーニング] 画面で [電源スイッチに連動] を選ぶ

 「電源スイッチに連動」を選んで マルチセレクターの▶を押すと、 「電源スイッチに連動」画面が表示されます。





2 イメージセンサークリー ニングの方法を選ぶ

● Mボタンを押して設定します。





▼ イメージセンサークリーニングについてのご注意

- 電源スイッチに連動してイメージセンサークリーニングが作動しているときにカメラを操作すると、イメージセンサークリーニングは中断します。
- 完全にゴミを取り除けないことがあります。そのときは、ローパスフィルターを市販のブロアーで掃除する(四419)か、ニコンサービス機関にご相談ください。
- イメージセンサークリーニングを連続して行うと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなくなる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。

ローパスフィルターをブロアーで掃除する

イメージセンサークリーニング (□416) でゴミやほこりを取りきれないときは、ローパスフィルターを次の手順でクリーニングできます。ただし、ローパスフィルターは非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

- 作業中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリー、または別売のパワーコネクターと AC アダプターを組み合わせてお使いください。
- セットアップメニューの [クリーニングミラーアップ] を使用します。 バッテリー残量表示がでは以下の場合、このメニュー項目は操作できません。

1 カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す

• レンズを取り外したら、カメラの電源をONにしてください。

2 セットアップメニュー で [クリーニングミ ラーアップ] を選ぶ

MENUボタンを押して、セットアップメニューの [クリーニングミラーアップ]
 を選んでマルチセレクターの▶を押します。

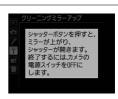
MENUボタン





3 ⊗ボタンを押す

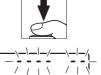
- クリーニングミラーアップの待機状態に なります。
- 液晶モニター、上面表示パネル、ファイン ダー内下表示に右のように表示されます。
- ローパスフィルターのお手入れを止めるには、カメラの電源をOFFにしてください。





4 シャッターボタンを全押しする

- ミラーが上がり、シャッターが開いた状態になります。
- このとき、上面表示パネルは右のような 点滅表示になります。背面表示パネル、 ファインダー内の表示は消灯します。



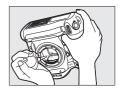
5 ローパスフィルターに光が当たるようにカメラを持ち、ゴミやほこりが付いていないかどうかを点検する

ゴミやほこりが付いていない場合は、手順7 にお進みください。



6 ローパスフィルターに付いたゴミやほこりをブロアーで払う

ブラシの付いていないブロアーをお使いく ださい。ブラシでローパスフィルターの表 面に傷が付くことがあります。



- ブロアーで取り除けない汚れがある場合は、 ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。絶対に、 手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。
- 7 カメラの電源をOFFにし、付属のボディーキャップを付ける
 - ミラーがダウンしてシャッター幕が閉じます。

✔ 作業中のシャッター幕の破損を防ぐために

カメラのシャッター幕は非常に破損しやすい部品です。シャッター幕はカメラに電源の供給がなくなると、自動的に閉じる構造になっています。作業中に不意にシャッター幕が閉じて破損することを防ぐために、次の点にご注意ください。

- 作業中に電源をOFFにしないでください。
- 作業中にバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- ミラーアップ中にバッテリー残量が少なくなった場合、電子音が鳴り、セルフタイマーランプが点滅してお知らせします。約2分経過するとシャッター幕が閉じてミラーがダウンするので、直ちに作業を終了してください。

▼ ローパスフィルター上のゴミ付着について

ニコンデジタルカメラは撮像素子の前面にあるローパスフィルターに付着するゴミについて、当社の品質基準に基づいて製造しています。しかし、このカメラはレンズ交換方式のため、レンズ交換の際にカメラ内にゴミが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子前面のローパスフィルターに付着したゴミが写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着してください。その際、ボディーキャップのゴミも必ず除去してください。ローパスフィルターに付着したゴミを、イメージセンサークリーニング(四416)で取り除ききれないときは、419ページの手順でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、別売のCapture NX 2(四410)や画像加工アプリケーションなどで修正できます。

☑ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします(有料)。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

時計用電池の交換について

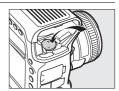
カメラ内蔵の時計は、Li-ion リチャージャブルバッテリーとは別の CR1616型リチウム電池で作動しています。この電池の寿命は約2年です。 半押しタイマー作動時間中に上面表示パネルに時計用バッテリーチェックマーク (MOOSS) が点灯した場合は、電池残量が少なくなっていますので、市販の新しいCR1616型リチウム電池に交換することをおすすめします。 さらに残量が減って、時計用バッテリーチェックマーク (MOOSS) が点滅した場合は、撮影は可能ですが日付時刻は正しく記録されません。

■ 時計用電池の交換方法

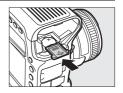
- 1 カメラの電源をOFFにして、バッテリーを取り外す
- **2** バッテリー室内の上部にある時計用電 池力バーを外側に引き出す
- 3 古い時計用電池を取り出す



4 新しいCR1616型リチウム電池を、+側 (型番が印字されている側) が見えるよ うに向け、くぼみにはめ込む



- **5** 時計用電池カバーをスライドして、奥まで差し込む
 - カチッと音がするまで差し込んでください。



6 Li-ionリチャージャブルバッテリーをカメラに装着する

7 場所と日時を設定する(□29)

電池交換後は地域と日時の設定をするまで 上面表示パネルの時計用バッテリーチェックマーク(40000)が点滅します。



▼ 時計用電池の向きについて

時計用電池は正しい向きで入れてください。内蔵時計が機能しないばかりでなく、故障の原因となります。

カメラとバッテリーの取り扱い上の ご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部 品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあり ます。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。 過度の光照射は撮像素子の褪色、焼き付き、破損を起こすおそれがあります。また、そ の際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた 柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔ら かい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてくださ い。まれに、ブラシなどで表示パネルを拭いた場合に、静電気で表示パネルが点灯した り、黒く変色したりすることがありますが、故障ではありません。しばらくすると元に 戻ります。

● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹き出し、ミラーやレンズを傷つける場合があります)。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● ローパスフィルターの手入れ方法について

撮像素子の前面にあるローパスフィルターのクリーニングの方法については 四416、419ページをご覧ください。

● レンズの信号接点について

レンズの信号接点を汚さないようにご注意ください。

● シャッター幕に触れない

- シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。
- シャッター幕に色むらが見える場合がありますが、異常ではありません。また、撮影した画像には影響ありません。

● 風诵しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤(シリカゲル)は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、 故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでく ださい。

● 液晶モニターについて

- ・モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- ・液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの 故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで 吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取って ください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれ があるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしな いよう、充分ご注意ください。

● 付属のアクセサリーシューカバーについて

カメラを雨の中で使用すると、付属のアクセサリーシューカバー BS-2内に水分が入り込む場合があります。雨天時にカメラを使用した後は、アクセサリーシューカバーを取り外して水分を拭き取ってください。

バッテリーの取り扱いについて

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを 待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができな かったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因 になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に 短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー をお求めください。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



数字の有無と 数値は、電池 によって異な ります。

初期設定一覧

再生、撮影、カスタム、セットアップの各メニューの初期設定は次の通りです。ツーボタンリセット(□209)、撮影メニューのリセット(□295)、またはカスタムメニューのリセット(□306)を行うと、それぞれ別の項目の設定をリセットできます。ツーボタンリセットで初期設定に戻る項目については、「ツーボタンリセットで基本的な機能を初期設定に戻す」(□209)をご覧ください。

■ 再生メニューの初期設定

| 再生メニュー項目 | 初期設定 |
|------------------------------|--------|
| [再生フォルダー設定] (□ 284) | NCD4S |
| [撮影直後の画像確認] (□289) | しない |
| [削除後の次再生画像] (□290) | 後ろのコマ |
| [縦位置自動回転](□ 290) | する |
| [スライドショー] (CD 291) | |
| [再生画像の種類] (二291) | 静止画と動画 |
| [インターバル設定] (CD 291) | 2秒 |
| [音声再生] (□292) | する |

■■ 撮影メニューの初期設定

ご購入時の設定に戻すには、撮影メニューの[**撮影メニューの管理**]で 撮影メニューのリセットを行います(□295)。 *1

| 撮影メニュー項目 | 初期設定 |
|-------------------------------|---------|
| [撮影メニューの拡張] (□295) | しない |
| [ファイル名設定] (CD 298) | DSC |
| [主スロットの選択] (口95) | XQDスロット |
| [副スロットの機能] (□95) | 順次記録 |
| [画質モード] (口89) NORMAL | |
| [JPEG/TIFF記録] (口298) | |
| [画像サイズ] (□ 92) | サイズL |
| [JPEG圧縮] (叫91) | サイズ優先 |

| 撮影メニュー項目 | 初期設定 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| [RAW記録] (叫298) | 1 |
| [画像サイズ] (□ 94) | サイズL |
| [RAW圧縮] (口91) | ロスレス圧縮RAW |
| RAW記録](四298) [画像サイズ](四94) [RAW圧縮](四91) [記録ビットモード](四91) 最像範囲](四83) [扱像範囲設定](四83) [DX自動切り換え](四84) たワイトバランス](四151) 微調整値(四154) 色温度設定(四157) プリセットマニュアル(四160) ピクチャーコントロール](四173) 色空間](四299) アクティブD-ライティング](四185) HDR (ハイダイナミックレンジ)](四186) [HDRモード](四187) [露出差](四188) [スムージング](四188) [スムージング](四188) ヴィネットコントロール](四300) 自動ゆがみ補正](四301) 長秒時ノイズ低減](四302) SO感度設定](四117) [ISO感度](四117) [ISO感度](四117) [「感度自動制御](四119) 多重露出ード](四213) [コマ数](四213) [コマ数](四213) 「コマ数](四214) インターバルタイマー撮影](四217) 開始方法の設定(四218) 撮影間隔(四218) 撮影間隔(四218) 撮影間隔(四219) 露出平滑化(四219) | 14ビット記録 |
| [撮像範囲] (二83) | |
| [撮像範囲設定] (□83) | FX (36×24) 1.0× |
| [DX自動切り換え] (□84) | する |
| [ホワイトバランス] (ロ151) | オート:標準 |
| 微調整値(□154) | A-B: 0、G-M: 0 |
| 色温度設定(□157) | 5000K |
| プリセットマニュアル(皿160) | d-1 |
| [ピクチャーコントロール] (ロ173) | スタンダード |
| [色空間] (CD 299) | sRGB |
| [アクティブD-ライティング] (□185) | しない |
| [HDR (ハイダイナミックレンジ)] (皿186) | |
| [HDRモード] (□187) | しない |
| [露出差] (□188) | オート |
| [スムージング] (CD 188) | 標準 |
| [ヴィネットコントロール] (CD300) | 標準 |
| [自動ゆがみ補正] (□301) | しない |
| [長秒時ノイズ低減] (口302) | しない |
| [高感度ノイズ低減] (口302) | 標準 |
| [ISO感度設定] (印117) | |
| [ISO感度] (四117) | 100 |
| [感度自動制御] (□119) | しない |
| [多重露出] (□212)*2 | |
| [多重露出モード] (□213) | しない |
| [コマ数] (皿213) | 2 |
| [自動ゲイン補正] (□214) | する |
| [インターバルタイマー撮影] (四217) | 設定解除 |
| 開始方法の設定(四218) | 即時スタート |
| 撮影間隔 (□218) | 0 |
| 撮影回数×1回のコマ数 (□219) | 0001×1 |
| 露出平滑化(口219) | しない |
| [静止画ライブビュー撮影] (□ 58) | 静音 |
| | |

| 撮影メニュー項目 | 初期設定 |
|---------------------------------------------|---------------|
| [微速度撮影] (□ 224) | 設定解除 |
| 撮影間隔 (□224) | 5秒 |
| 撮影時間 (□224) | 25分 |
| 露出平滑化(口225) | する |
| [動画の設定] (口72) | |
| [画像サイズ/フレームレート] ([□] 73) | 1920×1080 60p |
| [動画の画質] (二73) | 高画質 |
| [マイク感度] (CD74) | マイク感度 オート |
| [録音帯域] (瓜75) | 広帯域 |
| [風切音低減] (二) 75) | しない |
| [動画記録先] (C275) | XQDスロット |
| | Mモード時のISO感度 |
| 「 動画ISO感度設定] (□76) | 設定:200、Mモード時 |
| 「割門130窓及設定」(44/0) | の感度自動制御:しない、 |

※1 撮影メニューのリセットで初期設定に戻るのは、撮影メニューの [撮影メニューの 管理] (□294) で選択中の撮影メニュー(「A」~「D」のいずれか)の内容だけです([撮影メニューの拡張]、[多重露出]、[インターバルタイマー撮影]、[微速度撮影]を除く)。

制御上限感度: 25600

※2 多重露出撮影中は、1コマ目を撮影してから設定したコマ数分撮影し終えるまで撮影 メニューはリセットできません。

■ カスタムメニューの初期設定

ご購入時の設定に戻すには、カスタムメニューの [カスタムメニューの **管理**] でカスタムメニューのリセットを行います (□306)。 ※

| | カスタムメニュー項目 | 初期設定 | |
|-----|--------------------------------------|---------|--|
| a1 | [AF-Cモード時の優先] (口307) | レリーズ | |
| a2 | [AF-Sモード時の優先] (口308) | フォーカス | |
| a3 | [AFロックオン] (□308) | 3 (標準) | |
| a4 | [半押しAFレンズ駆動] (□308) | する | |
| | | | |
| | [マニュアルフォーカス時の表示] | する | |
| a5 | [連写時の表示] | する | |
| as | [フォーカスポイントの明るさ設定] | 標準 | |
| | [ダイナミックAFモード時の表示] | しない | |
| | [グループエリアAFモード時の表示] | - ₽ | |
| аб | [フォーカスポイント循環選択] (□310) | しない | |
| a7 | [AF点数切り換え] (□310) | 51点 | |
| a8 | [AF-ONボタンの機能] (皿311) | AF-ON | |
| a9 | [縦位置AF-ONボタンの機能] (□312) | AF-ON | |
| a10 | [縦/横位置フォーカス切換] (皿313) | しない | |
| a12 | [AFモードの制限] (口314) 制限しない | | |
| b1 | [ISO感度設定ステップ幅] (□314) | 1/3 段 | |
| b2 | [露出設定ステップ幅] (□315) | 1/3 段 | |
| b3 | [露出・調光補正ステップ幅] (□315) 1/3 段 | | |
| b4 | [露出補正簡易設定] (□315) しない | | |
| b5 | [マルチパターン測光] (□316) | 顔認識する | |
| b6 | [中央部重点測光範囲] (□316) | φ 12 mm | |
| | [基準露出レベルの調節] (□317) | | |
| b7 | [マルチパターン測光] | 0 | |
| ٠, | [中央部重点測光] | 0 | |
| | [スポット測光] | 0 | |
| c1 | [半押しAEロック] (□317) | しない | |
| c2 | [半押しタイマー] (□317) | 6秒 | |
| | [セルフタイマー] (口318) | | |
| с3 | [時間] | 10秒 | |
| CJ | [撮影コマ数] | 1コマ | |
| | [連続撮影間隔] | 0.5秒 | |

| | カスタムメニュー項目 | 初期設定 | | | |
|-----------------------|------------------------------|---------------------|--|--|--|
| [モニターのパワーオフ時間](CQ319) | | | | | |
| с4 | [画像の再生] | 10秒 | | | |
| | [メニュー表示] | 1分 | | | |
| | [インフォ画面表示] | 10 秒 | | | |
| | [撮影直後の画像確認] | 4秒 | | | |
| | [ライブビュー表示] | 10分 | | | |
| | [電子音設定] (口320) | | | | |
| d1 | [音量] | 電子音なし | | | |
| | [音の高さ] | 低音 | | | |
| | [連続撮影速度] (口321) | | | | |
| d2 | [高速連続撮影] | 11コマ/秒 | | | |
| | [低速連続撮影] | 5コマ/秒 | | | |
| d3 | [連続撮影コマ数] (□321) | 200 | | | |
| d4 | [露出ディレーモード] (□321) | しない | | | |
| d5 | [連番モード] (口322) | する | | | |
| d6 | [ファインダー内格子線表示] (口323) | しない | | | |
| | [表示情報の切り換え] (□323) | | | | |
| d7 | [背面表示パネルの表示] | ISO感度 | | | |
| | [ファインダー内の表示] | 撮影コマ数 | | | |
| d8 | [インフォ画面のガイド表示] (□324) | ガイド表示する | | | |
| d9 | [インフォ画面の表示設定] (□324) | 自動 | | | |
| d10 | [イルミネーター点灯] (CD 325) | しない | | | |
| e1 | [フラッシュ撮影同調速度] (□326) | 1/250 秒 | | | |
| e2 | [フラッシュ時シャッタースピード制限] (□327) | 1/60 秒 | | | |
| е3 | [外付けフラッシュ発光] (□327) | TTLモード | | | |
| e4 | [フラッシュ使用時の露出補正] (□328) | 全体を補正 | | | |
| e5 | [モデリング発光] (□328) | する | | | |
| е6 | [オートブラケティングのセット] (CD328) | AE・フラッシュ ブラケティング | | | |
| e7 | [BKT変化要素 (Mモード)] (口329) | フラッシュ・ シャッタースピード | | | |
| e8 | [BKTの順序] (□330) | [0] → [-] → [+] | | | |

| | カスタムメニュー項目 | 初期設定 | | | | |
|-----|-----------------------------------|-------------------------|--|--|--|--|
| | [中央ボタンの機能] (皿330) | | | | | |
| f1 | [撮影モード] (□330) | フォーカスポイント 中央リセット | | | | |
| | [再生モード] (皿331) | 1コマとサムネイルの 切り換え | | | | |
| | [ライブビュー] (皿331) | フォーカスポイント 中央リセット | | | | |
| f2 | [マルチセレクターの半押し起動] (□332) | しない | | | | |
| | [Fnボタンの機能] (皿332) | | | | | |
| f3 | [押し時の動作] (□332) | 設定しない | | | | |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] (CD 336) | 撮像範囲選択 | | | | |
| | [プレビューボタンの機能] (□337) | | | | | |
| f4 | [押し時の動作] | プレビュー | | | | |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] | 設定しない | | | | |
| f5 | [サブセレクターの機能] (□337) | フォーカスポイント選択 | | | | |
| | [サブセレクター中央押しの機能] (□338) | | | | | |
| f6 | [押し時の動作] | AE-L/AF-L | | | | |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] | 設定しない | | | | |
| | [縦位置Fnボタンの機能] (□339) | | | | | |
| f7 | [押し時の動作] | AE-L/AF-L | | | | |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] | 設定しない | | | | |
| | [シャッタースピードと絞り値のロック] (□340) | | | | | |
| f8 | [シャッタースピードのロック] | しない | | | | |
| | [絞り値のロック] | しない | | | | |
| f9 | [BKTボタンの機能] (□340) オートブラケティン | | | | | |
| | [コマンドダイヤルの設定] (□341) | | | | | |
| | | 露出補正の設定時∶□、 | | | | |
| | [回転方向の変更] (二341) | シャッタースピード/ | | | | |
| _ | | 絞り値の設定時:□ | | | | |
| f10 | [メインとサブの入れ換え] (¹ 341) | 露出設定: しない、 AF設定: しない | | | | |
| | 「 絞り値の設定方法] (□342) | サブコマンドダイヤル | | | | |
| | 「再生/メニュー画面で使用」(CD 343) | しない | | | | |
| | [サブコマンドダイヤルで画像送り] (口343) | 10 コマ | | | | |
| f11 | 「ボタンのホールド設定」(□344) | しない | | | | |
| f12 | [カードなし時レリーズ] (□344) | レリーズ許可 | | | | |
| | 23 1 10 040 2 7/3 (22317) | | | | | |
| f13 | [インジケーターの+/−方向] (□345) | - ₄հումիումթ+ | | | | |

| | カスタムメニュー項目 | 初期設定 |
|----------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| f14 | [縦位置マルチセレクターの機能] (□345) | マルチセレクターと同じ |
| f15 | [画像の拡大/縮小方法] (□345) | ♥ ボタンと ♥≊ ボタン |
| f16 | [動画撮影ボタンの機能] (□346) | |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] | 設定しない |
| f17 | [ライブビューボタンの設定] (口346) | 有効 |
| f18 | [リモコン (WR) のFnボタンの機能] (口347) | 設定しない |
| f19 | [レンズのフォーカス作動ボタン機能] (□348) | AF-L |
| | [Fnボタンの機能] (CD 349) | |
| g1 | [押し時の動作] | 設定しない |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] | 設定しない |
| [プレビューボタンの機能] (□351) | | |
| g2 | [押し時の動作] | インデックスマーキング |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] | 設定しない |
| | [サブセレクター中央押しの機能] (□352) | |
| g3 | [押し時の動作] | AE-L/AF-L |
| | [コマンドダイヤル併用時の動作] | 設定しない |
| g4 | [シャッターボタンの機能] (口353) | 静止画撮影 |

[※] 初期設定に戻るのは、カスタムメニューの [カスタムメニューの管理] (□305) で選択中のカスタムメニュー (「A」~「D」のいずれか)の内容だけです。

■ セットアップメニューの初期設定

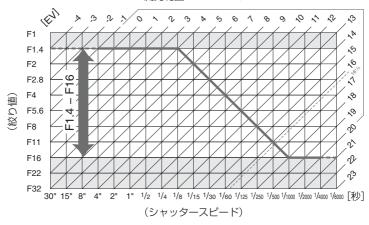
| セットアップメニュー項目 | 初期設定 |
|-----------------------------|---------------|
| [モニターの明るさ] (CD355) | マニュアル |
| [マニュアル] | 0 |
| [モニターのカラーカスタマイズ] (□356) | A-B: 0、G-M: 0 |
| [イメージセンサークリーニング] (CL)416) | |
| [電源スイッチに連動] (□ 418) | 電源ONとOFFで実行 |
| [フリッカー低減] (四359) | オート |
| [地域と日時] (口360) | |
| [夏時間の設定] | しない |
| [縦横位置情報の記録] (□361) | する |
| [音声メモの設定] (CD 255) | |
| [撮影時の録音] (□255) | 録音しない |
| [撮影時の上書き録音] (CD 256) | 禁止 |
| [音声ボタンの操作] (□256) | 押し続けている間録音 |
| [音声の出力] (四261) | スピーカー /ヘッドホン |
| [HDMI] (\$\Pi 280) | |
| [出力解像度] | オート |
| [詳細設定] | |
| [出力レンジ] | オート |
| [出力画面サイズ] | 100% |
| [ライブビュー時の情報表示] | する |
| [モニターの同時表示] | する |
| [位置情報] (口233) | |
| [半押しタイマー] | 有効 |
| [衛星による日時合わせ] | する |

露出モード!?(プログラムオート)の プログラム線図

次のグラフは、露出モードが**P**のとき(口126)の露出制御プログラム(ISO 100 の場合)を表しています。

ISO 100、開放絞りF1.4・最小絞りF16のレンズ (例: AF-S NIKKOR 50mm f/1.4G) の場合

測光範囲: EV -1~20



- 測光範囲により、EV値の両端に制限があります。
- マルチパターン測光では、ISO 100の場合16 1/3を超えるEV値では、全て16 1/3として制御されます。

故障かな?と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラの操作ができない

- 画像の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
- 電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
- ACアダプター使用時は付け直してください。
 - 記録中であったデータは保存されません。
 - 保存済みのデータはバッテリーやAC アダプターの取り外しでは失われません。

● ファインダー内がはっきり見えない

視度調節ノブで調節してください。調節後も見え方が不充分な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いください(277、409)。

● ファインダー内が暗い

バッテリー残量は充分ですか?バッテリーが入っていない場合や、入っていても残量がない場合は、ファインダー内が暗く表示される場合があります(CD21、39)。

- ファインダー内や表示パネル、液晶モニターの表示が、すぐに消えてしまう カスタムメニュー c2 [半押しタイマー] やc4 [モニターのパワーオフ時間] で、表示が消えるまでの時間を設定できます(□317、319)。
- 表示パネルやファインダー内の表示が薄い、表示が遅い

低温や高温のときは表示の濃度が変わったり、応答速度が遅くなることがあります。

撮影関連

● 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる

メモリーカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

● シャッターがきれない

- ・残量のあるメモリーカードが入っていますか? (□32、40)
- Gタイプ、Eタイプレンズ以外のCPUレンズを装着している場合は、レンズの絞りリングを最小絞り(最も大きい数値)に設定しないとシャッターがきれません。上面表示パネルにFE F と表示されている場合、カスタムメニューf10 [コマンドダイヤルの設定] の [絞り値の設定方法] を [絞りリング] に設定すると、レンズの絞りリングで絞り値を設定できます (口342)。
- 露出モード片でシャッタースピードをもいより(バルブ)または・・(タイム)に設定し、そのまま露出モードを5に変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください(四446)。
- カスタムメニュー f12 [カードなし時レリーズ] が [レリーズ禁止] になっていませんか? (印344)

● シャッターがきれるのが遅い

カスタムメニュー d4 [**露出ディレーモード**] を [**しない**] にしてください (Ω 321)。

● 連続撮影できない

HDR撮影時は、連続撮影できません (□186)。

● ピントが合わない

- マニュアルフォーカスになっていませんか?オートフォーカスで撮影するには、フォーカスモードセレクターをAFに合わせてください(□97)。
- 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してください(□105、108)。

明暗差がはっきりしない/遠くのものと近くのものが混在する/連続した繰り返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対して主要被写体が小さい/絵柄が細かい

● 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます。フラッシュ 撮影時の同調シャッタースピードは、カスタムメニューe1 [フラッシュ 撮影同調速度] で、1/250~ 1/60秒の範囲で設定できます。[1/250秒 (オートFP)] に設定して、別売のオートFPハイスピードシンクロ対応ス ピードライトを使用すると、全シャッタースピードに同調可能なオート FP ハイスピードシンクロが可能です(CD 326)。

● シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない

AFモードが**AF-C**に設定されている場合、サブセレクターの**中央**を押してフォーカスをロックしてください(口105)。

● フォーカスポイントを選べない

- フォーカスポイントロックレバーがL(ロック)の位置になっていませんか?(□103)
- ◆AFエリアモードがオートエリアAFのときは、選べません(□100)。
- AF エリアモードを顔認識 AF にしてライブビュー撮影を行っている場合は、選べません(口51)。
- ●画像の再生時またはメニューの操作時には、フォーカスポイントを選択できません(□235、283)。
- ◆ 半押しタイマーがオフになっていませんか?フォーカスポイントを選ぶには、シャッターボタンを半押しして半押しタイマーをオンにしてください(□44)。

● AFモードを変更できない

- フォーカスモードセレクターがM(マニュアルフォーカス)になっていませんか?(□108)
- カスタムメニュー a12 [AFモードの制限] を [制限なし] に設定してく ださい(四314)。

● AFエリアモードを変更できない

フォーカスモードセレクターが \mathbf{M} (マニュアルフォーカス) になっていませんか? (Ω 108)

● 画像サイズを変更できない

[**画質モード**] が [**RAW**] のときは、撮影メニュー [**RAW記録**] の [**画 像サイズ**] でサイズを変更してください (□94)。

● 画像の記録に時間がかかる

撮影メニュー[**長秒時ノイズ低減**] が [**する**] になっていませんか? (口302)

● ライブビュー表示中の液晶モニターに表示された明るさと、撮影した画像の明るさ(露出)が違う

静止画ライブビューまたは動画ライブビュー時に液晶モニターの明るさを調整しても、撮影した画像には反映されません(◯55)。

● ライブビュー表示中や動画撮影時に画面にちらつきや横縞が生じる

セットアップメニュー [**フリッカー低減**] の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください(口359)。

● ライブビュー表示中や動画撮影時に横帯状の明るい部分が生じる

撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、 イルミネーションなどの点滅する光源がある場合には、画面の一部が明 るくなったり、明るい横帯が発生することがあります。

● 画像がざらつく

- ISO 感度が高くなっていませんか?撮影メニュー [高感度ノイズ低減]
 を [強め]、[標準]、[弱め] のいずれかに設定すれば、ざらつきを低減できます(□302)。
- シャッタースピードが1秒より低速な場合は、ざらつきが発生しやすくなります。撮影メニュー [長秒時ノイズ低減]を [する] にして撮影すると、ざらつきを低減できます(□302)。
- アクティブ D- ライティングを設定していませんか?撮影シーンによっては、ざらつきが強調される場合があります(□184)。

● 画像にゴミが写り込む

- レンズの前面または背面(マウント側)が汚れていませんか?
- 撮像素子の前面にあるローパスフィルターにゴミが付着していませんか? イメージセンサークリーニングを行ってください(四416)。

● 画像の色合いがおかしい

- ・ホワイトバランスは正しく設定されていますか? (□151)
- 撮影メニュー [ピクチャーコントロール] は正しく設定されていますか?(四173)
- ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない 被写体が明るすぎるか、暗すぎます(□163)。
- ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像がある

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして設定することはできません(□168)。

● ホワイトバランス (WB) ブラケティング撮影ができない

- RAW または RAW を含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケティング撮影はできません(印89、145)。
- ・ホワイトバランスブラケティングと多重露出による撮影を同時に行う ことはできません(□212)。
- [ピクチャーコントロール] の効果が安定しない

[ピクチャーコントロール]、[カスタムピクチャーコントロール] の調整 画面で、[輪郭強調]、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)] のいずれかが [A] (オート) に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を [A] (オート) 以外に設定してください (口177)。

● 測光モードが変更できない

AEロック中は、測光モードを変更できません(CL137)。

● 露出補正ができない

露出モードがMの場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの表示が変わるだけで、シャッタースピードと絞り値は変化しません(口139)。

● 画像の一部が赤っぽくなる

シャッタースピードを**bulb** (バルブ) または・・(タイム) にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽくなることがあります。この現象は、撮影メニュー [長秒時ノイズ低減] を [する] に設定することで低減できます (口302)。

● 画像にむらが出る

シャッタースピードを**bulb** (バルブ) または・・(タイム) にした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部にむらが出ることがあります。この現象は、撮影メニュー [長秒時ノイズ低減] を [する] に設定することで低減できます(口302)。

● 動画に音声が録音されない

撮影メニュー [**動画の設定**] の [**マイク感度**] が [**録音しない**] になっていませんか? (¹274)

<u>再生関連</u>

■ RAW画像が表示されない

[**画質モード**] を [RAW+FINE]、[RAW+NORMAL]、[RAW+BASIC] にして撮影した画像は、JPF(J画像しか再生されません (□ 90)。

● 他のカメラで撮影した画像が表示されない

この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。

● 全ての画像が表示されない

再生メニュー**[再生フォルダー設定**] を**[全てのフォルダー**] にしてください(¹284)。

● 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- 再生メニュー [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか?(□290)
- セットアップメニュー [縦横位置情報の記録] が [しない] になっていませんか? (□361)
- 撮影直後の画像確認では自動回転はしません(□289)。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります(□361)。

● 画像が削除できない

画像にプロテクトが設定されていませんか? (□249)

■ 画像が編集できない

このカメラでは編集できない画像です(四375)。

● [撮影画像がありません] と表示される

メモリーカードの交換直後に画像を再生するときは、再生メニュー [**再 生フォルダー設定**] を [全てのフォルダー] にしてください (口284)。

● プリント指定ができない

メモリーカードの空き容量が不足していませんか? (□40)

● ダイレクトプリントができない

RAW画像やTIFF画像はダイレクトプリントできません(□272)。

● RAW画像をプリントできない

- 画像編集メニューの [RAW現像] などでRAW画像からJPEG画像を作成してからプリントしてください(口384)。
- RAW 画像はパソコンに転送してから、付属ソフトウェアや別売の Capture NX 2 などのソフトウェアを使ってプリントしてください (□410)。

● 画像がHDMI対応機器で再生できない

HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください(CD278)。

● Capture NX 2で画像が表示されない

ソフトウェアのバージョンが最新になっていますか? (□410)

● Capture NX 2でイメージダストオフ機能が動作しない

次の場合は、イメージセンサークリーニングにより、ローパスフィルター表面のゴミの位置が変わってしまうため、イメージダストオフ機能を使用できません。

- イメージセンサークリーニングを実行する前に撮影した画像に対して、 クリーニング後に取得したイメージダストオフデータを使ってゴミの 写り込みを取り除こうとしたとき
- イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータを使って、クリーニング後に撮影した画像に対してゴミの写り込みを取り除てうとしたとき(四357)

● [ピクチャーコントロール]、[アクティブD-ライティング]、[ヴィネットコントロール] の効果がパソコンで確認できない

RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。 RAW画像の現像は付属のViewNX 2や、別売のCapture NX 2をお使いく ださい。

● 画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります(口265)。カードリーダーなどの機器を使って、メモリーカードの画像をパソコンに保存してください。

<u>その他</u>

● 撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか? カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします(四29、360)。

● 表示されているメニュー項目が選べない

- 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選べない場合があります。
- セットアップメニュー [電池チェック] は電源に別売のパワーコネクターとACアダプターを使用している場合は選べません(口362)。

警告メッセージ

上面表示パネル、ファインダー、液晶モニターに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

| こんなとき | | | | |
|---------------------|---------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 上面表示 | ファインダー | 原因 | 対処方法 | \square |
| パネル | 内下表示 | | | |
| FE E (点滅) | FE E (点滅) | レンズの絞りリングが 最小絞りになっていま せん。 | レンズの絞りリングを 最小絞り(最も大きい 値)にしてください。 | 28 |
| | • | バッテリー残量は残り わずかです。 | バッテリー交換の準備 をしてください。 | 39 |
| | | バッテリーが消耗しています。 | バッテリーを交換してください。 | 24 |
| | | | バッテリーを充電してください。 | 21 |
| | | バッテリーとの情報 通信ができません。 | ◆ このバッテリーは使 用できません。 | 407、 481 |
| | | | コンサービス機関 にご相談ください。 | 481 |
| ← (点滅) | ← ■ (点滅) | | 極端に消耗したバッテリーを使用している場合は、充電してください。 | 21 |
| | | • カメラと通信できな いバッテリーを使用 しています。 | カメラと通信できないバッテリーを使用している場合は、ニコン純正品のバッテリーと交換してください。 | xviii, 24, 407 |
| | | バッテリーの温度が 高くなっています。 | バッテリーをカメラから取り出して、バッテリーの温度が下がるまでお待ちください。 | _ |
| (点滅) | _ | 内蔵時計の日時が設定 されていません。 | 日時を設定してください。 | 29 |

| こんなとき | | | | |
|----------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 上面表示 パネル | ファインダー 内下表示 | 原因 | 対処方法 | |
| ΔF | ΔF | 開放絞りからの絞り段数が表示されています。非CPUレンズが装着されているか、またはレンズが装着されていない状態で、レンズの開放絞り値が設定されていません。 | レンズの開放絞り値を 設定すると、レンズ の絞り値が表示され ます。 | 229 |
| _ | ▶ ◀ (点滅) | オートフォーカスでピン ト合わせができません。 | 構図を変えるか、マ ニュアル(手動)でピ ント合わせを行ってく ださい。 | 42 、 108 |
| bulb (点滅) | bu i b (点滅) | 露出モードが5のとき にシャッタースピード が bulb (バルブ) にセットされていま す。 | シャッタースピードを変えてください。露出モードがで撮影してください。 | 127、 129 |
| (点滅) | (点滅) | 露出モードが 5 のとき にシャッタースピード が(タイム)にセッ トされています。 | シャッタースピード を変えてください。露出モードがで撮影し てください。 | 127、 129 |
| bu5 5 (点滅) | 65 Y (点滅) | カメラが処理を行って います。 | カメラが処理を終える までお待ちください。 | _ |
| _ | 华 (点滅) | スピードライトがフル 発光しました。 | 撮影に必要な光量が不 足している可能性があ ります。撮影距離、絞 り値、調光範囲、ISO 感度などをご確認くだ さい。 | 197 |

| こんなとき | | | | |
|--------|-----------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 上面表示 | ファインダー | 原因 | 対処方法 | \square |
| パネル | 内下表示 | | | |
| | | | ISO感度を低くしてください。 露出モードがPのときは市販のNDフィルター(光量調節用) | 117 407 |
| | | 被写体が明るすぎてカ メラの制御範囲を超え ています。 | を使用してください (5、月のときに下記 の操作を行っても警 告表示が消えない場 合も同様に対応して ください)。 | |
| | | | ・露出モードが 5 のとき はシャッタースピー ドをより高速側に セットしてください。 | 127 |
| 絞り値表示の | スピード表示、 かいずれかと、 ・ーターが点滅) | | 露出モードが引のときは絞りを絞り込んでください(より大きい数値)。 | 128 |
| | ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, | | ● ISO感度を高くしてく ださい。 | 117 |
| | | 被写体が暗すぎて、 カメラの制御範囲を超 えています。 | 露出モードがPのときは別売スピードライトを使用してください(5、月のときに下記の操作を行っても警告表示が消えない場合も同様に対応してください)。 | 191 |
| | | | •露出モードが 5 のとき はシャッタースピー ドをより低速側に セットしてください。 | 127 |
| | | | • 露出モードが 月 のとき は絞りを開いてくださ い(より小さい数値)。 | 128 |

| | | | | |
|-----------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| | なとき | | | |
| 上面表示 | ファインダー | 原因 | 対処方法 | \Box |
| パネル | 内下表示 | | | |
| ● (点滅) | _ | 赤目軽減モードまたは 赤目軽減スローシンク ロモードが設定され、 赤目軽減発光機能が不 可能なスピードライト が装着されています。 | ・赤目軽減発光機能が 可能な専用スピード ライトをお使いくだ さい。・フラッシュモードの 設定を変更してくだ さい。 | 201 |
| Full MO/GF (点滅) | FuL (点滅) | 画像を記録する空き容量がありません。カメラが扱えるファイル数をオーバーしています。 | メモリーカードに記録されている画像を削除して、カードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要などに転送してバックアップしてください。 新しいメモリーカードに交換してください。 | 250、 263 32 |
| を ァァ (点滅) | Eァァ (点滅) | 撮影中に何らかの異常 を検出しました。 | もう一度シャッターボタンを押してください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。 | 481 |





| こんなとき | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 液晶モニター | 上面表示 | 原因 | 対処方法 | \Box |
| ./ | パネル | ./ + 1,,+,, | | |
| メモリー カードが入って | (- E -) | メモリーカードが入っ ていないか、正しく | メモリーカードを正しく | 32 |
| | (- 🗲 -) | | セットしてください。 | 32 |
| いません。 このメモリー カードは壊れて いる可能性が あるため、使用 できません。 カードを交換し てください。 | [Я r d 、 (E r r)、 國 / CF (点滅) | セットされていません。 • メモリーカードへの アクセス異常です。 • 新規フォルダーが作成できません。 | このカメラ用のメモリーカードであるかどうかを確認してください。 メモリーカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関までご連絡願いま記記をサービスをサービスをサービスをサービスをサービスをサービスをサービスをサービス | 464 481 250, 263 |
| | | | 新しいメモリーカード に交換してください。 | 32 |
| このメモリー カードは初期化 (フォーマット) されていません。 フォーマットし てください。 | (For) (点滅) | メモリーカードが正 しく初期化されてい ません。 | メモリーカードを初期 化してください。正しく初期化されたメ モリーカードに交換し てください。 | 35、 355 32 |
| 接続中のスピードライトはバージョンアップに 失敗しているため使用できません。サービス機 関にお問い合わせください。 | _ | バージョンアップに失 敗したスピードライト がカメラに装着されて います。 | 接続中のスピードライトはバージョンアップに失敗しているため使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください。 | 481 |

| こんなとき | | | | |
|-----------------------------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 液晶モニター | 上面表示 パネル | 原因 | 対処方法 | |
| ライブビューを 開始できません。 しばらくお待ち ください。 | _ | カメラ内部の温度が高 くなっています。 | カメラ内部の温度が下が るまで、ライブビュー撮 影または動画撮影を一時 休止してください。 | 60、71 |
| 撮影画像が ありません。 | _ | ・撮影画像がありません。・再生するフォルダーの指定に問題があります。 | 画像が記録されているメモリーカードを入れてください。 再生メニューの[再生フォルダー設定]で、表示可能な画像があるフォルダーを選んでください。 | 284 |
| 全ての画像が非 表示に設定され ています。 | _ | 記録されている画像が 非表示設定されている ために表示されません。 | 再生メニューの [非表示 設定] で、画像の非表示 設定を解除してください。 | 284 |
| このファイルは 表示できません。 | _ | アプリケーションソフトで編集された画像やDCF規格外の画像ファイルのため再生できません。画像ファイルに異常があるため再生できません。 | アプリケーションソフト で編集された画像を上書 き保存しないでください。 | _ |
| このファイルは 選択できません。 | _ | 編集できない画像です。 | このカメラで撮影または 編集した画像しか画像編 集できません。 | 375 |
| プリンターの状 態を確認してく ださい。* | _ | プリンターに異常があ ります。 | 用紙切れなどエラーの原 因を取り除いた後、[継続]を選んで®ボタンを 押すと、プリントが再開 されます(エラー内容に よっては、[継続]を選べ ない場合があります)。 | 272 |

| こんなとき | | | | |
|--------------------|-------------|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----|
| 液晶モニター | 上面表示 パネル | 原因 | 対処方法 | |
| 用紙を確認して ください。* | _ | 指定したサイズの用 紙がセットされてい ません。 | 指定したサイズの用紙を セットした後、[継続] を選んで ❷ ボタンを押 して、プリントを再開し てください。 | 272 |
| 紙詰まりです。※ | _ | 用紙が詰まりました。 | 詰まった用紙を取り除い た後、 [継続] を選んで ❷ ボタンを押して、プリ ントを再開してください。 | 272 |
| 用紙が ありません。* | _ | 用紙がセットされてい ません。 | 指定したサイズの用紙をセットした後、[継続] を選んで ❷ ボタンを押して、プリントを再開してください。 | 272 |
| インクを確認 してください。* | _ | インクに異常があり ます。 | インクを確認した後、 [継続] を選んで ❷ ボ タンを押して、プリント を再開してください。 | 272 |
| インクが ありません。* | _ | インクがなくなりま した。 | インクを交換した後、 [継続] を選んで ® ボ タンを押して、プリント を再開してください。 | 272 |

[※]プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。

主な仕様

ニコンデジタルカメラ D4S

| 型式 | |
|---------------------|----------------------------------------------------|
| 型式 | レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ |
| レンズマウント | ニコンFマウント(AFカップリング、AF接点付) |
| 実撮影画角 | ニコンFXフォーマット |
| 有効画素数 | |
| 有効画素数 | 1623万画素 |
| 撮像素子 | |
| 方式 | 36.0 × 23.9 mmサイズCMOSセンサー |
| 総画素数 | 1661万画素 |
| ダスト低減機能 | イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ |
| 2 7 1 12V/19C17X11X | 取得(別売Capture NX 2必要) |
| 記録形式 | |
| | ・撮像範囲 [FX (36×24) 1.0×] の場合: |
| | 4928×3280ピクセル(サイズL) |
| | 3696×2456ピクセル(サイズM) |
| | 2464×1640ピクセル(サイズS) |
| | ● 撮像範囲 [1.2×(30×20)1.2×] の場合: |
| | 4096×2720ピクセル(サイズL) |
| | 3072×2040ピクセル(サイズM) |
| | 2048×1360ピクセル (サイズS) |
| | • 撮像範囲 [DX (24×16) 1.5×] の場合: |
| | 3200×2128ピクセル(サイズL) |
| =763.35.35.75 | 2400×1592ピクセル(サイズM) |
| 記録画素数 | 1600×1064ピクセル(サイズS) |
| | ● 撮像範囲 [5:4 (30×24)] の場合: |
| | 4096×3280ピクセル(サイズL) |
| | 3072×2456ピクセル(サイズM) |
| | 2048×1640ピクセル (サイズS) |
| | アスペクト比が 16:9、FX ベースの (動画) フォーマット |
| | (撮像範囲 [FX (36×24) 1.0×] で動画ライブビュー中に静 |
| | 止画撮影する場合)※: |
| | 4928×2768ピクセル(サイズL) |
| | 3696×2072ピクセル (サイズM) |
| | 2464×1384ピクセル (サイズS) |
| | 2707ハ1307ピノピル(ソイヘ3) |

| 記録形式 | |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 記録画素数 | アスペクト比が16:9、DXベースの(動画)フォーマット(撮像範囲[DX(24×16)1.5×]で動画ライブビュー中に静止画撮影する場合): 3200×1792ピクセル(サイズL) 2400×1344ピクセル(サイズM) 1600×896ピクセル(サイズS) アスペクト比が3:2、FXベースの(動画)フォーマット(撮像範囲[FX(36×24)1.0×]で動画ライブビュー中に静止画撮影する場合)*: 4928×3280ピクセル(サイズL) 3696×2456ピクセル(サイズL) 3696×2456ピクセル(サイズS) アスペクト比が3:2、DXベースの(動画)フォーマット(撮像範囲[DX(24×16)1.5×]で動画ライブビュー中に静止画撮影する場合): 3200×2128ピクセル(サイズL) 2400×1592ピクセル(サイズL) 2400×1592ピクセル(サイズS) 潴像範囲[1.2×(30×20)1.2×]または[5:4(30×24)]で、動画ライブビュー中に静止画撮影する場合、「FXベースの(動画)フォーマット」のときの画像サイズになります。 |
| 画質モード | RAW 12ビット/14ビット(ロスレス圧縮、圧縮、非圧縮)、サイズL/S選択可能(サイズSは12ビット、非圧縮に固定) TIFF(RGB) JPEG-Baseline準拠、圧縮率(約): FINE (1/4)、NORMAL (1/8)、BASIC (1/16) サイズ優先時、画質優先選択可能 RAWとJPEGの同時記録可能 |
| ピクチャー コントロールシステム | スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能 |
| 記録媒体 | XQDカード、コンパクトフラッシュカード(Type I、UDMA対応) |
| ダブルスロット | メモリーカードの順次記録、同時記録、RAW+JPEG分割記録ならびにカード間コピー可能 |
| 対応規格 | DCF 2.0、DPOF、Exif 2.3、PictBridge |

| ファインダー | |
|-----------|---------------------------------------------------|
| ファインダー | アイレベル式ペンタプリズム使用一眼レフレックス式ファイ |
| | ンダー |
| | • FX :上下左右とも約100%(対実画面) |
| 視野率 | • 1.2×:上下左右とも約97% (対実画面) |
| 176=5-4- | • DX:上下左右とも約97%(対実画面) |
| | • 5:4:上下約100%、左右約97%(対実画面) |
| 倍率 | 約0.7倍(50mm f/1.4レンズ使用、∞、-1.0 m ⁻¹ のとき) |
| アイポイント | 接眼レンズ面中央から18 mm(-1.0 m ⁻¹ のとき) |
| 視度調節範囲 | $-3\sim+1 \text{ m}^{-1}$ |
| ファインダー | B型クリアマットスクリーンⅧ |
| スクリーン | (AFエリアフレーム付、構図用格子線表示可能) |
| ミラー | クイックリターン式 |
| プレビュー | Pvボタンによる絞り込み可能、露出モードA、Mでは設定絞り |
| 7061- | 値まで絞り込み可能、 P、5 では制御絞り値まで絞り込み可能 |
| レンズ絞り | 瞬間復元式、電子制御式 |
| レンズ | |
| | • G、EまたはDタイプレンズ (PCレンズ一部制限あり) |
| | • G、EまたはDタイプ以外のAFレンズ(IX用レンズ、F3AF |
| | 用レンズ使用不可) |
| | • Pタイプレンズ |
| | • DXレンズ (撮像範囲は [DX (24×16) 1.5×]) |
| 交換レンズ | • 非CPUレンズ (ただし、非AIレンズは使用不可): 露出モー |
| | ドA、Mで使用可能 |
| | • 開放 F 値が F5.6 以上明るいレンズで、フォーカスエイド可 |
| | 能。ただしフォーカスポイント11点は、F8以上明るいレン |
| | ズで、フォーカスエイド可能。 |
| シャッター | |
| 型式 | 電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター |
| | 1/8000~30秒 (1/3ステップ、1/2ステップ、1ステップに変 |
| シャッタースピード | 更可能)、Bulb、Time、X250 |
| フラッシュ同調 | V + (SESTIN + (SESTINITE OFFICE) |
| シャッタースピード | X=1/250秒、1/250秒以下の低速シャッタースピードで同調 |
| | |

| レリーズ機能 | |
|----------------|----------------------------------------------------------|
| | S(1コマ撮影)、CL(低速連続撮影)、CH(高速連続撮影)、 |
| レリーズモード | Q (静音撮影)、 心 (セルフタイマー撮影)、 Mup (ミラーアッ |
| | プ撮影) |
| 連続撮影速度 | CL:約1~10コマ/秒 |
| 建 机做彩还反 | CH :約10~11コマ/秒 |
| セルフタイマー | 作動時間:2、5、10、20秒、撮影コマ数:1~9コマ、 |
| | 連続撮影間隔: 0.5、1、2、3秒 |
| 露出制御 | |
| 測光方式 | 91Kピクセル(約91,000ピクセル)RGBセンサーによるTTL |
| 州リノロノコエレ | 開放測光方式 |
| | マルチパターン測光:3D-RGB マルチパターン測光Ⅲ |
| | (G、EまたはDタイプレンズ使用時)、RGBマルチパター |
| | ン測光Ⅲ(その他のCPUレンズ使用時)、RGBマルチパ |
| | ターン測光(非CPUレンズのレンズ情報手動設定時) |
| | • 中央部重点測光 : φ12 mm相当を測光(中央部重点度 |
| 測光モード | 約75%)、φ8 mm、φ15 mm、φ20 mm、画面全体 |
| | の平均のいずれかに変更可能(非CPUレンズ使用時は |
| | φ12 mm) |
| | スポット測光:約 φ4 mm相当(全画面の約1.5%)を測 |
| | 光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動(非 |
| | CPUレンズ使用時は中央に固定) |
| | • マルチパターン測光、中央部重点測光: -1~20 EV |
| 測光範囲 | • スポット測光: 2~20 EV |
| | (ISO 100、 f /1.4レンズ使用時、常温20℃) |
| 露出計連動 | CPU連動方式、AI方式併用 |
| 露出モード | P :プログラムオート(プログラムシフト可能)、 5 :シャッ |
| 路山七一下 | ター優先オート、A:絞り優先オート、M:マニュアル |
| 露出補正 | 範囲: ±5段、補正ステップ: 1/3、1/2、1ステップに変更可能 |
| | 撮影コマ数:2~9コマ、補正ステップ:1/3、1/2、2/3、1、 |
| AEブラケティング | 2、3ステップ(2、3ステップに設定時は、撮影コマ数は2~ |
| | 5コマまで設定可能) |
| フラッシュ | 撮影コマ数:2~9コマ、補正ステップ:1/3、1/2、2/3、1、 |
| ブラケティング | 2、3ステップ(2、3ステップに設定時は、撮影コマ数は2~ |
| | 5コマまで設定可能) |
| ホワイトバランス | 撮影コマ数:2~9コマ、補正ステップ:1~3ステップ |
| ブラケティング | |
| アクティブ | 撮影コマ数:2~5コマ、撮影コマ数が2コマの場合のみアク |
| D-ライティング | |
| ブラケティング | ティブD-ライティングの効果の度合いを選択可能 |
| | |

| 電山料 畑 | |
|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 露出制御 | |
| AEロック | サブセレクターの中央押しによる輝度値ロック方式 |
| ICO =## | ISO 100~25600 (1/3、1/2、1ステップ)、ISO 100に対し約 |
| ISO感度 | 0.3、0.5、0.7、1段 (ISO 50相当) の減感、 |
| (推奨露光指数) | ISO 25600に対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段、3段、4段 |
| | (ISO 409600相当)の増感、感度自動制御が可能 |
| アクティブ | オート、より強め 2、より強め 1、強め、標準、弱め、しない |
| D-ライティング | 75 1 C C JES 2 C C JES 1 JES (), + C JES (), + C JES () |
| オートフォーカス | |
| | TTL 位相差検出方式: フォーカスポイント51点(うち、15点は |
| 方式 | クロスタイプセンサー、11点はF8対応)、アドバンストマルチ |
| 力式 | CAM 3500FXオートフォーカスセンサーモジュールで検出、AF |
| | 微調節可能 |
| 検出範囲 | -2~+19 EV (ISO 100、常温 (20℃)) |
| | • オートフォーカス:シングルAFサーボ(AF-S)またはコン |
| | ティニュアス AF サーボ(AF-C)、被写体条件により自動的 |
| レンズサーボ | に予測駆動フォーカスに移行 |
| | • マニュアルフォーカス (M): フォーカスエイド可能 |
| フォーカスポイント | • AF51点設定時 : 51点のフォーカスポイントから選択可能 |
| | • AF11点設定時 : 11点のフォーカスポイントから選択可能 |
| | シングルポイントAFモード、ダイナミックAFモード(9点、 |
| AF エリアモード | 21点、51点)、3D-トラッキング、グループエリアAFモード、 |
| N ± 57 C 1 | オートエリアAFモード |
| | サブセレクターの 中央 押し、またはシングルAFサーボ(AF-S) |
| フォーカスロック | 時にシャッターボタン半押し |
| 7=5 | 同にフィック・ボクン十折り |
| フラッシュ | 91Kピクセル (約91,000ピクセル) RGB センサーによるTTL |
| | 調光制御: SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、 |
| ===\/ | |
| 調光方式 | SB-400またはSB-300でi-TTL-BL調光(マルチパターン測光ま |
| | たは中央部重点測光)、スタンダードi-TTL調光(スポット測 |
| | 光)可能 |
| | 先幕シンクロ、スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤 スローシンクロ、後幕シンクロ、赤目軽減、赤 |
| フラッシュモード | 目軽減スローシンクロ、後幕スローシンクロ、発光禁止 |
| | • オートFPハイスピードシンクロ可能 |
| 調光補正 | 範囲: -3~+1段、補正ステップ: 1/3、1/2、1ステップ |
| レディーライト | 別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光によ |
| | る露出警告時は点滅 |
| アクセサリーシュー | ホットシュー (ISO 518) 装備:シンクロ接点、通信接点、 |
| , , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | セーフティーロック機構(ロック穴)付 |

| フラッシュ | |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------|
| | • SB-910、SB-900、SB-800またはSB-700を主灯、SU-800を コマンダーとしたアドバンストワイヤレスライティング |
| ニコンクリエイティブ | (SB-600、SB-R200 はリモートのみ) に対応 |
| ライティングシステム | ◆ オートFPハイスピードシンクロ、発光色温度情報伝達、 |
| | モデリング発光、FVロックに対応 (SB-400またはSB-300は |
| | 発光色温度情報伝達、FVロックのみ対応) |
| シンクロターミナル | シンクロターミナル (ISO 519) 装備 (外れ防止ネジ付) |
| ホワイトバランス | |
| | オート(2種)、電球、蛍光灯(7種)、晴天、フラッシュ、曇 |
| ホワイトバランス | 天、晴天日陰、プリセットマニュアル(6件登録可、ライブ |
| ボンコーハンンス | ビュー時にスポットホワイトバランス取得可能)、色温度設定 |
| | (2500K~10000K)、いずれも微調整可能 |
| ライブビュー機能 | |
| 撮影モード | 静止画ライブビューモード(静音、無音)、動画ライブビュー |
| 14X30 C 1 | モード |
| | • オートフォーカス(AF) : シングルAFサーボ(AF-S)、常時 |
| レンズサーボ | AFサーボ (AF-F) |
| | • マニュアルフォーカス (M) |
| AFエリアモード | 顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、ターゲット追尾AF |
| | コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔認識 |
| フォーカス | AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置で |
| | AF可能) |
| 動画機能 | |
| 測光方式 | 撮像素子によるTTL測光方式 |
| | • 1920 × 1080 : 60p/50p/30p/25p/24p |
| | • 1280×720: 60p/50p |
| 記録画素数/ | • 640×424: 30p/25p |
| フレームレート | • 1920×1080 クロップ: 30p/25p/24p |
| | ** 60p:59.94fps、50p:50fps、30p:29.97fps、25p:25fps、 |
| | 24p: 23.976fps |
| 7 - / II T/-P | ※ 標準/★高画質選択可能 |
| ファイル形式 | MOV |
| | H.264/MPFG-4 AVC |
| 映像圧縮方式 | |
| 音声記録方式 | リニアPCM 内蔵モノラルマイク、外部マイク使用可能(ステレオ録音)、 |

マイク感度設定可能

| Ē | 動画機能 | | |
|------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| | 感度 | 露出モード片: ISO 200~25600 (1/3、1/2、1ステップ)、ISO 25600に対し約0.3、0.5、0.7、1段、2段、3段、4段 (ISO 409600相当) の増感、感度自動制御 (ISO 200~Hi 4) が可能、制御上限感度が設定可能 露出モードア、5、月: 感度自動制御 (ISO 200~Hi 4)、制御上限感度が設定可能 | |
| | その他の機能 | インデックスマーク、微速度撮影 | |
| 7 | 夜晶モニター | | |
| | 液晶モニター | 3.2型TFT液晶モニター、約92万ドット (VGA)、視野角170°、 視野率約100%、明るさ調整可能、照度センサーによる液晶モニター自動明るさ調整機能 | |
| 再生機能 | | | |
| | 再生機能 | 1コマ再生、サムネイル(4、9、72分割)、拡大再生、動画再生、スライドショー(静止画/動画選択再生可能)、ヒストグラム表示、ハイライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の縦位置自動回転、音声メモ入力/再生可能、IPTCプリセット添付/表示可能 | |
| | インターフェース | | |
| | USB | Hi-Speed USB | |
| | HDMI出力 | HDMI端子(Type C)装備 | |
| | 外部マイク入力 | ステレオミニジャック (φ3.5mm)、プラグインパワーマイク 対応 | |
| | ヘッドホン出力 | ステレオミニジャック(<i>ϕ</i> 3.5 mm) | |
| | 10ピンターミナル | リモートコントロール: 10ピンターミナルに接続 GPS: GPSユニットGP-1/GP-1A(別売)を10ピンターミナルに接続。または、10ピンターミナルに接続したGPS変換コードMC-35(別売)を介して、NMEA0183 Ver. 2.01 およびVer. 3.01に準拠したGPS機器(D-sub 9 ピンケーブル併用)に接続 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10 (WR用変換ア | |

ダプター WR-A10が必要)/WR-1

| 15:15 | |
|-------------|--------------------------------------------|
| インターフェース | |
| | RJ-45コネクター |
| | • 準拠規格: IEEE802.3ab (1000BASE-T) / |
| | IEEE802.3u(100BASE-TX)/IEEE802.3(10BASE-T) |
| 有線LAN | • データ転送速度(規格値*):10/100/1000Mbps(自動認識) |
| HWLAIN | • ポート: 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T兼用ポート |
| | (AUTO-MDIX) |
| | ※ 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデー |
| | 夕転送速度を示すものではありません。 |
| 拡張端子 | WT-5用 |
| 表示言語 | |
| 表示言語 | 日本語、英語 |
| 電源 | |
| 使用電池 | Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18a 1個使用 |
| AC 7 42 7 4 | ACアダプター EH-6b(パワーコネクター EP-6と組み合わせ |
| ACアダプター | て使用)(別売) |
| 三脚ネジ穴 | |
| 三脚ネジ穴 | 1/4 (ISO 1222) |
| 寸法・質量 | |
| 寸法 (W×H×D) | 約160×156.5×90.5 mm |
| | 約1350g(バッテリーおよびXQDカードを含む、ボディー |
| 質量 | キャップ、アクセサリーシューカバーを除く) |
| | 約1180g (本体のみ) |
| 動作環境 | |
| 温度 | 0°C~40°C |
| 湿度 | 85%以下(結露しないこと) |

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による温度条件23℃(±3℃)で、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

| バッテリーチャージャー MH-26a | | | | |
|--------------------|----------------------------------------------------|--|--|--|
| 電源 | AC 100 ∼ 240 V、50/60 Hz | | | |
| 定格入力容量 | 33~43VA | | | |
| 充電出力 | DC 12.6 V、1.2 A | | | |
| 適応充電池 | Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL18a | | | |
| 充電時間(1本あたり) | 約2時間35分 ※残量のない状態からの充電時間(周囲温度25℃) | | | |
| 使用温度 | 0℃~40℃ | | | |
| 寸法(W×H×D) | 約160×85×50.5 mm | | | |
| 電源コード | 長さ約1.5 m、日本国内専用AC 100V対応 | | | |
| 質量 | 約285 g (接点保護カバー(2 枚)を含む、電源コードを除く) 約265 g (本体のみ) | | | |

| Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL18a | | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|--|--|
| 形式 | リチウムイオン充電池 | | | |
| 定格容量 | 10.8 V、2500 mAh | | | |
| 使用温度 | 0℃~40℃ | | | |
| 寸法(W×H×D) | 約56.5×27×82.5 mm | | | |
| 質量 | 約160 g (端子カバーを除く) | | | |

• 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

② このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0: 各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format): デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif Version 2.3: (Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras): デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge:デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface): 家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

商標説明

- XODはソニー株式会社の商標です。
- CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は米国SanDisk 社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標です。
- MacおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- PictBridge ロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing II Cの商標または登録商標です。

HDMI

• その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (http://www.freetype.org) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

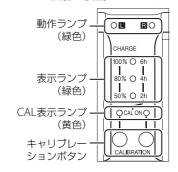
<u>バッテリーチャージャー MH-26aの</u> キャリブレーションについて

バッテリーチャージャー MH-26a は、バッテリー容量を正確に表示できるかどうか検査し、調整するキャリブレーション機能を装備しています。

キャリブレーションの必要性と進行 状況は、右図のランプの点灯状況で確 認できます。

CAL表示ランプが点滅している場合は、点滅した側に装着したバッテリーにキャリブレーションの必要があることを示しています。

キャリブレーションを行うには、点滅しているCAL表示ランプの真下にあるキャリブレーションボタンを約1秒押してください。キャリブレーション



中は、バッテリーを装着した側の動作ランプが点滅します。キャリブレーションに必要な時間は、次の表の通りです。

| | | キャリブレーションに必要な時間 | | | | |
|---------------------------|----|-----------------|--------|--------|--------|--|
| | | 約2時間以內 | 約2~4時間 | 約4~6時間 | 約6時間以上 | |
| | 2h | ○消灯 | ○ 点灯 | ○ 点灯 | 〇 点灯 | |
| 表示ランプ(緑色) | 4h | ○消灯 | ○ 消灯 | ○ 点灯 | ○ 点灯 | |
| | 6h | ○消灯 | ○ 消灯 | ○消灯 | ○ 点灯 | |
| CAL表示 (黄色 CAL ON (I |) | ○点灯 | ○点灯 | 〇 点灯 | ○点灯 | |

CAL表示ランプが点滅しても、必ずしもキャリブレーションボタンを押してバッテリーのキャリブレーションを行う必要はありません。また、キャリブレーションは途中で中断することもできます。

- CAL表示ランプの点滅時にキャリブレーションボタンを押さなかった場合は、約10 秒後に通常の充電を開始します。
- 途中でキャリブレーションを中断する場合は、もう一度キャリブレーションボタンを押します。測定が中断され、充電が開始されます。

キャリブレーションが完了すると、CAL表示ランプおよび全ての表示ランプが消灯し、充電を開始します。

▼ こんなときは…

• バッテリーを装着していないのにL およびR の動作ランプとCAL 表示ランプが交互に点滅する

チャージャーに異常が発生しました。直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、 ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

• バッテリー装着時にLまたはRの動作ランプとCAL表示ランプが交互に点滅する 充電時にバッテリーまたはチャージャーの異常が発生しました。直ちにバッテリー を取り外し、電源プラグをコンセントから抜いた後、ニコンサービス機関に修理を 依頼してください。

⊿ 2本のバッテリーを装着した場合

L側、R側の両方にバッテリーを装着している場合、装着した順番に1本ずつ充電します。CAL表示ランプが点滅しているときにキャリブレーションボタンを押すと、まずは最初に装着したバッテリーのキャリブレーションを行い、その後充電を行います。1本目のバッテリーの充電が終わるまで、他のバッテリーはキャリブレーションも充電もできません。

使用できるXQDカードとCFカード

■ XQDカード

次のXQDカードの動作を確認しています。

| ソニー社製 | Sシリーズ | QD-S32/QD-S32E (32GB)、QD-S64/QD-S64E (64GB) |
|---------------|--------------|---------------------------------------------|
| | Hシリーズ | QD-H16 (16GB)、QD-H32 (32GB) |
| | Nシリーズ | QD-N32 (32GB)、QD-N64 (64GB) |
| LEXAR MEDIA社製 | Professional | 1100× (32GB、64GB) |

■ CFカード

次のCFカードの動作を確認しています (Type Iのみ。Type IIのCFカード やマイクロドライブは使用できません)。

| SanDisk社製 | F | SDCFXPS | 16 GB、32 GB、64 GB、128 GB、256 GB |
|---------------|----------------------|---------|---------------------------------|
| | Extreme Pro | SDCFXP | 16 GB、32 GB、64 GB、128 GB |
| | Extreme | SDCFXS | 8 GB、16 GB、32 GB、64 GB、128 GB |
| | | SDCFX | 8 GB、16 GB、32 GB |
| | Extreme IV | SDCFX4 | 2 GB、4 GB、8 GB、16 GB |
| | Extreme III | SDCFX3 | 2 GB、4 GB、8 GB、16 GB |
| | Ultra II | SDCFH | 2 GB、4 GB、8 GB |
| | Ultra | SDCFHS | 4 GB、8 GB、16 GB |
| | Oitia | SDCFHG | 4 GB、8 GB、16 GB |
| | Standard | SDCFB | 2 GB、4 GB |
| | Professional UDMA | 1000× | 16 GB、32 GB、64 GB、128 GB、256GB |
| | | 800× | 8GB、16GB、32GB、64GB、128GB |
| | | 600× | 8 GB、16 GB、32 GB |
| | | 400× | 8 GB、16 GB、32 GB、64GB、128GB |
| | | 300× | 2 GB、4 GB、8 GB、16 GB |
| LEXAR MEDIA社製 | Professional | 233× | 2 GB、4 GB、8 GB |
| | | 133× | 2 GB、4 GB、8 GB |
| | | 80× | 2 GB、4 GB |
| | Platinum II | 200× | 4GB、8GB、16GB |
| | | 80× | 2 GB、4 GB、8 GB、16 GB |
| | | 60× | 4 GB |

- 動画撮影には、最大30MB/s (200倍速)以上の転送速度を持つメモリーカードをおすすめします。転送速度が遅いメモリーカードでは、動画の撮影が途中で終了したり、カメラでの動画再生がスムーズに行われないことがあります。
- 上記メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、メモリーカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のメモリーカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

撮像範囲(□83)、画質モード(□89)、画像サイズ(□92、94)の組み合わせによって、32GBのXQDカードに記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数は、次のようになります※1。ただし、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

■■ [撮像範囲] が [FX (36×24) 1.0×] の場合※2

| 両断工 じ | 画像 | 1コマあたりの | 記録可能 | 連続撮影可能 |
|----------------------------|-----|----------------|---------|---------|
| 画質モード | サイズ | ファイルサイズ | コマ数※3 | コマ数※3、4 |
| RAW | | 約15.4 MB | 1100コマ | 133コマ |
| (ロスレス圧縮RAW/12ビット記録) | _ | ا۱۱، ۱۵، ۱۲ را | 11003 (| 1333 \ |
| RAW (ロスレス圧縮RAW/14ビット記録) | L | 約19.3 MB | 859コマ | 78⊐マ |
| RAW (圧縮RAW/12ビット記録) | L | 約14.1 MB | 1400コマ | 176コマ |
| RAW (圧縮RAW/14ビット記録) | L | 約17.3 MB | 1200コマ | 104コマ |
| RAW | L | 約25.9 MB | 1100コマ | 88コマ |
| (非圧縮RAW/12ビット記録) | S | 約13.1 MB | 2100コマ | 36コマ |
| RAW (非圧縮RAW/14ビット記録) | L | 約33.6 MB | 859コマ | 60コマ |
| | L | 約48.9 MB | 599コマ | 55コマ |
| TIFF (RGB) | М | 約28.1 MB | 1000コマ | 81コマ |
| | S | 約13.1 MB | 2100コマ | 157コマ |
| | L | 約9.1 MB | 2600コマ | 200コマ |
| FINE*5 | М | 約5.6 MB | 4300コマ | 200コマ |
| | S | 約3.0 MB | 7800コマ | 200コマ |
| | L | 約4.6 MB | 5100コマ | 200コマ |
| NORMAL*5 | М | 約2.8 MB | 8200コマ | 200コマ |
| | S | 約1.6 MB | 14400コマ | 200コマ |
| | L | 約2.1 MB | 9800コマ | 200コマ |
| BASIC*5 | М | 約1.5 MB | 15300コマ | 200コマ |
| | S | 約0.9 MB | 25400コマ | 200コマ |

■■ [撮像範囲] が [DX (24×16) 1.5×] の場合※6

| 画質モード | 画像 | 1コマあたりの | 記録可能 | 連続撮影可能 |
|----------------------------|-----|------------|---------|---------|
| | サイズ | ファイルサイズ | コマ数※3 | コマ数※3、4 |
| RAW | 1 | 約7.4 MB | 1600コマ | 200コマ |
| (ロスレス圧縮RAW/12ビット記録) | _ | 7,57.11110 | 1000= (| 200-1 |
| RAW (ロスレス圧縮RAW/14ビット記録) | L | 約9.1 MB | 1300コマ | 200コマ |
| RAW (圧縮RAW/12ビット記録) | L | 約6.7 MB | 2200コマ | 200コマ |
| RAW (圧縮RAW/14ビット記録) | L | 約8.1 MB | 1800コマ | 200⊐マ |
| RAW | L | 約11.7 MB | 1600コマ | 200コマ |
| (非圧縮RAW/12ビット記録) | S | 約6.3 MB | 4400コマ | 38⊐マ |
| RAW (非圧縮RAW/14ビット記録) | L | 約15.0 MB | 1300コマ | 144コマ |
| | L | 約21.2 MB | 1300コマ | 96コマ |
| TIFF (RGB) | М | 約12.4 MB | 2200コマ | 155コマ |
| | S | 約6.3 MB | 4400コマ | 163コマ |
| | L | 約4.4 MB | 5300コマ | 200コマ |
| FINE*5 | М | 約2.9 MB | 8000コマ | 200コマ |
| | S | 約2.1 MB | 12400コマ | 200コマ |
| | L | 約2.2 MB | 10200コマ | 200コマ |
| NORMAL*5 | М | 約1.5 MB | 14800コマ | 200コマ |
| | S | 約1.1 MB | 22300コマ | 200コマ |
| | L | 約1.2 MB | 18600コマ | 200コマ |
| BASIC*5 | М | 約0.9 MB | 26100コマ | 200コマ |
| | S | 約0.7 MB | 37200コマ | 200コマ |

- ※1 ソニー社製SシリーズQD-S32E (32GB) のメモリーカードを使用した場合
- ※2 [撮像範囲] の [DX自動切り換え] が [する] でDXレンズ以外のレンズを装着した場合を含みます。
- ※3 撮影条件により、記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数は増減することがあります。
- ※4 ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。次のような場合、連続撮影可能コマ数は減少します。
 - [JPEG/TIFF記録]の[JPEG圧縮]を[画質優先]に設定してJPEG画像を撮影した場合
 - [自動ゆがみ補正] (CD301) を [する] に設定した場合

- ※5 1 コマあたりのファイルサイズおよび記録可能コマ数は、[JPEG/TIFF 記録] の [JPEG圧縮] (中91) が [サイズ優先] に設定されている場合です。[JPEG圧縮] を [画質優先] に設定した場合、記録可能コマ数は減少します。
- ※6 [撮像範囲] の [DX自動切り換え] が [する] でDXレンズを装着した場合を含みます。

☑ カスタムメニュー d3 [連続撮影コマ数] (□321)

カスタムメニューd3 [**連続撮影コマ数**] では、連続撮影時の連続撮影コマ数を $1\sim200$ コマの範囲で設定できます。

撮影可能コマ数(電池寿命)について

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18a (2500 mAh) による撮影可能コマ数(電池寿命)

- 撮影可能コマ数(1コマ撮影モード):約3020コマ(CIPA基準準拠※1)
- 撮影可能コマ数(連続撮影モード):約5960コマ(当社試験条件※2)
- 動画撮影可能時間:約55分*3
- ※1 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォーカシン グ動作をさせて1コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。装着レンズAF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G FD、温度23(±3)℃。
- ※2 画質モードNORMAL、画像サイズL、シャッタースピード1/250秒、シャッターの 半押しを3秒間持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動 作させ6回連続レリーズした後、液晶モニターを5秒間点灯させ、消灯後半押しタ イマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S VR ED 70-200mm f/2.8G (VR機能OFF)、温度20℃。
- ※3 電池寿命測定方法を定めたCIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による実撮影電池寿命です。装着レンズAF-S NIKKOR 24–70mm f/2.8G ED、温度23 (±3) ℃。カメラは初期設定状態。
 - 1080/60pに設定した場合、1回の動画撮影で記録可能な最長時間は10分です。
 - 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
 - カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAW、TIFF (RGB) に設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- 有線LANまたは、ワイヤレストランスミッターWT-5またはWT-4、通信ユニットUT-1 を使用した場合
- GPSユニットGP-1/GP-1A、ワイヤレスリモートコントローラーWR-R10/WR-1、ルミコントロールセットML-3を使用した場合
- VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL18aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま 放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。
- 定期的にセットアップメニューの「電池チェック](□362)で、バッテリーの状態を ご確認いただくことをおすすめします。「キャリブレーション: 第CAL」と表示された 場合は、バッテリーチャージャー MH-26aで、EN-EL18aのキャリブレーションを行っ てください(□462)。また、半年以上使用していないバッテリーは、キャリブレー ションしてから充電してください。

索引

マーク・英数字

| P (プログラムオート)125, 126 |
|-------------------------------------|
| 5 (シャッター優先オート) 125, 127 |
| 月 (絞り優先オート)125,128 |
| M (マニュアル)125, 129 |
| S (1コマ撮影)111 |
| CL (低速連続撮影) 111,321 |
| CH (高速連続撮影)111,321 |
| Q (静音撮影)111 |
| ᠔ (セルフタイマー撮影) 111, 114 |
| Mup (ミラーアップ撮影) 111, 116 |
| [n] (シングルポイントAF) 100, 102 |
| [♥] (ダイナミックAF) 100, 102 |
| ■ (グループエリアAF) 101, 102 |
| (オートエリアAF)101, 102 |
| ❷ (顔認識AF)51 |
| [編 (ワイドエリアAF)51 |
| 鼠 (ノーマルエリアAF)51 |
| ● (ターゲット追尾AF)51 |
| 図 (マルチパターン測光) 123, 316 |
| ◉ (中央部重点測光) 123,316 |
| ⊙ (スポット測光)123 |
| Fn (ファンクション)ボタン |
| 87, 207, 231, 332, 349 |
| Pv (プレビュー)ボタン |
| 49, 63, 128, 337, 351 |
| 11 (インフォ) ボタン 11, 14, 56, 66 |
| ☑ (ライブビュー) ボタン 346 |
| ☑ (ライブビュー撮影) 47,61,165 |
| ? (ヘルプ) 17,20 |
| ▶ (連続撮影可能コマ数) 42, 112, 465 |
| 10ピンターミナル2, 232, 410 |
| 12ビット記録91 |
| 14ビット記録91 |
| 1.2×(30×20)1.2×(撮像範囲) |
| |
| 1コマ撮影111 |
| 1コマ表示235 |

| CFスロット | 33, 95 | NEF | 89 |
|-------------------------------|-------------|------------------------------------------------|-----------------|
| CPU信号接点 | 403 | NORMAL | |
| CPUレンズ28, | 401, 403 | PictBridge(ピクトブリッ | ジ) |
| DCF Version 2.0 | | | 272, 461 |
| DPOFプリント (PictBridge) | 274 | PRE(プリセットマニュア | ル) 152, 160 |
| DPOF (Digital Print Order For | mat) | RAW 89, 90, 9° | 1, 95, 298, 384 |
| | 276, 461 | RAW圧縮 (RAW記録) | 91 |
| DX (24×16) 1.5× (撮像範囲) | | RAW記録 | 91, 94, 298 |
| 8 | 3, 85, 87 | RAW現像 | |
| DX自動切り換え (撮像範囲) | | RGBヒストグラム表示 | 241, 380 |
| DXフォーマット | | RGBマルチパターン測光 | |
| DXベースの(動画)フォーマッ | | | |
| Dタイプレンズ | 403 | sRGB (色空間) | |
| D-ライティング | 376 | S (画像サイズ) | 92, 94 |
| Exif Version 2.3 | | TIFF (RGB) | 89 |
| Eタイプレンズ | 403 | USBケーブル | i, 266, 272 |
| FINE | | UT-1 | 270, 408 |
| FP発光 | 203, 326 | UTC | 29, 233, 245 |
| FVロック206, | 332, 347 | ViewNX 2 | 263, 266 |
| FX (36×24) 1.0× (撮像範囲) | 83, 87 | WBブラケティング(WB-I | 3KT) |
| FXフォーマット | | | , |
| FXベースの(動画)フォーマッ | ├ 67 | WT-4 | |
| Gタイプレンズ | | WT-5 | |
| HDMI (High-Definition Multin | | XQDカード | |
| Interface) | | XQDスロット | 33, 95 |
| HDR(ハイダイナミックレンジ) | | ア | |
| Hi (ISO感度) | | <u>, </u> | |
| H.264 | | アイピース | 38, 115, 409 |
| INDEXプリント | | アイピースシャッターレバ | |
| IPTC | | アオリ効果 | 391 |
| ISO感度76,117, | | 赤目軽減 | 201 |
| ISO感度設定ステップ幅 | | 赤目補正 | 377 |
| i-TTL-BL調光 | | 明るさ(ピクチャーコント | ・ロール) 176 |
| i-TTL調光 | | アクセサリー | |
| JPEG 89 | | (使用できるアクセサリー | -) 407 |
| JPEG/TIFF記録91 | | アクセサリーシューカバー | |
| Li-ionリチャージャブルバッテリ | | アクティブD-ライティング | ブ 184 |
| i | | アクティブD-ライティング | ブ |
| Lo (ISO感度) | | ブラケティング | 148 |
| L (画像サイズ) | | 圧縮RAW | 91 |
| M (画像サイズ) | | 後幕シンクロモード | 201 |
| M(マニュアルフォーカス) | . 5/, 108 | | |

| 位置情報232, 245 | 顔認識31 | 6 |
|----------------------------|------------------------|---|
| イメージセンサークリーニング 416 | 顔認識AF5 | 1 |
| イメージダストオフ 357, 444 | 画角40 | 5 |
| イルミネーター 3, 325 | 拡大表示24 | 7 |
| 色合い (色相) | 拡張端子 2,40 | 8 |
| (ピクチャーコントロール)176 | 画質モード8 | 9 |
| 色温度 151, 153, 157 | 画質優先 (JPEG圧縮)9 | 1 |
| 色温度設定152 | カスタムピクチャーコントロール 17 | |
| 色空間299 | カスタムメニュー30 | 3 |
| 色の濃さ (彩度) | カスタムメニューの管理30 | |
| (ピクチャーコントロール)176 | 風切り音低減7 | 5 |
| 印刷 (プリント)272 | 画像合成38 | 1 |
| インジケーターの+/-方向345 | 画像コピー28 | 6 |
| インターバルタイマー撮影217 | 画像コメント36 | 3 |
| インデックスプリント274 | 画像サイズ9 | 2 |
| インデックスマーキング | 画像サイズ/フレームレート7 | 3 |
| インフォ画面 11, 324 | 画像情報23 | 8 |
| ヴィネットコントロール 300 | 画像の拡大/縮小方法34 | |
| ウォームトーン(フィルター効果) | 画像編集メニュー37 | 3 |
| | 傾き補正38 | 9 |
| 液晶モニター | カメラ設定の保存と読み込み 36 | 8 |
| 54, 55, 235, 319, 355, 356 | カラーカスタマイズ38 | 0 |
| オートFPハイスピードシンクロ | 感度自動制御 11 | 9 |
| 194, 203, 326 | 基準露出レベルの調節31 | 7 |
| オートエリアAF101, 102 | キャリブレーション46 | 2 |
| オートフォーカス | 距離基準マーク10 | 9 |
| 50, 51, 97, 100, 105, 107 | 記録可能コマ数 40,46 | 5 |
| オートブラケティング | 記録ビットモード (RAW記録) 9 | 1 |
| 140, 328, 329, 330 | 記録フォルダー設定29 | 6 |
| オート(ホワイトバランス) 151, 152 | クイック調整 17 | 6 |
| 音声の出力 261, 281 | クール (モノトーン)37 | 9 |
| 音声ボタンの操作256 | クリーニングミラーアップ41 | 9 |
| 音声メモ 255 | クリエイティブライティングシステム | |
| _ | 19 | 3 |
| カ | グループエリアAF 101, 102, 30 | 9 |
| カードなし時レリーズ344 | 蛍光灯(ホワイトバランス)15 | 1 |
| カードの初期化(フォーマット) | 言語 (Language) 36 | 0 |
| | 現在地の設定 (地域と日時) 29,36 | |
| 外部マイク | 高感度ノイズ低減30 | |
| 開放F値 | 高感度 (Hi)11 | 8 |
| 開放行 | 高速連続撮影 111,32 | |
| 7777777 D 223, 404 | コマ送り78, 290, 34 | 3 |
| | | |

| コマンドダイヤルの設定 341 | 主スロットの選択95 |
|-------------------------|----------------------------|
| コンティニュアスAFサーボ(AF-C) | 順次記録 (副スロットの機能)95 |
| 97, 307 | 常時AFサーボ (AF-F)50 |
| コントラスト | 焦点距離の設定229 |
| (ピクチャーコントロール)176 | 照度センサー(液晶モニター自動明るさ |
| ш. | 調整機能) 5,55,355 |
| サ | 初期化(フォーマット) 35, 355 |
| 最近設定した項目 | 初期設定一覧209, 429 |
| 最小絞り | 白黒 (モノトーン) |
| サイズ | シングルAFサーボ(AF-S) |
| サイズ優先 (JPEG圧縮) | 50, 97, 308 |
| 再生 | シングルポイントAF 100, 102 |
| 再生画面設定 | シンクロターミナル 2, 192 |
| 再生フォルダー設定 | 水準器 56, 66, 335, 370 |
| 再生メニュー | 推奨メモリーカード464 |
| 先幕シンクロモード | スカイライト(フィルター効果) 379 |
| 削除 | スタンダードi-TTL調光194, 200 |
| 削除後の次再生画像 | スタンダード |
| 撮影時の上書き録音 | (ピクチャーコントロール)173 |
| 撮影時の録音 | ステレオミニプラグケーブル用 |
| 撮影情報243 | 端子カバー i, 412 |
| 撮影直後の画像確認 237, 289 | スピードライト191, 193, 196 |
| 撮影メニュー | スポット測光 123 |
| 撮影メニューの拡張 | スポットホワイトバランス165 |
| 撮影メニューの管理294 | スムージング 188 |
| 撮像範囲 | スライドショー291 |
| サブコマンドダイヤルで画像送り 343 | スローシンクロモード201 |
| サブセレクター | スロット切り換え 40, 169, 236, 374 |
| 105, 136, 337, 338, 352 | 制御上限感度(感度自動制御) 120 |
| サマータイム (夏時間) 30,360 | 静止画ライブビュー47,58 |
| サムネイル 235, 331 | 晴天日陰(ホワイトバランス)152 |
| 自動ゆがみ補正 301 | 晴天 (ホワイトバランス)151 |
| 視度調節機能 37,409 | 接眼補助レンズ409 |
| 絞り値 125, 128, 135, 342 | 設定の保存368 |
| 絞り値のロック 135, 340 | セットアップメニュー354 |
| 絞り優先オート128 | セピア (モノトーン) |
| シャッタースピード 125, 127, 134 | セルフタイマー114, 318 |
| シャッタースピードのロック 134, 340 | 全押し (シャッターボタン) |
| シャッターボタン | 全画像削除 |
| | 選択画像削除 |
| シャッター優先オート127 | 測光モード |
| | 外付けフラッシュ発光 327 |

| ターゲット追尾AF51 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ダイナミックAF 100, 102, 309 |
| タイマー(セルフタイマー) 114, 318 |
| タイム撮影 (長時間露出)131 |
| 多重露出212 |
| 縦位置AF-ONボタンの機能312 |
| 縦位置Fnボタンの機能339 |
| 縦位置自動回転290 |
| 縦位置シャッターボタンロックレバー |
| 41 |
| 縦位置マルチセレクターの機能 345 |
| 縦横位置情報の記録361 |
| 縦/横位置フォーカス切換313 |
| 地域と日時29,360 |
| 着脱指標27,28 |
| 中央部重点測光 123,316 |
| 中央ボタンの機能330 |
| 調光補正204 |
| 長時間露出131 |
| 調色(ピクチャーコントロール) |
| |
| 176, 178 |
| |
| |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270,408 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270,408ツーボタンリセット209 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270,408ツーボタンリセット209 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118低速限界設定(感度自動制御)120 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118低速限界設定(感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度 (Lo)118低速限界設定 (感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118低速限界設定(感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球(ホワイトバランス)151電源コード23 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度 (Lo)118低速限界設定 (感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球 (ホワイトバランス)151 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118低速限界設定(感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球(ホワイトバランス)151電源コード23 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118低速限界設定(感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球(ホワイトバランス)151電源コード23電子音設定320電池チェック362動画61, 72, 77, 79 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度 (Lo)118低速限界設定 (感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球 (ホワイトバランス)151電源コード23電子音設定320電池チェック362 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118低速限界設定(感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球(ホワイトバランス)151電源コード23電子音設定320電池チェック362動画61, 72, 77, 79動画ISO感度設定76動画記録先75 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度 (Lo)118低速限界設定 (感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球 (ホワイトバランス)151電源コード23電子音設定320電池チェック362動画61, 72, 77, 79動画ISO感度設定76 |
| 長秒時ノイズ低減302著作権情報364通信ユニット270, 408ツーボタンリセット209低感度(Lo)118低速限界設定(感度自動制御)120低速連続撮影111, 321デモモード344テレビ278電球(ホワイトバランス)151電源コード23電子音設定320電池チェック362動画61, 72, 77, 79動画ISO感度設定76動画記録先75 |

| | 動画編集79,82 動画ライブビュー |
|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 51 | 統合表示 |
| 309 | 同調シャッタースピード 203, 326, 440 |
| 318 | 四回フィグラ 人に 1: 203, 320, 440 ※毎百日の削除(フィメニュニ) 206 |
| . 131 | 登録項目の削除 (マイメニュー) 396 登録項目の順序変更 (マイメニュー) |
| . 212 | 豆球項目の順序変更(マイメニュー) |
| 312 | |
| . 339 | 時計用電池 |
| | トリミング |
| . 290 | 曇天(ホワイトバランス)152 |
| 41 | <u></u> |
| 345 | |
| 361 | 日時の設定(地域と日時) |
| 313 | ニュートラル |
| 360 | (ピクチャーコントロール) |
| 7, 28 | ネットワーク |
| 316 | |
| . 330 | ノイズ低減302 ノーマルエリアAF51 |
| 204 | ノーマルエリア AF51 |
| . 131 | Д |
| 178 | |
| . 302 | ハイビジョンテレビと接続する 278 |
| . 302 | バックアップ記録(副スロットの機能) |
| 364 | 95 |
| 408 | 発光禁止201, 333, 347, 349 |
| 209 | バッテリーi, 21, 39, 460, 462 |
| 118 | 1(7) 7 9 |
| 120 | バッテリー従事主子 20 |
| . 120 | バッテリー残量表示 |
| 321 | バッテリーチャージャー |
| . 321 . 344 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 |
| 321 344 278 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出)131 |
| . 321 . 344 . 278 . 151 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出) 131 パワーオフ時間 319 |
| . 321 . 344 . 278 . 151 23 | バッテリーチャージャー |
| . 321 . 344 . 278 . 151 23 . 320 | バッテリーチャージャー |
| . 321 . 344 . 278 . 151 23 . 320 . 362 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出) 319 パワーオフ時間 319 パワーコネクター 407, 413 パワー絞り 349, 351 範囲指定(PictBridge) 273 |
| . 321 . 344 . 278 . 151 23 . 320 . 362 7, 79 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出) 131 パワーオフ時間 319 パワーコネクター 407, 413 パワー絞り 349, 351 範囲指定(PictBridge) 273 半押しAEロック 317 |
| . 321 . 344 . 278 . 151 23 . 320 . 362 7, 79 76 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出) 131 パワーオフ時間 319 パワーコネクター 407, 413 パワー絞り 349, 351 範囲指定(PictBridge) 273 半押しAEロック 317 半押しAFレンズ駆動 308 |
| 321 344 278 151 23 320 362 7, 79 76 75 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出) 131 パワーオフ時間 319 パワーコネクター 407, 413 パワー絞り 349, 351 範囲指定(PictBridge) 273 半押しAEロック 317 半押しAFレンズ駆動 308 半押しタイマー 44, 317 |
| . 321 . 344 . 278 . 151 23 . 320 . 362 7, 79 76 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出) 131 パワーオフ時間 319 パワーコネクター 407, 413 パワー絞り 349, 351 範囲指定(PictBridge) 273 半押しAEロック 317 半押しAFレンズ駆動 308 半押しタイマー 44, 317 半押し(シャッターボタン) 42, 43 |
| 321 344 278 151 23 320 362 7, 79 76 75 | バッテリーチャージャー i, 21, 460, 462 バルブ撮影(長時間露出) 131 パワーオフ時間 319 パワーコネクター 407, 413 パワー絞り 349, 351 範囲指定(PictBridge) 273 半押しAEロック 317 半押しAFレンズ駆動 308 半押しタイマー 44, 317 |

| フラッシュ時シャッタースピード制限 |
|------------------------------|
| |
| フラッシュブラケティング(オートブラ |
| ケティングのセット) 140, 328, 329 |
| フラッシュモード 201, 202 |
| フラッシュ (ホワイトバランス) 151 |
| フランジバック109 |
| プリセットフォーカスポイント |
| |
| プリセットマニュアル |
| (ホワイトバランス)152, 160 |
| フリッカー低減359 |
| プリント272 |
| プリント実行 (PictBridge) 273, 275 |
| プリント指定 (DPOF)276 |
| プリント設定 (PictBridge) 274 |
| フレームレート |
| プレビューボタンの機能 |
| プログラムオート126 |
| プログラムシフト126 |
| プログラム線図437 |
| プロテクト249 |
| ヘッドホン |
| ヘルプ 17,20 |
| 編集前後の画像表示392 |
| ポートレート |
| (ピクチャーコントロール)173 |
| ボタン照明 |
| ボタンのホールド設定344 |
| ボディーキャップ 27,409 |
| ホワイトバランス151 |
| ホワイトバランスブラケティング |
| (WBブラケティング)145,328 |
| — |
| マ |
| マイク |
| マイク感度74 |
| 枚数指定 (PictBridge) |
| マイメニュー |
| マニュアルフォーカス |
| マニュアル (露出) |
| (一二/// (昭山/ |
| |

| マルチパターン測光 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ミラーアップ撮影 |
| ミレッド |
| 無線LAN |
| モデリング発光128, 328 |
| モブリング光ル |
| モニターのカラーカスタマイス |
| モニター光ル |
| (ピクチャーコントロール) |
| モノトーン |
| L) · · · · · · · · · · · · · · · · · · |
| ヤ |
| 有線LAN 270 |
| ゆがみ補正390 |
| 用紙設定 (PictBridge)273 |
| 予測駆動フォーカス99 |
| ラ |
| <u> </u> |
| ライブビュー47,61 |
| ライブビューセレクター 47, 61 |
| リサイズ386 |
| リセット 209, 295, 306 |
| 117 17 17 70 410 |
| リモートコード 70,410 |
| リモコン(WR)のFnボタンの機能 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 347 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 347 輪郭強調 (ピクチャーコントロール) 176 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 |
| リモコン(WR)のFnボタンの機能 |
| リモコン(WR)のFnボタンの機能 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 347 輪郭強調 (ピクチャーコントロール) 176 レディーライト 197, 456 レリーズモード 111 レンズ情報手動設定 229, 230 レンズ着脱指標 27 レンズのフォーカス作動ボタン機能 348 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 347 輪郭強調 (ピクチャーコントロール) 176 レディーライト 197, 456 レリーズモード 111 レンズ情報手動設定 229, 230 レンズ着脱指標 27 レンズのフォーカス作動ボタン機能 348 レンズマウント 28, 109 |
| リモコン(WR)のFnボタンの機能 |
| リモコン (WR) のFnボタンの機能 347 輪郭強調 (ピクチャーコントロール) 176 レディーライト 197, 456 レリーズモード 111 レンズ情報手動設定 229, 230 レンズ着脱指標 27 レンズのフォーカス作動ボタン機能 348 レンズマウント 28, 109 レンズ (使用できるレンズ) 401 連続撮影 111, 112 |
| リモコン(WR)のFnボタンの機能 |

| 連番モード | 322 |
|------------------|-----------------|
| ローリング | 335, 370 |
| 録音帯域 | |
| 露出123, 125, 136, | 138, 140 |
| 露出インジケーター | 130 |
| 露出差 | 188 |
| 露出設定ステップ幅 | 315 |
| 露出・調光補正ステップ幅 | |
| 露出ディレーモード | 321 |
| 露出プレビュー | 48, 49 |
| 露出平滑化 | 219, 225 |
| 露出補正 | |
| 露出モード | 125 |
| ロスレス圧縮RAW | 91 |
| _ | |
| 7 | |
| ワイドエリアAF | 51 |
| ワイヤレストランスミッター | |
| ワイヤレスリモートコントロー | 5— [*] |
| | 347, 408 |







ニコンプラザ、サービスセンターの ご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ニコンサロンを統合したニコン映像製品の総合 情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージ ングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒 104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階

営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒 163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階

営業時間: 10:30~18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒 530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階 営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)



フノ ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)





ニコンプラザサービスセンター(ナビダイヤル) 0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、 ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒 060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルヂング2階

名古屋サービスセンター

〒 460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビル6階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階 (各サービスセンター共通)

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)



0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

- ●ナビダイヤルは一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ●ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 (ニコンカスタマー サポートセンター) におかけください。

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」 にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。 【お願い】
- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
 - 「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容を で確認の上、お問い合わせください。
 - 「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を(会社の場合は会社名と部署名も)明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関(ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター)、ご購入 店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
 ※内蔵メモリーがあるカメラでは、内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品(その製品の機能を維持するために必要な部品)の保有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

• 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経 過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へ お問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認め られる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判 定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000 - 砂電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用 営業時間: 9:30 ~ 18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日) ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内」

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、二コン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。 ※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155 営業時間: 9:00~18:00 (年末年始12/29~1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。 製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200 - 般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用 営業時間:9:30〜18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、 夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

▶修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

■インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。 ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

http://www.nikon-image.com/support/repair/

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン

株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Japan